

No.39

委員 会 報

平成22年版

沖 繩 県 議 会

目 次

1 平成21年第6回沖縄県議会（定例会）閉会中継続審査（調査）

| | |
|-----------------------------|---|
| 1) 総務企画委員会 | |
| 委員会記録 | 1 |
| J T A及びR A Cの航空路線確保等に関する意見書 | 1 |
| J T A及びR A Cの航空路線確保等に関する決議 | 2 |
| 2) 文教厚生委員会 | |
| 委員派遣 | 3 |
| 3) 土木委員会 | |
| 委員会記録 | 3 |
| 4) 沖縄振興・那覇空港整備促進特別委員会 | |
| 委員会記録 | 4 |

2 平成22年第1回沖縄県議会（定例会）

| | |
|--------------------------|----|
| 1) 総務企画委員会 | |
| 委員会記録 | 5 |
| 議案処理一覧表 | 8 |
| 陳情処理一覧表 | 8 |
| 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 10 |
| 2) 経済労働委員会 | |
| 委員会記録 | 11 |
| 議案処理一覧表 | 14 |
| 陳情処理一覧表 | 14 |
| 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 14 |
| 農林水産業予算の削減に反対する意見書 | 15 |
| 那覇地域職業訓練センターの廃止問題に関する意見書 | 16 |
| 那覇地域職業訓練センターの廃止問題に関する決議 | 16 |
| 3) 文教厚生委員会 | |
| 委員会記録 | 16 |
| 議案処理一覧表 | 20 |
| 請願・陳情処理一覧表 | 20 |
| 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 23 |
| 4) 土木委員会 | |
| 委員会記録 | 26 |
| 議案処理一覧表 | 28 |
| 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 29 |
| 5) 米軍基地関係特別委員会 | |
| 委員会記録 | 30 |
| 陳情処理一覧表 | 31 |
| 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 32 |

| | | |
|----------|--|----|
| | 米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と県内移設に反対し、 国外・県外移設を求める意見書 | 33 |
| | 米軍車両によるひき逃げ事件に関する意見書 | 33 |
| | 米軍車両によるひき逃げ事件に関する抗議決議 | 34 |
| 6) | 観光振興・新石垣空港建設促進特別委員会 | |
| | 委員会記録 | 35 |
| | 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 36 |
| 7) | 沖縄振興・那覇空港整備促進特別委員会 | |
| | 委員会記録 | 36 |
| | 陳情処理一覧表 | 38 |
| | 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 38 |
| | 「沖縄21世紀ビジョン（仮称）」（案）の中に施策を盛り込むことを求める決議 | 38 |
| 8) | 予算特別委員会 | |
| | 委員会記録 | 39 |
| | 議案処理一覧表 | 55 |
| 3 | 平成22年第1回沖縄県議会（定例会）閉会中継続審査（調査） | |
| 1) | 総務企画委員会 | |
| | 委員派遣 | 57 |
| 2) | 経済労働委員会 | |
| | 委員会記録 | 57 |
| 3) | 文教厚生委員会 | |
| | 委員会記録 | 58 |
| 4) | 土木文化環境委員会 | |
| | 委員会記録 | 58 |
| | 委員派遣 | 58 |
| 5) | 米軍基地関係特別委員会 | |
| | 委員会記録 | 59 |
| | 嘉手納飛行場への外来機の飛来とクラスター弾の使用等に関する意見書 | 60 |
| | 嘉手納飛行場への外来機の飛来とクラスター弾の使用等に関する抗議決議 | 61 |
| | 委員派遣 | 61 |
| 4 | 平成22年第2回沖縄県議会（定例会） | |
| 1) | 総務企画委員会 | |
| | 委員会記録 | 63 |
| | 議案処理一覧表 | 65 |
| | 陳情処理一覧表 | 66 |
| | 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 66 |
| 2) | 経済労働委員会 | |
| | 委員会記録 | 68 |
| | 議案処理一覧表 | 69 |
| | 陳情処理一覧表 | 69 |
| | 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 72 |
| | 口蹄疫対策の充実・強化を求める意見書 | 72 |
| | 琉球大学国際沖縄研究所の機能拡充を求める意見書 | 73 |

| | | |
|----------|--------------------------------------|-----|
| 3) | 文教厚生委員会 | |
| | 委員会記録 | 73 |
| | 議案処理一覧表 | 76 |
| | 閉会中継続審査(調査)事件一覧 | 76 |
| | 細菌性髄膜炎ワクチンの早期定期接種化等を求める意見書 | 79 |
| | 保育所・児童入所施設の環境改善を求める意見書 | 80 |
| 4) | 土木文化環境委員会 | |
| | 委員会記録 | 80 |
| | 議案処理一覧表 | 82 |
| | 閉会中継続審査(調査)事件一覧 | 82 |
| 5) | 米軍基地関係特別委員会 | |
| | 委員会記録 | 84 |
| | 陳情処理一覧表 | 85 |
| | 閉会中継続審査(調査)事件一覧 | 86 |
| | 米軍普天間飛行場移設の日米共同発表の見直しを求める意見書 | 87 |
| | 米軍普天間飛行場移設の日米共同発表の見直しを求める決議 | 88 |
| 6) | 観光振興・新石垣空港建設促進特別委員会 | |
| | 委員会記録 | 88 |
| | 閉会中継続審査(調査)事件一覧 | 89 |
| 7) | 沖縄振興・那覇空港整備促進特別委員会 | |
| | 委員会記録 | 89 |
| | 閉会中継続審査(調査)事件一覧 | 90 |
| 5 | 平成22年第2回沖縄県議会(定例会)閉会中継続審査(調査) | |
| 1) | 文教厚生委員会 | |
| | 委員派遣 | 91 |
| 2) | 米軍基地関係特別委員会 | |
| | 委員会記録 | 91 |
| | 米軍人による強制わいせつ致傷事件等に関する意見書 | 91 |
| | 米軍人による強制わいせつ致傷事件等に関する抗議決議 | 92 |
| 3) | 沖縄振興・那覇空港整備促進特別委員会 | |
| | 委員会記録 | 93 |
| 6 | 平成22年第4回沖縄県議会(定例会) | |
| 1) | 総務企画委員会 | |
| | 委員会記録 | 95 |
| | 議案処理一覧表 | 97 |
| | 閉会中継続審査(調査)事件一覧 | 98 |
| | 尖閣諸島海域での中国漁船領海侵犯事件に関する抗議決議 | 99 |
| | 尖閣諸島海域での中国漁船領海侵犯事件に関する抗議決議 | 100 |
| | 不発弾等問題の早期解決に関する意見書 | 100 |
| 2) | 経済労働委員会 | |
| | 委員会記録 | 101 |
| | 陳情処理一覧表 | 102 |
| | 閉会中継続審査(調査)事件一覧 | 102 |

| | | |
|----------|--|-----|
| | 駐留軍等労働者の雇用の確保等に関する意見書 | 103 |
| 3) | 文教厚生委員会 | |
| | 委員会記録 | 103 |
| | 議案処理一覧表 | 106 |
| | 陳情処理一覧表 | 106 |
| | 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 107 |
| 4) | 土木文化環境委員会 | |
| | 委員会記録 | 110 |
| | 議案処理一覧表 | 112 |
| | 陳情処理一覧表 | 112 |
| | 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 112 |
| 5) | 米軍基地関係特別委員会 | |
| | 委員会記録 | 114 |
| | 陳情処理一覧表 | 116 |
| | 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 116 |
| | 嘉手納飛行場滑走路改修工事に伴う普天間飛行場及び 那覇空港等へのダイバートに関する意見書 | 117 |
| | 嘉手納飛行場滑走路改修工事に伴う普天間飛行場及び 那覇空港等へのダイバートに関する抗議決議 | 118 |
| 6) | 観光振興・新石垣空港建設促進特別委員会 | |
| | 委員会記録 | 118 |
| | 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 119 |
| 7) | 沖縄振興・那覇空港整備促進特別委員会 | |
| | 委員会記録 | 120 |
| | 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 121 |
| 8) | 決算特別委員会 | |
| | 委員会記録 | 121 |
| | 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 122 |
| 7 | 平成22年第4回沖縄県議会（定例会）閉会中継続審査（調査） | |
| 1) | 経済労働委員会 | |
| | 委員会記録 | 125 |
| 2) | 決算特別委員会 | |
| | 委員会記録 | 125 |
| | 決算処理一覧表 | 143 |
| 8 | 平成22年第5回沖縄県議会（臨時会） | |
| 1) | 総務企画委員会 | |
| | 委員会記録 | 145 |
| | 議案処理一覧表 | 145 |
| 9 | 平成22年第6回沖縄県議会（定例会） | |
| 1) | 総務企画委員会 | |
| | 委員会記録 | 147 |
| | 議案処理一覧表 | 149 |

| | |
|-----------------------------|-----|
| 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 149 |
| 2) 経済労働委員会 | |
| 委員会記録 | 151 |
| 議案処理一覧表 | 152 |
| 陳情処理一覧表 | 152 |
| 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 153 |
| 駐留軍等労働者の地位の確保に関する意見書 | 153 |
| 3) 文教厚生委員会 | |
| 委員会記録 | 154 |
| 議案処理一覧表 | 156 |
| 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 156 |
| 脳脊髄液減少症の診断・治療法の早期確立等を求める意見書 | 159 |
| 4) 土木文化環境委員会 | |
| 委員会記録 | 160 |
| 議案処理一覧表 | 162 |
| 陳情処理一覧表 | 163 |
| 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 163 |
| 直轄国道の維持管理の充実等を求める意見書 | 165 |
| 5) 米軍基地関係特別委員会 | |
| 委員会記録 | 166 |
| 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 167 |
| 日米共同統合演習に伴う爆音被害等に関する抗議決議 | 168 |
| 6) 観光振興・新石垣空港建設促進特別委員会 | |
| 委員会記録 | 169 |
| 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 170 |
| 7) 沖縄振興・那覇空港整備促進特別委員会 | |
| 委員会記録 | 170 |
| 閉会中継続審査（調査）事件一覧 | 171 |
| 10 議案の会期別委員会別付託・処理内訳 | 173 |
| 11 請願・陳情の会期別委員会別付託・処理内訳 | 177 |
| 12 会期別委員会日等一覧 | 181 |
| 13 会派別常任・議会運営・特別委員一覧 | 183 |
| 14 委員会関係条例・規則等 | 185 |

平成21年第6回沖縄県議会(定例会)

閉会中継続審査(調査)

総務企画委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年2月3日(水曜日)

開 会 午後1時31分
散 会 午後2時17分
場 所 第4委員会室
議 題

- 1 交通運輸及び通信について(JAL、JTA及びRACの航空路線確保等について)

出 席

| | |
|-------|-----------|
| 委 員 長 | 當 間 盛 夫 君 |
| 委 員 | 島 袋 大 君 |
| | 吉 元 義 彦 君 |
| | 照 屋 守 之 君 |
| | 浦 崎 唯 昭 君 |
| | 崎 山 嗣 幸 君 |
| | 新 里 米 吉 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 金 城 勉 君 |
| | 糸 洲 朝 則 君 |
| | 新 垣 清 涼 君 |
| | 玉 城 義 和 君 |

欠 席

山 内 末 子 さん

説明員の職、氏名

企 画 部 長 川 上 好 久 君

審査概要

JAL、JTA及びRACの航空路線確保等について企画部長の説明を聴取した後、質疑が行われた。

なお、「JTA及びRACの航空路線確保等に関する意見書」及び「同決議」2件を別掲のとおり提出することとなった。

JTA及びRACの航空路線確保等に関する意見書

去る1月19日、日本航空は東京地方裁判所に会社更生法の適用を申請し、更正手続の開始決定を受けた。

今後は、国や官民共同出資の企業再生支援機構が支援に当たり、事業再生計画を策定して再生を目指すことになる。

これに伴い県内では、東京一沖縄間等の路線の廃止や県内業者との燃油など一般の商取引債権の放棄、ホテルを含む子会社事業の再編などのほか、日本航空の連結子会社である日本トランスオーシャン(JTA)と孫会社である琉球エアークommューター(RAC)の株を売却して連結子会社から外す案や事業の譲渡、路線の廃止・減便、人員の大幅な削減などの影響が懸念されている。

これに対し、JTAでは、同社株式の売却や事業譲渡などは事業再生計画にないこと、日航グループとしての位置づけは変わらないこと、路線の追加削減はないこと、本体である日本航空のような大幅な人員削減計画はないことなどを説明しており、当面の影響は最小限に抑えられた形になっていると説明している。

しかしながら、企業再生支援機構の今後の動向によっては、このような懸念が現実のものとなる可能性が高く、県民は沖縄の将来にかかわる重大な事態として受けとめ、不安を募らせている。

JTA及びRACが運航する路線は、本県の離島を結ぶ生活路線として不可欠なものであり、また県外から多くの観光客を県内に運ぶ重要な産業路線でもある。

そのため、県及び県内企業は、これまで共同でJTAとRACの前身である南西航空や移行後のJTAとRACに対し出資を行うとともに、人的・物的なさまざまな支援を行い、県民及び観光客の足となる航空路線の維持・確保に努めてきたところであるが、日本航空の支援なしでは安全、安定的な運航ができないことは明らかである。

よって、政府におかれては、県民の意向をお酌み取りいただき、日本航空がJTAの株を売却し経営から撤退しないよう取り計らうとともに、日本航空、JTA及びRACの県外及び県内の航空路線の維持・確保に努められるよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年2月10日

沖 縄 県 議 会

内閣総理大臣
財務大臣
国土交通大臣
沖縄及び北方対策担当大臣 } あて

J T A 及び R A C の航空路線確保等に関する決議

去る1月19日、日本航空は東京地方裁判所に会社更生法の適用を申請し、更正手続の開始決定を受けた。

今後は、国や官民共同出資の企業再生支援機構が支援に当たり、事業再生計画を策定して再生を目指すことになる。

これに伴い県内では、東京—沖縄間等の路線の廃止や県内業者との燃油など一般の商取引債権の放棄、ホテルを含む子会社事業の再編などのほか、日本航空の連結子会社である日本トランスオーシャン（J T A）と孫会社である琉球エアークommューター（R A C）の株を売却して連結子会社から外す案や事業の譲渡、路線の廃止・減便、人員の大幅な削減などの影響が懸念されている。

これに対し、J T Aでは、同社株式の売却や事業譲渡などは事業再生計画にないこと、日航グループとしての位置づけは変わらないこと、路線の追加削減はないこと、本体である日本航空のような大幅な人員削減計画はないことなどを説明しており、当面の影響は最小限に抑えられた形になっていると説明している。

しかしながら、企業再生支援機構の今後の動向によっては、このような懸念が現実のものとなる可能性が高く、県民は沖縄の将来にかかわる重大な事態として受けとめ、不安を募らせている。

J T A及びR A Cが運航する路線は、本県の離島を結ぶ生活路線として不可欠なものであり、また県外から多くの観光客を県内に運ぶ重要な産業路線でもある。

そのため、県及び県内企業は、これまで共同でJ T AとR A Cの前身である南西航空や移行後のJ T AとR A Cに対し出資を行うとともに、人的・物的なさまざまな支援を行い、県民及び観光客の足となる航空路線の維持・確保に努めてきたところである

が、日本航空の支援なしでは安全、安定的な運航ができないことは明らかである。

よって、企業再生支援機構におかれては、県民の意向をお酌み取りいただき、日本航空がJ T Aの株を売却し経営から撤退しないよう取り計らうとともに、日本航空、J T A及びR A Cの県外及び県内の航空路線の維持・確保に努められるよう強く要請する。

上記のとおり決議する。

平成22年2月10日

沖 縄 県 議 会

株式会社企業再生支援機構

代表取締役社長 あて

J T A 及び R A C の航空路線確保等に関する決議

去る1月19日、日本航空は東京地方裁判所に会社更生法の適用を申請し、更正手続の開始決定を受けた。

今後は、国や官民共同出資の企業再生支援機構が支援に当たり、事業再生計画を策定して再生を目指すことになる。

これに伴い県内では、東京—沖縄間等の路線の廃止や県内業者との燃油など一般の商取引債権の放棄、ホテルを含む子会社事業の再編などのほか、日本航空の連結子会社である日本トランスオーシャン（J T A）と孫会社である琉球エアークommューター（R A C）の株を売却して連結子会社から外す案や事業の譲渡、路線の廃止・減便、人員の大幅な削減などの影響が懸念されている。

これに対し、J T Aでは、同社株式の売却や事業譲渡などは事業再生計画にないこと、日航グループとしての位置づけは変わらないこと、路線の追加削減はないこと、本体である日本航空のような大幅な人員削減計画はないことなどを説明しており、当面の影響は最小限に抑えられた形になっていると説明している。

しかしながら、企業再生支援機構の今後の動向によっては、このような懸念が現実のものとなる可能性が高く、県民は沖縄の将来にかかわる重大な事態として受けとめ、不安を募らせている。

J T A及びR A Cが運航する路線は、本県の離島

を結ぶ生活路線として不可欠なものであり、また県外から多くの観光客を県内に運ぶ重要な産業路線でもある。

そのため、県及び県内企業は、これまで共同でJTAとRACの前身である南西航空や移行後のJTAとRACに対し出資を行うとともに、人的・物的なさまざまな支援を行い、県民及び観光客の足となる航空路線の維持・確保に努めてきたところであるが、日本航空の支援なしでは安全、安定的な運航ができないことは明らかである。

また、JTAの株が日本航空以外に譲渡された場合には、県民の要望等を斟酌しないことも考えられる。

よって、県におかれては、国、企業再生支援機構及び日本航空の今後の動向を注視するとともに、JTA及びRACの株が県外に流出することのないよう県内企業と連携した取り組みを行うよう強く要請する。

上記のとおり決議する。

平成22年2月10日

沖 縄 県 議 会

沖縄県知事 あて

文教厚生委員会 委員派遣

(1)

視察調査の日時

自 平成22年1月25日 (4日)

至 平成22年1月28日

視察調査の場所

島根県及び東京都

視察調査事項

- 1 保健医療計画と医療連携体制等について（医療及び保健衛生について）
- 2 博物館の運営状況等について（教育及び学術文化について）
- 3 発達障害者支援等について及び認証保育所等利用者助成制度等について（社会福祉及び社会保障について）
- 4 区立和田中学校の学校経営の現状等について（教育及び学術文化について）

参 加 者

| | |
|---------|-------------|
| 委 員 長 | 赤 嶺 昇 君 |
| 副 委 員 長 | 西 銘 純 恵 さん |
| 委 員 | 桑 江 朝 千 夫 君 |
| | 佐喜真 淳 君 |
| | 仲 田 弘 毅 君 |
| | 翁 長 政 俊 君 |
| | 仲 村 未 央 さん |
| | 渡嘉敷 喜代子 さん |
| | 上 原 章 君 |
| | 奥 平 一 夫 君 |
| | 比 嘉 京 子 さん |

土木委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年1月27日(水曜日)

開 会 午前10時3分

散 会 午前10時35分

場 所 第3委員会室

議 題

- 1 文教厚生委員会が所管する文化環境部の所管変更について

出 席

| | |
|---------|-----------|
| 委 員 長 | 當 山 眞 市 君 |
| 副 委 員 長 | 照 屋 大 河 君 |
| 委 員 | 新 垣 良 俊 君 |
| | 池 間 淳 君 |
| | 新 垣 哲 司 君 |
| | 嘉 陽 宗 儀 君 |
| | 大 城 一 馬 君 |
| | 平 良 昭 一 君 |
| | 新 垣 安 弘 君 |
| | 吉 田 勝 廣 君 |

欠 席

| | |
|--|-----------|
| | 嶺 井 光 君 |
| | 高 嶺 善 伸 君 |

審査概要

文教厚生委員会が所管する文化環境部の所管変更について協議した結果、文化環境部を土木委員会所管とすること及び土木委員会の新たな名称を

土木文化環境委員会とすることになった。

沖縄振興・那覇空港 整備促進特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年1月8日(金曜日)

開 会 午前10時4分

散 会 午後0時8分

場 所 第6委員会室

議 題

- 1 参考人からの説明聴取について（新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立に係る沖縄21世紀ビジョン（仮称）策定における経緯及び進捗状況等について）

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 当 銘 勝 雄 君 |
| 副 委 員 長 | 島 袋 大 君 |
| 委 員 | 仲 田 弘 毅 君 |
| | 浦 崎 唯 昭 君 |
| | 池 間 淳 君 |
| | 仲 村 未 央 さん |
| | 渡久地 修 君 |
| | 奥 平 一 夫 君 |
| | 上 里 直 司 君 |
| | 玉 城 義 和 君 |

欠 席

| | |
|--|-----------|
| | 糸 洲 朝 則 君 |
| | 赤 嶺 昇 君 |

説明員の職、氏名

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 参 考 人 | （沖縄21世紀ビジョン（仮称）策定における経緯及び進捗状況等について） |
|-------|-------------------------------------|

| | |
|-------------------|-----------|
| 沖縄県振興審議会 総合部会長 | 富 川 盛 武 君 |
|-------------------|-----------|

審査概要

沖縄21世紀ビジョン（仮称）策定の進捗状況について、企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

平成22年第1回沖縄県議会(定例会)

総務企画委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年2月26日(金曜日)

開 会 午後6時4分
散 会 午後6時7分
場 所 第4委員会室
議 題

1 審査日程について

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 當 間 盛 夫 君 |
| 副 委 員 長 | 山 内 末 子 さん |
| 委 員 | 吉 元 義 彦 君 |
| | 照 屋 守 之 君 |
| | 浦 崎 唯 昭 君 |
| | 崎 山 嗣 幸 君 |
| | 新 里 米 吉 君 |
| | 糸 洲 朝 則 君 |
| | 新 垣 清 涼 君 |
| | 玉 城 義 和 君 |

欠 席

| | |
|--|-----------|
| | 島 袋 大 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 金 城 勉 君 |

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年3月2日(火曜日)

開 会 午前10時3分
散 会 午後10時9分
場 所 第4委員会室
議 題

1 乙第6号議案 特別職に属する常勤の職員及び一般職に属する常勤の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例(先議)

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 當 間 盛 夫 君 |
| 副 委 員 長 | 山 内 末 子 さん |
| 委 員 | 島 袋 大 君 |
| | 吉 元 義 彦 君 |

| |
|-----------|
| 照 屋 守 之 君 |
| 浦 崎 唯 昭 君 |
| 崎 山 嗣 幸 君 |
| 新 里 米 吉 君 |
| 前 田 政 明 君 |
| 金 城 勉 君 |
| 新 垣 清 涼 君 |
| 玉 城 義 和 君 |

欠 席

糸 洲 朝 則 君

説明員の職、氏名

総 務 部 長 兼 島 規 君

審査概要

乙第6号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、昨年11月定例会において給与改正条例を議決した際に決定した附帯決議との関連について質疑が行われた。

次に、議案1件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

(3)

◎平成22年3月17日(水曜日)

開 会 午前10時4分
散 会 午後0時2分
場 所 第4委員会室
議 題

- 1 乙第1号議案 沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 2 乙第2号議案 沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例及び沖縄県職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 3 乙第3号議案 沖縄県教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例等の一部を改正する条例
- 4 乙第4号議案 沖縄県職員定数条例の一部を改正する条例
- 5 乙第5号議案 沖縄県の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 6 乙第7号議案 沖縄県使用料及び手数料条例の一部を改正する条例
- 7 乙第33号議案 包括外部監査契約の締結について
- 8 乙第34号議案 全国自治宝くじ事務協議会

への相模原市の加入及びこれに伴う全国自治宝くじ事務協議会規約の一部の変更について

9 乙第36号議案 副知事の選任について

10 陳情平成20年第83号、同第86号、同第87号、同第101号、同第127号、同第190号、同第191号、陳情平成21年第58号、同第59号、同第88号、同第110号、同第111号、同第122号、同第128号、同第174号、同第198号及び陳情第12号

出席

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 當間盛夫君 |
| 副委員長 | 山内末子さん |
| 委員 | 島袋大君 |
| | 吉元義彦君 |
| | 照屋守之君 |
| | 浦崎唯昭君 |
| | 崎山嗣幸君 |
| | 新里米吉君 |
| | 前田政明君 |
| | 金城勉君 |
| | 糸洲朝則君 |
| | 新垣清涼君 |
| | 玉城義和君 |

説明員の職、氏名

| | |
|---------------|-------|
| 総務部長 | 兼島規君 |
| 総務統括監 | 新垣光博君 |
| 企画部工業技術センター班長 | 與座範弘君 |
| 病院事業局県立病院課副参事 | 幸地東君 |

審査概要

乙第1号議案から乙第5号議案まで、乙第7号議案、乙第33号議案、乙第34号議案及び乙第36号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第1号議案については、質疑なし。

乙第2号議案については、法律改正に伴う地方一律の条例改正と地方分権の関係について質疑が行われた。

乙第3号議案については、質疑なし。

乙第4号議案については、7対1看護体制の導入目的、7対1看護体制の導入経緯、県立病院の果たす役割、県内の看護師・医師不足対策の状況、県立病院の人件費比率の現状と目標値等について質疑が行われた。

乙5号議案については、市町村が権限委譲に積極的でない理由、今後の権限移譲の進め方、旅券の申請・発行事務を市町村に権限移譲する理由、うるま市及び沖縄市の年間旅券申請件数等について質疑が行われた。

乙第7号議案については、新たに徴収項目として定めるラピッドプロトタイピング装置の概要、同装置の取得価格、使用料の設定根拠、同装置の利用者について質疑が行われた。

乙第33号議案については、質疑なし。

乙第34号議案については、質疑なし。

乙第36号議案については、副知事の職責について質疑が行われた。

次に、陳情17件について総務部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

(4)

◎平成22年3月18日(木曜日)

開会 午前10時4分

散会 午前11時41分

場所 第4委員会室

議題

- 1 乙第1号議案 沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 2 乙第2号議案 沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例及び沖縄県職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 3 乙第3号議案 沖縄県教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例等の一部を改正する条例
- 4 乙第4号議案 沖縄県職員定数条例の一部を改正する条例
- 5 乙第5号議案 沖縄県の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 6 乙第7号議案 沖縄県使用料及び手数料条例の一部を改正する条例
- 7 乙第8号議案 沖縄県政治団体に係る収支報告書等の写しの交付等手数料条例
- 8 乙第9号議案 沖縄県議会議員及び沖縄県知事の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例
- 9 乙第25号議案 沖縄県警察職員の定員に関

する条例の一部を改正する条例

- 7 乙第33号議案 包括外部監査契約の締結について
- 8 乙第34号議案 全国自治宝くじ事務協議会への相模原市の加入及びこれに伴う全国自治宝くじ事務協議会規約の一部の変更について
- 9 乙第36号議案 副知事の選任について
- 10 陳情平成20年第44号から同第49号、同第52号、同第54号、同第58号、同第60号、同第65号、同第76号、同第83号、同第85号、同第86号、同第87号、同第91号、同第96号、同第101号、同第108号、同第127号、同第144号、同第150号、同第165号、同第175号、同第190号、同第191号、同第196号、同第200号、陳情平成21年第15号、同第19号、同第38号、同第58号、同第59号、同第66号、同第69号、同第88号、同第91号の2、同第100号、同第103号、同第104号、同第110号、同第111号、同第120号、同第122号、同第128号、同第143号、同第144号、同第147号、同第156号、同第171号、同第174号、同第175号、同第198号、同第201号、同第202号、陳情第6号、第9号、第10号、第12号、第17号、第18号及び第43号
- 11 閉会中継続審査・調査について
- 12 視察調査日程について

出席

| | |
|-------|------------|
| 委員 長 | 當 間 盛 夫 君 |
| 副委員 長 | 山 内 末 子 さん |
| 委員 | 島 袋 大 君 |
| | 吉 元 義 彦 君 |
| | 照 屋 守 之 君 |
| | 浦 崎 唯 昭 君 |
| | 崎 山 嗣 幸 君 |
| | 新 里 米 吉 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 金 城 勉 君 |
| | 糸 洲 朝 則 君 |
| | 新 垣 清 涼 君 |
| | 玉 城 義 和 君 |

説明員の職、氏名

| | |
|-------|-----------|
| 知事公室長 | 上 原 良 幸 君 |
| 企画部長 | 川 上 好 久 君 |

| | |
|----------|-----------|
| 交通政策課長 | 津 覇 隆 君 |
| 警察本部警務部長 | 磯 丈 男 君 |
| 鑑識課長 | 親 川 博 君 |
| 警察本部交通部長 | 北 川 秀 行 君 |

審査概要

乙第8号議案及び乙第9号議案について企画部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第8号議案については、質疑なし。

乙第9号議案については、選挙運動用ビラの配付方法、配付枚数、配付する選挙の対象、全有権者へのビラ配布の可否、条例不成立の場合の経費負担方法について質疑が行われた。

次に、陳情38件について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、乙第25号議案について警察本部警務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、警察官増員の目的、全国及び本県における増員の状況、鑑識専門員と鑑識代行員の違い、警察官の欠員状況、空き交番の状況、県内の検視体制の状況等について質疑が行われた。

次に、陳情1件について警察本部交通部長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情9件について知事公室長から説明を聴取し、陳情1件について交通政策課長から説明を聴取した。

次に、議案の採決に先立ち、乙第36号議案については、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案12件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情63件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

次に、視察調査日程について協議し、決定した。

総務企画委員会議案処理一覧表

イ 処理 (13件)

(先議)

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|------|--|--------------|
| 乙第6号 | 特別職に属する常勤の職員及び一般職に属する常勤の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例 | 全会一致 原案可決 |

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|-------|--|--------------|
| 乙第1号 | 沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例 | 全会一致 原案可決 |
| 乙第2号 | 沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例及び沖縄県職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 | 〃 |
| 乙第3号 | 沖縄県教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例等の一部を改正する条例 | 〃 |
| 乙第4号 | 沖縄県職員定数条例の一部を改正する条例 | 〃 |
| 乙第5号 | 沖縄県の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例 | 〃 |
| 乙第7号 | 沖縄県使用料及び手数料条例の一部を改正する条例 | 〃 |
| 乙第8号 | 沖縄県政治団体に係る収支報告書等の写しの交付等手数料条例 | 〃 |
| 乙第9号 | 沖縄県議会議員及び沖縄県知事の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例 | 〃 |
| 乙第25号 | 沖縄県警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例 | 〃 |
| 乙第33号 | 包括外部監査契約の締結について | 全会一致 可決 |
| 乙第34号 | 全国自治宝くじ事務協議会への相模原市の加入及びこれに伴う全国自治宝くじ事務協議会規約の一部の変更について | 〃 |
| 乙第36号 | 副知事の選任について | 多数 同意 |

総務企画委員会陳情処理一覧表

イ 審査未了 (陳情19件)

| 陳情番号 | 受理年月日 | 件名 | 陳情者名 |
|-------------------|----------------|----------------------------|-----------------------|
| 平成20年第44号 (継続) | 平成20年 5月20日 | 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情 | 宮古島市長 伊志嶺 亮 外1人 |
| 平成20年第45号 (継続) | 平成20年 5月20日 | 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情 | 石垣市長 大濱 長照 |

| 陳情番号 | 受 理 年月日 | 件 名 | 陳 情 者 名 |
|-------------------------|-----------------|---|---|
| 平成20年 第 46 号 (継続) | 平成20年 5月20日 | 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情 | 石垣市議会議長 入嵩西 整 |
| 平成20年 第 47 号 (継続) | 平成20年 5月20日 | 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情 | 竹富町長 大盛 武 |
| 平成20年 第 48 号 (継続) | 平成20年 5月20日 | 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情 | 竹富町議会議長 通事 隆一 |
| 平成20年 第 49 号 (継続) | 平成20年 5月20日 | 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情 | 沖縄県宮古市村会 会長 伊志嶺 亮 外 2 人 |
| 平成20年 第 52 号 (継続) | 平成20年 5月23日 | 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情 | 多良間村議会議長 西平 幹 |
| 平成20年 第 54 号 (継続) | 平成20年 5月26日 | 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情 | 那覇市議会議長 安慶田 光男 |
| 平成20年 第 58 号 (継続) | 平成20年 6月5日 | 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情 | 与那原町議会議長 又吉 忍夫 |
| 平成20年 第 96 号 (継続) | 平成20年 7月28日 | 軽油価格の高騰により存亡の危機に瀕しているトラック運 送業界に関する陳情 | 社団法人沖縄県トラック協会 会長 多良間 朝時 |
| 平成20年 第101号 (継続) | 平成20年 8月5日 | 燃料価格高騰対策に関する陳情 | 社団法人沖縄県バス協会 会長 中山 良邦 |
| 平成20年 第108号 (継続) | 平成20年 8月12日 | 原油価格高騰対策に関する陳情 | 石垣市議会議長 入嵩西 整 |
| 平成20年 第127号 (継続) | 平成20年 9月3日 | 原油・食料など生活品の物価高騰に対する緊急対策を求め る陳情 | 日本労働組合総連合会沖縄県 連合会 (連合沖縄) 会長 仲村 信正 |
| 平成20年 第165号 (継続) | 平成20年 10月23日 | 沖縄県水産海洋研究センターの本部町への誘致に関する陳 情 | 本部町議会議長 小浜 利秀 |
| 平成20年 第196号 (継続) | 平成20年 12月3日 | 沖縄県水産海洋研究センターの本部町への誘致に関する陳 情 | 本部町長 高良 文雄 |

| 陳情番号 | 受 理 年月日 | 件 名 | 陳 情 者 名 |
|------------------------|-----------------|--------------------------------|---------------------------------|
| 平成21年 第15号 (継続) | 平成21年 1月5日 | 水産海洋研究センターの喜屋武地域への早期移転整備に関する陳情 | 糸満市議会議長 玉城 朗永 |
| 平成21年 第143号 (継続) | 平成21年 7月1日 | 水産海洋研究センターの喜屋武地域への早期移転整備に関する陳情 | 糸満市議会議長 玉城 朗永 |
| 平成21年 第156号 (継続) | 平成21年 8月19日 | 沖縄県水産海洋研究センターの本部町への誘致に関する陳情 | 本部町議会議長 具志堅 透 |
| 平成21年 第198号 (継続) | 平成21年 11月20日 | 沖縄県の給与条例改正に関する陳情 | 沖縄県職員労働組合 執行委員長 真喜志 功 外3人 |

総務企画委員会閉会中継続 審査(調査)事件一覧

- 1 陳情平成20年第60号 八重山航路の存続を求める陳情
- 2 陳情平成20年第65号 「旧軍飛行場問題解決に向けた沖振計特別枠の設置を求める意見書」の採択を求める陳情
- 3 陳情平成20年第76号 那覇市地域再生計画の実態調査及び那覇市に対する措置に関する陳情
- 4 陳情平成20年第83号 消費税の増税に反対する陳情
- 5 陳情平成20年第85号 先島航路並びに台湾航路存続と雇用確保を求める陳情
- 6 陳情平成20年第86号 「消費税増税反対」決議を求める陳情
- 7 陳情平成20年第87号 「消費税増税反対」決議を求める陳情
- 8 陳情平成20年第91号 那覇バスターミナル機能の維持に関する陳情
- 9 陳情平成20年第144号 地上警戒管制レーダーの配備中止を求める陳情
- 10 陳情平成20年第150号 航空自衛隊那覇基地へのF15戦闘機配備などの機能強化に反対し、那覇空港の民間専用化を求める意見書の可決を求める陳情
- 11 陳情平成20年第175号 第58回婦人大会の宣言・決議の実現方に関する陳情
- 12 陳情平成20年第190号 私学助成に関する意見書の提出を求める陳情
- 13 陳情平成20年第191号 沖縄県の私学助成に関する陳情
- 14 陳情平成20年第200号 沖縄県行政オンブズマンの職務不履行に関する陳情
- 15 陳情平成21年第19号 沖縄県所在旧軍飛行場用地問題解決に関する陳情
- 16 陳情平成21年第38号 (仮称) 沖縄県警察運転免許センター隣接地(未公募区画地)への協会用地取得に関する陳情
- 17 陳情平成21年第58号 琉球大学の外国語授業削減に関する陳情
- 18 陳情平成21年第59号 沖子連事務所の賃貸料免除に関する陳情
- 19 陳情平成21年第66号 自衛隊ヘリのキャンプ・ハンセン内レンジ4使用に関する陳情
- 20 陳情平成21年第69号 フェリー、旅客船の存続・港町活性化に関する陳情
- 21 陳情平成21年第88号 沖縄県東京宿泊所若夏荘の閉館に関する陳情
- 22 陳情平成21年第91号の2 台湾東部と八重山諸島の「観光経済圏」形成推進に向けた課題に関する陳情
- 23 陳情平成21年第100号 県道222号線への信号機・横断歩道設置に関する陳情
- 24 陳情平成21年第103号 海運・フェリー・旅客船の航路存続と船員の雇用対策に関する陳情

- 25 陳情平成21年第104号 海運・フェリー・旅客船の航路存続と船員の雇用対策に関する陳情
- 26 陳情平成21年第110号 公私の格差是正と制度等に関する陳情
- 27 陳情平成21年第111号 私立教育機関に関する陳情
- 28 陳情平成21年第120号 先島航路及び台湾航路における貨客船の早期再開を求める陳情
- 29 陳情平成21年第122号 県がワーキングプアをなくす先頭に立ち、非正規等の待遇改善を求める陳情
- 30 陳情平成21年第128号 沖縄県庁舎や市町村庁舎の地震対策や湧水対策に関する陳情
- 31 陳情平成21年第144号 旧軍飛行場用地問題解決の継続審議に関する陳情
- 32 陳情平成21年第147号 八重山への自衛隊誘致及び配備に反対する陳情
- 33 陳情平成21年第171号 暮らし支える行政サービスの拡充を求める陳情
- 34 陳情平成21年第174号 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等を活用した中小業者支援に関する陳情
- 35 陳情平成21年第175号 改正国籍法に関する陳情
- 36 陳情平成21年第201号 永住外国人への地方参政権付与を日本政府に求める意見書を可決しないよう求める陳情
- 37 陳情平成21年第202号 レンタカー台数規制のための県条例制定等に関する陳情
- 38 陳情第6号 南城市東南部地域に地上デジタル放送中継局の設置を求める陳情
- 39 陳情第9号 永住外国人地方参政権付与法案に反対する陳情
- 40 陳情第10号 改正国籍法に関する陳情
- 41 陳情第12号 沖縄県の私学助成に関する陳情
- 42 陳情第17号 永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の可決を求める陳情
- 43 陳情第18号 憲法違反の外国人参政権による選挙を実施しないことを再確認する陳情
- 44 陳情第43号 永住外国人地方参政権付与法案に反対する陳情
- 45 広報、危機管理及び消防防災について（所管事務調査）
- 46 予算及び行財政について（所管事務調査）
- 47 県税及び公有財産について（所管事務調査）

- 48 市町村行財政について（所管事務調査）
- 49 県職員の給与について（所管事務調査）
- 50 学事について（所管事務調査）
- 51 県庁舎について（所管事務調査）
- 52 総合開発及び地域振興について（所管事務調査）
- 53 交通運輸及び通信について（所管事務調査）
- 54 土地利用対策について（所管事務調査）
- 55 警察行政について（所管事務調査）
- 56 自衛隊について（所管事務調査）

経済労働委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年2月26日(金曜日)

開 会 午後6時2分

散 会 午後6時7分

場 所 第1委員会室

議 題

1 参考人招致について

2 審査日程について

出 席

委 員 長 玉 城 ノブ子 さん

副 委 員 長 瑞慶覧 功 君

委 員 座喜味 一 幸 君

具 志 孝 助 君

仲宗根 悟 君

当 銘 勝 雄 君

渡久地 修 君

前 島 明 男 君

玉 城 満 君

上 里 直 司 君

欠 席

中 川 京 貴 君

辻 野 ヒロ子 さん

審査概要

参考人招致について協議し、決定した。

次に、審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年3月2日(火曜日)

開 会 午前10時2分

散 会 午前11時44分
場 所 第1委員会室
議 題

- 1 乙第19号議案 沖縄県緊急雇用創出事業臨時特例基金条例の一部を改正する条例(先議)

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 玉 城 ノブ子 さん |
| 副 委 員 長 | 瑞慶覧 功 君 |
| 委 員 | 中 川 京 貴 君 |
| | 座喜味 一 幸 君 |
| | 辻 野 ヒロ子 さん |
| | 具 志 孝 助 君 |
| | 仲宗根 悟 君 |
| | 当 銘 勝 雄 君 |
| | 渡久地 修 君 |
| | 前 島 明 男 君 |
| | 玉 城 満 君 |
| | 上 里 直 司 君 |

説明員の職、氏名

| | |
|----------|------------|
| 観光商工部長 | 勝 目 和 夫 君 |
| 雇用労政課長 | 湧 川 盛 順 君 |
| 福祉保健部 | 呉 屋 禮 子 さん |
| 福祉・援護課長 | |
| 福祉保健部 | 伊 波 盛 治 君 |
| 福祉・援護課班長 | |

審査概要

乙第19号議案について観光商工部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、当該基金を活用して実施する主な事業の内容、住宅手当緊急特別措置事業の対象者人数、その把握方法、需要が多く予算が足りなくなった場合の対応方法、就労支援事業を強化する理由、支援対象者の選定方法、県内におけるホームレスの数、生活保護申請と開始要件の関係、福祉事務所等への就労支援員の配置状況、事業ごとの予算額の状況、全国及び沖縄県の有効求人倍率の状況、雇用や就業の機会の創出への意気込み等について質疑が行われた。

次に、乙第19号議案を採決した結果、別掲のとおり決定した。

(3)

◎平成22年3月17日(水曜日)

開 会 午前10時3分
散 会 午後5時50分

場 所 第1委員会室
議 題

- 乙第15号議案 沖縄県民の森の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 乙第16号議案 沖縄県伝統工芸産業振興条例の一部を改正する条例
- 乙第17号議案 沖縄自由貿易地域及び沖縄特別自由貿易地域内施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 乙第18号議案 沖縄 I T 津梁パーク施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 陳情平成20年第80号、同第84号、同第139号、同第158号、同第198号、同第201号、陳情平成21年第39号、同第48号、同第53号、同第123号、同第129号、同第130号、同第174号の2、同第182号、同第183号、同第191号、同第194号、同第211号、同第212号、陳情第15号、第19号、第25号、第35号、第36号、第39号、第47号、第51号、第54号及び第55号
- 農林水産業について(農林水産業予算の削減について)(追加議題)
- 労働問題について(那覇地域職業訓練センターの廃止問題について)(追加議題)
- 閉会中継続審査(調査)について

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 玉 城 ノブ子 さん |
| 副 委 員 長 | 瑞慶覧 功 君 |
| 委 員 | 中 川 京 貴 君 |
| | 座喜味 一 幸 君 |
| | 辻 野 ヒロ子 さん |
| | 具 志 孝 助 君 |
| | 仲宗根 悟 君 |
| | 当 銘 勝 雄 君 |
| | 渡久地 修 君 |
| | 前 島 明 男 君 |
| | 玉 城 満 君 |
| | 上 里 直 司 君 |

説明員の職、氏名

| | |
|---------|-----------|
| 農林水産部長 | 比 嘉 俊 昭 君 |
| 森林緑地課長 | 長 間 孝 君 |
| 観光商工部長 | 勝 目 和 夫 君 |
| 産業政策課長 | 上 原 俊 次 君 |
| 新産業振興課長 | 武 村 勲 君 |

商工振興課長 嵩原安伸君
 経営金融課長 比嘉清市君
 企業立地推進課長 安里肇君
 情報産業振興課長 米須清光君
 雇用労政課長 湧川盛順君

審査概要

乙第16号議案から乙第18号議案について観光商工部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第16号議案については、どのような物が伝統工芸製品の指定を受けているのか、その根拠は何か、指定された場合のメリット、今回の検査手数料の値上げについて、生産者との話し合いは済んでいるのか、沖縄県伝統工芸産業振興条例の目的、検査の不合格品の割合、手数料収入の実績、流通している類似品への考え方等について質疑が行われた。

乙第17号議案については、沖縄特別自由貿易地域内に金型等素形材産業振興施設工場を建設する目的、新たな機械器具とはどのようなものか、一番高価な機器の価格、本県の金型事業者の数、新たな建設予定工場への進出決定企業の数等について質疑が行われた。

次に、乙第18号議案について沖縄IT津梁パーク施設における企業立地促進センターの役割、今後のスケジュール、施設利用料の単価及び根拠、企業立地促進センターへの入居予定企業の数、国の緊急経済対策との関係、地場産業育成に向けての取り組み状況等について質疑が行われた。

次に、陳情11件について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

乙第15号議案について農林水産部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第15号議案については、料金の設定方法、利用者の見込数、県民の森の年間利用者数、シャワー室の形態、指定管理者との関係等について質疑が行われた。

次に、陳情18件について農林水産部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案4件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情29件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別

掲のとおり決定した。

なお、「農林水産業予算の削減に反対する意見書」、「那覇地域職業訓練センターの廃止問題に関する意見書」及び「同決議」を別掲のとおり提出することになった。

(4)

◎平成22年3月18日(木曜日)

開 会 午前10時2分

散 会 午後0時

場 所 第1委員会室

議 題

- 1 参考人からの説明聴取について（沖縄県内の雇用悪化の理由と対策について）

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 玉 城 ノブ子 さん |
| 副 委 員 長 | 瑞慶覧 功 君 |
| 委 員 | 中 川 京 貴 君 |
| | 座喜味 一 幸 君 |
| | 辻 野 ヒロ子 さん |
| | 具 志 孝 助 君 |
| | 当 銘 勝 雄 君 |
| | 渡久地 修 君 |
| | 前 島 明 男 君 |
| | 玉 城 満 君 |
| | 上 里 直 司 君 |

欠 席

仲宗根 悟 君

説明員の職、氏名

参 考 人 （沖縄県内の雇用悪化の理由と対策について）

沖縄労働局長 森 川 善 樹 君

審査概要

沖縄県内の雇用悪化の理由と対策について参考人から説明を聴取した後、質疑が行われた。

経済労働委員会議案処理一覧表

イ 処理（5件）

（先議）

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|-------|--|--------------|
| 乙第19号 | 沖縄県緊急雇用創出事業臨時特例基金条例の一部を改正する条例 | 全会一致 原案可決 |
| 乙第15号 | 沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 | 全会一致 原案可決 |
| 乙第16号 | 沖縄県伝統工芸産業振興条例の一部を改正する条例 | 〃 |
| 乙第17号 | 沖縄自由貿易地域及び沖縄特別自由貿易地域内施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 | 〃 |
| 乙第18号 | 沖縄IT津梁パーク施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 | 〃 |

経済労働委員会陳情処理一覧表

イ 処理（陳情3件）

| 陳情番号 | 受理年月日 | 件名 | 陳情者名 | 審査の結果 | 措置 |
|------|----------------|--------------------------------|--|-------|------------------------------|
| 第25号 | 平成22年 2月4日 | 県産品「沖縄赤瓦」の優先使用に関する陳情 | 沖縄県赤瓦事業協同組合 代表理事 八幡 昇 日本労働組合総連合会 | 採択 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（知事） |
| 第39号 | 平成22年 2月22日 | アスベスト健康被害者救援に関する陳情 | 沖縄県連合会（連合沖縄） 会長 仲村 信正 | 〃 | 〃 |
| 第51号 | 平成22年 3月9日 | 「沖縄県中小企業の振興に関する条例」の実効性を図るための陳情 | 沖縄県中小企業家同友会 筆頭代表理事 糸数 久美子 | 〃 | 〃 |

経済労働委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- 1 陳情平成20年第80号 楚洲仲尾線（楚洲支線）開設工事の中止を求める陳情
- 2 陳情平成20年第84号 ヤンバル林道事業の中止を求める陳情
- 3 陳情平成20年第139号 沖縄県の森林の整備・林業の振興に関する陳情
- 4 陳情平成20年第158号 沖縄県の森林の整備・林

業の振興に関する陳情

- 5 陳情平成20年第198号 伊江島における黒糖工場建設問題に関する陳情
- 6 陳情平成20年第201号 吉の浦火力発電所電源開発に伴う海域環境調査に関する陳情
- 7 陳情平成21年第39号 県営林道5路線（奥山線、伊楚支線、楚洲仲尾線、伊江I号支線、伊江原支線）の建設中止を求める陳情
- 8 陳情平成21年第48号 ヤンバルの森林・林業の活性化に関する陳情

- 9 陳情平成21年第53号 ヤンバルの森林・林業の活性化に関する陳情
- 10 陳情平成21年第123号 伊江島における黒糖工場建設に反対する陳情
- 11 陳情平成21年第129号 EMの講習会を開催することに関する陳情
- 12 陳情平成21年第130号 EMを基盤に、我が国の国際貢献の最前線基地を沖縄で引き受けることに関する陳情
- 13 陳情平成21年第174号の2 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等を活用した中小業者支援に関する陳情
- 14 陳情平成21年第182号 「美ら海協力金」リーフレットの回収に関する陳情
- 15 陳情平成21年第183号 「美ら海協力金」強制徴収に伴う観光被害抑止に関する陳情
- 16 陳情平成21年第191号 じん肺被災者の早期救済を図る「トンネルじん肺基金」の創設とじん肺やアスベスト被害の根絶を求める陳情
- 17 陳情平成21年第194号 平成21年度中城湾港(新港地区)振興に関する陳情
- 18 陳情平成21年第211号 「美ら海協力金」の社会問題化を予防することに関する陳情
- 19 陳情平成21年第212号 沖縄県不当陳情処理に関する陳情
- 20 陳情第15号 含みつ糖振興対策に関する陳情
- 21 陳情第19号 含みつ糖振興対策に関する陳情
- 22 陳情第35号 第三セクター・沖縄市アメニティプラン株式会社の融資に係る連帯保証人会に関する陳情
- 23 陳情第36号 含みつ糖振興対策に関する陳情
- 24 陳情第47号 公契約条例の制定を求める陳情
- 25 陳情第54号 「美ら海協力金問題」の総括処理(25カ月)に関する陳情
- 26 陳情第55号 天然ガス採掘工事の即刻中止と天然ガス採掘に関する条例等の早急な整備に関する陳情
- 27 農林水産業について(所管事務調査)
- 28 商・鉱・工業について(所管事務調査)
- 29 労働問題について(所管事務調査)
- 30 国内外の交流について(所管事務調査)

農林水産業予算の削減に反対する意見書

沖縄県では、これまで3次にわたる沖縄振興開発計画と沖縄振興計画により「亜熱帯性気候等の地域特性を生かした農林水産業の振興」を図るため、さまざまな施策を推進してきたが、依然として解決されない多くの課題及び問題を抱えている。

このため、本県では、沖縄振興計画により、引き続き、おきなわブランドの確立、生産供給体制の強化、流通・販売・加工対策の強化、担い手の育成、技術の開発・普及、生産基盤整備の計画的な実施、環境と調和した農林水産業の推進などの諸施策を国の支援のもと、県、市町村、関係団体及び県民挙げて推進する考えであるが、推進に当たっては、これまで以上に政府による財政上の支援等が必要である。

このような中、平成22年度の予算編成において、政府の新たな施策として戸別所得補償制度が導入され、農林水産業の抜本的な見直しが進められているところであるが、その一方で本県の農林水産業予算が約67億6000万円、対前年比で11.8%と大幅に減額された。

このような急激な措置が行われると、多くの課題及び問題を抱えている本県の農林水産業にとって壊滅的な影響をこうむることが懸念され、農業関係者を初め県民は大きな衝撃と落胆を感じている。

よって、政府におかれては、本県の農林水産業の振興を計画的に推進するため、平成22年度の本県の農林水産業予算を前年度と同額に見直されるよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年3月25日

沖縄県議会

内閣総理大臣
財務大臣
農林水産大臣
沖縄及び北方対策担当大臣

あて

那覇地域職業訓練センターの廃止問題に関する意見書

平成20年12月、政府は「雇用・能力開発機構の廃止について」を閣議決定し、これを踏まえて、平成21年12月に「地域職業訓練センターの今後の取り扱いについて」により平成22年度末でもって廃止する旨の一方的な通知を発した。

言うまでもなく、那覇地域職業訓練センターは、技能の検定や職業訓練等を実施するとともに、中小企業の事業主等が雇用労働者に職業教育訓練や研修を行う場として活用されており、他の都道府県のような認定職業訓練施設や事業主等が職業訓練を行うことができる施設がほかにない本県においては、必要不可欠な施設である。

特に、本県では新規学卒者や若年者等を中心とした、全国一高い失業率等の問題を抱えていることや、本県の経済界においては近年の世界的な同時不況により大きな影響をこうむっていることもあって、同センターの重要性は高まるばかりである。

また、政府は、閉鎖に当たり、希望する自治体等に対しては建物を譲渡するとしているが、同センターは設立当初から県が独立行政法人雇用・能力開発機構から無償で管理運営委託を受け、沖縄県職業能力開発協会へ有償で再委託を行っており、その再委託費は本県の厳しい財政の中から捻出しているところである。

よって、政府におかれては、那覇地域職業訓練センターの廃止の方針を撤回するとともに、今後の同センターの管理運営に必要な経費を負担するよう強く要請する。沖縄県では、これまで3次にわたる沖縄振興開発計画と沖縄振興計画により「亜熱帯性気候等の地域特性を生かした農林水産業の振興」を図るため、さまざまな施策を推進してきたが、依然として解決されない多くの課題及び問題を抱えている。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年3月25日

沖縄県議会

内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣 } あて

行政刷新担当大臣
沖縄及び北方対策担当大臣 }

那覇地域職業訓練センターの廃止問題に関する決議

平成20年12月、政府は「雇用・能力開発機構の廃止について」を閣議決定し、これを踏まえて、平成21年12月に「地域職業訓練センターの今後の取り扱いについて」により平成22年度末でもって廃止する旨の一方的な通知を発した。

言うまでもなく、那覇地域職業訓練センターは、技能の検定や職業訓練等を実施するとともに、中小企業の事業主等が雇用労働者に職業教育訓練や研修を行う場として活用されており、他の都道府県のような認定職業訓練施設や事業主等が職業訓練を行うことができる施設が他にない本県においては、必要不可欠な施設である。

特に、本県では新規学卒者や若年者等を中心とした、全国一高い失業率等の問題を抱えていることや、本県の零細な経済界においては近年の世界的な同時不況により大きな影響をこうむっていることもあって、同センターの重要性は高まるばかりである。

また、政府は、閉鎖に当たり、希望する自治体等に対しては建物を譲渡するとしているが、同センターは設立当初から県が独立行政法人雇用・能力開発機構から無償で管理運営委託を受け、沖縄県職業能力開発協会へ有償で再委託を行っており、その再委託費は本県の厳しい財政の中から捻出しているところである。

よって、独立行政法人雇用・能力開発機構におかれては、那覇地域職業訓練センターの廃止の方針を撤回するとともに、今後の同センターの管理運営に必要な経費を負担するよう強く要請する。

上記のとおり決議する。

平成22年3月25日

沖縄県議会

独立行政法人雇用・能力開発機構理事長 あて

文教厚生委員会
委員会記録

(1)

◎平成22年2月26日(金曜日)

開 会 午後6時0分
散 会 午後6時14分
場 所 第2委員会室
議 題

1 審査日程について

出 席

委 員 長 赤 嶺 昇 君
副 委 員 長 西 銘 純 恵 さん
委 員 桑 江 朝千夫 君
佐喜真 淳 君
仲 田 弘 毅 君
渡嘉敷 喜代子 さん
上 原 章 君
奥 平 一 夫 君
比 嘉 京 子 さん

欠 席

翁 長 政 俊 君
仲 村 未 央 さん

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年3月2日(火曜日)

開 会 午前10時2分
散 会 午後3時29分
場 所 第2委員会室
議 題

- 1 乙第12号議案 沖縄県保育所入所待機児童対策特別事業基金条例の一部を改正する条例(先議)
- 2 乙第13号議案 沖縄県地域医療再生臨時特別基金条例(先議)
- 3 視察調査日程について

出 席

委 員 長 赤 嶺 昇 君
副 委 員 長 西 銘 純 恵 さん
委 員 桑 江 朝千夫 君
佐喜真 淳 君
仲 田 弘 毅 君
翁 長 政 俊 君
仲 村 未 央 さん
渡嘉敷 喜代子 さん

上 原 章 君
奥 平 一 夫 君
比 嘉 京 子 さん

説明員の職、氏名

福祉保健部長 奥 村 啓 子 さん
保健衛生統括監 宮 里 達 也 君
青少年・児童家庭課長 新 垣 郁 男 君
青少年・児童家庭課副参事 津 波 信 雄 君
医務課長 新 垣 盛 勝 君
医務課班長 大 城 馨 君

審査概要

乙第12号議案及び乙第13号議案について福祉保健部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第12号議案については、認可外保育施設の認可化に関する今年度の状況と今後の予定、待機児童ゼロは知事の公約であり待機児童改善に向けた基本的な計画の作成への集中的な取り組み状況、認可外保育施設と入所者の状況、待機児童の現状と実態調査の結果、認可保育所への入所基準の状況、認可外保育施設に対する研修の実施状況等について質疑が行われた。

乙第13号議案については、基金創設の背景、事業内容及び期待できる事業効果、看護師の離職及び復職の状況、離職防止、定着及び復職の支援対策、後期研修生の定着状況、保健医療圏ごとの事業体系の内容と目標医師数、地域医療再生計画の作成方法、小児救急電話相談事業(＃8000)の実施の時期と方法等について質疑が行われた。

次に、議案2件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、視察調査日程について協議し、決定した。

(3)

◎平成22年3月17日(水曜日)

開 会 午前10時3分
散 会 午後8時45分
場 所 第2委員会室
議 題

- 1 参考人からの説明聴取について(陳情平成21年第159号)
- 2 乙第10号議案 沖縄県介護支援専門員資格登録申請等手数料条例の一部を改正する条例

- 3 乙第11号議案 沖縄県青少年保護育成条例の一部を改正する条例
- 4 乙第14号議案 沖縄県看護師等修学資金貸与条例の一部を改正する条例
- 5 陳情平成20年第41号、同第43号、同第53号、同第78号、同第99号、同第122号の2、同第134号、同第148号、同第175号の2、同第188号、同第192号、同第195号、陳情平成21年第8号、同第9号、同第13号、同第32号、同第41号、同第50号、同第52号、同第60号、同第61号、同第67号、同第68号、同第72号、同第80号、同第84号、同第99号、同第108号、同第110号の2、同第113号、同第116号、同第139号、同第148号、同第149号、同第153号、同第159号、同第178号、同第189号、同第197号、同第200号、陳情第2号、第14号、第30号から第33号まで、第40号、第41号、第46号、第48号、第49号、第52号及び第53号

出席

| | |
|------|----------|
| 委員長 | 赤嶺昇君 |
| 副委員長 | 西銘純恵さん |
| 委員 | 桑江朝千夫君 |
| | 佐喜真淳君 |
| | 仲田弘毅君 |
| | 翁長政俊君 |
| | 仲村未央さん |
| | 渡嘉敷喜代子さん |
| | 上原章君 |
| | 比嘉京子さん |

欠席

奥平一夫君

説明員の職、氏名

| | |
|---------|---------|
| 福祉保健部長 | 奥村啓子さん |
| 保健衛生統括監 | 宮里達也君 |
| 高齢者福祉 | 金城武君 |
| 介護課長 | |
| 青少年・児童 | 新垣郁男君 |
| 家庭課長 | |
| 医務課長 | 新垣盛勝君 |
| 国保・健康 | |
| 増進課長 | 上原真理子さん |
| 国保・健康 | |
| 増進課医療 | 平順寧君 |
| 制度改革専門監 | |

| | |
|------------------|----------------|
| 病院事業局長 | 知念清君 |
| 病院事業統括監 | 小川和美君 |
| 県立病院課 | 安慶田英樹君 |
| 医療企画監 | |
| 参考人 | (陳情平成21年第159号) |
| 沖縄県社会保障推進協議会事務局長 | 新垣潔君 |
| 補助者 | (") |
| | 嘉数健二君 |

審査概要

陳情平成21年第159号について参考人から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、乙第10号議案、乙第11号議案及び乙第14号議案について福祉保健部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第10号議案については、介護支援専門員再研修実施手数料の内容、設定理由及び本県手数料額と九州各県平均額の比較、手数料額設定方法及び県民所得が低い本県の手数料を九州平均並みに設定する理由、介護支援専門員の有資格者数と従事者数、介護支援専門員の給料と全国の比較、研修の受講予定者数等について質疑が行われた。

乙第11号議案については、質疑なし。

乙第14号議案については、200床以上の病院を就学資金の返還債務免除の対象施設に追加した理由及び県内全域での対象病院、就学資金の返還免除の実績及び平成22年度の貸付予定件数、就学資金の支給額の状況、貸与月額の状況等について質疑が行われた。

次に、陳情53件について福祉保健部長及び病院事業局長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

(4)

◎平成22年3月18日(木曜日)

開会 午前10時2分

散会 午後9時5分

場所 第2委員会室

議題

- 乙第10号議案 沖縄県介護支援専門員資格登録申請等手数料条例の一部を改正する条例
- 乙第11号議案 沖縄県青少年保護育成条例の一部を改正する条例
- 乙第14号議案 沖縄県看護師等修学資金貸与条例の一部を改正する条例

4 乙第24号議案 沖縄県学校職員定数条例の一部を改正する条例

5 請願第1号、陳情平成20年第41号、同第43号、同第50号、同第53号、同第57号、同第59号、同第63号、同第64号、同第66号、同第67号、同第72号、同第78号、同第82号、同第90号、同第93号、同第99号、同第105号、同第107号、同第110号、同第112号、同第122号の2、同第125号、同第134号、同第136号、同第137号、同第142号、同第148号、同第149号、同第162号、同第175号の2、同第187号から同第189号まで、同第192号、同第195号、同第199号、同第201号の2、陳情平成21年第8号、同第9号、同第13号、同第32号、同第33号、同第41号、同第50号、同第52号、同第57号、同第60号、同第61号、同第63号から同第65号まで、同第67号、同第68号、同第72号、同第80号、同第84号、同第88号の2、同第94号、同第95号、同第99号、同第105号から同第108号まで、同第110号の2、同第112号、同第113号、同第116号、同第117号、同第112号の2、同第131号から同第133号まで、同第137号から同第139号まで、同第142号、同第145号、同第148号、同第149号、同第153号、同第159号、同第160号、同第178号、同第189号、同第190号、同第191号の2、同第192号、同第193号、同第196号、同第197号、同第200号、同第203号から同第205号まで、同第210号、同第213号、陳情第1号、第2号、第4号、第7号、第8号、第14号、第16号、第20号、第23号、第24号、第27号から第33号まで、第38号、第40号から第42号まで、第46号、第48号、第49号、第52号及び第53号

6 閉会中継続審査（調査）について

出席

| | |
|-------|------------|
| 委員 長 | 赤 嶺 昇 君 |
| 副委員 長 | 西 銘 純 恵 さん |
| 委員 | 桑 江 朝千夫 君 |
| | 佐喜真 淳 君 |
| | 仲 田 弘 毅 君 |
| | 翁 長 政 俊 君 |
| | 仲 村 未 央 さん |
| | 渡嘉敷 喜代子 さん |
| | 上 原 章 君 |

奥 平 一 夫 君
比 嘉 京 子 さん

説明員の職、氏名

| | |
|----------------|------------|
| 文化環境部長 | 知 念 健 次 君 |
| 平和・男女共同参画課長 | 瑞慶村 むつみ さん |
| 環境政策課長 | 安 富 雅 之 君 |
| 自然保護課長 | 久 田 友 弘 君 |
| 教 育 長 | 金 武 正八郎 君 |
| 教育管理統括監 | 岩 井 健 一 君 |
| 総務課長 | 島 袋 道 男 君 |
| 総務課教育企画監 | 嘉 数 卓 君 |
| 財 務 課 長 | 平 敷 昭 人 君 |
| 施 設 課 長 | 前 原 昌 直 君 |
| 県立学校教育課長 | 諸見里 明 君 |
| 県立学校教育課特別支援教育監 | 東風平 朝 淳 君 |
| 義務教育課長 | 上 原 敏 彦 君 |
| 保健体育課長 | 渡嘉敷 通 之 君 |
| 文 化 課 長 | 大 城 慧 君 |

審査概要

乙第24号議案について教育長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、学校ごとの職員定数及びその決定手順、特別支援学校の定数の内訳、中途退学の状況、30人学級の実施状況、臨時的任用職員の配置状況等について質疑が行われた。

次に、請願1件及び陳情62件について教育長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情18件について文化環境部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、乙第10号議案に対して、社民・護憲ネット及び共産党所属委員から、乙第24号議案に対して、共産党所属委員からそれぞれ反対の意見が表明された。

次に、議案4件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、請願1件及び陳情123件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

文教厚生委員会議案処理一覧表

イ 処理（6件）
（先議）

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|-------|----------------------------------|--------------|
| 乙第12号 | 沖縄県保育所入所待機児童対策特別事業基金条例の一部を改正する条例 | 全会一致 原案可決 |
| 乙第13号 | 沖縄県地域医療再生臨時特例基金条例 | 〃 |

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|-------|----------------------------------|--------------|
| 乙第10号 | 沖縄県介護支援専門員資格登録申請等手数料条例の一部を改正する条例 | 委員長裁決 否決 |
| 乙第11号 | 沖縄県青少年保護育成条例の一部を改正する条例 | 全会一致 原案可決 |
| 乙第14号 | 沖縄県看護師等修学資金貸与条例の一部を改正する条例 | 〃 |
| 乙第24号 | 沖縄県学校職員定数条例の一部を改正する条例 | 多数 原案可決 |

文教厚生委員会請願・陳情処理一覧表

イ 処理（請願1件、陳情22件）

| 請願番号 | 受理年月日 | 件名 | 請願者名 | 紹介議員 | 審査の結果 | 措置 |
|------|----------------|----------------------------------|------------------------------------|---|-------|--------------------------------|
| 第1号 | 平成22年 2月25日 | 美咲特別支援学校幼稚部の入学希望者全員を受け入れるよう求める請願 | 美咲特別支援学校幼稚部 就学志願保護者代表 金城 千賀子 | 翁長 政俊 嶺井 光 照屋 守之 佐喜真 淳 具志 孝助 新垣 哲司 池間 淳 浦崎 唯昭 辻野ヒロ子 仲田 弘毅 新垣 良俊 座喜味一幸 吉元 義彦 桑江朝千夫 中川 京貴 島袋 大 照屋 大河 仲宗根 悟 | 採択 | 地方自治法第125条 による措置 (教育委員会) |

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | | | | 崎山 嗣幸 当銘 勝雄 渡嘉敷喜代子 新里 米吉 仲村 未央 西銘 純恵 渡久地 修 玉城ノブ子 前田 政明 嘉陽 宗儀 糸洲 朝則 金城 勉 上原 章 當山 眞市 前島 明男 吉田 勝廣 玉城 義和 奥平 一夫 比嘉 京子 新垣 清涼 瑞慶覧 功 大城 一馬 赤嶺 昇 當間 盛夫 玉城 満 平良 昭一 山内 末子 新垣 安弘 上里 直司 | |
|--|--|--|--|--|--|

| 陳情番号 | 受 理 年 月 日 | 件 名 | 陳 情 者 名 | 審査の 結 果 | 措 置 |
|---------------|----------------|-----------------------|---|------------|---|
| 第50号 (継 続) | 平成20年 5月23日 | 沖縄県立図書館八重山分館の存続に関する陳情 | 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める集会実行委員会 委員長 大田 静男 | 採 択 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置 (教 育 委 員 会) |
| 第59号 (継 続) | 平成20年 6月10日 | 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情 | 竹富町教育委員会 委員長 竹盛 洋一 | 〃 | 〃 |
| 第66号 (継 続) | 平成20年 6月27日 | 沖縄県立図書館八重山分館の存続に関する陳情 | 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める会 世話人 大田 静男 | 〃 | 〃 |

| 陳情番号 | 受理年月日 | 件名 | 陳情者名 | 審査の結果 | 措置 |
|---------------------|-----------------|--|-------------------------------------|-------|---|
| 第67号 (継続) | 平成20年 6月27日 | 沖縄県立図書館八重山分館廃止に反対する陳情 | 沖縄・八重山文化研究会 会長 三木 健 | 採択 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置 (教育委員会) |
| 第82号 (継続) | 平成20年 7月3日 | 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情 | 竹富町議会議長 通事 隆一 | 〃 | 〃 |
| 第90号 (継続) | 平成20年 7月8日 | 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情 | 沖縄県高等学校障害児学校教職員組合八重山支部 支部長 渡辺 賢一 | 〃 | 〃 |
| 第93号 (継続) | 平成20年 7月24日 | 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情 | 図書館友の会全国連絡会 代表 佐々木 順二 | 〃 | 〃 |
| 第105号 (継続) | 平成20年 8月12日 | 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情 | 八重山市町会 会長 石垣市長 大濱 長照 | 〃 | 〃 |
| 第107号 (継続) | 平成20年 8月12日 | 沖縄県立図書館八重山分館の廃止撤回を求める陳情 | 石垣市議会議長 入嵩西 整 | 〃 | 〃 |
| 第110号 (継続) | 平成20年 8月12日 | 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情 | 竹富町議会議長 通事 隆一 | 〃 | 〃 |
| 第122号 の2 (継続) | 平成20年 8月28日 | 沖縄県腎臓病患者連絡協議会の活動等に対する支援を求める陳情 | 沖縄県腎臓病患者連絡協議会 会長 高良 幸勇 | 〃 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置 (知事) |
| 第175号 の2 (継続) | 平成20年 11月19日 | 第58回婦人大会の宣言・決議の実現方に関する陳情 | 社団法人 沖縄県婦人連合会 会長 大城 節子 | 〃 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置 (知事及び教育委員会) |
| 第108号 (継続) | 平成21年 6月12日 | 細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化を早期に求める陳情 | 新日本婦人の会沖縄県本部 会長 前田 芙美子 | 〃 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置 (知事) |
| 第159号 (継続) | 平成21年 9月4日 | 細菌性髄膜炎を予防するHib(ヘモフィルスインフルエンザ菌b型)ワクチンの公費負担による接種を求める陳情 | 沖縄県社会保障推進協議会 会長 新垣 安男 | 〃 | 〃 |
| 第189号 (継続) | 平成21年 10月5日 | 細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化を早期に求める陳情 | 新日本婦人の会沖縄県本部 会長 前田 芙美子 | 〃 | 〃 |
| 第4号 | 平成21年 12月24日 | 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情 | 竹富町議会議長 通事 隆一 | 〃 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置 (教育委員会) |

| 陳情番号 | 受 理 年 月 日 | 件 名 | 陳 情 者 名 | 審査の 結 果 | 措 置 |
|--------|-----------------|---|----------------------------------|------------|---|
| 第 7 号 | 平成21年 12月28日 | 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情 | 与那国町議会議長 崎原 孫吉 | 採択 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置 (教 育 委 員 会) |
| 第 14 号 | 平成22年 1月15日 | 「保育所・児童入所施設の環境改善を求める意見書」の可決を求める陳情 | 自治労沖縄県本部 執行委員長 比嘉 勝太 | 〃 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置 (知 事) |
| 第 16 号 | 平成22年 1月20日 | 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情 | 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める会 代表 大田 静男 | 〃 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置 (教 育 委 員 会) |
| 第 20 号 | 平成22年 1月28日 | 「国立沖縄青少年交流の家」存続に関する陳情 | 渡嘉敷村長 小嶺 安雄外1人 | 〃 | 〃 |
| 第 46 号 | 平成22年 3月4日 | 移植医療の増進に関する陳情 | 一般社団法人 沖縄県 腎臓病協議会 会長 高良 幸勇 | 〃 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置 (知 事) |
| 第 48 号 | 平成22年 3月5日 | 非婚母子世帯に寡婦控除をみなし適用し、他の母子世帯と同等の生活水準を確保・支援することを求める陳情 | しんぐるまざあず・ ふおーらむ沖縄 代表 秋吉 晴子 | 〃 | 〃 |

ロ 審査未了（3件）

| 陳情番号 | 受 理 年 月 日 | 件 名 | 陳 情 者 名 |
|-----------------|----------------|-------------------------------|-----------------------------------|
| 第 99 号 (継続) | 平成20年 8月4日 | 地域医療崩壊阻止のための意見書提出を求める陳情 | 沖縄県医療推進協議会 沖縄県 医師会 会長 宮城 信雄 |
| 第 64 号 (継続) | 平成21年 3月10日 | うるま市字赤野港原地域への産業廃棄物処理場建設に対する陳情 | うるま市赤野区自治会 会長 座間味 栄 |
| 第 213 号 (継続) | 平成21年 12月4日 | 県立特別支援高等学校への分教室設置に関する陳情 | 分教室設置に反対する父母の会 代表 照屋 守道 |

文教厚生委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- 1 陳情平成20年第41号 子供の医療費助成制度の拡充に関する陳情
- 2 陳情平成20年第43号 母子家庭等医療費助成の給付方法を償還払いから現物給付へ変更することを求める陳情
- 3 陳情平成20年第53号 ジストニア治療の健康保

険適用拡大等治療環境の改善に関する意見書の提出を求める陳情

- 4 陳情平成20年第57号 2009年度政府教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する陳情
- 5 陳情平成20年第63号 サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情
- 6 陳情平成20年第64号 「戦争のできる国民づくり」教育に反対する陳情
- 7 陳情平成20年第72号 沖広産業の産業廃棄物安定型最終処分場内におけるクロルデン類等汚染の

- 浄化と、営業許可の更新を認めないことを求める陳情
- 8 陳情平成20年第78号 子供の医療費助成制度の拡充に関する陳情
- 9 陳情平成20年第112号 友愛スポーツセンター跡利用に関する陳情
- 10 陳情平成20年第125号 「全国学力・学習状況調査」の公表等に関する陳情
- 11 陳情平成20年第134号 認可外保育園支援のための振興対策調整費の用途に関する陳情
- 12 陳情平成20年第136号 浦添の美しい景観と安心・安全で安らぎのある生活環境を求める陳情
- 13 陳情平成20年第137号 サンゴの保護に関する陳情
- 14 陳情平成20年第142号 天然記念物の伐採に関する陳情
- 15 陳情平成20年第148号 地域医療・高度多機能な医療の確保に関する陳情
- 16 陳情平成20年第149号 産業廃棄物処理場の撤去を求める陳情
- 17 陳情平成20年第162号 「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」の採択を求める陳情
- 18 陳情平成20年第187号 沖縄美ら海再生に関する陳情
- 19 陳情平成20年第188号 命の尊厳を踏みにじる「後期高齢者医療制度」の廃止を求める陳情
- 20 陳情平成20年第189号 子供たちに行き届いた教育の保障を求める陳情
- 21 陳情平成20年第192号 第60回九州地区地域婦人大会及び平成20年度全地婦連九州ブロック会議の決議に関する陳情
- 22 陳情平成20年第195号 医療提供体制確保と地域医療を守ることにに関する陳情
- 23 陳情平成20年第199号 沖縄県教育委員会の職務不履行に関する陳情
- 24 陳情平成20年第201号の2 吉の浦火力発電所電源開発に伴う海域環境調査に関する陳情
- 25 陳情平成21年第8号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 26 陳情平成21年第9号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 27 陳情平成12年第13号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 28 陳情平成21年第32号 身体障害者に関する手続等についての陳情
- 29 陳情平成21年第33号 読谷村産業廃棄物安定型最終処分場問題をめぐる行政処分に関する陳情
- 30 陳情平成21年第41号 県立病院の存続を求める陳情
- 31 陳情平成21年第50号 県立病院の独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 32 陳情平成21年第52号 地域医療を守り、県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 33 陳情平成21年第57号 学校給食に環境保全型農業で生産された農産物の使用促進に関する陳情
- 34 陳情平成21年第60号 県立八重山病院の地方独立行政法人化に反対する陳情
- 35 陳情平成21年第61号 医療提供体制確保を求める陳情
- 36 陳情平成21年第63号 ヤンバルの森全体の環境調査の実施と沖縄県アセス条例の改正を求める陳情
- 37 陳情平成21年第65号 沖縄ろう学校を「単独型の聴覚特別支援学校」として存続を求める陳情
- 38 陳情平成21年第67号 地域医療体制の強化を求める陳情
- 39 陳情平成21年第68号 県立宮古病院を初め県立病院の地方独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 40 陳情平成21年第72号 県立宮古病院を初め県立病院の地方独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 41 陳情平成21年第80号 県立病院の存続を求める陳情
- 42 陳情平成21年第84号 県立八重山病院の独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 43 陳情平成21年第88号の2 沖縄学生会館の閉館に関する陳情
- 44 陳情平成21年第94号 新学習指導要領理科の実現へ向けての環境整備に関する陳情
- 45 陳情平成21年第95号 沖縄学生会館の再建に関する陳情
- 46 陳情平成21年第99号 利用者の人権、職員の権利、健康を守るために社会福祉法人「翠泉会」在宅複合型施設羽地苑の運営正常化・健全化を求め

- る陳情
- 47 陳情平成21年第105号 サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情
- 48 陳情平成21年第106号 県立高等学校編成整備実施計画に関する陳情
- 49 陳情平成21年第107号 「気候保護法(仮称)」の制定を求める陳情
- 50 陳情平成21年第110号の2 公私の格差是正と制度等に関する陳情
- 51 陳情平成21年第112号 特別支援教育のさらなる推進に関する陳情
- 52 陳情平成21年第113号 中部病院を初め県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 53 陳情平成21年第116号 介護サービス情報公表制度の見直しに関する陳情
- 54 陳情平成21年第117号 沖縄学生会館の再建を求める陳情
- 55 陳情平成21年第122号の3 県がワーキングプアをなくす先頭に立ち、非正規等の待遇改善を求める陳情
- 56 陳情平成21年第131号 EMで海や川の環境を守ることにに関する陳情
- 57 陳情平成21年第132号 環境教育でEMを活用することにに関する陳情
- 58 陳情平成21年第133号 沖縄県の学校施設の地震対策や濁水対策に関する陳情
- 59 陳情平成21年第137号 沖縄県立美術館の「展示拒否問題」に関する陳情
- 60 陳情平成21年第138号 沖縄県立博物館・美術館の大浦信行作品展示拒否事件に関する陳情
- 61 陳情平成21年第139号 学童保育の拡充に関する陳情
- 62 陳情平成21年第142号 「30人以下学級」完全実現のための陳情
- 63 陳情平成21年第145号 県立久米島高等学校園芸科の存続に関する陳情
- 64 陳情平成21年第148号 県立中部病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 65 陳情平成21年第149号 県民のセーフティネットとしての県立病院を守り沖縄県立北部病院産婦人科の完全再開を求める陳情
- 66 陳情平成21年第153号 地域医療を崩壊させる県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 67 陳情平成21年第160号 「大浦湾チリビシのアオサンゴ群集」の天然記念物指定に関する陳情
- 68 陳情平成21年第178号 次世代育成支援対策後期行動計画策定に対する陳情
- 69 陳情平成21年第190号 男女共同参画の活動拠点施設「宜野湾市人材育成交流センターめぶき」の増築等への財政的支援に関する陳情
- 70 陳情平成21年第191号の2 じん肺被災者の早期救済を図る「トンネルじん肺基金」の創設とじん肺やアスベスト被害の根絶を求める陳情
- 71 陳情平成21年第192号 県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合計画案に反対し、現行どおり単独「農業高校」としての継承、発展、充実を求める陳情
- 72 陳情平成21年第193号 ブラジルに現存する古典的な沖縄三線の鑑定に関する陳情
- 73 陳情平成21年第196号 子供たちに行き届いた教育の保障を求める陳情
- 74 陳情平成21年第197号 「第61回九州地区地域婦人大会」並びに「平成21年度全地婦連九州ブロック会議」決議に基づく陳情
- 75 陳情平成21年第200号 平成21年度軽費老人ホーム事務費補助金削減見直しに関する陳情
- 76 陳情平成21年第203号 県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合に反対し、単独「農業高校」としての継承、発展、充実を求める陳情
- 77 陳情平成21年第204号 「労働安全衛生委員会」の設置を求める陳情
- 78 陳情平成21年第205号 幼稚園教育の制度改善に関する陳情
- 79 陳情平成21年第210号 子供と向き合うゆとりを学校に取り戻すための陳情
- 80 陳情第1号 子供たちに行き届いた教育の保障を求める陳情
- 81 陳情第2号 県立宮古病院の脳神経外科医師の確保に関する陳情
- 82 陳情第8号 県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合に反対し、単独「農業高校」としての継承、発展、充実を求める陳情
- 83 陳情第23号 「若夏荘」「沖縄学生会館」に関する陳情
- 84 陳情第24号 子供と学校の安心・安全のために正規の学校職員の配置を保障することを求める陳情

土木委員会 委員会記録

- 85 陳情第27号 沖縄県から「いじめ」を追放し、いじめ撲滅ナンバーワンの県を目指して実効性のあるいじめ防止施策の実施及び「沖縄県いじめ防止条例」制定を求める陳情
- 86 陳情第28号 子供にこたえる学校図書館を求める陳情
- 87 陳情第29号 子供にこたえる学校図書館を求める陳情
- 88 陳情第30号 平成21年度軽費老人ホーム事務費補助金削減見直し並びに平成22年度補助金に関する陳情
- 89 陳情第31号 軽費老人ホーム緑樹苑事務費補助金削減反対に関する陳情
- 90 陳情第32号 軽費老人ホーム緑樹苑事務費補助金見直しに関する陳情
- 91 陳情第33号 軽費老人ホーム緑樹苑事務費補助金見直しに関する陳情
- 92 陳情第38号 県立高等学校再編整備実施計画に関する陳情
- 93 陳情第40号 後期高齢者医療制度の即時廃止を求める陳情
- 94 陳情第41号 子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める陳情
- 95 陳情第42号 日本軍「慰安婦」問題の解決を目指す法制定を求める陳情
- 96 陳情第49号 「第43回沖縄県知的障害者教育・福祉・就労研究大会」における大会決議に関する陳情
- 97 陳情第52号 社会福祉法人翠泉会「羽地苑」に関する陳情
- 98 陳情第53号 軽費老人ホーム事務費補助金減額反対署名提出及び県議会参考人招致に関する陳情
- 99 消費者保護及び県民生活について（所管事務調査）
- 100 県民文化について（所管事務調査）
- 101 青少年及び交通安全問題について（所管事務調査）
- 102 公害防止及び環境保全について（所管事務調査）
- 103 社会福祉及び社会保障について（所管事務調査）
- 104 医療及び保健衛生について（所管事務調査）
- 105 教育及び学術文化について（所管事務調査）
- 106 平和について（所管事務調査）
- 107 男女共同参画について（所管事務調査）

（1）

◎平成22年2月26日（金曜日）

開 会 午後6時1分

散 会 午後6時3分

場 所 第3委員会室

議 題

1 審査日程について

出 席

委 員 長 當 山 眞 市 君

副 委 員 長 照 屋 大 河 君

委 員 新 垣 良 俊 君

嶺 井 光 君

新 垣 哲 司 君

嘉 陽 宗 儀 君

大 城 一 馬 君

平 良 昭 一 君

新 垣 安 弘 君

吉 田 勝 廣 君

出 席

池 間 淳 君

高 嶺 善 伸 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

（2）

◎平成22年3月2日（火曜日）

開 会 午前10時2分

散 会 午前11時30分

場 所 第3委員会室

議 題

1 乙第26号議案 工事請負契約についての議決内容の一部変更について（先議）

2 乙第27号議案 工事請負契約について（先議）

3 乙第28号議案 工事請負契約について（先議）

4 乙第29号議案 工事請負契約について（先議）

5 乙第30号議案 工事請負契約について（先議）

6 乙第31号議案 工事請負契約について（先議）

出 席

委 員 長 當 山 眞 市 君

副 委 員 長 照 屋 大 河 君

| | |
|----|-------|
| 委員 | 新垣良俊君 |
| | 嶺井光君 |
| | 池間淳君 |
| | 新垣哲司君 |
| | 高嶺善伸君 |
| | 嘉陽宗儀君 |
| | 大城一馬君 |
| | 平良昭一君 |
| | 新垣安弘君 |
| | 吉田勝廣君 |

説明員の職、氏名

| | |
|----------|--------|
| 土木建築部長 | 仲田文昭君 |
| 土木企画課長 | 喜瀬普一郎君 |
| 道路街路課長 | 新里末守君 |
| 道路街路課副参事 | 仲村美州君 |

審査概要

乙第26号議案から乙第31号議案までの6件について土木建築部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第26号については、当初の設計と施工計画及び見積りの精度、工事による砂浜環境への影響、工期の延長の理由について質疑が行われた。

乙第27号議案から乙31号議案までについては、工事落札企業等の実績、建設工事請負規約約款における違約金の割合、落札率、総合評価方式の採点方法、工事の工期及び進捗状況等について質疑が行われた。

次に、議案6件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

(3)

◎平成22年3月17日(水曜日)

開会 午前10時3分
散会 午後5時30分
場所 第3委員会室
議題

- 乙第20号議案 沖縄県空港の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 乙第21号議案 沖縄県屋外広告物条例の一部を改正する条例
- 乙第22号議案 沖縄県都市公園条例の一部を改正する条例
- 乙第23号議案 建築基準法施行条例の一部を改正する条例

- 乙第32号議案 訴えの提起について
- 乙第35号議案 県道の路線の認定及び廃止について
- 陳情平成20年第68号、同第115号、同第133号、同第138号、同第152号、同第160号、同第183号、同第185号、同第202号の2、陳情平成21年第18号、同第24号、同第35号から同第37号まで、同第74号の4、同第76号、同第90号、同第109号、同第118号、同第119号、同第134号、同第135号、同第140号、同第157号、同第158号、同第165号、同第166号、同第168号、同第172号、同第174号の3、同第181号、同第188号、同第191号の3、同第194号の2、陳情第3号及び陳情第48号の2
- 閉会中継続審査(調査)について

出席

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 當山眞市君 |
| 副委員長 | 照屋大河君 |
| 委員 | 新垣良俊君 |
| | 嶺井光君 |
| | 池間淳君 |
| | 新垣哲司君 |
| | 高嶺善伸君 |
| | 嘉陽宗儀君 |
| | 大城一馬君 |
| | 平良昭一君 |
| | 新垣安弘君 |
| | 吉田勝廣君 |

説明員の職、氏名

| | |
|--------------|--------|
| 土木建築部長 | 仲田文昭君 |
| 土木企画課長 | 喜瀬普一郎君 |
| 参事兼技術管理課長 | 比嘉和夫君 |
| 道路街路課長 | 新里末守君 |
| 道路管理課長 | 前泊勇栄君 |
| 港湾課長 | 神田豪君 |
| 空港課長 | 与那覇義博君 |
| 都市計画・モノレール課長 | 儀間眞明君 |
| 建築指導課長 | 當銘健一郎君 |
| 住宅課長 | 渡久山盛清君 |
| 企業局長 | 宮城嗣三君 |

審査概要

乙第20号議案から乙第23号議案まで、乙第32号

議案及び乙第35号議案について土木建築部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第20号議案については、最大離陸重量と離陸重量または着陸重量の違い、条例の施行時期、宮古空港駐車場の有料化による課題及び収支見通し、同空港駐車場の料金設定等について質疑が行われた。

乙第21号議案については、権限委譲の伴う交付金、屋外広告条例と都市計画区域の関連等について質疑が行われた。

乙第22号議案については、沖縄県総合運動公園の改修目的と改修状況及び同事業費、年間収入額、施設利用料金、公共施設での広告料収入等について質疑が行われた。

乙第23号議案については、建築基準法建築確認完了検査及び中間審査の実績、建築確認申請手数料の収入実績、同手数料の九州各県との比較等について質疑が行われた。

乙第32号議案については、県営住宅の設置目的、入居待機者数、公営住宅整備計画、優先入居に関する減免制度と申請状況等について質疑が行われ

た。

乙第35号議案については、県道から市道に移管する場合の手続、認定路線の条件、路線名決定までの経緯等について質疑が行われた。

次に、陳情36件について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情1件について企業局長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、乙第22号議案に対して、社民・護憲ネット所属委員から継続審査の動議が提出された。

次に、議案の採決に先立ち、乙第23号議案及び乙第32号議案に対して、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案5件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情36件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

土木委員会議案処理一覧表

イ 処理（11件）

（先議）

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|-------|--------------------------|------------|
| 乙第26号 | 工事請負契約についての議決内容の一部変更について | 全会一致 可決 |
| 乙第27号 | 工事請負契約について | 〃 |
| 乙第28号 | 工事請負契約について | 〃 |
| 乙第29号 | 工事請負契約について | 〃 |
| 乙第30号 | 工事請負契約について | 〃 |
| 乙第31号 | 工事請負契約について | 〃 |

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|-------|------------------------------|--------------|
| 乙第20号 | 沖縄県空港の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 | 全会一致 原案可決 |
| 乙第21号 | 沖縄県屋外広告物条例の一部を改正する条例 | 〃 |

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|-------|---------------------|-------|
| 乙第23号 | 建築基準法施行条例の一部を改正する条例 | 多数決 |
| 乙第32号 | 訴えの提起について | 〃 |
| 乙第35号 | 県道の路線の認定及び廃止について | 全会一致決 |

土木委員会閉会中継続 審査(調査)事件一覧

- 1 乙第22号議案 沖縄県都市公園条例の一部を改正する条例
- 2 陳情平成20年第68号 東部海浜開発(泡瀬埋立)事業の中止を求める陳情
- 3 陳情平成20年第115号 港湾区域内の水域占用許可に関する陳情
- 4 陳情平成20年第133号 「住宅供給公社の共益費徴収業務」に関する陳情
- 5 陳情平成20年第138号 古島団地の建てかえに関する陳情
- 6 陳情平成20年第152号 公共工事の不払いに関する陳情
- 7 陳情平成20年第160号 那覇伊平屋航空路線開設に関する陳情
- 8 陳情平成20年第183号 泡瀬裁判の控訴断念を議決するよう求める陳情
- 9 陳情平成20年第185号 泡瀬干潟埋立事業公金支出差止訴訟判決に対する控訴を断念し泡瀬干潟の保全を求める陳情
- 10 陳情平成20年第202号の2 建設業界の窮状に関する陳情
- 11 陳情平成21年第18号 泡瀬干潟裁判の控訴費用及び泡瀬埋立関連の予算の削除に関する陳情
- 12 陳情平成21年第24号 公共事業の早期発注並びに建設工事入札における最低制限価格の引上げに関する陳情
- 13 陳情平成21年第35号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 14 陳情平成21年第36号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 15 陳情平成21年第37号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 16 陳情平成21年第74号の4 平成21年度「離島・過疎地域振興に関する要望事項」に関する陳情
- 17 陳情平成21年第76号 県道、与那国島線祖納集落内217号線の拡張に関する陳情
- 18 陳情平成21年第90号 「豊崎プロジェクト」に関する陳情
- 19 陳情平成21年第109号 公共工事に係る工賃の支払いに関する陳情
- 20 陳情平成21年第118号 安謝川河川改修工事に関する陳情
- 21 陳情平成21年第119号 安謝川河川改修工事に関する陳情
- 22 陳情平成21年第134号 沖縄県の公共の土木建築物でEMを活用することに関する陳情
- 23 陳情平成21年第135号 沖縄県の下水処理場(浄化センター)にEMを活用することに関する陳情
- 24 陳情平成21年第140号 泡瀬干潟埋立事業の中止の決議を可決することに関する陳情
- 25 陳情平成21年第157号 開南交差点に面するポケットパーク設置に関する陳情
- 26 陳情平成21年第158号 県道222号線拡幅整備事業(開南バス停付近)の一部変更に関する陳情
- 27 陳情平成21年第165号 文書での回答が公務員としての務めであることに関する陳情
- 28 陳情平成21年第166号 宅地建物取引業法第36条及び関連法案に関する陳情
- 29 陳情平成21年第168号 中城湾港泡瀬地区埋立事業の早期完成と東部海浜開発事業の推進に関する陳情
- 30 陳情平成21年第172号 泡瀬干潟埋立中止に向けた取り組みに関する陳情
- 31 陳情平成21年第174号の3 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等を活用した中小業者支援に関する陳情

- 32 陳情平成21年第181号 安謝川河川改修工事に伴う福祉施設運営に支障がないよう求める陳情
- 33 陳情平成21年第188号 中城湾港新港地区東埠頭の早期整備促進及び定期船の就航強化促進に関する陳情
- 34 陳情平成21年第191号の3 じん肺被災者の早期救済を図る「トンネルじん肺基金」の創設とじん肺やアスベスト被害の根絶を求める陳情
- 35 陳情平成21年第194号の2 平成21年度中城湾港(新港地区)振興に関する陳情
- 36 陳情第3号 大里城跡都市公園計画に係る土地収用補償金の範囲に関する陳情
- 37 陳情第48号の2 非婚母子世帯に寡婦控除をみなし適用し、他の母子世帯と同等の生活水準を確保・支援することを求める陳情
- 38 道路、橋梁の整備事業について(所管事務調査)
- 39 港湾の整備事業について(所管事務調査)
- 40 空港の整備事業について(所管事務調査)
- 41 河川、海岸及び砂防の整備事業について(所管事務調査)
- 42 都市計画事業について(所管事務調査)
- 43 上下水道事業について(所管事務調査)
- 44 住宅環境の改善について(所管事務調査)
- 45 都市モノレールの整備事業について(所管事務調査)
- 46 建築関係について(所管事務調査)

米軍基地関係特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年2月23日(火曜日)

開 会 午後5時32分
散 会 午後5時58分
場 所 第4委員会室
議 題

- 1 軍使用土地、基地公害、演習、跡地利用計画等米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立(米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と県内移設に反対し、国外・県外移設を求めることについて)

出 席

委 員 長 渡嘉敷 喜代子 さん
副 委 員 長 桑 江 朝千夫 君
委 員 員 中 川 京 貴 君
吉 元 義 彦 君
具 志 孝 助 君
照 屋 大 河 君
前 田 政 明 君
上 原 章 君
新 垣 清 涼 君
玉 城 満 君
山 内 末 子 さん
吉 田 勝 廣 君

審査概要

「米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と県内移設に反対し、国外・県外移設を求める意見書」を別掲のとおり提出することになった。

(2)

◎平成22年2月26日(金曜日)

開 会 午後6時15分
散 会 午後6時17分
場 所 第4委員会室
議 題

- 1 審査日程について
出 席

委 員 長 渡嘉敷 喜代子 さん
副 委 員 長 桑 江 朝千夫 君
委 員 員 吉 元 義 彦 君
具 志 孝 助 君
照 屋 大 河 君
上 原 章 君
新 垣 清 涼 君
玉 城 満 君
山 内 末 子 さん
吉 田 勝 廣 君

欠 席

中 川 京 貴 君
前 田 政 明 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(3)

◎平成22年3月23日(火曜日)

開 会 午後1時28分

散 会 午後 7 時 00 分
場 所 第 4 委 員 会 室
議 題

- 1 請願平成20年第1号、陳情平成20年第36号、同第88号、同第89号、同第94号、同第102号、同第167号、同第204号、陳情平成21年第42号、同第46号、同第51号、同第79号、同第82号、同第114号、同第125号、同第151号、同第154号、同第161号、同第163号、同第167号、同第169号、同第185号から同第187号まで、同第195号、同第207号、同第208号、陳情第5号、第11号、第21号、第22号、第26号、第34号及び第37号
- 2 閉会中継続審査（調査）について
- 3 軍使用土地、基地公害、演習、跡地利用計画等米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立(米軍車両によるひき逃げ事件について)(追加議題)

出 席

委 員 長 渡嘉敷 喜代子 さん
副 委 員 長 桑 江 朝千夫 君
委 員 中 川 京 貴 君
吉 元 義 彦 君
具 志 孝 助 君
照 屋 大 河 君
前 田 政 明 君
上 原 章 君
新 垣 清 涼 君
玉 城 満 君
山 内 末 子 さん
吉 田 勝 廣 君

説明員の職、氏名

知 事 公 室 長 上 原 良 幸 君

基地対策課長 又 吉 進 君
企画部企画調整課 名嘉真 稔 君
跡地対策監
文化環境部 金城 康 政 君
環境企画統括監
農林水産部 津波古 喜 正 君
農漁村基盤統括監
土木建築部 当 間 清 勝 君
土木整備統括監
教育庁文化課長 大 城 慧 君
警察本部刑事部長 内 間 康 洋 君
捜査第一課長 高 嶺 隆 喜 君
捜査第一課 幸 喜 一 史 君
国際室長
警察本部交通部長 北 川 秀 行 君
交通指導課長 吉 永 安 彦 君

審査概要

請願1件及び陳情33件について知事公室長、企画部企画調整課跡地対策監、文化環境部環境企画統括監、農林水産部農漁村基盤統括監、土木建築部土木整備統括監、教育庁文化課長及び警察本部刑事部長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、米軍車両によるひき逃げ事件について知事公室長及び警察本部交通部長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、請願1件及び陳情33件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

なお、「米軍車両によるひき逃げ事件に関する意見書」、「同抗議決議」を別掲のとおり提出することになった。

米軍基地関係特別委員会陳情処理一覧表

イ 処理(陳情4件)

| 陳情番号 | 受 理 年 月 日 | 件 名 | 陳 情 者 名 | 審査の 結 果 | 措 置 |
|--------|-----------------|-------------------------------------|-------------------|------------|------------------------------|
| 第 5 号 | 平成21年 12月28日 | 日米地位協定の抜本的な 改定を求める陳情 | 金武町議会議長 仲里 全孝 | 採 択 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事) |
| 第 11 号 | 平成22年 1月8日 | 米国原子力潜水艦のハワイ イト・ビーチ寄港に反対 する陳情 | 嘉手納町議会議長 田崎 博美 | 〃 | 〃 |

| 陳情番号 | 受理年月日 | 件名 | 陳情者名 | 審査の結果 | 措置 |
|------|------------|--|--------------------|-------|------------------------------|
| 第34号 | 平成22年2月12日 | 日米地位協定の見直しを求める陳情 | 中部市町村会 会長 儀間 光男 | 採択 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事) |
| 第37号 | 平成22年2月17日 | B52戦略爆撃機、F22A戦闘機及びF A18E戦闘攻撃機等の飛来に反対する陳情 | 嘉手納町議会議長 田崎 博美 | 〃 | 〃 |

米軍基地関係特別委員会 閉会中継続審査(調査)事件一覧

- 1 請願平成20年第1号 新基地建設に関する請願
- 2 陳情平成20年第36号 キャンプ・ハンセン内レンジ3射撃場建設の即時中止を求める陳情
- 3 陳情平成20年第88号 「高江区周辺域におけるヘリパッド建設中止と計画撤回」の決議を求める陳情
- 4 陳情平成20年第89号 普天間飛行場代替施設(新基地)建設事業に係るアセス手続及び「環境現況調査」並びにキャンプ・シュワブ内における「造成」工事等に関する陳情
- 5 陳情平成20年第94号 キャンプ・ハンセン内への訓練用コンテナ搬入に関する陳情
- 6 陳情平成20年第102号 沖縄の米軍基地再編・新基地建設に反対する陳情
- 7 陳情平成20年第167号 第二次返還特措法の制定に関する陳情
- 8 陳情平成20年第204号 普天間飛行場代替施設(新基地)建設事業等の中止を求める陳情
- 9 陳情平成21年第42号 「在沖米海兵隊のグアム移転に係る協定」に反対し、基地の無条件撤去に向けた日米両政府の協議を要求する意見書の採択を求める陳情
- 10 陳情平成21年第46号 「米軍再編協定」(「在沖米海兵隊のグアム移転に関する協定」)に反対する意見書の採択を求める陳情
- 11 陳情平成21年第51号 米軍実弾射撃訓練被弾事件に関する陳情
- 12 陳情平成21年第79号 ヘリパッド建設反対に関する陳情
- 13 陳情平成21年第82号 在沖縄米海兵隊のグアム「移転」に関する協定及び新基地の建設に反対する陳情
- 14 陳情平成21年第114号 辺野古新基地建設を押しつける「在沖海兵隊グアム移転協定」に関する陳情
- 15 陳情平成21年第125号 「普天間」代替基地建設工事等の中止を求める陳情
- 16 陳情平成21年第151号 在沖米軍人の基地内居住義務化と基地内住宅の建設計画の中止を求める陳情
- 17 陳情平成21年第154号 日米地位協定にかかわる裁判権放棄の日米密約の公表と破棄を日本政府に求める意見書採択の陳情
- 18 陳情平成21年第161号 「高江区周辺域におけるヘリパッド建設中止と計画撤回」を含む4項目の決議を求める陳情
- 19 陳情平成21年第163号 米国原子力潜水艦のホワイトビーチ寄港に反対する陳情
- 20 陳情平成21年第167号 米国原子力軍艦のホワイト・ビーチ寄港に関する陳情
- 21 陳情平成21年第169号 「普天間基地の即時閉鎖・辺野古新基地建設反対! 9・18県民集会」決議に関する陳情
- 22 陳情平成21年第185号 県当局に「普天間」代替基地建設事業(埋立事業)に係るアセス評価書についても県アセス審査会に審査させることを求める陳情
- 23 陳情平成21年第186号 「普天間」代替基地建設事業に係るアセス評価書作成前の事業者見解の提出・公表と公聴会開催を求める陳情
- 24 陳情平成21年第187号 「普天間」代替基地建設事業に係るアセスメントの検証を求める陳情

- 25 陳情平成21年第195号 在沖米軍基地の機能強化及び新たな基地建設に反対する陳情
- 26 陳情平成21年第207号 米国原子力軍艦のホワイト・ビーチ寄港に関する陳情
- 27 陳情平成21年第208号 米国原子力潜水艦のホワイト・ビーチ寄港に反対する陳情
- 28 陳情第21号 米国原子力潜水艦のホワイト・ビーチ寄港に反対する陳情
- 29 陳情第22号 米国原子力軍艦のホワイト・ビーチ寄港に対する陳情
- 30 陳情第26号 「座り込み住民弾圧裁判への抗議」を含む3項目の決議を求める陳情
- 31 軍使用土地、基地公害、演習、跡地利用計画等米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立

米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と県内移設に反対し、国外・県外移設を求める意見書

米軍普天間飛行場は、沖縄本島中部の市街地に位置し、その周辺には住宅や学校等が密集しており、万一事故等が発生した場合は、その被害は多くの周辺住民や各種施設に及ぶことが想定され、極めて危険性が高い場所となっている。

特に、平成16年8月13日に発生した沖縄国際大学構内への米軍海兵隊所属CH53D大型輸送機ヘリコプターの墜落事故は、一歩間違えば大惨事を引き起こしかねないもので、「世界一危険な飛行場」の存在を改めて内外に証明した。

このため、県民は同飛行場の返還を強く要求し、これを受け日米両政府は、平成8年の日米特別行動委員会（SACO）合意及び平成18年の在日米軍再編協議で同飛行場の全面返還を合意したところであるが、13年経過した今なお実現を見ることはなく、その危険性は放置されたままである。

ところで、県民は、去る大戦の悲惨な教訓から基地のない平和で安全な沖縄を希求しており、SACO合意の「普天間飛行場移設条件つき返還」は新たな基地の県内移設にほかならない。県民の意思はこれまで行われた住民投票や県民大会、各種世論調査などで明確に示されており、移設先とされた名護市辺野古沿岸域は国の天然記念物で、国際保護獣のジュゴンを始めとする希少生物をはぐくむ貴重な海域

であり、また新たなサンゴ群落が見つかるなど世界にも類を見ない美しい海域であることが確認されている。

また、宜野湾市民や県民は、最も危険な普天間飛行場を早期に全面返還し、政府の責任において跡地利用等課題解決を求めている。

さらに、地元名護市長は、辺野古の海上及び陸上への基地建設に反対している。

よって、本県議会は、県民の生命・財産・生活環境を守る立場から、日米両政府が普天間飛行場を早期に閉鎖・返還するとともに、県内移設を断念され、国外・県外に移設されるよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年2月24日

沖縄県議会

| | | |
|--------------|---|----|
| 内閣総理大臣 | } | あて |
| 外務大臣 | | |
| 防衛大臣 | | |
| 沖縄及び北方対策担当大臣 | | |
| 内閣官房長官 | | |

米軍車両によるひき逃げ事件に関する意見書

去る3月16日、名護市辺野古の国道329号で、米軍車両が軽自動車に追突し、そのまま逃走するというひき逃げ事件が発生した。

幸い乗っていた親子3名に大事はなかったが負傷していることや、猛スピードで追突された軽自動車が大破していることから、一歩間違えば生命を奪われる危険性があった重大な事件である。

また、加害車両が追突後救護をしなかったことや、逆にスピードを上げて現場から逃げ去ったこと、容疑者が事故を起こす前に飲酒していたことを認めたことから、県民は、事件の根底に米兵のモラルの低さや、法令遵守の意識の欠如、綱紀の乱れなどがあるとして、憤りを覚えている。

さらに、米軍は当初、日米地位協定に違反して容疑者を逮捕したと公表したが、車両の窃盗容疑のみでの拘束に一方的に変更していること、私服で、しかも飲酒の容疑者がいとも簡単に軍用車両を基地外に持ち出していること、米軍が県警察に理由を示さ

米軍車両によるひき逃げ事件に関する抗議決議

去る3月16日、名護市辺野古の国道329号で、米軍車両が軽自動車に追突し、そのまま逃走するというひき逃げ事件が発生した。

幸い乗っていた親子3名に大事はなかったが負傷していることや、猛スピードで追突された軽自動車が大破していることから、一步間違えば生命を奪われる危険性があった重大な事件である。

また、加害車両が追突後救護をしなかったことや、逆にスピードを上げて現場から逃げ去ったこと、容疑者が事故を起こす前に飲酒していたことを認めたことから、県民は、事件の根底に米兵のモラルの低さや、法令遵守の意識の欠如、綱紀の乱れなどがあるとして、憤りを覚えている。

さらに、米軍は当初、日米地位協定に違反して容疑者を逮捕したと公表したが、車両の窃盗容疑のみでの拘束に一方的に変更していること、私服で、しかも飲酒の容疑者がいとも簡単に軍用車両を基地外に持ち出していること、米軍が県警察に理由を示さずに容疑者のアルコール検査を依頼していること、これまで本県議会を初め県内のさまざまな団体は、米軍人・軍属などが引き起こすさまざまな事件・事故に対し、その都度嚴重な抗議を行うとともに、綱紀の肅正など必要な改善を行うよう繰り返し求めてきたにもかかわらず一向に改善されていないこと、繰り返される事件は一個人の問題ではなく、軍隊という組織の規律の問題であることから、県民は米軍への不信感を募らせている。

本来、ひき逃げ事件は極めて悪質な事件であり、到底許すことはできない。ましてや、負傷者を放置して逃走した行為は到底看過することはできないもので、しかも同様な事件が相次いでいることを考えると、日米地位協定で規定する「殺人など凶悪事件」に十分該当する事件として日米両政府は真摯に対処すべきである。

よって、本県議会は、県民の生命、人権及び安全を守る立場から、米兵による今回のひき逃げ事件に対し嚴重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに措置されるよう強く要求する。

記

- 1 県警察等からの捜査協力に真摯に対応するとと

ずに容疑者のアルコール検査を依頼していること、これまで本県議会を初め県内のさまざまな団体は、米軍人・軍属などが引き起こすさまざまな事件・事故に対し、その都度嚴重な抗議を行うとともに、綱紀の肅正など必要な改善を行うよう繰り返し求めてきたにもかかわらず一向に改善されていないこと、繰り返される事件は一個人の問題ではなく、軍隊という組織の規律の問題であることから、県民は米軍への不信感を募らせている。

本来、ひき逃げ事件は極めて悪質な事件であり、到底許すことはできない。ましてや、負傷者を放置して逃走した行為は到底看過することはできないもので、しかも同様な事件が相次いでいることを考えると、日米地位協定で規定する「殺人など凶悪事件」に十分該当する事件として日米両政府は真摯に対処すべきである。

よって、本県議会は、県民の生命、人権及び安全を守る立場から、米兵による今回のひき逃げ事件に対し嚴重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに措置されるよう強く要請する。

記

- 1 米軍に対し早急に具体的な捜査協力依頼を行い、容疑者の事情聴取が可能となるよう取り計らうとともに、事件の真相究明を早急に行うこと。
- 2 米軍に対し、早急な犯罪通報や起訴前であっても身柄の引き渡しを行うよう要求すること。
- 3 米軍人・軍属等の綱紀肅正を徹底的に行うよう求めること。
- 4 被害者に対する謝罪と完全な補償を早急に行うこと。
- 5 起訴前の容疑者の身柄引渡しを初め日米地位協定の抜本的な見直しを早急に行うとともに、基地の整理・縮小を促進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年3月25日

沖 縄 県 議 会

内 閣 総 理 大 臣
外 務 大 臣
防 衛 大 臣
沖縄及び北方対策担当大臣

あて

もに、容疑者の事情聴取に関し米軍で取り組める具体的な方策を検討して直ちに実施し、事件の真相究明を早急に行うこと。

- 2 県警察からの犯罪通報及び身柄引き渡し要求に対しては、真摯に対応し起訴前であっても身柄を引き渡すこと。
 - 3 米軍人・軍属等の綱紀肅正を徹底的に行うこと。
 - 4 被害者に対する謝罪と完全な補償を早急に行うこと。
 - 5 起訴前の容疑者の身柄引渡しを初め日米地位協定の抜本的な見直しを早急に行うとともに、基地の整理・縮小を促進すること。
- 上記のとおり決議する。

平成22年3月25日

沖 縄 県 議 会

駐 日 米 国 大 使
 在 日 米 軍 司 令 官
 在 日 米 軍 沖 縄 地 域 調 整 官
 在 沖 米 海 軍 艦 隊 活 動 司 令 官
 在 沖 米 国 総 領 事

}

あて

観光振興・新石垣空港 建設促進特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年2月26日(金曜日)

開 会 午後6時15分
 散 会 午後6時17分
 場 所 第5委員会室
 議 題

- 1 審査日程について

出 席

| | |
|-------|------------|
| 委 員 長 | 比 嘉 京 子 さん |
| 委 員 | 座喜味 一 幸 君 |
| | 新 垣 良 俊 君 |
| | 新 垣 哲 司 君 |
| | 仲宗根 悟 君 |
| | 玉 城 ノブ子 さん |
| | 平 良 昭 一 君 |
| | 新 垣 安 弘 君 |

欠 席

辻 野 ヒロ子 さん
 高 嶺 善 伸 君
 金 城 勉 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年3月23日(火曜日)

開 会 午後1時23分
 散 会 午後4時14分
 場 所 第5委員会室
 議 題

- 1 陳情平成21年第75号、同第136号、同第141号及び陳情第44号
- 2 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立(平成22年度ビジットおきなわ計画について)
- 3 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立(新石垣空港の整備事業の進捗状況について)
- 4 閉会中継続審査(調査)について

出 席

| | |
|-------|------------|
| 委 員 長 | 比 嘉 京 子 さん |
| 委 員 | 座喜味 一 幸 君 |
| | 新 垣 良 俊 君 |
| | 新 垣 哲 司 君 |
| | 仲宗根 悟 君 |
| | 高 嶺 善 伸 君 |
| | 玉 城 ノブ子 さん |
| | 金 城 勉 君 |
| | 平 良 昭 一 君 |
| | 新 垣 安 弘 君 |

欠 席

辻 野 ヒロ子 さん

説明員の職、氏名

| | |
|----------|-----------|
| 観光商工部長 | 勝 目 和 夫 君 |
| 観光企画課長 | 新 垣 昌 頼 君 |
| 観光振興課長 | 下 地 芳 郎 君 |
| 土木建築部長 | 仲 田 文 昭 君 |
| 新石垣空港統括監 | 新 垣 盛 勇 君 |
| 道路街路課長 | 親 里 末 守 君 |
| 空 港 課 長 | 与那覇 義 博 君 |

新石垣空港課長 栄野川 盛 信 君
教育庁文化課班長 島 袋 洋 君

審査概要

陳情3件について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、平成22年度ビジットおきなわ計画について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情1件について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、新石垣空港の整備事業の進捗状況について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情4件を採決した。

次に、閉会中継続審査(調査)については、別掲のとおり決定した。

観光振興・新石垣空港 建設促進特別委員会 閉会中継続審査(調査)事件一覧

- 1 陳情平成21年第75号 新空港の名称を「八重山空港」とすることに関する陳情
- 2 陳情平成21年第136号 EMを新しい観光資源として導入することに関する陳情
- 3 陳情平成21年第141号 沖縄県の政策を新しい観光資源として導入することに関する陳情
- 4 陳情第44号 沖縄県におけるカジノ構想に反対する陳情
- 5 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立

沖縄振興・那覇空港 整備促進特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年2月26日(金曜日)

開 会 午後6時15分
散 会 午後6時23分
場 所 第6委員会室

議 題

1 審査日程について

出 席

委 員 長 当 銘 勝 雄 君
委 員 仲 田 弘 毅 君
浦 崎 唯 昭 君
渡久地 修 君
糸 洲 朝 則 君
奥 平 一 夫 君
赤 嶺 昇 君
上 里 直 司 君
玉 城 義 和 君

欠 席

島 袋 大 君
池 間 淳 君
仲 村 未 央 さん

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年3月4日(木曜日)

開 会 午前11時2分
散 会 午後4時20分

場 所 第4委員会室

議 題

- 1 陳情平成21年第74号の5及び陳情第13号
- 2 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立(沖縄21世紀ビジョン(仮称)(案)について)

出 席

委 員 長 当 銘 勝 雄 君
副 委 員 長 島 袋 大 君
委 員 仲 田 弘 毅 君
浦 崎 唯 昭 君
池 間 淳 君
仲 村 未 央 さん
渡久地 修 君
糸 洲 朝 則 君
奥 平 一 夫 君
赤 嶺 昇 君
上 里 直 司 君
玉 城 義 和 君

説明員の職、氏名

企 画 部 長 川 上 好 久 君
 企画調整統括監 平 良 敏 昭 君
 文化環境部長 知 念 建 次 君
 福祉保健部長 奥 村 啓 子 さん
 農林水産部長 比 嘉 俊 昭 君
 観光商工部 久 場 長 武 君
 産業振興統括監

審査概要

陳情 2 件について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、沖縄21世紀ビジョン（仮称）（案）について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情 2 件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、審査日程の変更について協議し、決定した。

(3)

◎平成22年 3 月11日(木曜日)

開 会 午後 1 時 4 分
 散 会 午後 1 時 35 分
 場 所 第 6 委員会室

議 題

- 1 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立（沖縄21世紀ビジョン（仮称）（案）について）

出 席

委 員 長 当 銘 勝 雄 君
 副 委 員 長 島 袋 大 君
 委 員 仲 田 弘 毅 君
 浦 崎 唯 昭 君
 池 間 淳 君
 仲 村 未 央 さん
 渡久地 修 君
 糸 洲 朝 則 君
 奥 平 一 夫 君
 赤 嶺 昇 君
 上 里 直 司 君

欠 席

玉 城 義 和 君

審査概要

「沖縄21世紀ビジョン（仮称）（案）の中に施策

を盛り込むことを求める決議」について協議し、各会派に持ち帰り検討することで意見の一致を見た。

次に、審査日程の変更について協議し、決定した。

(4)

◎平成22年 3 月17日(水曜日)

開 会 午後 0 時 5 分
 散 会 午後 0 時 14 分
 場 所 第 6 委員会室

議 題

- 1 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立（沖縄21世紀ビジョン（仮称）（案）について）

出 席

委 員 長 当 銘 勝 雄 君
 副 委 員 長 島 袋 大 君
 委 員 仲 田 弘 毅 君
 浦 崎 唯 昭 君
 池 間 淳 君
 仲 村 未 央 さん
 渡久地 修 君
 糸 洲 朝 則 君
 赤 嶺 昇 君
 上 里 直 司 君
 玉 城 義 和 君

欠 席

奥 平 一 夫 君

審査概要

沖縄21世紀ビジョン（仮称）（案）について協議した。

なお、「「沖縄21世紀ビジョン（仮称）」（案）の中に施策を盛り込むことを求める決議」を別掲のとおり提出することになった。

(5)

◎平成22年 3 月23日(火曜日)

開 会 午後 1 時 24 分
 散 会 午後 2 時 54 分
 場 所 第 7 委員会室

議 題

- 1 陳情平成20年第193号

2 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立（沖縄振興計画の総点検の進捗状況について）

上 里 直 司 君
玉 城 義 和 君

3 閉会中継続審査（調査）について

説明員の職、氏名

企 画 部 長 川 上 好 久 君
観 光 商 工 部 玉 城 昌 常 君
商 工 振 興 課 班 長

出席

委 員 長 当 銘 勝 雄 君
副 委 員 長 島 袋 大 君
委 員 仲 田 弘 毅 君
浦 崎 唯 昭 君
池 間 淳 君
仲 村 未 央 さん
渡 久 地 修 君
糸 洲 朝 則 君
奥 平 一 夫 君
赤 嶺 昇 君

審査概要

陳情1件について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、沖縄振興計画の総点検の進捗状況について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情1件を採決した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

沖縄振興・那覇空港整備促進特別委員会陳情処理一覧表

イ 処理（陳情2件）

| 陳情番号 | 受理年月日 | 件名 | 陳情者名 | 審査の結果 | 措置 |
|-----------------|------------|--|---|-------|------------------------------|
| 平成21年第74号の5（継続） | 平成21年3月27日 | 平成21年度「離島・過疎地域振興に関する要望事項」に関する陳情 | 沖縄県離島振興協議会 会長 仲村 三雄 外1人 | 採 択 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（知事） |
| 第13号 | 平成22年1月14日 | 「沖縄21世紀ビジョン」における「美ぎ島美しや」圏域の振興策の拡充・強化に関する陳情 | 美ぎ島美しや市町村会 会長（宮古島市長） 下地 敏彦 外4人 | ” | ” |

**沖縄振興・那覇空港整備促進特別委員会
閉会中継続審査（調査）事件一覧**

- 1 陳情平成20年第193号 那覇空港拡張整備計画に関する陳情
- 2 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立

**「沖縄21世紀ビジョン（仮称）」
（案）の中に施策を盛り込むことを求める決議**

本県では、これまで3次にわたる沖縄振興開発計画と沖縄振興計画により総合的な施策を推進してきたが、依然として解決されない多くの問題を抱えている。

これまでの振興計画は、県によって素案は策定されたものの、国の主導で制約があり、県民の要望が満たされていないとの批判・反省がある。

これまでの振興計画においては、各面にわたる本土との格差是正や経済の自立発展に向けた取り組みがなされてきたが、依然として本土各県との格差が縮まらず、また本県の振興発展や県民生活に大きな負担となっている米軍基地の整理縮小が進まず、県民所得は全国の約70%、失業率は全国の約2倍と改

善されていない現状にある。

このような中、県は、このたび県民全体で描く初めての長期構想として、2030年の「あるべき姿」「ありたい姿」などを盛り込んだ「沖縄21世紀ビジョン（仮称）」（案）を作成した。

同構想は、2030年までの20年間にわたり、本県の将来像となり得る大切な基本構想として位置づけられるべき重要なものであることから、策定に当たっては、多くの県民が参画し県民視点に立った企画立案が求められるものである。

よって、本県議会は、県民全体が参画し共有する基本構想とするため、「沖縄21世紀ビジョン（仮称）」（案）の中に、特に重要と思われる下記の施策を盛り込むことを強く要請する。

記

- 1 沖縄戦や戦後27年間の米軍占領下の時代について、苦難の歴史であったことを含めて明確に記述すること。
- 2 米軍基地の現状や過重な基地負担の状況等について、正確に記述するとともに、基地のない沖縄を目指すことを明記すること。
- 3 少子化対策を含む子供を取り巻く社会環境等の諸問題や教育、人材育成について、重要な項目として位置づけ、記述すること。
- 4 基地返還跡地の有効活用を重要な項目として位置づけ、本県の土地利用のあり方を明確にするとともに、鉄軌道の導入等総合的な交通体系の確立を明記すること。
- 5 戦後処理の一環である不発弾処理に係る諸課題等については、国の全面的責任で早期解決を図るよう明記すること。
- 6 尖閣諸島等国境離島、排他的経済水域等沖縄を取り巻く広大な海域について、重要な項目として位置づけ、表現すること。
- 7 目指すべき5つの将来像のそれぞれの「県民が望む将来の姿」や「基本的課題」を要約し、県民が20年後の沖縄の姿を具体的に思い描けるように工夫すること。
- 8 新たな沖縄振興計画と構想との関係、整合性等を明確にしておくこと。
- 9 社会的変化に対応できるようローリングシステムの導入を図り、一定期間経過後、ビジョンの見直し等の検討を図ることができる表現を明記すること。

上記のとおり決議する。

平成22年3月25日

沖縄県議会

沖縄県知事 あて

予算特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年2月26日（金曜日）

開 会 午後6時28分

散 会 午後7時10分

場 所 第7委員会室

議 題

- 1 委員長の互選
- 2 副委員長の互選
- 3 予算特別委員会運営要領について
- 4 理事の選任

出 席

| | |
|---------|-----------|
| 委 員 長 | 当 銘 勝 雄 君 |
| 副 委 員 長 | 上 里 直 司 君 |
| 委 員 | 佐喜真 淳 君 |
| | 仲 田 弘 毅 君 |
| | 嶺 井 光 君 |
| | 新 垣 哲 司 君 |
| | 具 志 孝 助 君 |
| | 照 屋 大 河 君 |
| | 崎 山 嗣 幸 君 |
| | 渡久地 修 君 |
| | 當 山 眞 市 君 |
| | 前 島 明 男 君 |
| | 瑞慶覧 功 君 |
| | 奥 平 一 夫 君 |
| | 平 良 昭 一 君 |
| | 赤 嶺 昇 君 |
| | 吉 田 勝 廣 君 |

欠 席

| | |
|--|-----------|
| | 前 田 政 明 君 |
| | 翁 長 政 俊 君 |

審査概要

委員会条例第7条の規定により、議長が委員会を招集し、年長委員の当銘勝雄君が委員長の互選

に関する職務を行い、指名推選により当銘勝雄君が委員長に選任された。

次に、指名推薦により副委員長に上里直司君が選任された。

次に、予算特別委員会運営要領について協議し、決定した。

次に、佐喜真淳君、渡久地修君、當山眞市君、奥平一夫君及び平良昭一君が選任された。

(2)

◎平成22年3月1日(月曜日)

開 会 午前10時2分
散 会 午後6時5分
場 所 第7委員会室
議 題

- 1 甲第24号議案 平成21年度沖縄県一般会計補正予算(第4号)
- 2 甲第25号議案 平成21年度沖縄県下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 3 甲第26号議案 平成21年度沖縄県中城湾港(新港地区)臨海部土地造成事業特別会計補正予算(第1号)
- 4 甲第27号議案 平成21年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計補正予算(第1号)
- 5 甲第28号議案 平成21年度沖縄県中城湾港(新港地区)整備事業特別会計補正予算(第2号)
- 6 甲第29号議案 平成21年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計補正予算(第1号)
- 7 甲第30号議案 平成21年度沖縄県駐車場事業特別会計補正予算(第2号)
- 8 甲第31号議案 平成21年度沖縄県病院事業会計補正予算(第2号)
- 9 甲第32号議案 平成21年度沖縄県水道事業会計補正予算(第2号)
- 10 甲第33号議案 平成21年度沖縄県一般会計補正予算(第5号)

出 席

委 員 長 当 銘 勝 雄 君
副 委 員 長 上 里 直 司 君
委 員 佐喜真 淳 君
仲 田 弘 毅 君
嶺 井 光 君
翁 長 政 俊 君

新 垣 哲 司 君
具 志 孝 助 君
照 屋 大 河 君
崎 山 嗣 幸 君
渡久地 修 君
前 田 政 明 君
當 山 眞 市 君
前 島 明 男 君
瑞慶覧 功 君
奥 平 一 夫 君
平 良 昭 一 君
赤 嶺 昇 君
吉 田 勝 廣 君

説明のため出席した者の職・氏名

知 事 公 室 長 上 原 良 幸 君
防 災 危 機 管 理 課 長 饒平名 知 成 君
総 務 部 長 兼 島 規 君
財 政 課 長 小橋川 健 二 君
企 画 部 長 川 上 好 久 君
情 報 政 策 課 長 松 堂 勇 君
福 祉 保 健 部 長 奥 村 啓 子 さん
福 祉 ・ 援 護 課 長 吳 屋 禮 子 さん
青 少 年 ・ 児 童 新 垣 郁 男 君
家 庭 課 長
医 務 課 長 新 垣 盛 勝 君
薬 務 衛 生 課 長 国 吉 広 典 君
農 林 水 産 部 長 比 嘉 俊 昭 君
農 地 水 利 課 長 桃 原 喜 邦 君
森 林 緑 地 課 長 長 間 孝 君
水 産 課 長 勝 俣 亜 生 君
観 光 商 工 部 長 勝 目 和 夫 君
新 産 業 振 興 課 班 長 富 永 千 尋 君
経 営 金 融 課 長 比 嘉 清 市 君
企 業 立 地 推 進 課 長 安 里 肇 君
雇 用 労 政 課 長 湧 川 盛 順 君
土 木 建 築 部 長 仲 田 文 昭 君
道 路 管 理 課 長 前 泊 勇 栄 君
河 川 課 長 小 禄 茂 徳 君
港 湾 課 長 神 田 豪 君
都 市 計 画 ・ 儀 間 真 明 君
モ ノ レール 課 長
建 築 指 導 課 長 當 銘 健 一 郎 君
住 宅 課 長 渡 久 山 盛 清 君
新 石 垣 空 港 課 長 栄 野 川 盛 信 君

| | |
|-----------------|-----------|
| 教 育 長 | 金 武 正八郎 君 |
| 総 務 課 長 | 島 袋 道 男 君 |
| 財 務 課 長 | 平 敷 昭 人 君 |
| 文 化 課 長 | 大 城 彗 君 |
| 企 業 局 長 | 宮 城 嗣 三 君 |
| 病 院 事 業 局 長 | 知 念 清 君 |
| 警 察 本 部 長 | 黒 木 慶 英 君 |
| 警 務 部 会 計 課 長 | 関 口 悟 史 君 |
| 監 査 委 員 事 務 局 長 | 宮 城 清 志 君 |
| 議 会 事 務 局 長 | 遊 佐 信 雄 君 |

審査概要

甲第24号議案から甲第30号議案まで及び甲第33号議案の補正予算8件について総務部長から、甲第31号議案について病院事業局長から、甲第32号議案について企業局長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑に入り、地方法人特別譲与税の減額理由、地域総合整備資金貸付事業等県債の内容、平成21年度の県債発行額総額と今後の推移、県債残高の状況、国庫支出金の内次減の理由、財源振りかえの理由と効果、2月27日に起きた地震の被害状況、地震津波に対する今後の対応、地震津波に伴う警報の出し方、校舎の耐震化対策の状況、勝連城跡等の石積みの崩落、緊急経済対策関連の補正の考え方、国庫支出金返還に要する経費の総額と補正計上の理由、国庫支出金返還の責任と再発防止、地上デジタル放送受信機等普及率向上に伴う受信機等購入費支援金の減額補正の理由、地デジ受信機普及事業における難視聴地域対策の状況、墓地埋葬費の減額補正の理由、県内墓地の状況と墓地基本計画の策定、墓地行政の市町村への権限移譲、墓地問題に係る市町村との連携、・認可外保育施設の認可化促進等に要する経費の減額補正の理由、待機児童解消の方策、安心子ども基金事業の平成21年度実績と目標、医学臨床研修事業費の内容、感染予防費の内容、無料低額診療制度に対する認識と対応、県立中部病院の看護師不足に対する取り組み、農業費の減額補正の理由、含みつ糖振興対策事業費の減額補正の理由、県民の森の利用状況、保安林整備の状況、植樹事業費と公共交通施設整備事業費の内容、モズク等県産水産物産地加工推進事業の減額補正の理由、モズクに係る農林水産部と観光商工部との連携、健康バイオ関連産業費の内容と増額補正の理由、緊急雇用創出事業臨時特例基金事業の内容と減額補正の

理由、雇用関係の基金の活用、信用保証協会への補てんの内容、貸しはがしの状況、借りかえ制度の充実、特別自由貿易地域の用地面積、特別自由貿易地域の分譲済み用地の割合と賃貸のために県が購入した用地の割合、特別自由貿易地域振興費の内容と増額補正の理由、特別自由貿易地域への企業立地・進出の状況、ブラジル国営ペトロbras社の進出、緊急地方道路整備事業費の減額補正の理由、橋梁の劣化進行に伴う対応、ワルミ架橋工事の進捗状況、河川事業費の減額補正の内容、県有ダム維持補修管理事業の内容、港湾環境整備事業費の減額補正の理由、中城湾港東埠頭のしゅんせつ工事に対する見解、文化財発掘調査の新石垣空港建設工事への影響、住宅手当緊急特別措置事業の目的と内容、県営住宅建設事業の内容、小学校費、中学校費の減額補正の内容、沖縄警察署跡地の活用、繰越明許費の補正理由、伯耆移住100周年記念建設補助事業の内容、県営林道開設事業と林道工事環境監視調査事業の内容、県営林道林道開設事業の繰越理由、住宅・建築物耐震改修等事業の内容、八重山地域の電線類地中化事業の状況、県立学校太陽光発電システム設置事業の内容等について質疑が行われた。

(3)

◎平成22年3月2日(火曜日)

| | |
|-----|---------|
| 開 会 | 午後5時56分 |
| 散 会 | 午後11時9分 |
| 場 所 | 第7委員会室 |
| 議 題 | |

- 1 甲第24号議案 平成21年度沖縄県一般会計補正予算(第4号)
- 2 甲第25号議案 平成21年度沖縄県下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 3 甲第26号議案 平成21年度沖縄県中城湾港(新港地区)臨海部土地造成事業特別会計補正予算(第1号)
- 4 甲第27号議案 平成21年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計補正予算(第1号)
- 5 甲第28号議案 平成21年度沖縄県中城湾港(新港地区)整備事業特別会計補正予算(第2号)
- 6 甲第29号議案 平成21年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計補正予算(第1号)

- 7 甲第30号議案 平成21年度沖縄県駐車場事業
特別会計補正予算（第2号）
- 8 甲第31号議案 平成21年度沖縄県病院事業会
計補正予算（第2号）
- 9 甲第32号議案 平成21年度沖縄県水道事業会
計補正予算（第2号）
- 10 甲第33号議案 平成21年度沖縄県一般会計補
正予算（第5号）

出席

| | | |
|------|---|-------|
| 委員長 | 長 | 当銘勝雄君 |
| 副委員長 | 長 | 上里直司君 |
| 委員 | | 佐喜真淳君 |
| | | 仲田弘毅君 |
| | | 嶺井光君 |
| | | 翁長政俊君 |
| | | 新垣哲司君 |
| | | 具志孝助君 |
| | | 照屋大河君 |
| | | 崎山嗣幸君 |
| | | 渡久地修君 |
| | | 前田政明君 |
| | | 當山眞市君 |
| | | 前島明男君 |
| | | 瑞慶覧功君 |
| | | 奥平一夫君 |
| | | 平良昭一君 |
| | | 赤嶺昇君 |
| | | 吉田勝廣君 |

説明のため出席した者の職、氏名

副知事 安里カツ子さん
総務部長 兼島規君

審査概要

平成22年3月1日の審査において保留となっていた国庫補助金返還の件について、総務部長、副知事からそれぞれ報告・説明を聴取した。

次に、甲第24号議案の採決に先立ち、共産党所属委員から反対意見が表明され、甲第24号議案を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、甲第25号議案から甲第33号議案までの補正予算9件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

(4)

◎平成22年3月5日（金曜日）

開会 午前10時1分
散会 午後7時16分
場所 第7委員会室
議題

- 1 甲第1号議案 平成22年度沖縄県一般会計予算
- 2 甲第2号議案 平成22年度沖縄県農業改良資金特別会計予算
- 3 甲第3号議案 平成22年度沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計予算
- 4 甲第4号議案 平成22年度沖縄県中小企業振興資金特別会計予算
- 5 甲第5号議案 平成22年度沖縄県下地島空港特別会計予算
- 6 甲第6号議案 平成22年度沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計予算
- 7 甲第7号議案 平成22年度沖縄県下水道事業特別会計予算
- 8 甲第8号議案 平成22年度沖縄県所有者不明土地管理特別会計予算
- 9 甲第9号議案 平成22年度沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計予算
- 10 甲第10号議案 平成22年度沖縄県中央卸売市場事業特別会計予算
- 11 甲第11号議案 平成22年度沖縄県林業改善資金特別会計予算
- 12 甲第12号議案 平成22年度沖縄県中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事業特別会計予算
- 13 甲第13号議案 平成22年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計予算
- 14 甲第14号議案 平成22年度沖縄県自由貿易地域特別会計予算
- 15 甲第15号議案 平成22年度沖縄県産業振興基金特別会計予算
- 16 甲第16号議案 平成22年度沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計予算
- 17 甲第17号議案 平成22年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計予算
- 18 甲第18号議案 平成22年度沖縄県駐車場事業特別会計予算
- 19 甲第19号議案 平成22年度沖縄県公共用地先行取得事業特別会計予算
- 20 甲第20号議案 平成22年度沖縄県中城湾港（泡瀬地区）臨海部土地造成事業特別会計予算

- 21 甲第21号議案 平成22年度沖縄県病院事業会計予算
- 22 甲第22号議案 平成22年度沖縄県水道事業会計予算
- 23 甲第23号議案 平成22年度沖縄県工業用水道事業会計予算

出席

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 当銘勝雄君 |
| 副委員長 | 上里直司君 |
| 委員 | 佐喜真淳君 |
| | 仲田弘毅君 |
| | 嶺井光君 |
| | 翁長政俊君 |
| | 新垣哲司君 |
| | 具志孝助君 |
| | 照屋大河君 |
| | 崎山嗣幸君 |
| | 渡久地修君 |
| | 前田政明君 |
| | 當山眞市君 |
| | 前島明男君 |
| | 瑞慶覧功君 |
| | 奥平一夫君 |
| | 平良昭一君 |
| | 赤嶺昇君 |
| | 吉田勝廣君 |

説明のため出席した者の職、氏名

- | | |
|----------|--------|
| 知事公室長 | 上原良幸君 |
| 基地対策課長 | 又吉進君 |
| 返還問題対策課長 | 町田優君 |
| 防災危機管理課長 | 饒平名知成君 |
| 総務部長 | 兼島規君 |
| 財政統括監 | 黒島師範君 |
| 人事課長 | 當間秀史君 |
| 職員厚生課長 | 仲村渠重政君 |
| 財政課長 | 小橋川健二君 |
| 税務課長 | 下地功君 |
| 管財課長 | 武内孝夫君 |
| 行政改革推進課長 | 仲本朝久君 |

審査概要

甲第1号議案から甲第23号議案までの23件について予算の総括説明及び総務部関係予算について総務部長から、知事公室関係予算について知事公室長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑に入り、

普天間飛行場の移設先としてホワイトビーチと津堅島を結ぶ沖合案が浮上しているとの報道に対する県の見解、普天間飛行場の移設問題に対する県の基本的姿勢、現政権の沖縄に対する姿勢、長島昭久防衛大臣政務官の発言に対する見解、基地関係業務費の内容、日米ロードマップにおける海兵隊移設の条件、米軍の制限水域、日米地位協定における重要犯罪の容疑者の引き渡しと環境問題、日米地位協定の見直しを政府に求める決議の看板の設置、ひき逃げ事件に係る日米地位協定上の問題点、日米地位協定における免税措置、東村高江のヘリパッド建設に対する県の考え方、ヘリパッドの数と状況、ヘリパッドの役割と必要性、北部訓練場問題に対する県の見解、米海兵隊基地内における闘犬種ピットブルの管理、ドイツ・韓国・日本における駐留米軍人の数、米軍基地負担の割合、知事の県民大会への参加、知事訪米の目的と時期、知事が明確に県内移設反対と言わない理由、明確な県内移設反対表明の時期、大規模災害推進事業の内容、2月27日の地震による勝連城跡等の被害状況、災害に対する危機管理体制、ハザードマップの作成状況、地域防災計画の現状と改善点、不発弾処理計画の内容、磁気探査事業の状況、広域磁気探査の箇所、消防広域化の目的と取り組み状況、市町村の消防体制、沖縄県の消防職員の充足率、特定地域特別振興事業の内容と実施状況、私立学校等教育振興費とインターナショナルスクールのかかわり、私学の老朽校舎改築への補助、5次にわたる行財政改革の効果、沖縄県行財政改革プランの達成率、従来の行政改革手法と新沖縄県行財政改革プランの違い、沖縄21世紀ビジョンと行財政改革プランのかかわり、新政権の予算編成方針による沖縄県財政への影響、高率補助のあり方、一括交付金制度の内容、沖縄の独自制度の導入、ポスト沖縄振興計画がなかった場合の影響、県民一人当たりの県債残高と公債費、公債費の繰り上げ可能額、公債比率の現状と推移、臨時財政対策債の今後の見通し、健全財政への見通し、財政需要の見通し、県民一人当たりの納税額、平成22年度の県税収入減の理由、本県の自主財源比率及び九州平均・全国平均との比較、自主財源比率の低さの原因、自主財源比率を高めるための対策、新税創設事業の考え方と今後の見通し、賦課徴収費の内容、自動車税の不納欠損額の推移、自動車

取得税減収の理由、コンビニ収納の実績、主要4基金の現状と今後の対応、資金不足を来している公営企業会計、県職員のメンタルの現状、若夏荘の現状、沖縄県所有者不明土地管理特別会計の現状等について質疑が行われた。

(5)

◎平成22年3月8日(月曜日)

開 会 午前10時1分
散 会 午後8時7分
場 所 第7委員会室
議 題

1 甲第1号議案 平成22年度沖縄県一般会計予算

出 席

| | |
|---------|-----------|
| 委 員 長 | 当 銘 勝 雄 君 |
| 副 委 員 長 | 上 里 直 司 君 |
| 委 員 | 佐喜真 淳 君 |
| | 仲 田 弘 毅 君 |
| | 嶺 井 光 君 |
| | 翁 長 政 俊 君 |
| | 新 垣 哲 司 君 |
| | 具 志 孝 助 君 |
| | 照 屋 大 河 君 |
| | 崎 山 嗣 幸 君 |
| | 渡久地 修 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 當 山 眞 市 君 |
| | 前 島 明 男 君 |
| | 瑞慶覧 功 君 |
| | 奥 平 一 夫 君 |
| | 平 良 昭 一 君 |
| | 赤 嶺 昇 君 |
| | 吉 田 勝 廣 君 |

説明のため出席した者の職、氏名

| | |
|---------|-----------|
| 企 画 部 長 | 川 上 好 久 君 |
| 企画調整課長 | 桃 原 利 功 君 |
| 企画調整課 | 名嘉真 稔 君 |
| 跡地対策監 | |
| 交通政策課長 | 津 覇 隆 君 |
| 森林資源研究 | 具志堅 允 一 君 |
| センター所長 | |
| 情報政策課長 | 松 堂 勇 君 |
| 地域・離島課長 | 當 銘 健 一 君 |

| | |
|-----------|-----------|
| 市町村課長 | 山 里 清 君 |
| 会計管理者 | 名渡山 司 君 |
| 監査委員事務局長 | 宮 城 清 志 君 |
| 人事委員会事務局長 | 伊 礼 幸 進 君 |
| 議会事務局長 | 遊 佐 信 雄 君 |
| 総務部財政統括監 | 黒 島 師 範 君 |

審査概要

甲第1号議案について企画部長から説明を聴取した後、質疑に入り、・沖縄21世紀ビジョン(仮称)策定の意義と目標、沖縄21世紀ビジョン県民アンケートの内容、知事による沖縄21世紀ビジョン(仮称)変更の可否、沖縄21世紀ビジョン(仮称)策定と県議会とのかかわり、沖縄21世紀ビジョン(仮称)における米軍基地の位置づけ、沖縄振興計画総点検作業の進捗状況、沖縄振興開発計画・沖縄振興計画の総括と評価、沖縄振興策の検証、自立経済に関する認識と対策、自立経済と基地との関係、復帰後の産業構造の推移、投資的経費の産業経済に与える影響、物的生産力・自立係数・財政依存度・域内自給率の状況、県民生活の現状・貧困の問題に対する認識、沖縄の潜在力を生かした分野や介護等経済波及効果の高い分野への県施策の重点化、ひもつき補助金や出先機関廃止の沖縄県に与える影響や問題点、地方交付税の亜熱帯補正の創設に関する県の見解、北部振興事業の目的、従来の北部振興事業費と今回の予算の違い、北部振興事業と基地問題との関連、今後の北部振興の取り組み、跡地利用法における大規模跡地と特定跡地の違い、基地返還跡地利用による波及効果、金武町ギンバル訓練場跡地利用計画の内容、国頭村と恩納村の跡地利用の状況、普天間飛行場跡地利用計画策定作業の進捗状況、普天間飛行場の跡地整備に要する費用、普天間飛行場の跡地利用に関する宜野湾市との連携及び国との調整、跡地利用に対する県のかかわり、那覇空港国際物流拠点化推進事業の内容、ANAの国際貨物基地構想に対する県の支援策、日本航空の破綻による路線の減、那覇空港の利用状況と今後の推移、地方空港の廃港と軍事空港化に関する認識、那覇空港の滑走路増設の進捗状況とオープンパラレルの可能性、航空機燃料税等の軽減、鉄軌道導入の効果、鉄軌道導入を含む沖縄の公共交通体系の整備に関する県の考え、鉄軌道導入に対する国の姿勢、那覇市内の渋滞箇所と渋滞路線解消計画、基幹バス導入

の進捗状況、路線バス補助に対する市町村負担の軽減、タクシー新法施行の影響、レンタカー台数増加の原因と影響、沖縄科学技術大学院大学の開学までの見通し、インターナショナルスクール整備の考え方と資金確保の見通し、インターナショナルスクール設置事業が国の事業として実施できなかった理由、インターナショナルスクール整備支援と私学振興策との整合性、インターナショナルスクール運営に関する株式会社旺文社との連携、インターナショナルスクール建設における地元優先発注、森林資源研究センターの運営と研究成果、松くい虫防除に関する研究に要した金額と年数、リュウキュウマツ材線虫病総合防除技術研究の内容と進捗状況、松くい虫の根絶、海洋温度差発電の実証実験に対する県のスタンス、沖縄県水産海洋研究センター用地のめど、地上デジタル放送推進事業の県の負担分と市町村負担分、地上デジタル放送の整備に伴う南北大東両村の維持管理費負担、難視聴地域の解消、地上デジタル放送化の課題、高速通信網整備に係る要請、企業局長の答弁と沖縄本島ダム事業促進協議会負担金の整合性、雨水の利用、離島の振興策、離島フェアの入場者数、離島航路補助金の内容と補助実績、離島航路補助金及び運輸振興助成補助金に対する包括外部監査の指摘、石油製品輸送等補助事業の内容、県内離島における石油製品価格の状況、竹富島における大規模リゾート開発計画の状況、離島特産品販売・開発支援事業の内容、健全化判断比率の状況、名桜大学公立化の進捗状況、県庁内のクーラー使用等について質疑が行われた。

(6)

◎平成22年3月9日(火曜日)

開会 午前10時0分

散会 午後8時45分

場 所 第7委員会室

議 題

- 1 甲第1号議案 平成22年度沖縄県一般会計予算
- 2 甲第6号議案 平成22年度沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計予算
- 3 甲第21号議案 平成22年度沖縄県病院事業会計予算

出 席

| | |
|---------|-----------|
| 委 員 長 | 当 銘 勝 雄 君 |
| 副 委 員 長 | 上 里 直 司 君 |
| 委 員 | 佐喜真 淳 君 |
| | 仲 田 弘 毅 君 |
| | 嶺 井 光 君 |
| | 翁 長 政 俊 君 |
| | 新 垣 哲 司 君 |
| | 具 志 孝 助 君 |
| | 照 屋 大 河 君 |
| | 崎 山 嗣 幸 君 |
| | 渡久地 修 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 當 山 眞 市 君 |
| | 前 島 明 男 君 |
| | 瑞慶覧 功 君 |
| | 奥 平 一 夫 君 |
| | 平 良 昭 一 君 |
| | 赤 嶺 昇 君 |
| | 吉 田 勝 廣 君 |

説明のため出席した者の職、氏名

| | |
|----------|------------|
| 文化環境部長 | 知 念 建 次 君 |
| 文化振興課長 | 松 川 満 君 |
| 県立芸術大学 | 富 田 浩 勝 君 |
| 教務学生課長 | |
| 平和・男女 | 瑞慶村 むつみ さん |
| 共同参画課長 | |
| 県民生活課長 | 譜久山 典 子 さん |
| 環境政策課長 | 安 富 雅 之 君 |
| 環境保全課長 | 西 浜 完 治 君 |
| 環境整備課長 | 下 地 岳 芳 君 |
| 自然保護課長 | 久 田 友 弘 君 |
| 福祉保健部長 | 奥 村 啓 子 さん |
| 保健衛生統括監 | 宮 里 達 也 君 |
| 福祉・援護課長 | 呉 屋 禮 子 さん |
| 高齢者福祉 | 金 城 武 君 |
| 介護課長 | |
| 青少年・児童 | 新 垣 郁 男 君 |
| 家庭課長 | |
| 障害保健福祉課長 | 垣 花 芳 枝 さん |
| 医務課長 | 新 垣 盛 勝 君 |
| 国保・健康 | 上 原 真理子 さん |
| 増進課長 | |
| 国保・健康 | 平 順 寧 君 |
| 増進課専門監 | |

| | |
|----------|--------|
| 薬務衛生課長 | 国吉広典君 |
| 病院事業局長 | 知念清君 |
| 病院事業統括監 | 小川和美君 |
| 県立病院課長 | 新屋勉君 |
| 経営企画監 | 桃原幹雄君 |
| 医療企画監 | 安慶田英樹君 |
| 総務部財政統括監 | 黒島師範君 |

審査概要

甲第1号議案、甲第6号議案及び甲第21号議案の3件について文化環境部長、福祉保健部長及び病院事業局長からそれぞれ説明を聴取した後、質議に入り、沖縄国際アジア音楽祭のネーミングの経緯、沖縄国際アジア音楽祭関連予算の減額理由、沖縄国際アジア音楽祭の経済波及効果と投資額、県立芸術大学の卒業生の就職状況と沖縄文化に対する貢献度、県立芸術大学と県民の森の連携、県立郷土劇場にかわる施設の検討、本県におけるDVの実態、消費者啓発事業の具体的取り組みと県警察本部との連携、本県における貸金業の実態、ゼロゼロ物件や追い出し屋の実態と対策、本県の温室効果ガス削減目標と達成率、温室効果ガス削減の取り組みと米軍基地との関係、普天間飛行場移設に係る今後の環境アセスメント手続、沖縄県環境評価条例におけるリゾートホテルの位置づけ、石綿健康被害救済基金の基金残高と事業内容、嘉手納飛行場の爆音問題、那覇市上空の騒音110番、沖縄県生活環境保全条例に基づく米軍基地環境問題への取り組み状況、放射能調査の内容、赤土流出対策費の事業内容、赤土対策調査結果に基づく赤土除去作業、赤土流出防止対策における関係機関の連携、億首川の赤土流出状況、環境保全対策基金事業の内容、漂着ゴミの実態と回収・処理、廃棄物処理計画推進事業の内容、産業廃棄物処理業者優良化促進事業の内容、産業廃棄物税基金積立金の内容、市町村産廃対策支援事業の内容、産業廃棄物管理型最終処分場の残余容量、公共関与産業廃棄物管理型最終処分場整備の進捗状況と県の姿勢、産業廃棄物の不法投棄への対応、沖縄海岸国定公園カルスト地区の整備計画、サンゴ礁保全情報整備事業の内容、マングース対策事業の成果、32軍司令部ごうの一部公開、戦没者遺骨収集事業の現状と課題、前期高齢者交付金の減額に対する県の対応、特別養護老人ホームの入所待機者の実態調査、前期高齢者財政調整制度の見直し、

軽費老人ホーム緑樹苑の問題、特別養護老人ホームの待機者の実態と対策、独立行政法人福祉医療機構借入金利子補給補助金の見直し、青少年健全育成への決意、児童虐待の実態と対策、新すこやか保育事業費の増額、多様な保育ニーズの把握、病児保育施設への補助、障害児保育における年齢制限、保育所等社会福祉法人に対する利子補給金の見直し、法人保育所における正規職員・非正規職員の雇用実態、身体障害者スポーツの競技人口、身体障害者スポーツ振興協会設立に向けた取り組み、離島・へき地ドクターバンク等支援事業の内容、自治医科大学への学生派遣数と研修期間、救急医療用ヘリコプター活用事業費の算出根拠、県内のH I V感染者の推移と取り組み、ノロウィルス対策、新型インフルエンザの流行状況、地域周産期医療体制整備事業の内容、病床転換助成事業の内容、公立病院の再編ネットワーク化の状況、乳幼児医療費助成の現物給付、沖縄県の乳幼児死亡率と新生児死亡率、沖縄愛楽園・宮古南静園の将来構想計画の進捗状況、市町村国民健康保険の赤字の主な原因と収納率、食品衛生監視費の事業内容、全国高等学校総合体育大会における食品衛生対策、薬物乱用対策、病院事業の課題、県立病院経営再建計画の進捗状況、一般会計からの繰入金状況、定数条例の単独条例化、中部病院の看護師不足、医師手当廃止の影響、医師退職者の数と理由、医師確保の取り組み、医療機器の充実、県立病院の未収金回収の民間委託、安田診療所に対する支援策、宮古病院改築の進捗状況等について質疑が行われた。

(7)

◎平成22年3月10日(水曜日)

| | |
|-----|---------|
| 開 会 | 午前10時0分 |
| 散 会 | 午後9時5分 |
| 場 所 | 第7委員会室 |
| 議 題 | |

- 1 甲第1号議案 平成22年度沖縄県一般会計予算
- 2 甲第2号議案 平成22年度沖縄県農業改良資金特別会計予算
- 3 甲第9号議案 平成22年度沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計予算
- 4 甲第10号議案 平成22年度沖縄県中央卸売市

場事業特別会計予算

5 甲第11号議案 平成22年度沖縄県林業改善資金特別会計予算

出席

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 当銘勝雄君 |
| 副委員長 | 上里直司君 |
| 委員 | 佐喜真淳君 |
| | 仲田弘毅君 |
| | 嶺井光君 |
| | 翁長政俊君 |
| | 新垣哲司君 |
| | 具志孝助君 |
| | 照屋大河君 |
| | 崎山嗣幸君 |
| | 渡久地修君 |
| | 前田政明君 |
| | 當山眞市君 |
| | 前島明男君 |
| | 瑞慶覧功君 |
| | 奥平一夫君 |
| | 平良昭一君 |
| | 赤嶺昇君 |
| | 吉田勝廣君 |

説明のため出席した者の職、氏名

| | |
|----------|--------|
| 農林水産部長 | 比嘉俊昭君 |
| 流通政策課長 | 島田勉君 |
| 営農支援課長 | 本永忠久君 |
| 園芸振興課長 | 與那嶺宏明君 |
| 糖業農産課長 | 山城毅君 |
| 畜産課長 | 赤嶺幸信君 |
| 村づくり計画課長 | 知念武君 |
| 農地水利課長 | 桃原喜邦君 |
| 農村整備課長 | 山内光雄君 |
| 森林緑地課長 | 長間孝君 |
| 水産課長 | 勝俣亜生君 |
| 漁港漁場課長 | 小山榮一君 |
| 警察本部長 | 黒木慶英君 |
| 警務部長 | 磯丈男君 |
| 生活安全部長 | 山入端辰次君 |
| 刑事部長 | 内間康洋君 |
| 交通部長 | 當銘健徳君 |
| 総務部財政統括監 | 黒島師範君 |

審査概要

甲第1号議案、甲第2号議案及び甲第9号議案

から甲第11号議案までの5件について農林水産部長及び警察本部長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑に入り、沖縄農業の展望、農林水産関係予算の内容と特徴、農林水産関係予算削減への対応、新政権の制度変更による農業農村整備事業への影響、沖縄振興計画の目標値の達成可能性、沖縄県の農林水産業の総生産額と経済波及効果、沖縄の特性を生かした農林水産業振興の考え方、FTA交渉及びEPA交渉の状況、復帰後の農家数・農業従事者数の推移、農家所得向上の取り組み、マンゴー輸送対策事業の内容、シークワサーの販路拡大、ANA国際物流センターの活用と連携、農業協同組合のいわゆる貸しはがしの実態と今後の対応、はるさー一定着促進事業の内容、農でグッジョブ推進事業の内容と目標値、農業大学校卒業生の就農率、ヤブカラシの防除、沖縄産マンゴーの販売戦略、マンゴー収穫期拡大システム確立事業の内容、農業者戸別所得補償制度の内容と有効性、農業者戸別所得補償制度のさとうきびへの適用、県内食料自給率、ウリミバエ根絶のための事業費のトータル、黒糖の在庫と要因、黒糖の販路拡大の取り組み、さとうきび農業用地の状況、さとうきびの砂糖以外への利用、リュウキュウイモの呼称と経済波及効果、肉用子牛価格対策、食肉価格安定基金見直しへの対応、沖縄県畜産改良センター民営化の状況、沖縄県畜産改良センターにおける育成牛の飼育頭数と導入頭数、農地改良関係予算の状況、農業農村整備関係予算削減の影響、農業基盤整備の要整備面積と整備率、農地基整備の目標達成の見通し、新しい農村漁村地域整備交付金の使い方、土地改良調査計画費に係る包括外部監査の指摘、農業集落排水事業の内容と市町村財政への影響、農業集落排水施設の整備状況と今後の見通し、大城ダムの整備状況、耕作放棄地の現状、耕作放棄地対策事業の内容、耕作放棄地再利用の背景と取り組み、林業関係予算の状況、林業生産高、特用林産物の生産額と生産地、キノコ消費量に占める県産キノコの割合、県産キノコの流通と地産地消の取り組み、森林保全及び木材利用促進特例基金事業の内容と活用、薪炭生産額、森林病虫害防除費予算の増額理由、松くい虫駆除への投下予算額と年数、樹幹注入剤の予算と補助対象、松くい虫を撲滅できない理由、米軍基地内の松くい虫防除、造林緑化対策費の内容、林道密

度と林道延長、林道の整備理由、県営林道工事休止の理由、林道費削減の理由、今後の林道建設の考え方、海藻類の生産額減少の原因、モズクの販路拡大、モズク等水産物消費拡大普及員の役割、つくり育てる漁業の現状と課題、養殖業の生産量・生産額・就業者の推移、おきなわ型つくり育てる漁業推進事業の内容、鳥島・久米島両射爆場返還の取り組み、米軍が使用する訓練水域に係る漁業補償、公安委員会の設置目的及び権限、警察署の設置基準、警察官の定数、警察官の時間外手当、被留置者の食糧費の内容、県警ヘリコプターの任務と活動、沖縄警察署跡地の利用、警察署庁舎整備における県内業者の活用、日米地位協定の枠組みの中での捜査、米軍人等の犯罪において録音・録画の可視化を求めて供述を拒否した事例、米軍人等の出頭拒否に対する今後の対処方針、飲酒運転の現状と対策、飲酒運転根絶条例施行の効果、飲酒運転の再犯率、夜型社会と飲酒問題、運転代行業者の実態と取り締まり、不良行為少年及び刑法犯少年の推移、少年非行防止対策、児童虐待の相談件数と事例、少年のサイバー犯罪被害の現状と対策、出会い系喫茶の営業実態と対策、バカラ賭博の実態、ヤミ金融の実態と対策、振り込め詐欺の実態と対策、高速道路無料化に伴う懸念事項と対策、盲人用の音声誘導つき信号機の設置状況、レンタカー事故の発生状況、二輪車の駐輪スペース設置等について質疑が行われた。

(8)

◎平成22年3月11日(木曜日)

開会 午前10時0分
散会 午後8時25分
場所 第7委員会室
議題

- 1 甲第1号議案 平成22年度沖縄県一般会計予算
- 2 甲第3号議案 平成22年度沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計予算
- 3 甲第4号議案 平成22年度沖縄県中小企業振興資金特別会計予算
- 4 甲第12号議案 平成22年度沖縄県中城湾港(新港地区)臨海部土地造成事業特別会計予算
- 5 甲第14号議案 平成22年度沖縄県自由貿易地域特別会計予算

6 甲第15号議案 平成22年度沖縄県産業振興基金特別会計予算

出席

| | |
|------|-----------|
| 委員長 | 当 銘 勝 雄 君 |
| 副委員長 | 上 里 直 司 君 |
| 委員 | 佐喜真 淳 君 |
| | 仲 田 弘 毅 君 |
| | 嶺 井 光 君 |
| | 翁 長 政 俊 君 |
| | 新 垣 哲 司 君 |
| | 具 志 孝 助 君 |
| | 照 屋 大 河 君 |
| | 崎 山 嗣 幸 君 |
| | 渡久地 修 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 當 山 眞 市 君 |
| | 前 島 明 男 君 |
| | 瑞慶覧 功 君 |
| | 奥 平 一 夫 君 |
| | 平 良 昭 一 君 |
| | 赤 嶺 昇 君 |
| | 吉 田 勝 廣 君 |

説明のため出席した者の職、氏名

| | |
|-----------|-----------|
| 観光商工部長 | 勝 目 和 夫 君 |
| 産業政策課長 | 上 原 俊 次 君 |
| 産業政策課副参事 | 新 垣 秀 彦 君 |
| 新産業振興課長 | 武 村 勲 君 |
| 商工振興課長 | 嵩 原 安 伸 君 |
| 経営金融課長 | 比 嘉 清 市 君 |
| 企業立地推進課長 | 安 里 肇 君 |
| 情報産業振興課長 | 米 須 清 光 君 |
| 雇用労政課長 | 湧 川 盛 順 君 |
| 観光企画課長 | 新 垣 昌 頼 君 |
| 観光振興課長 | 下 地 芳 郎 君 |
| 交流推進課長 | 宮 城 信 之 君 |
| 労働委員会事務局長 | 比 嘉 久 晶 君 |
| 総務部財政統括監 | 黒 島 師 範 君 |

審査概要

甲第1号議案、甲第3号議案、甲第4号議案、甲第12号議案、甲第14号議案及び甲第15号議案の6件について観光商工部長及び労働委員会事務局長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑に入り、産業振興制度調査事業の内容、海外事務所の役割と機能強化、包括外部監査の指摘と改善点、資源

エネルギー開発促進費の予算減額理由と事業内容、エネルギー安定供給促進事業の内容、本県の地下資源・海洋資源の可能性、沖縄県中小企業振興条例第7条の地域部会の活用、産業振興公社対策費の内容、おきなわ新産業創出投資事業の内容と成果、沖縄文化等コンテンツ産業創出支援事業の背景と内容、コンテンツ産業の意味、公契約条例の制定コースの郷整備の状況、酒税軽減措置が切れた場合の影響、泡盛業界に対する支援策、発明奨励費の事業概要、技能向上普及対策事業の内容、技能検定試験の職種と実施回数、地場産業育成・伝統文化産業育成に関する基本的考え、伝統工芸産業の現状、学校給食等への琉球漆器の導入、県産含みつ糖の売れ残りの実態と対策、中小企業の就業者数、小売業者の廃業・倒産の状況、空き店舗の状況、国際見本市の可能性、沖縄科学技術大学院大学敷地内の製土工場の移転、県単融資事業の内容と保証料の軽減、一国二制度の拡大策、特別自由貿易地域の当初予定の立地企業数、特別自由貿易地域用地の処分面積と割合、特別自由貿易地域事業の公債費償還の実績と予定、特別自由貿易地域用地の分譲見込みと今後の対応、工業用水道特別会計への操出金の状況と操出理由、工業用水の需要予測と実績、IT関連企業の立地状況と今後の誘致目標、IT関連企業誘致が進んだ背景と主な公的支援策、IT企業労働者の平均賃金及び正規・非正規雇用の割合、IT産業における労働争議、IT津梁パーク事業費の減額理由、高度IT人材育成の取り組み、IT産業の雇用効果、GIXの設置と活用、金融特区事業の概要、第3次沖縄県産業振興計画の金融関係目標値の達成率、沖縄県の最低賃金の状況、県内の雇用実態と課題、これまでの雇用対策、労働人口増加の理由、労働関係予算の推移、平成22年度労働関係予算の増額理由、正規雇用労働者と非正規雇用労働者の割合・賃金、失業率の推移、知事公約の失業率全国平均並み4%の達成見通し、緊急雇用創出事業の実績と見込み、県立職業能力開発校の非常勤講師の配置と労働条件、生活困窮者や失業者に対する雇用のワンストップサービス、職業能力関係の人材育成、シルバー人材センターの設置目的と事業概要、シルバー人材センターの設立状況と会員数、労働委員会における相談・調停等の状況、労政・女性就業センターにおける労働相談の内容、那覇

地域職業訓練センターの役割と実績、観光統計の算定方法と根拠、観光客100万人の実現可能性、外国人誘客100万人の目標達成の取り組み、財団法人沖縄観光コンベンションビューローの役割、観光乳域客の現状、平成21年度観光入域客と経済損失、観光関係従事者の平均給与と県の平均給与の比較、全国高等学校総合体育大会関係者の来県見込み数と県の対応、1万人規模のエンターテインメント施設の必要性、カジノ導入に関する県の考え方、カジノに関する地域報告会の状況、地元ホテル業界の実態、環境共生型観光地形成支援事業の内容、グリーンツーリズムやブルーツーリズムの今後の見通し、エイサーの普及状況と全国エイサー大会の概要、民泊への支援と安全対策、観光宣伝誘致強化費の内容と予算減額の理由、観光人材育成の取り組み、駐在員配置による中国人誘客活動、健康保養型観光の取り組み状況、文化資源活用型観光戦略モデル構築事業の内容、国際観光戦略モデル事業及び観光誘致対策事業の予算減額の理由、観光誘致につながる芸能施設の必要性、修学旅行の現状と今後の取り組み、修学旅行が観光入域客に占める割合、修学旅行の誘致活動、MICE事業の推移と経済波及効果、海外留学生の受入人数と出身国、外国青年招致事業の概要、世界のウチナーンチュ大会のプレイベント、世界のウチナーンチュ大会を契機とした経済交流、美ら島沖縄大使ネットワーク事業の目的と効果等について質疑が行われた。

(9)

◎平成22年3月12日(金曜日)

開 会 午前10時2分
散 会 午後8時27分
場 所 第7委員会室
議 題

- 1 甲第1号議案 平成22年度沖縄県一般会計予算
- 2 甲第5号議案 平成22年度沖縄県下地島空港特別会計予算
- 3 甲第7号議案 平成22年度沖縄県下水道事業特別会計予算
- 4 甲第13号議案 平成22年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計予算
- 5 甲第16号議案 平成22年度沖縄県中城湾港

- (新港地区) 整備事業特別会計予算
- 6 甲第17号議案 平成22年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計予算
- 7 甲第18号議案 平成22年度沖縄県駐車場事業特別会計予算
- 8 甲第19号議案 平成22年度沖縄県公共用地先行取得事業特別会計予算
- 9 甲第20号議案 平成22年度沖縄県中城湾港(泡瀬地区)臨海部土地造成事業特別会計予算
- 10 甲第22号議案 平成22年度沖縄県水道事業会計予算
- 11 甲第23号議案 平成22年度沖縄県工業用水道事業会計予算

出席

| | |
|------|-----------|
| 委員長 | 当 銘 勝 雄 君 |
| 副委員長 | 上 里 直 司 君 |
| 委員 | 佐喜真 淳 君 |
| | 仲 田 弘 毅 君 |
| | 嶺 井 光 君 |
| | 翁 長 政 俊 君 |
| | 新 垣 哲 司 君 |
| | 具 志 孝 助 君 |
| | 照 屋 大 河 君 |
| | 崎 山 嗣 幸 君 |
| | 渡久地 修 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 當 山 眞 市 君 |
| | 前 島 明 男 君 |
| | 瑞慶覧 功 君 |
| | 奥 平 一 夫 君 |
| | 平 良 昭 一 君 |
| | 赤 嶺 昇 君 |
| | 吉 田 勝 廣 君 |

説明のため出席した者の職、氏名

| | |
|------------|-------------|
| 土木建築部長 | 仲 田 文 昭 君 |
| 土木企画課長 | 喜 瀬 普 一 郎 君 |
| 土木企画課事業管理監 | 茂 上 圭 弘 君 |
| 道路街路課長 | 新 里 末 守 君 |
| 道路管理課長 | 前 泊 勇 栄 君 |
| 河川課長 | 小 祿 茂 徳 君 |
| 海岸防災課長 | 田 盛 繁 美 君 |
| 港湾課長 | 神 田 豪 君 |
| 港湾課 港務課長 | 比 嘉 幸 雄 君 |

| | |
|--------------|-------------|
| 空港課長 | 与那覇 義 博 君 |
| 都市計画・モノレール課長 | 儀 間 真 明 君 |
| 下水道課長 | 宮 城 光 秋 君 |
| 建築指導課長 | 當 銘 健 一 郎 君 |
| 住宅課長 | 渡久山 盛 清 君 |
| 施設建築課長 | 志 村 恵 一 郎 君 |
| 新石垣空港課長 | 栄野川 盛 信 君 |
| 企業局長 | 宮 城 嗣 三 君 |
| 企業企画統括監 | 金 城 敏 樹 君 |
| 企業技術統括監 | 大 城 康 信 君 |
| 総務企画課長 | 慶田本 正 二 君 |
| 総務企画課事務監 | 宮 城 一 彦 君 |
| 配水管理課長 | 名渡山 兼 男 君 |
| 建設計画課長 | 東恩納 宏 君 |
| 総務部財政統括監 | 黒 島 師 範 君 |

審査概要

甲第1号議案、甲第5号議案、甲第7号議案、甲第13号議案、甲第16号議案から甲第20号議案まで、甲第22号議案及び甲第23号議案の11件について土木建築部長及び企業局長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑に入り、土木建築部関係予算の状況、今後の土木行政の課題、最低制限価格の設定、「コンクリートから人へ」に対する認識、高率補助に対する認識、土木建築業界の若年新規卒業者の雇用状況、県内企業への受注機会拡大の取り組み、公共事業の繰り越しと執行率、建設工事コスト調査の結果、本県の道路整備状況、本県の道路整備が進んだ理由、国道449号本部北道路の進捗状況、沖縄西海岸道路整備の進捗状況と供用見通し、南部東道路の進捗状況と今後の見通し、国道の地方道への移管、沖縄自動車道無料化社会実験の国への要請、県道のスリップ対策、交通渋滞の改善策、県道24号線改良事業の概要と進捗状況、県道33号線から県道37号線を結ぶ具志川沖縄線の進捗状況、県道36号線の平成22年度の予算内容と進捗状況、県道77号線いわゆる平和の道の進捗状況、県道77号線の国道への格上げ、県道104号線改修事業の内容、県道224号線の進捗状況、伊良部架橋建設の進捗状況と影響、県内全域を自転車で回れる道路づくり、那覇市赤嶺・壺川地区の自転車道モデル事業の内容、無電柱化推進事業の実績と今後の計画、無電柱化推進事業の費用負担、電柱方式と地中化方式の1キロメートル当たりの事業費、

億首川の河川整備の内容、億首ダム建設工事現場からの赤土流出への対応、ダム建設負担金、奥間ダム事業参画断念の理由、県内ダムの老朽度調査及び活断層調査、県有施設における雨水利用システム導入状況、人口集中地区における雨水対策、那覇港管理組合への出資額、那覇港港湾計画の進捗状況、那覇港管理組合常勤副管理者の実績、那覇港湾のトランシップ貨物の状況、宜野湾市仮設避難港の現状と今後の計画、本部新港沖への防波堤の設置、沖縄市泡瀬干潟控訴審判決の趣旨、中城湾港泡瀬地区埋立事業を公共事業評価監視委員会にかけなかった理由、中城湾港泡瀬地区埋立事業の経済的合理性の精査と公有水面埋め立て等のスケジュール、中城湾港新港地区の事業内容、中城湾港マリン・タウン土地造成事業の元利償還状況と土地の処分状況、県管理空港の数と経営状況、空港事業の継続、下地島空港及び旧多良間空港残地の利活用、財団法人海洋博覧会記念公園管理財団の予算・従業員数・発注の状況、財団法人海洋博覧会記念公園管理財団への県職員派遣、沖縄県総合運動場のサッカー場に関する苦情、竹富島のリゾート開発計画に対する認識、都市計画と基地跡地利用の関係、南城都市計画区域の指定、沖縄都市モノレールの経営状況、沖縄都市モノレールの延伸、沖縄都市モノレール高架下の活用、旭橋周辺地区再開発事業の内容、社団法人沖縄県バス協会への貸し付け、県営都市公園整備事業の内容、中城公園の概要と進捗状況、那覇市農連市場地区防災街区整備事業の進捗状況と県有地の活用法、市町村単独公共下水道の状況、改正建築基準法による建築確認の遅延問題、耐震基準に満たない民間住宅への支援、屋上水タンクの地震対策、構造及び設備設計一級建築士による法適合確認の義務化、県内の構造設計一級建築士及び設備設計一級建築士の状況、県営団地の消防法適合状況と防火管理、沖縄県の住宅事情、旧郵住協団地に係る推進協議会の設置目的と再開発のめど、県営団地の工事発注、県営団地の分離・分割発注の状況、分離・分割発注と一括発注の効果比較、県営団地の入居収入基準見直し、県営住宅の建設計画、県営住宅入居者募集に係る優遇措置と競争率、新石垣空港整備事業の進捗状況、新石垣空港ターミナル建設業務の地元発注、新石垣空港の国際旅客施設、水道基

本料金の地域差、河川から取水している地区数、地震の被害状況と対応策、最近の水需給の状況、新石川浄水場建設工事の高度浄水処理施設の基礎工事で使われる鋼材の搬入港、名護浄水場の夜間・休日外部委託の内容、一般会計から工業用水道事業会計への繰り入れ、責任分解の問題、水質平準化の取り組み、パイプラインの耐震化、海水淡水化事業の概要等について質疑が行われた。

(10)

◎平成22年3月15日(月曜日)

開 会 午前10時1分
散 会 午後9時38分
場 所 第7委員会室
議 題

1 甲第1号議案 平成22年度沖縄県一般会計予算

出 席

| | |
|---------|-----------|
| 委 員 長 | 当 銘 勝 雄 君 |
| 副 委 員 長 | 上 里 直 司 君 |
| 委 員 | 佐喜真 淳 君 |
| | 仲 田 弘 毅 君 |
| | 嶺 井 光 君 |
| | 翁 長 政 俊 君 |
| | 新 垣 哲 司 君 |
| | 具 志 孝 助 君 |
| | 照 屋 大 河 君 |
| | 崎 山 嗣 幸 君 |
| | 渡久地 修 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 當 山 眞 市 君 |
| | 前 島 明 男 君 |
| | 瑞慶覧 功 君 |
| | 奥 平 一 夫 君 |
| | 平 良 昭 一 君 |
| | 赤 嶺 昇 君 |
| | 吉 田 勝 廣 君 |

説明のため出席した者の職、氏名

| | |
|---------|-------------|
| 教 育 長 | 金 武 正 八 郎 君 |
| 教育管理統括監 | 岩 井 健 一 君 |
| 教育指導統括監 | 大 城 浩 君 |
| 総務課長 | 島 袋 道 男 君 |
| 財務課長 | 平 敷 昭 人 君 |
| 施設課長 | 前 原 昌 直 君 |

| | |
|--------------------|--------|
| 福利課長 | 武内正幸君 |
| 県立学校教育課長 | 諸見里明君 |
| 県立学校教育課 特別支援教育監 | 東風平朝淳君 |
| 県立学校教育課副参事 | 黒島忠君 |
| 義務教育課長 | 上原敏彦君 |
| 保健体育課長 | 渡嘉敷道之君 |
| 生涯学習振興課長 | 石垣安重君 |
| 文化課長 | 大城慧君 |
| 全国高校総体 推進課長 | 大城勇君 |
| 総務部財政統括監 | 黒島師範君 |

審査概要

甲第1号議案について教育長から説明を聴取した後、質疑に入り、本県の学校教育の目標、教育長の教育に対する理念、教育予算の状況、本県教育の運営主体、教育委員会の権能、教育委員の選任方法、教育委員長・教育長の位置づけ、米軍機墜落を想定した避難訓練が行われていることに対する見解、老朽校舎の改築状況、学校の統廃合に伴う校舎の跡利用、学校編成整備計画と沖縄21世紀ビジョン（仮称）のかかわり、南部農林高等学校と南部工業高等学校の再編統合の進捗状況、県立学校職員負担軽減検討推進事業の内容、県立高校の定数割れの状況、連携型の中高一貫教育の取り組み状況と成果、本部高等学校における中高一貫教育の課題、中途退学者の定義と現状、経済的理由による中途退学者の推移、高等学校授業料滞納者の実態、授業料滞納による出席停止処分の状況、親の収入の差による教育の格差、進級規定の見直しと教育効果、高等学校生徒就学支援センターへの移動状況、高校卒業予定者の就職内定率、高校卒業者の就職率の課題と取り組み状況、就職活動支援事業の内容、ジョブサポーター配置事業の概要及び効果、専門高等学校運営に当たっての抱負、専門高等学校の社会実践活動の取り組み例、美咲特別支援学校の定員増に伴う教員配置、特別支援学校における医療的ケアの状況、本県の留学制度の状況と卒業後の進路、沖縄県・ハワイ州高校生交流事業の実績と今後の方向性、外国青年招致事業の内容、財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団への補助金、小学校・中学校・高等学校の不登校生徒の状況、本県の子供たちの学力が向上

しない原因と対策、今回の全国学力・学習状況調査の趣旨と抽出校数、学習支援等非常勤講師の配置状況と緊急雇用基金の活用、N I Eに対する県教育委員会の評価、30人学級の現状と今後の見通し、小学校6年生まで全部30人以下学級になった場合の教員数と予算額、少子化の教育現場への影響、本県の過大規模校の現状とこれまでの取り組み状況、中一ギャップ対策事業の目的と内容、臨時的任用教員の実数と法的根拠、小・中学校の事務職員の臨時的任用職員の状況、教職員の精神疾患による休職者数の推移と経済的損失、教職員の病気休職者数、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等配置事業の概要、子供の貧困に対する認識、教材費・給食費等の父母負担、修学旅行に行けなかった児童生徒の状況、県内の小・中学校におけるコンピューター教育、ポリビア国沖縄県民移住地教育施設における日本語教育の状況、琉球漆器を使った学校給食用食器の導入、1人当たりの学校給食費と総額、学校給食費の滞納率、歯科治療・眼科治療を要する子供の状況、歯科治療・眼鏡の購入費への修学援助制度の拡充、子供たちのサプリメント使用状況、全国高等学校総合体育大会開催の意義と選手強化の状況、全国高等学校総合体育大会の選手役員等による植樹の実施、全国高等学校総合体育大会関係者の宿舎の確保、学校緑化の必要性、日本オープンゴルフ選手権イベントへの教育面からの参画、障害を持つ高校生のボクシング競技、放課後子ども教室推進事業の内容と成果、離島読書活動支援事業の目的、過疎地域自立促進特別措置法を活用した図書館の設置、図書館の困窮者・失業者支援における観光商工部との連携、県立図書館分館の設置根拠、県立図書館八重山分館のレファレンス業務、全国高等学校PTA連合会大会沖縄大会の赤字の原因検証、県立博物館・美術館の館長配置の考え方、沖縄戦における集団自決に対する認識、国立歴史民族博物館が展示説明で軍関与を削除したことに対する見解、糸数城跡修復保存整備事業の状況、佐敷グスクと大里グスクの国指定への動き、国指定重要文化財「新垣家」修復事業の進捗状況、新石垣空港の文化財発掘調査等について質疑が行われた。

(11)

◎平成22年3月16日（火曜日）

開 会 午前10時1分
散 会 午後0時15分
場 所 第7委員会室
議 題

- 1 甲第1号議案 平成22年度沖縄県一般会計予算

出 席

| | |
|---------|-----------|
| 委 員 長 | 当 銘 勝 雄 君 |
| 副 委 員 長 | 上 里 直 司 君 |
| 委 員 | 佐喜真 淳 君 |
| | 仲 田 弘 毅 君 |
| | 嶺 井 光 君 |
| | 翁 長 政 俊 君 |
| | 新 垣 哲 司 君 |
| | 具 志 孝 助 君 |
| | 照 屋 大 河 君 |
| | 崎 山 嗣 幸 君 |
| | 渡久地 修 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 當 山 眞 市 君 |
| | 前 島 明 男 君 |
| | 瑞慶覧 功 君 |
| | 奥 平 一 夫 君 |
| | 平 良 昭 一 君 |
| | 赤 嶺 昇 君 |
| | 吉 田 勝 廣 君 |

説明のため出席した者の職、氏名

知 事 仲井眞 弘 多 君
福祉保健部長 奥 村 啓 子 さん

審査概要

甲第1号議案について総括質疑に入り、まず初めに知事に対し、農業予算の大幅削減への対応、北部訓練場及び訓練空域・海域の撤去、生活環境保全条例に基づく基地内立入調査の実施、普天間飛行場県内移設に対する知事の考え、インターナショナルスクールへの補助と私学支援の整合性について質疑が行われ、次に、知事及び福祉保健部長に対し、公共関与型産業廃棄物処理施設計画のおくれに対する認識と知事自身による交渉の必要性、県産品の販路拡大のための組織体制、沖縄自動車道の無料化に伴う公安委員会との調整、現政権との信頼関係、名護市辺野古沿岸案の可能性、知事の県民大会参加の条件、障害児保育の年齢制限の見直し、保育所入所基準の職業差別的運用状

況について質疑が行われた。次に、知事に対し、東村高江の米軍ヘリパット建設に対する考え、オスプレイ配備の信憑性、知事訪米のスタンス、日米地位協定改定に向けた決意、30人学級実施の県単独予算、林道建設に係る費用対効果の算定法と環境への配慮、東村高江住民との懇談、名護市辺野古代替施設案の断念、軽費老人ホーム補助金削減に伴う施設運営問題に対する取り組みと県補助のあり方、鉄軌道導入に対する知事の姿勢、福建・沖縄友好会館廃止に係る行財政改革プランの再検討、全国知事会における普天間飛行場県外移設問題の提起について質疑が行われた。

(12)

◎平成22年3月23日(火曜日)

開 会 午前10時6分
散 会 午前11時54分
場 所 第7委員会室
議 題

- 1 甲第1号議案 平成22年度沖縄県一般会計予算
- 2 甲第2号議案 平成22年度沖縄県農業改良資金特別会計予算
- 3 甲第3号議案 平成22年度沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計予算
- 4 甲第4号議案 平成22年度沖縄県中小企業振興資金特別会計予算
- 5 甲第5号議案 平成22年度沖縄県下地島空港特別会計予算
- 6 甲第6号議案 平成22年度沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計予算
- 7 甲第7号議案 平成22年度沖縄県下水道事業特別会計予算
- 8 甲第8号議案 平成22年度沖縄県所有者不明土地管理特別会計予算
- 9 甲第9号議案 平成22年度沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計予算
- 10 甲第10号議案 平成22年度沖縄県中央卸売市場事業特別会計予算
- 11 甲第11号議案 平成22年度沖縄県林業改善資金特別会計予算
- 12 甲第12号議案 平成22年度沖縄県中城湾港(新港地区)臨海部土地造成事業特別会計予算
- 13 甲第13号議案 平成22年度沖縄県宜野湾港整

備事業特別会計予算

- 14 甲第14号議案 平成22年度沖縄県自由貿易地域特別会計予算
- 15 甲第15号議案 平成22年度沖縄県産業振興基金特別会計予算
- 16 甲第16号議案 平成22年度沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計予算
- 17 甲第17号議案 平成22年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計予算
- 18 甲第18号議案 平成22年度沖縄県駐車場事業特別会計予算
- 19 甲第19号議案 平成22年度沖縄県公共用地先行取得事業特別会計予算
- 20 甲第20号議案 平成22年度沖縄県中城湾港（泡瀬地区）臨海部土地造成事業特別会計予算
- 21 甲第21号議案 平成22年度沖縄県病院事業会計予算
- 22 甲第22号議案 平成22年度沖縄県水道事業会計予算
- 23 甲第23号議案 平成22年度沖縄県工業用水道事業会計予算

出席

| | |
|------|-----------|
| 委員長 | 当 銘 勝 雄 君 |
| 副委員長 | 上 里 直 司 君 |
| 委員 | 佐喜真 淳 君 |
| | 仲 田 弘 毅 君 |
| | 嶺 井 光 君 |
| | 翁 長 政 俊 君 |
| | 新 垣 哲 司 君 |
| | 具 志 孝 助 君 |
| | 照 屋 大 河 君 |
| | 崎 山 嗣 幸 君 |
| | 渡久地 修 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 當 山 眞 市 君 |
| | 前 島 明 男 君 |
| | 瑞慶覧 功 君 |
| | 奥 平 一 夫 君 |
| | 平 良 昭 一 君 |
| | 赤 嶺 昇 君 |
| | 吉 田 勝 廣 君 |

審査概要

議案の採決に先立ち、甲第1号議案に対して共

産党所属委員から予算の組み替え動議が提出された。

次に、甲第1号議案に対する組み替え動議を採決した結果、賛成少数で否決されたことに伴い、原案を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、甲第1号議案に対して改革の会所属委員から附帯動議が提出された。

次に、甲第1号議案に対する附帯動議を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、甲第12号議案の採決に先立ち、共産党所属委員から反対意見が表明され、甲第12号議案を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、甲第14号議案の採決に先立ち、共産党所属委員から反対意見が表明され、甲第14号議案を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、甲第16号議案の採決に先立ち、共産党所属委員から反対意見が表明され、甲第16号議案を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、甲第17号議案の採決に先立ち、共産党所属議員から反対意見が表明され、甲第17号議案を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、甲第20号議案の採決に先立ち、共産党所属委員から反対意見が表明され、甲第20号議案を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、甲第23号議案の採決に先立ち、共産党所属委員から反対意見が表明され、甲第23号議案を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、甲第2号議案から甲第11号議案まで、甲第13号議案、甲第15号議案、甲第18号議案、甲第19号議案、甲第21号議案及び甲第22号議案の16件掲のとおり決定した。

予算特別委員会議案処理一覧表

イ 処理(33件)

(先議)

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|-------|---|--------------|
| 甲第24号 | 平成21年度沖縄県一般会計補正予算(第4号) | 多数 原案可決 |
| 甲第25号 | 平成21年度沖縄県下水道事業特別会計補正予算(第2号) | 全会一致 原案可決 |
| 甲第26号 | 平成21年度沖縄県中城湾港(新港地区)臨海部土地造成事業特別会計補正予算(第1号) | 〃 |
| 甲第27号 | 平成21年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計補正予算(第1号) | 〃 |
| 甲第28号 | 平成21年度沖縄県中城湾港(新港地区)整備事業特別会計補正予算(第2号) | 〃 |
| 甲第29号 | 平成21年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計補正予算(第1号) | 〃 |
| 甲第30号 | 平成21年度沖縄県駐車場事業特別会計補正予算(第2号) | 〃 |
| 甲第31号 | 平成21年度沖縄県病院事業会計補正予算(第2号) | 〃 |
| 甲第32号 | 平成21年度沖縄県水道事業会計補正予算(第2号) | 〃 |
| 甲第33号 | 平成21年度沖縄県一般会計補正予算(第5号) | 〃 |

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|------|------------------------------|--------------|
| 甲第1号 | 平成22年度沖縄県一般会計予算 | 多数 原案可決 |
| 甲第2号 | 平成22年度沖縄県農業改良資金特別会計予算 | 全会一致 原案可決 |
| 甲第3号 | 平成22年度沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計予算 | 〃 |
| 甲第4号 | 平成22年度沖縄県中小企業振興資金特別会計予算 | 〃 |
| 甲第5号 | 平成22年度沖縄県下地島空港特別会計予算 | 〃 |
| 甲第6号 | 平成22年度沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計予算 | 〃 |
| 甲第7号 | 平成22年度沖縄県下水道事業特別会計予算 | 〃 |
| 甲第8号 | 平成22年度沖縄県所有者不明土地管理特別会計予算 | 〃 |

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|-------|------------------------------------|--------------|
| 甲第9号 | 平成22年度沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計予算 | 全会一致 原案可決 |
| 甲第10号 | 平成22年度沖縄県中央卸売市場事業特別会計予算 | 〃 |
| 甲第11号 | 平成22年度沖縄県林業改善資金特別会計予算 | 〃 |
| 甲第12号 | 平成22年度沖縄県中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事業特別会計予算 | 多数 原案可決 |
| 甲第13号 | 平成22年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計予算 | 全会一致 原案可決 |
| 甲第14号 | 平成22年度沖縄県自由貿易地域特別会計予算 | 多数 原案可決 |
| 甲第15号 | 平成22年度沖縄県産業振興基金特別会計予算 | 全会一致 原案可決 |
| 甲第16号 | 平成22年度沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計予算 | 多数 原案可決 |
| 甲第17号 | 平成22年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計予算 | 〃 |
| 甲第18号 | 平成22年度沖縄県駐車場事業特別会計予算 | 全会一致 原案可決 |
| 甲第19号 | 平成22年度沖縄県公共用地先行取得事業特別会計予算 | 〃 |
| 甲第20号 | 平成22年度沖縄県中城湾港（泡瀬地区）臨海部土地造成事業特別会計予算 | 多数 原案可決 |
| 甲第21号 | 平成22年度沖縄県病院事業会計予算 | 全会一致 原案可決 |
| 甲第22号 | 平成22年度沖縄県水道事業会計予算 | 〃 |
| 甲第23号 | 平成22年度沖縄県工業用水道事業会計予算 | 多数 原案可決 |

(別紙)

甲第1号議案「平成22年度沖縄県一般会計予算」に対する附帯決議

大学院大学設置支援事業費のインターナショナルスクール校舎の整備費に対しては、下記の事項に留意して執行すること。

記

- 1 県は同事業に対して、これ以上の予算上の支援を行わないこと。
- 2 今回の措置との均衡を保つため、私学への助成に関し見直しを行い、今後十分な支援を行うこと。
- 3 事業の実施に当たっては、地元企業への優先発注や地元資材の活用等に努めること。
- 4 運営主体の役割や権限、責任の所在を明確にすること。

平成22年第1回沖縄県議会(定例会)

閉会中継続審査(調査)

総務企画委員会 委員派遣

(1)

視察調査の日時

平成22年5月22日(1日)

視察調査の場所

那覇市(那覇空港新貨物ターミナル)

視察調査事項

- 1 交通運輸及び通信について(国際航空貨物流の取り組みについて)

参加者

| | |
|-------|-------|
| 委員長 | 當間盛夫君 |
| 委員 | 島袋大君 |
| | 照屋守之君 |
| | 崎山嗣幸君 |
| | 新里米吉君 |
| | 前田政明君 |
| | 金城勉君 |
| | 新垣清涼君 |
| 委員外議員 | 佐喜真淳君 |

(2)

視察調査の日時

自 平成22年5月25日(4日間)
至 平成22年5月28日

視察調査の場所

北海道栗山町、夕張市、札幌市、石狩市及び千歳市

視察調査事項

- 1 市町村行財政について(議会改革・議会活性化について)
- 2 市町村行財政について(夕張市財政再建計画について)
- 3 予算及び行財政について(北海道道州制特別区域計画の実施状況について、北海道の自主課税権活用状況・道税徴収対策について、夕張市財政再建計画に対する道の支援策について及び北海道政策評価条例に基づく政策評価制度の運用状況について)
- 4 総合開発及び地域振興について(構造改革特区認定事例(港湾物流特区)について)
- 5 交通運輸及び通信について(国際航空貨物物

流の取り組みについて)

参加者

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 當間盛夫君 |
| 副委員長 | 山内末子さん |
| 委員 | 島袋大君 |
| | 吉元義彦君 |
| | 照屋守之君 |
| | 浦崎唯昭君 |
| | 金城勉君 |
| | 糸洲朝則君 |
| | 新垣清涼君 |
| | 玉城義和君 |

経済労働委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年5月17日(月曜日)

開会 午後1時11分

散会 午後3時12分

場所 第1委員会室

議題

- 1 農林水産業について(宮崎県の口蹄疫発生に伴う沖縄県の防疫対策等について)

出席

| | |
|------|---------|
| 委員長 | 玉城ノブ子さん |
| 副委員長 | 瑞慶覧功君 |
| 委員 | 中川京貴君 |
| | 座喜味一幸君 |
| | 辻野ヒロ子さん |
| | 仲宗根悟君 |
| | 当銘勝雄君 |
| | 渡久地修君 |
| | 前島明男君 |
| | 上里直司君 |

欠席

| | |
|--|-------|
| | 具志孝助君 |
| | 玉城満君 |

説明員の職、氏名

| | |
|--------|-------|
| 農林水産部長 | 比嘉俊昭君 |
| 畜産課長 | 赤嶺幸信君 |

審査概要

農林水産業についてに係る宮崎県の口蹄疫発生に伴う沖縄県の防疫対策等について農林水産部長から説明を聴取した後、質疑に入り、沖縄県においての影響及び対策、この感染経路、宮崎県で大量に発生している理由、それ以外への拡大状況、今後予想されるおそれに対する対策、牛舎や畜産に関する予防、伝染病の現時点での警戒レベル、競りに向けての検討状況、感染ルート等について質疑が行われた。

文教厚生委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年6月7日(月曜日)

開 会 午前10時5分

散 会 午後0時20分

場 所 第2委員会室

議 題

- 1 社会福祉及び社会保障について(沖縄市の児童虐待問題について)

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 赤 嶺 昇 君 |
| 副 委 員 長 | 西 銘 純 恵 さん |
| 委 員 | 桑 江 朝千夫 君 |
| | 佐喜真 淳 君 |
| | 仲 田 弘 毅 君 |
| | 翁 長 政 俊 君 |
| | 仲 村 未 央 さん |
| | 渡嘉敷 喜代子 さん |
| | 上 原 章 君 |
| | 奥 平 一 夫 君 |
| | 比 嘉 京 子 さん |

説明員の職、氏名

| | |
|------------|------------|
| 福祉保健部長 | 奥 村 啓 子 さん |
| 福祉企画統括監 | 當 間 秀 史 君 |
| 青少年・児童家庭課長 | 田 端 一 雄 君 |
| 国保・健康増進課長 | 上 原 真理子 さん |
| 国保・健康増進課班長 | 島 袋 富美子 さん |

警察本部生活 平 良 英 喜 君

安全部少年課長

警察本部刑事部 幸 喜 一 史 君

捜査第一課次席

審査概要

沖縄市の児童虐待問題について福祉保健部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

土木文化環境委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年5月12日(水曜日)

開 会 午前10時2分

散 会 午前10時5分

場 所 第3委員会室

議 題

- 1 視察調査日程について

出 席

| | |
|---------|-----------|
| 委 員 長 | 當 山 眞 市 君 |
| 副 委 員 長 | 照 屋 大 河 君 |
| 委 員 | 新 垣 良 俊 君 |
| | 嶺 井 光 君 |
| | 池 間 淳 君 |
| | 高 嶺 善 伸 君 |
| | 嘉 陽 宗 儀 君 |
| | 大 城 一 馬 君 |
| | 平 良 昭 一 君 |
| | 新 垣 安 弘 君 |

欠 席

| | |
|--|-----------|
| | 新 垣 哲 司 君 |
| | 吉 田 勝 廣 君 |

審査概要

視察調査日程について協議し、決定した。

土木文化環境委員会 委員派遣

(1)

視察調査の日時

平成22年5月12日(1日)

視察調査の場所

那覇市（古島団地）及び沖縄市（沖縄総合運動公園）

視察調査事項

- 1 住宅環境の改善について（古島団地の現況について）（陳情平成20年第138号について）
- 2 都市計画事業について（沖縄県総合運動公園の現況について）（平成22年第1回議会乙第22号議案沖縄県都市公園条例の一部を改正する条例について）

参加者

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 當山眞市君 |
| 副委員長 | 照屋大河君 |
| 委員 | 新垣良俊君 |
| | 嶺井光君 |
| | 池間淳君 |
| | 高嶺善伸君 |
| | 嘉陽宗儀君 |
| | 平良昭一君 |
| | 新垣安弘君 |
| | 吉田勝廣君 |

(2)

視察調査の日時

自 平成22年5月20日 (2日間)
至 平成22年5月21日

視察調査の場所

伊平屋村及び伊是名村

視察調査事項

- 1 道路、橋梁の整備事業について（田名野甫線、村道アッチャビシ線及び伊是名・伊平屋架橋予定地の現況について）
- 2 港湾の整備事業について（前泊港、野甫港、内花港及び仲田港の現況について）
- 3 空港の整備事業について（伊平屋空港建設予定地の現況について）
- 4 河川、海岸及び砂防の整備事業について（我喜屋ダムの現況について）
- 5 公害防止及び環境保全について（伊平屋村クリーンセンターの現況について）

参加者

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 當山眞市君 |
| 副委員長 | 照屋大河君 |
| 委員 | 新垣良俊君 |

| |
|-------------|
| 嘉陽宗儀君 |
| 平良昭一君 |
| 新垣安弘君 |
| 吉田勝廣君 |
| 委員外議員 中川京貴君 |

米軍基地関係特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年4月16日(金曜日)

開会 午前9時6分

散会 午前9時9分

場所 第4委員会室

議題

- 1 視察調査日程について

出席

| | |
|-----|----------|
| 委員長 | 渡嘉敷喜代子さん |
| 委員 | 照屋大河君 |
| | 前田政明君 |
| | 上原章君 |
| | 玉城満君 |
| | 山内末子さん |
| | 吉田勝廣君 |

欠席

| |
|--------|
| 桑江朝千夫君 |
| 中川京貴君 |
| 吉元義彦君 |
| 具志孝助君 |
| 新垣清涼君 |

審査概要

視察調査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年6月1日(火曜日)

開会 午前10時5分

散会 午後1時19分

場所 第4委員会室

議題

- 1 軍使用土地、基地公害、演習、跡地利用計画等米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立（嘉手納飛行場への外来機の飛来とクラス

ター弾の使用等について)

出席

| | |
|------|------------|
| 委員長 | 渡嘉敷 喜代子 さん |
| 副委員長 | 桑 江 朝千夫 君 |
| 委員 | 中 川 京 貴 君 |
| | 吉 元 義 彦 君 |
| | 具 志 孝 助 君 |
| | 照 屋 大 河 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 上 原 章 君 |
| | 新 垣 清 涼 君 |
| | 玉 城 満 君 |
| | 山 内 末 子 さん |

欠席

吉 田 勝 廣 君

説明員の職、氏名

| | |
|------------------|-----------|
| 知事公室長 | 又 吉 進 君 |
| 基地対策課長 | 親 川 達 男 君 |
| 文化環境部 環境企画統括監 | 金 城 康 政 君 |

審査概要

嘉手納飛行場への外来機の飛来とクラスター弾の使用等について、知事公室長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

なお、「嘉手納飛行場への外来機の飛来とクラスター弾の使用等に関する意見書」及び「同抗議決議」を別掲のとおり提出することになった。

嘉手納飛行場への外来機の飛来とクラスター弾の使用等に関する意見書

嘉手納飛行場では、米空軍を中心に海軍及び海兵隊が共同使用し、F15戦闘機やKC135空中給油機、E3空中早期警戒管制機、HH60ヘリコプター救難機等多様な飛行機やヘリコプターが常駐するほか、空母艦載機や岩国基地、米国本土の基地等国内外からの外来機が多数飛来することから、昼夜を問わず繰り返される離発着や周辺地域での訓練・演習に伴う航空機騒音を初め基地から派生するさまざまな環境汚染などが恒常的に発生しており、県民はこれまで多大な損失と影響をこうむってきた。

また、近年は、米海兵隊岩国基地所属のF A18戦

闘機等の飛来や米ニューメキシコ州ホロマン空軍基地所属のF22A戦闘機の一時配備等が相次いでおり、航空機騒音がこれまで以上に激化していることから、県民は憤りを訴えている。

さらに、人道上や性能上の観点から大きな問題点があるとされ、各国で生産中止や使用禁止の条約締結が相次いでいるクラスター弾が外来機に装着されているのが目撃されており、危険きわまりない爆弾が住宅地等の周辺や上空を行き交っているのではとの懸念から、県民は不安を覚えている。

このような米軍によるたび重なる外来機の飛来や訓練の激化、非人道的な兵器を使用する訓練の実施は、基地の強化や負担の増大にほかならず、県民の目に見える形での基地負担の軽減に逆行するもので、到底容認できるものではない。

よって、本県議会は、県民の生命、安全及び生活環境を守る立場から、嘉手納飛行場の過重な基地負担の現状にかんがみ、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要請する。

記

- 1 外来機による飛行や周辺地域での訓練・演習を行わないこと。
- 2 沖縄における訓練等の内容や実態を公表するとともに、クラスター弾等を使用した訓練・演習を行わないこと。
- 3 他基地所属航空機の嘉手納飛行場への一時配備を直ちに中止し、今後も行わないこと。
- 4 嘉手納飛行場における24時間運用規定の存在を明らかにし県民に説明するとともに、平成8年3月に日米合同委員会で合意した午後10時から午前6時までの飛行制限を厳守すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年6月16日

沖 縄 県 議 会

| | |
|--------------|------|
| 内閣総理大臣 | } あて |
| 外務大臣 | |
| 防衛大臣 | |
| 沖縄及び北方対策担当大臣 | |

嘉手納飛行場への外来機の飛来とクラスター弾の使用等に関する抗議決議

嘉手納飛行場では、米空軍を中心に海軍及び海兵隊が共同使用し、F15戦闘機やKC135空中給油機、E3空中早期警戒管制機、HH60ヘリコプター救難機等多様な飛行機やヘリコプターが常駐するほか、空母艦載機や岩国基地、米国本土の基地等国内外からの外来機が多数飛来することから、昼夜を問わず繰り返される離発着や周辺地域での訓練・演習に伴う航空機騒音を初め基地から派生するさまざまな環境汚染などが恒常的に発生しており、県民はこれまで多大な損失と影響をこうむってきた。

また、近年は、米海兵隊岩国基地所属のF/A18戦闘機等の飛来や米ニューメキシコ州ホロマン空軍基地所属のF22A戦闘機の一部配備等が相次いでおり、航空機騒音がこれまで以上に激化していることから、県民は憤りを訴えている。

さらに、人道上や性能上の観点から大きな問題点があるとされ、各国で生産中止や使用禁止の条約締結が相次いでいるクラスター弾が外来機に装着されているのが目撃されており、危険きわまりない爆弾が住宅地等の周辺や上空を行き交っているのではとの懸念から、県民は不安を覚えている。

このような米軍によるたび重なる外来機の飛来や訓練の激化、非人道的な兵器を使用する訓練の実施は、基地の強化や負担の増大にほかならず、県民の目に見える形での基地負担の軽減に逆行するもので、到底容認できるものではない。

よって、本県議会は、県民の生命、安全及び生活環境を守る立場から、嘉手納飛行場の過重な基地負担の現状にかんがみ、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

記

- 1 外来機による飛行や周辺地域での訓練・演習を行わないこと。
- 2 沖縄における訓練等の内容や実態を公表するとともに、クラスター弾等を使用した訓練・演習を行わないこと。
- 3 他基地所属航空機の嘉手納飛行場への一時配備を直ちに中止し、今後も行わないこと。

- 4 嘉手納飛行場における24時間運用規定の存在を明らかにし県民に説明するとともに、平成8年3月に日米合同委員会で合意した午後10時から午前6時までの飛行制限を厳守すること。

上記のとおり決議する。

平成22年6月16日

沖縄県議会

駐日米国大使
在日米軍司令官
在日米軍沖縄地域調整官
在沖米国総領事
第18航空団司令官

あて

米軍基地関係特別委員会 委員派遣

(1)

視察調査の日時

平成22年4月16日(1日)

視察調査の場所

うるま市(勝連半島沖)

視察調査事項

- 1 軍使用土地、基地公害、演習、跡地利用計画等米軍基地関係諸問題(普天間飛行場移設先候補地とされる勝連半島沖現況調査について)

参加者

| | |
|-------|------------|
| 委員長 | 渡嘉敷 喜代子 さん |
| 委員 | 具 志 孝 助 君 |
| | 照 屋 大 河 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 上 原 章 君 |
| | 玉 城 満 君 |
| | 山 内 末 子 さん |
| | 吉 田 勝 廣 君 |
| 委員外議員 | 仲 田 弘 毅 君 |
| | 照 屋 守 之 君 |

平成22年第2回沖縄県議会(定例会)

総務企画委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年6月16日(水曜日)

開 会 午前10時49分

散 会 午前11時12分

場 所 第4委員会室

議 題

- 1 乙第2号議案 沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例(先議)
- 2 乙第3号議案 沖縄県職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例(先議)

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 當 間 盛 夫 君 |
| 副 委 員 長 | 山 内 末 子 さん |
| 委 員 | 島 袋 大 君 |
| | 吉 元 義 彦 君 |
| | 照 屋 守 之 君 |
| | 浦 崎 唯 昭 君 |
| | 崎 山 嗣 幸 君 |
| | 新 里 米 吉 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 金 城 勉 君 |
| | 糸 洲 朝 則 君 |
| | 新 垣 清 涼 君 |
| | 玉 城 義 和 君 |

説明員の職、氏名

| | |
|-----------|---------|
| 総 務 部 長 | 兼 島 規 君 |
| 総 務 統 括 監 | 久 田 裕 君 |

審査概要

乙第2号議案及び乙第3号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第2号議案については、家族介護を行う職員の早出遅出勤務の可否について質疑が行われた。

乙第3号議案については、育児休業の取得状況、男性職員、女性職員それぞれの取得率、男性職員の育児休業取得の推進に向けての取り組み、育児休業中の給与支給の有無について質疑が行われた。

次に、議案2件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

(2)

◎平成22年7月1日(木曜日)

開 会 午後5時25分

散 会 午後5時27分

場 所 第4委員会室

議 題

- 1 審査日程について

出 席

| | |
|-------|-----------|
| 委 員 長 | 當 間 盛 夫 君 |
| 委 員 | 島 袋 大 君 |
| | 吉 元 義 彦 君 |
| | 照 屋 守 之 君 |
| | 浦 崎 唯 昭 君 |
| | 崎 山 嗣 幸 君 |
| | 新 里 米 吉 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 金 城 勉 君 |
| | 新 垣 清 涼 君 |
| | 玉 城 義 和 君 |

欠 席

| | |
|--|------------|
| | 山 内 末 子 さん |
| | 糸 洲 朝 則 君 |

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(3)

◎平成22年7月2日(金曜日)

開 会 午前10時4分

散 会 午後4時51分

場 所 第4委員会室

議 題

- 1 甲第1号議案 平成22年度沖縄県一般会計補正予算(第1号)
- 2 乙第1号議案 沖縄県職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
- 3 乙第4号議案 沖縄県使用料及び手数料条例の一部を改正する条例
- 4 乙第5号議案 沖縄県税条例の一部を改正する条例
- 5 乙第9号議案 工事請負契約について
- 6 乙第11号議案 沖縄県人事委員会委員の選任について
- 7 乙第12号議案 沖縄県収用委員会委員の任命について

- | | | | | |
|----|--|-------------------|---|---|
| 8 | 乙第13号議案 | 沖縄県公安委員会委員の任命について | 企画調整課 副参事 | 具志堅 清 明 君 |
| 9 | 乙第14号議案 | 沖縄県公害審査会委員の任命について | 交通政策課長 | 下 地 明 和 君 |
| 10 | 乙第15号議案 | 専決処分の承認について | 地域・離島課長 | 川 本 栄太郎 君 |
| 11 | 乙第16号議案 | 専決処分の承認について | 文化環境部 自然保護課班長 | 城 間 章 君 |
| 12 | 乙第18号議案 | 沖縄県監査委員の選任について | 農林水産部畜産課 畜産環境対策監 | 与古田 稔 君 |
| 13 | 陳情平成20年第60号、同第65号、同第76号、同第83号、同第85号から同第87号まで、同第91号、同第144号、同第150号、同第175号、同第190号、同第191号、同第200号、陳情平成21年第19号、同第38号、同第58号、同第59号、同第66号、同第69号、同第88号、同第91号の2、同第100号、同第103号、同第104号、同第110号、同第111号、同第120号、同第122号、同第128号、同第144号、同第147号、同第171号、同第174号、同第175号、同第201号、同第202号、陳情第6号、第9号、第10号、第12号、第17号、第18号、第43号、第61号、第71号、第77号、第82号、第96号、第130号、第141号及び第142号 | | 観光商工部 産業政策課班長 観光商工部 商工振興課班長 観光商工部 観光振興課長 土木建築部 用地課班長 交通部長 | 岸 本 尚 志 君 仲 程 哲 一 君 嵩 原 安 伸 君 大 城 勝 君 北 川 秀 行 君 |

14 閉会中継続審査・調査について

出席

| | |
|------|------------|
| 委員長 | 當 間 盛 夫 君 |
| 副委員長 | 山 内 末 子 さん |
| 委員 | 島 袋 大 君 |
| | 吉 元 義 彦 君 |
| | 照 屋 守 之 君 |
| | 浦 崎 唯 昭 君 |
| | 崎 山 嗣 幸 君 |
| | 新 里 米 吉 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 金 城 勉 君 |
| | 糸 洲 朝 則 君 |
| | 新 垣 清 涼 君 |
| | 玉 城 義 和 君 |

説明員の職、氏名

| | |
|-------|-----------|
| 知事公室長 | 又 吉 進 君 |
| 総務部長 | 兼 島 規 君 |
| 人事課長 | 島 田 勉 君 |
| 財政課長 | 平 敷 昭 人 君 |
| 税務課長 | 西 平 寛 俊 君 |
| 企画部長 | 川 上 好 久 君 |

審査概要

甲第1号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、小規模離島空路利用活性化事業の目的、期間及び対象路線、同事業による妊産婦等の優遇措置内容、沖縄観光力強化事業の内容、同事業における中国市場の位置づけ及び取り組み内容、中国人観光客のニーズに応じた対策の有無、中国人観光客誘客のための華僑組織との連携策、平常時における口蹄疫の侵入防止対策や防疫体制の内容、口蹄疫被害が拡大した場合における貴重家畜の避難先及びその品種、今回の補正予算における緊急経済対策の内容、沖縄特別振興対策調整費の残り枠と今後の活用予定の内容、先端医療産業化基盤構築事業の内容と目標内訳、離島体験学習促進事業の対象者、農家民泊の問題点と今後の対応策、沖縄国際航空物流ハブ活用推進事業の内容、取り扱い貨物量の推移状況、主な取り扱い県産品目、臨空型企業誘致の取り組み状況、泡盛マーケティング総合支援事業の内容、泡盛の他県における生産状況、泡盛の商標登録問題、かりゆしスタイルブランド力向上対策事業の内容と予算額、かりゆしウェアの価格面の課題と生産枚数落ち込みの原因、行政がデザインに介入することの是非、県内デザイナーの登用見通し、かりゆしウェアへの県産品の活用策、医療ツーリズム促進事業の内容と県産品の活用方法等について質疑が行われた。

次に、乙第1号議案、乙第4号議案、乙第5号議案、乙第11号議案から乙第16号議案まで、及び乙第18号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第1号議案については、質疑なし。

乙第4号議案については、質疑なし。

乙第5号議案については、条例改正の理由、条例改正による県たばこ税収入への影響見込み、たばこ消費量の減少により影響を受けるたばこ製造業者や小売業者への支援策の有無、条例改正とWHO総会のたばこ規制枠組条約との関係、旧3級品たばこの銘柄ごとの値上げ額、国民の健康増進を値上げの理由とすることの是非、たばこ生産農家及び市町村税収に与える影響と支援策、値上げに伴う複合的影響の内容等について質疑が行われた。

乙第11号議案については、当該候補者に決定した理由、同一人物が多く部署のトップを渡り歩くような人事行政の是非、人事委員会委員の報酬金額、一時金や退職金の有無、一般職及び特別職が県の外郭団体に再就職する場合の基準の状況、人事委員会の権限と活動の状況、県職員の採用及び人事異動に関する人事委員会の役割等について質疑が行われた。

乙第12号議案については、収用委員の任期、収用委員会の活動状況、新石垣空港整備事業関係の裁決状況等について質疑が行われた。

乙第13号議案については、質疑なし。

乙第14号議案については、質疑なし。

乙第15号議案については、今回の条例改正に個人住民税の扶養控除の廃止が含まれていない理由、子ども手当の税法上の収入区分、子ども手当が国民健康保険制度など他の制度に与える影響等について質疑が行われた。

乙第16号議案については、質疑なし。

乙第18号議案については、議員から監査委員を選任する意義、議会の行政監視機能と議員選出監査委員が監査を行うこととの関係、国への問題提起や制度改正の見通しについて質疑が行われた。

次に、陳情18件について総務部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、乙第9号議案について企画部長から提案理由の説明を聴取した。

次に、陳情24件について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情10件について知事公室長から説明を聴取し、陳情1件について交通政策課長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情1件について警察本部交通部長から説明を聴取した。

次に、議案12件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情52件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

総務企画委員会議案処理一覧表

イ 処理（14件）

（先議）

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|------|------------------------------------|--------------|
| 乙第2号 | 沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例 | 全会一致 原案可決 |
| 乙第3号 | 沖縄県職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 | 〃 |

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|------|----------------------------|--------------|
| 甲第1号 | 平成22年度沖縄県一般会計補正予算（第1号） | 全会一致 原案可決 |
| 乙第1号 | 沖縄県職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例 | 〃 |

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|-------|-------------------------|--------------|
| 乙第4号 | 沖縄県使用料及び手数料条例の一部を改正する条例 | 全会一致 原案可決 |
| 乙第5号 | 沖縄県税条例の一部を改正する条例 | 〃 |
| 乙第9号 | 工事請負契約について | 全会一致 可決 |
| 乙第11号 | 沖縄県人事委員会委員の選任について | 委員長裁決 否決 |
| 乙第12号 | 沖縄県収用委員会委員の任命について | 全会一致 同意 |
| 乙第13号 | 沖縄県公安委員会委員の任命について | 〃 |
| 乙第14号 | 沖縄県公害審査会委員の任命について | 〃 |
| 乙第15号 | 専決処分の承認について | 全会一致 承認 |
| 乙第16号 | 専決処分の承認について | 〃 |
| 乙第18号 | 沖縄県監査委員の選任について | 全会一致 同意 |

総務企画委員会陳情処理一覧表

イ 処理（陳情1件）

| 陳情番号 | 受理年月日 | 件名 | 陳情者名 | 審査の結果 | 措置 |
|------|----------------|---------------------|-------------------------------------|-------|------------------------------|
| 第77号 | 平成22年 4月22日 | 不発弾の早期発見と事故防止に対する陳情 | NPO法人沖縄戦記録フィルム1フィート運動の会 代表 福地 曠昭 | 採択 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（知事） |

総務企画委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- 1 陳情平成20年第60号 八重山航路の存続を求める陳情
- 2 陳情平成20年第65号 「旧軍飛行場問題解決に向けた沖振計特別枠の設置を求める意見書」の採択を求める陳情
- 3 陳情平成20年第76号 那覇市地域再生計画の実態調査及び那覇市に対する措置に関する陳情
- 4 陳情平成20年第83号 消費税の大増税に反対する陳情
- 5 陳情平成20年第85号 先島航路並びに台湾航路存続と雇用確保を求める陳情
- 6 陳情平成20年第86号 「消費税増税反対」決議を求める陳情
- 7 陳情平成20年第87号 「消費税増税反対」決議を求める陳情
- 8 陳情平成20年第91号 那覇バスターミナル機能の維持に関する陳情
- 9 陳情平成20年第144号 地上警戒管制レーダーの配備中止を求める陳情

- 10 陳情平成20年第150号 航空自衛隊那覇基地へのF15戦闘機配備などの機能強化に反対し、那覇空港の民間専用化を求める意見書の可決を求める陳情
- 11 陳情平成20年第175号 第58回婦人大会の宣言・決議の実現方に関する陳情
- 12 陳情平成20年第190号 私学助成に関する意見書の提出を求める陳情
- 13 陳情平成20年第191号 沖縄県の私学助成に関する陳情
- 14 陳情平成20年第200号 沖縄県行政オンブズマンの職務不履行に関する陳情
- 15 陳情平成21年第19号 沖縄県所在旧軍飛行場用地問題解決に関する陳情
- 16 陳情平成21年第38号 (仮称) 沖縄県警察運転免許センター隣接地(未公募区画地)への協会用地取得に関する陳情
- 17 陳情平成21年第58号 琉球大学の外国語授業削減に関する陳情
- 18 陳情平成21年第59号 沖子連事務所の賃貸料免除に関する陳情
- 19 陳情平成21年第66号 自衛隊ヘリのキャンプ・ハンセン内レンジ4使用に関する陳情
- 20 陳情平成21年第69号 フェリー、旅客船の存続・港町活性化に関する陳情
- 21 陳情平成21年第88号 沖縄県東京宿泊所若夏荘の閉館に関する陳情
- 22 陳情平成21年第91号の2 台湾東部と八重山諸島の「観光経済圏」形成推進に向けた課題に関する陳情
- 23 陳情平成21年第100号 県道222号線への信号機・横断歩道設置に関する陳情
- 24 陳情平成21年第103号 海運・フェリー・旅客船の航路存続と船員の雇用対策に関する陳情
- 25 陳情平成21年第104号 海運・フェリー・旅客船の航路存続と船員の雇用対策に関する陳情
- 26 陳情平成21年第110号 公私の格差是正と制度等に関する陳情
- 27 陳情平成21年第111号 私立教育機関に関する陳情
- 28 陳情平成21年第120号 先島航路及び台湾航路における貨客船の早期再開を求める陳情
- 29 陳情平成21年第122号 県がワーキングプアをなくす先頭に立ち、非正規等の待遇改善を求める陳情
- 30 陳情平成21年第128号 沖縄県庁舎や市町村庁舎の地震対策や湧水対策に関する陳情
- 31 陳情平成21年第144号 旧軍飛行場用地問題解決の継続審議に関する陳情
- 32 陳情平成21年第147号 八重山への自衛隊誘致及び配備に反対する陳情
- 33 陳情平成21年第171号 暮らし支える行政サービスの拡充を求める陳情
- 34 陳情平成21年第174号 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等を活用した中小業者支援に関する陳情
- 35 陳情平成21年第175号 改正国籍法に関する陳情
- 36 陳情平成21年第201号 永住外国人への地方参政権付与を日本政府に求める意見書を可決しないよう求める陳情
- 37 陳情平成21年第202号 レンタカー台数規制のための県条例制定等に関する陳情
- 38 陳情第6号 南城市東南部地域に地上デジタル放送中継局の設置を求める陳情
- 39 陳情第9号 永住外国人地方参政権付与法案に反対する陳情
- 40 陳情第10号 改正国籍法に関する陳情
- 41 陳情第12号 沖縄県の私学助成に関する陳情
- 42 陳情第17号 永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の可決を求める陳情
- 43 陳情第18号 憲法違反の外国人参政権による選挙を実施しないことを再確認する陳情
- 44 陳情第43号 永住外国人地方参政権付与法案に反対する陳情
- 45 陳情第61号 無償教育の実現を求める陳情
- 46 陳情第71号 「若夏荘」及び「うるま荘」に関する陳情
- 47 陳情第82号 「沖縄特例地域」推進に関する陳情
- 48 陳情第96号 永住外国人への地方参政権付与の法制化反対に関する陳情
- 49 陳情第130号 新たな公共交通システム導入に関する陳情
- 50 陳情第141号 私学の校舎改築助成に関する陳情
- 51 陳情第142号 私学の校舎改築助成に関する陳情
- 52 広報、危機管理及び消防防災について(所管事務調査)
- 53 予算及び行財政について(所管事務調査)
- 54 県税及び公有財産について(所管事務調査)

- 55 市町村行財政について（所管事務調査）
- 56 県職員の給与について（所管事務調査）
- 57 学事について（所管事務調査）
- 58 県庁舎について（所管事務調査）
- 59 総合開発及び地域振興について（所管事務調査）
- 60 交通運輸及び通信について（所管事務調査）
- 61 土地利用対策について（所管事務調査）
- 62 警察行政について（所管事務調査）
- 63 自衛隊について（所管事務調査）

- 1 乙第10号議案 指定管理者の指定について
- 2 陳情平成20年第80号、同第84号、同第139号、同第158号、同第198号、同第201号、陳情平成21年第39号、同第48号、同第53号、同第123号、同第129号、同第130号、同第174号の2、同第182号、同第183号、同第191号、同第194号、同第211号、同第212号、陳情第15号、第19号、第35号、第36号、第47号、第54号から第56号まで、第59号、第63号、第64号、第87号から第90号まで、第107号から第116号まで、第118号、第119号、第125号、第131号から第136号まで、第144号、第146号及び第148号
- 3 閉会中継続審査（調査）について

経済労働委員会 委員会記録

（1）

◎平成22年7月1日（木曜日）

開 会 午後5時23分
散 会 午後5時26分
場 所 第1委員会室
議 題

1 審査日程について

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 玉 城 ノブ子 さん |
| 副 委 員 長 | 瑞慶覧 功 君 |
| 委 員 | 中 川 京 貴 君 |
| | 座喜味 一 幸 君 |
| | 辻 野 ヒロ子 さん |
| | 具 志 孝 助 君 |
| | 仲宗根 悟 君 |
| | 当 銘 勝 雄 君 |
| | 渡久地 修 君 |
| | 前 島 明 男 君 |
| | 玉 城 満 君 |
| | 上 里 直 司 君 |

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

（2）

◎平成22年7月2日（金曜日）

開 会 午前10時4分
散 会 午後4時16分
場 所 第1委員会室
議 題

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 玉 城 ノブ子 さん |
| 副 委 員 長 | 瑞慶覧 功 君 |
| 委 員 | 中 川 京 貴 君 |
| | 座喜味 一 幸 君 |
| | 辻 野 ヒロ子 さん |
| | 具 志 孝 助 君 |
| | 仲宗根 悟 君 |
| | 当 銘 勝 雄 君 |
| | 渡久地 修 君 |
| | 前 島 明 男 君 |
| | 玉 城 満 君 |
| | 上 里 直 司 君 |

説明員の職、氏名

| | |
|-----------------|-------------|
| 農 林 水 産 部 長 | 比 嘉 俊 昭 君 |
| 農 漁 村 基 盤 統 括 監 | 知 念 武 君 |
| 畜 産 課 長 | 赤 嶺 幸 信 君 |
| 水 産 課 長 | 勝 俣 亜 生 君 |
| 観 光 商 工 部 長 | 勝 目 和 夫 君 |
| 商 工 振 興 課 長 | 登 川 安 政 君 |
| 企 業 立 地 推 進 課 長 | 屋 比 久 盛 敏 君 |
| 情 報 産 業 振 興 課 長 | 米 須 清 光 君 |
| 交 流 推 進 課 長 | 瀬 川 義 郎 君 |
| 福 祉 保 健 部 | 與 那 原 良 克 君 |
| 薬 務 衛 生 課 班 長 | |

審査概要

乙第10号議案について観光商工部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第10号議案については、インキュベーション・マネージャーは、インキュベーション的機能を有する企業立地促進センターにも配置の有無、指定管理者を公

募せず、県の出資する外郭団体を選定する理由、企業立地促進センターへの入居企業の公募条件、どういう会社が民間IT施設を整備する見込み、民間IT施設を整備主体、中核機能支援施設及び企業立地促進センターの一体的な管理方法、指定管理業務の外部委託の範囲及び割合、指定管理業務への民間活力の導入状況、企業立地促進センターへの入居が三年を経過したIT企業への対応策、特別自由貿易地域の用地購入状況等について質疑が行われた。

次に、陳情10件について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情46件について農林水産部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案1件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情56件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

なお、「口蹄疫対策の充実・強化を求める意見書」及び「琉球大学国際沖縄研究所の機能拡充を求める意見書」を別掲のとおり提出することとなった。

経済労働委員会議案処理一覧表

イ 処理（1件）

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|-------|--------------|-------|
| 乙第10号 | 指定管理者の指定について | 多数決 |

経済労働委員会陳情処理一覧表

イ 処理（陳情35件）

| 陳情番号 | 受理年月日 | 件名 | 陳情者名 | 審査の結果 | 措置 |
|----------------|------------|---|--------------------------------|-------|------------------------------|
| 平成20年第80号（継続） | 平成20年7月3日 | 楚洲仲尾線（楚洲支線）開設工事中の中止を求める陳情 | NPO法人 奥間川流域保護基金 代表 伊波 義安 | 採択 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（知事） |
| 平成20年第84号（継続） | 平成20年7月4日 | ヤンバル林道事業の中止を求める陳情 | やんばるの自然を歩む会 代表 玉城 長正 外2人 | 〃 | 〃 |
| 平成21年第39号（継続） | 平成21年2月19日 | 県営林道5路線（奥山線、伊楚支線、楚洲仲尾線、伊江I号支線、伊江原支線）の建設中止を求める陳情 | NPO法人 奥間川流域保護基金 代表 伊波 義安 | 〃 | 〃 |
| 平成21年第182号（継続） | 平成21年9月30日 | 「美ら海協力金」リーフレットの回収に関する陳情 | 長崎 毅（伊良部漁協組合員） | 〃 | 〃 |
| 平成21年第183号（継続） | 平成21年9月30日 | 「美ら海協力金」強制徴収に伴う観光被害抑止に関する陳情 | 長崎 毅（伊良部漁協組合員） | 〃 | 〃 |

| 陳情番号 | 受 理 年 月 日 | 件 名 | 陳 情 者 名 | 審査の 結 果 | 措 置 |
|------------------------|----------------|-------------------------------------|-------------------------------------|------------|---------------------------------------|
| 平成21年 第211号 (継続) | 平成21年 12月4日 | 「美ら海協力金」の社会 問題化を予防することに 関する陳情 | 長崎 毅 | 採 択 | 会議規則第90条による地 方自治法第125条の措置 (知 事) |
| 平成21年 第212号 (継続) | 平成21年 12月4日 | 沖縄県不当陳情処理に関 する陳情 | 長崎 毅 | 〃 | 〃 |
| 第54号 (継続) | 平成22年 3月10日 | 「美ら海協力金問題」の 総括処理(25カ月)に関 する陳情 | 長崎 毅(伊良部漁協 組合員) | 〃 | 〃 |
| 第63号 | 平成22年 3月30日 | 全国豊かな海づくり大会 の開催誘致に関する陳情 | 糸満市長 上原 裕常 | 〃 | 〃 |
| 第64号 | 平成22年 3月30日 | 全国豊かな海づくり大会 の誘致に関する陳情 | 糸満市議会議長 上原 勲 | 〃 | 〃 |
| 第87号 | 平成22年 5月21日 | 公的助成措置に関する陳 情 | 社団法人 泡盛マイス ター協会 会長 新垣 勝信 | 〃 | 〃 |
| 第88号 | 平成22年 5月21日 | 国内における口蹄疫発生 に伴う畜産農家支援に関 する陳情 | 美ぎ島美しや市町村会 会長(宮古島市長) 下地 敏彦 | 〃 | 〃 |
| 第89号 | 平成22年 5月21日 | 国内における口蹄疫発生 に伴う畜産農家支援に関 する陳情 | 南部市町村会 会長 城間 俊安 外1人 | 〃 | 〃 |
| 第90号 | 平成22年 5月21日 | 国内における口蹄疫発生 に伴う畜産農家支援に関 する陳情 | 沖縄県町村会 会長 城間 俊安 外2人 | 〃 | 〃 |
| 第107号 | 平成22年 6月11日 | 全国豊かな海づくり大会 の開催誘致を求める陳情 | 南部地区市長村議会議 長会 会長 神谷 信吉 | 〃 | 〃 |
| 第108号 | 平成22年 6月11日 | 全国豊かな海づくり大会 の開催誘致に関する陳情 | 南部市町村会 会長 城間 俊安 外1人 | 〃 | 〃 |
| 第109号 | 平成22年 6月11日 | 第32回全国豊かな海づく り大会の沖縄県開催に関 する陳情 | 沖縄県漁業協同組合連 合会 代表理事会長 國吉 眞孝 | 〃 | 〃 |
| 第110号 | 平成22年 6月11日 | 全国豊かな海づくり大会 の開催誘致に関する陳情 | 全国豊かな海づくり大 会誘致促進協議会 会長 金城 宏 | 〃 | 〃 |

| 陳情番号 | 受 理 年 月 日 | 件 名 | 陳 情 者 名 | 審査の 結 果 | 措 置 |
|-------|----------------|--------------------------------------|-----------------------------|------------|---------------------------------------|
| 第111号 | 平成22年 6月11日 | 全国豊かな海づくり大会 の誘致開催に関する陳情 | 糸満市長 上原 裕常 | 採 択 | 会議規則第90条による地 方自治法第125条の措置 (知 事) |
| 第112号 | 平成22年 6月11日 | 全国豊かな海づくり大会 の開催誘致に関する陳情 | 豊見城市長 金城 豊明 | 〃 | 〃 |
| 第113号 | 平成22年 6月11日 | 「全国豊かな海づくり大 会」の糸満市誘致に関す る陳情 | 南部地区商工会連絡協 議会 会長 新垣 勲 | 〃 | 〃 |
| 第114号 | 平成22年 6月11日 | 「全国豊かな海づくり大 会」の沖縄県糸満市誘致 に関する陳情 | 糸満市経済団体協議会 会長 照屋 正秀 | 〃 | 〃 |
| 第115号 | 平成22年 6月14日 | 全国豊かな海づくり大会 の開催誘致を求める陳情 | 北大東村議会議長 浅沼 達功 | 〃 | 〃 |
| 第116号 | 平成22年 6月14日 | 全国豊かな海づくり大会 の開催誘致を求める陳情 | 八重瀬町議会議長 神谷 信吉 | 〃 | 〃 |
| 第118号 | 平成22年 6月16日 | 全国豊かな海づくり大会 開催誘致を求める陳情 | 座間味村議会議長 宮平 秀保 | 〃 | 〃 |
| 第119号 | 平成22年 6月16日 | 全国豊かな海づくり大会 の開催誘致を求める陳情 | 渡嘉敷村議会議長 島村 武 | 〃 | 〃 |
| 第125号 | 平成22年 6月21日 | 全国豊かな海づくり大会 の開催誘致を求める陳情 | 久米島町議会議長 山里 昌輝 | 〃 | 〃 |
| 第131号 | 平成22年 6月24日 | 全国豊かな海づくり大会 の開催誘致を求める陳情 | 与那原町議会議長 仲里 司 | 〃 | 〃 |
| 第132号 | 平成22年 6月24日 | 全国豊かな海づくり大会 の開催誘致を求める陳情 | 南城市議会議長 川平 善範 | 〃 | 〃 |
| 第133号 | 平成22年 6月24日 | 「全国豊かな海づくり大 会」の開催誘致を求める 陳情 | 南風原町議会議長 金城 成長 | 〃 | 〃 |
| 第134号 | 平成22年 6月24日 | 全国豊かな海づくり大会 の開催誘致を求める陳情 | 渡名喜村議会議長 上原 睦夫 | 〃 | 〃 |
| 第135号 | 平成22年 6月24日 | 県花デイゴ再生への早急 な取り組みに関する陳情 | 竹富町議会議長 新 博文 | 〃 | 〃 |
| 第136号 | 平成22年 6月24日 | 琉球大学国際沖縄研究所 の機能拡充に関する陳情 | 国立大学法人 琉球大 学 学長 岩政 輝男 | 〃 | 〃 |
| 第144号 | 平成22年 6月25日 | 全国豊かな海づくり大会 の誘致に関する陳情 | 粟国村議会議長 玉寄 文雄 | 〃 | 〃 |
| 第148号 | 平成22年 6月25日 | 有害鳥獣被害に関する陳 情 | 石垣市農業委員会 会長 宮城 博光 | 〃 | 〃 |

経済労働委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- 1 陳情平成20年第139号 沖縄県の森林の整備・林業の振興に関する陳情
- 2 陳情平成20年第158号 沖縄県の森林の整備・林業の振興に関する陳情
- 3 陳情平成20年第198号 伊江島における黒糖工場建設問題に関する陳情
- 4 陳情平成20年第201号 吉の浦火力発電所電源開発に伴う海域環境調査に関する陳情
- 5 陳情平成21年第48号 ヤンバルの森林・林業の活性化に関する陳情
- 6 陳情平成21年第53号 ヤンバルの森林・林業の活性化に関する陳情
- 7 陳情平成21年第123号 伊江島における黒糖工場建設に反対する陳情
- 8 陳情平成21年第129号 EMの講習会を開催することに関する陳情
- 9 陳情平成21年第130号 EMを基盤に、我が国の国際貢献の最前線基地を沖縄で引き受けることに関する陳情
- 10 陳情平成21年第174号の2 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等を活用した中小業者支援に関する陳情
- 11 陳情平成21年第191号 じん肺被災者の早期救済を図る「トンネルじん肺基金」の創設とじん肺やアスベスト被害の根絶を求める陳情
- 12 陳情平成21年第194号 平成21年度中城湾港(新港地区)振興に関する陳情
- 13 陳情第15号 含みつ糖振興対策に関する陳情
- 14 陳情第19号 含みつ糖振興対策に関する陳情
- 15 陳情第35号 第三セクター・沖縄市アメニティプラン株式会社の融資に係る連帯保証人会に関する陳情
- 16 陳情第36号 含みつ糖振興対策に関する陳情
- 17 陳情第47号 公契約条例の制定を求める陳情
- 18 陳情第55号 天然ガス採掘工事の即刻中止と天然ガス採掘に関する条例等の早急な整備に関する陳情
- 19 陳情第56号 沖縄黒糖市況対策に関する陳情
- 20 陳情第59号 含みつ糖振興対策に関する陳情
- 21 陳情第146号 美ら海協力金問題の即時是正に関

する陳情

- 22 農林水産業について（所管事務調査）
- 23 商・鉱・工業について（所管事務調査）
- 24 労働問題について（所管事務調査）
- 25 国内外の交流について（所管事務調査）

口蹄疫対策の充実・強化を求め る意見書

去る4月20日に宮崎県内で発生した口蹄疫は、国、自治体及び関係団体の懸命な蔓延防止の努力にもかかわらず、いまだ終息に至っていない状況にある。

本県においても、口蹄疫の侵入を水際で阻止するため、県、市町村及び関係機関・団体が一体となって空港、港等で消毒ポイントを設置して靴底等の消毒を実施するとともに、畜産農家や流通業者への支援のため各種対策を緊急に実施しているところである。

しかしながら、5月から6月にかけて家畜市場がすべて休止されたため、畜産農家と関連業界は経済的・心理的に大きな負担をこうむっており、その影響が長く及ぶことが懸念されている。

よって、国におかれては、早期の口蹄疫の終息及び畜産農家の経営安定等を図るため、下記事項について十分な措置を講じられるよう強く要請する。

記

- 1 今回の口蹄疫の感染源と侵入経路を速やかに解明し、今後の国内への侵入防止対策を確立すること。また、病原体の有無に係る迅速な診断技術の開発や検査体制の充実・強化を図り、蔓延防止対策を確立すること。
- 2 口蹄疫が発生した地域はもとより他地域に蔓延しないよう、地域における各種消毒の徹底を指導するとともに、迅速な初動防疫体制の確立を初め万全の防疫対策を講じること。
- 3 家畜市場の開催延期または休止により影響を受けているすべての畜産農家に対して、滞留家畜の飼料費の助成や出荷遅延による価格差補てん措置を講じること。また、低利・無利子の融資制度などの経営支援を図ること。
- 4 これまで県、市町村及び関係機関・団体が実施した口蹄疫の侵入・蔓延防止対策のための畜産農家経営支援、家畜市場再開支援経費、損失等につ

いては、特別交付税などにより十分な財政支援措置を講じること。

5 口蹄疫が完全に終息しない中で家畜市場を再開しても、九州・沖縄での購買自粛が懸念されることから、購買者等に対する適切な情報発信に努めること。

6 消費者が国産食肉の購入を控えるなどいわゆる風評被害が発生しないよう、的確な情報を国民や食品流通業界等へ提供すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年7月9日

沖 縄 県 議 会

衆 議 院 議 長
参 議 院 議 長
内 閣 総 理 大 臣
総 務 大 臣
財 務 大 臣
農 林 水 産 大 臣
沖縄及び北方対策担当大臣

あて

琉球大学国際沖縄研究所の機能 拡充を求める意見書

沖縄県は、日本の南の玄関と言われる地理的・歴史的特性を生かし、アジア・太平洋地域とのかけ橋として我が国の国際貢献の一翼を担う施策を推進してきた。そのような観点に立ち、去る3月に県民がみずから策定した初めての長期的な構想である沖縄21世紀ビジョンにおいては、人・知識・文化の融和する交流ネットワークを形成して、アジア・太平洋社会に対する貢献の拡大を図ることとしている。

このような中、国立大学法人琉球大学においては、平成21年度に沖縄の歴史、文化及び経済など幅広い研究を推進するとともに、その成果を生かした国際的な研究拠点として、また、沖縄と沖縄に関連する地域との相互理解に貢献することを目的とした琉球大学国際沖縄研究所を設置している。

同研究所は、これまで培ってきた沖縄県における学問的・文化的資産を将来へ向けさらに大きく発展させるとともに、地域に根差したシンクタンクとして政策形成に貢献する研究の場となることを目指すとのことである。特に、アジア・太平洋地域の結節

点としての沖縄を主点とした研究、琉球弧を中心とした島嶼圏のグローバルな社会における位置づけや将来展望に係る研究、島嶼圏と大陸圏との関係性に関する研究などは、今後、新たな学問体系としての島嶼学の確立や島嶼地域の振興発展等に寄与し、さらに沖縄県が策定した沖縄21世紀ビジョンの実現にも大きく寄与するものと期待されている。

しかしながら、同研究所が沖縄を中心としたこのような研究活動を推進していくためには、現行の組織体制及びその機能は十分ではなく、早急に体制の強化と機能の拡充等を図る必要がある。

よって、政府におかれては、沖縄振興のための政策として位置づけ、琉球大学国際沖縄研究所の体制強化及び機能拡充等を推進されるよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年7月9日

沖 縄 県 議 会

文 部 科 学 大 臣
沖縄及び北方対策担当大臣

あて

文教厚生委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年7月1日(木曜日)

開 会 午後5時25分

散 会 午後5時28分

場 所 第2委員会室

議 題

1 参考人招致について

2 審査日程について

出 席

委 員 長 赤 嶺 昇 君

副 委 員 長 西 銘 純 恵 さん

委 員 桑 江 朝 千 夫 君

佐喜真 淳 君

仲 田 弘 毅 君

仲 村 未 央 さん

渡嘉敷 喜代子 さん

上 原 章 君

奥 平 一 夫 君

欠 席 比 嘉 京 子 さん
翁 長 政 俊 君

審査概要

参考人招致について協議し、決定した。
次に、審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年7月2日(金曜日)

開 会 午前10時2分
散 会 午後6時00分
場 所 第2委員会室
議 題

- 1 参考人からの説明聴取について(移植医療の現況について)
- 2 参考人からの説明聴取について(陳情第106号について)
- 3 乙第7号議案 沖縄県立高等学校等の授業料等の徴収に関する条例の一部を改正する条例
- 4 乙第8号議案 沖縄県立青少年の家の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 5 陳情平成20年第57号、同第63号、同第64号、同第112号、同第125号、同第137号、同第142号、同第189号、同第192号、同第199号、陳情平成21年第57号、同第65号、同第88号の2、同第94号、同第95号、同第105号、同第106号、同第110号の2、同第112号、同第117号、同第122号の3、同第132号、同第133号、同第137号、同第138号、同第142号、同第145号、同第160号、同第178号、同第192号、同第193号、同第196号、同第197号、同第203号から同第205号まで、同第210号、陳情第8号、第23号、第24号、第27号から第29号まで、第38号、第49号、第61号の2、第78号、第84号、第106号、第121号から第123号まで、第139号及び第145号

出席

委 員 長 赤 嶺 昇 君
副 委 員 長 西 銘 純 恵 さん
委 員 桑 江 朝千夫 君
佐喜真 淳 君
仲 田 弘 毅 君
翁 長 政 俊 君

仲 村 未 央 さん
渡嘉敷 喜代子 さん
上 原 章 君
奥 平 一 夫 君
比 嘉 京 子 さん

説明員の職、氏名

教 育 長 金 武 正八郎 君
教育管理統括監 山 里 清 君
総 務 課 長 前 原 昌 直 君
財 務 課 長 安慶名 均 君
県立学校教育課長 諸見里 明 君
保健体育課長 渡嘉敷 通之 君
生涯学習振興課長 親 川 實 君
文化課長 大 城 慧 君
参 考 人 (移植医療の現況について)
沖 縄 県 腎 臓 病 協 議 会 会 長 高 良 幸 勇 君
補 助 者 (")
沖 縄 県 腎 臓 病 協 議 会 副 会 長 伊 芸 幸 栄 君
補 助 者 (")
沖 縄 県 腎 臓 病 協 議 会 副 会 長 我 謝 昌 英 君
補 助 者 (")
沖 縄 県 腎 臓 病 協 議 会 事 務 局 長 宮 城 輝 君
補 助 者 (")
沖 縄 県 腎 臓 病 協 議 会 会 計 裁 みどり さん
参 考 人 (陳 情 第 1 0 6 号)
沖 縄 県 高 等 学 校 障 害 児 学 校 教 職 員 玉 那 覇 哲 君
組 合 執 行 委 員 長 補 助 者 (")
沖 縄 県 高 等 学 校 障 害 児 学 校 教 職 員 北 城 博 子 さん
組 合 執 行 副 委 員 長

審査概要

移植医療の現状について及び陳情第106号について参考人から説明を聴取した後、質疑が行われた。
次に、乙第7号議案及び乙第8号議案について教育長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第7号議案については、特別の事由がある場合の授業料徴収規定の本県での運用予定及び

九州各県の状況等について質疑が行われた。

乙第8号議案については、青少年自然の家を指定管理とする理由及び他の青少年教育施設の指定管理への移行予定、指定管理に移行した場合の施設の利用料金等、青少年教育施設の危機管理の状況等について質疑が行われた。

次に、陳情54件について教育長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

(3)

◎平成22年7月5日(月曜日)

開 会 午前10時1分
散 会 午後8時45分
場 所 第2委員会室
議 題

- 1 参考人からの説明聴取について(陳情第81号について)
- 2 社会福祉及び社会保障について(児童虐待問題について)
- 3 乙第6号議案 沖縄県介護支援専門員資格登録申請等手数料条例の一部を改正する条例
- 4 乙第7号議案 沖縄県立高等学校等の授業料等の徴収に関する条例の一部を改正する条例
- 5 乙第8号議案 沖縄県立青少年の家の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 6 陳情平成20年第41号、同第43号、同第53号、同第57号、同第63号、同第64号、同第78号、同第112号、同第125号、同第134号、同第137号、同第142号、同第148号、同第188号、同第189号、同第192号、同第195号、同第199号、陳情平成21年第8号、同第9号、同第13号、同第32号、同第41号、同第50号、同第52号、同第57号、同第60号、同第61号、同第65号、同第67号、同第68号、同第72号、同第80号、同第84号、同第88号の2、同第94号、同第95号、同第99号、同第105号、同第106号、同第110号の2、同第112号、同第113号、同第116号、同第117号、同第122号の3、同第132号、同第133号、同第137号から同第139号まで、同第142号、同第145号、同第148号、同第149号、同第153号、同第160号、同第178号、同第192号、同第193号、同第196号、同第197号、同第200号、同第203号から同第205号まで、同第210号、

陳情第2号、第8号、第23号、第24号、第27号から第33号まで、第38号、第40号、第41号、第49号、第52号、第53号、第57号、第61号の2、第62号、第76号、第78号、第81号、第83号、第84号、第94号、第95号、第97号から第101号まで、第103号、第104号、第106号、第120号から第123号まで、第128号、第129号、第137号から第139号まで、第143号、第145号及び第147号

- 7 閉会中継続審査(調査)について
- 8 細菌性髄膜炎ワクチンの早期定期接種化等を求める意見書の提出について(追加議題)
- 9 保育所・児童入所施設の環境改善を求める意見書の提出について(追加議題)
- 10 参考人招致について(陳情第147号について)(追加議題)
- 11 視察調査日程について(追加議題)

出席

| | |
|------|----------|
| 委員長 | 赤嶺昇君 |
| 副委員長 | 西銘純恵さん |
| 委員 | 桑江朝千夫君 |
| | 佐喜真淳君 |
| | 仲田弘毅君 |
| | 翁長政俊君 |
| | 仲村未央さん |
| | 渡嘉敷喜代子さん |
| | 上原章君 |
| | 奥平一夫君 |
| | 比嘉京子さん |

説明員の職、氏名

| | |
|------------|---------|
| 福祉保健部長 | 奥村啓子さん |
| 福祉企画統括監 | 當間秀史君 |
| 保健衛生統括監 | 宮里達也君 |
| 高齢者福祉介護課長 | 宮城洋子さん |
| 青少年・児童家庭課長 | 田端一雄君 |
| 医務課長 | 平順寧君 |
| 国保・健康増進課長 | 上原真理子さん |
| 病院事業局長 | 伊江朝次君 |
| 県立病院課長 | 武田智君 |
| 県立病院課医療企画監 | 篠崎裕子さん |

中部病院副院長 宮 城 良 充 君
 警察本部刑事部 幸 喜 一 史 君
 捜査第一課次席
 参 考 人 (陳 情 第 8 1 号)
 沖縄県がん患者会 田 名 勉 君
 連 合 会 会 長 (")
 補 助 者
 沖縄県がん患者会 吉 田 祐 子 さん
 連 合 会 副 会 長 (")
 補 助 者
 沖縄県がん患者会 上 原 弘 美 さん
 連 合 会 事 務 局 長 (")
 補 助 者
 沖縄県がん患者会 安 里 加 代 子 さん
 連 合 会 会 計

審査概要

陳情第81号について参考人から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、児童虐待問題について福祉保健部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、乙第6号議案について福祉保健部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、2月

定例会の条例案と今定例会の条例案との違い、登録申請等業務の委託理由、介護職員に対する給与実態調査の実施状況、介護職と他職種との平均給与の比較、手数料の算定方針、受講者負担の根拠等について質疑が行われた。

次に、陳情65件について福祉保健部長及び病院事業局長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、乙第6号議案及び乙第8号議案に対して、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案3件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情114件を採決した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

なお、「細菌性髄膜炎ワクチンの早期定期接種化等を求める意見書」及び「保育所・児童入所施設の環境改善を求める意見書」を別掲のとおり提出することになった。

次に、参考人招致について協議し、決定した。

次に、視察調査日程について協議し、決定した。

文教厚生委員会議案処理一覧表

イ 処理（3件）

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|------|-----------------------------------|--------------|
| 乙第6号 | 沖縄県介護支援専門員資格登録申請等手数料条例の一部を改正する条例 | 多数 原案可決 |
| 乙第7号 | 沖縄県立高等学校等の授業料等の徴収に関する条例の一部を改正する条例 | 全会一致 原案可決 |
| 乙第8号 | 沖縄県立青少年の家の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 | 多数 原案可決 |

**文教厚生委員会閉会中継続
 審査（調査）事件一覧**

- 1 陳情平成20年第41号 子供の医療費助成制度の拡充に関する陳情
- 2 陳情平成20年第43号 母子家庭等医療費助成の給付方法を償還払いから現物給付へ変更することを求める陳情
- 3 陳情平成20年第53号 ジストニア治療の健康保険適用拡大等治療環境の改善に関する意見書の提

出を求める陳情

- 4 陳情平成20年第57号 2009年度政府教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する陳情
- 5 陳情平成20年第63号 サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情
- 6 陳情平成20年第64号 「戦争のできる国民づくり」教育に反対する陳情
- 7 陳情平成20年第78号 子供の医療費助成制度の拡充に関する陳情
- 8 陳情平成20年第112号 友愛スポーツセンター跡

- 利用に関する陳情
- 9 陳情平成20年第125号 「全国学力・学習状況調査」の公表等に関する陳情
- 10 陳情平成20年第134号 認可外保育園支援のための振興対策調整費の使途に関する陳情
- 11 陳情平成20年第137号 サンゴの保護に関する陳情
- 12 陳情平成20年第142号 天然記念物の伐採に関する陳情
- 13 陳情平成20年第148号 地域医療・高度多機能な医療の確保に関する陳情
- 14 陳情平成20年第188号 命の尊厳を踏みにじる「後期高齢者医療制度」の廃止を求める陳情
- 15 陳情平成20年第189号 子供たちに行き届いた教育の保障を求める陳情
- 16 陳情平成20年第192号 第60回九州地区地域婦人大会及び平成20年度全地婦連九州ブロック会議の決議に関する陳情
- 17 陳情平成20年第195号 医療提供体制確保と地域医療を守ることにに関する陳情
- 18 陳情平成20年第199号 沖縄県教育委員会の職務不履行に関する陳情
- 19 陳情平成21年第8号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 20 陳情平成21年第9号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 21 陳情平成12年第13号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 22 陳情平成21年第32号 身体障害者に関する手続等についての陳情
- 23 陳情平成21年第41号 県立病院の存続を求める陳情
- 24 陳情平成21年第50号 県立病院の独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 25 陳情平成21年第52号 地域医療を守り、県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 26 陳情平成21年第57号 学校給食に環境保全型農業で生産された農産物の使用促進に関する陳情
- 27 陳情平成21年第60号 県立八重山病院の地方独立行政法人化に反対する陳情
- 28 陳情平成21年第61号 医療提供体制確保を求める陳情
- 29 陳情平成21年第65号 沖縄ろう学校を「単独型の聴覚特別支援学校」として存続を求める陳情
- 30 陳情平成21年第67号 地域医療体制の強化を求める陳情
- 31 陳情平成21年第68号 県立宮古病院を初め県立病院の地方独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 32 陳情平成21年第72号 県立宮古病院を初め県立病院の地方独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 33 陳情平成21年第80号 県立病院の存続を求める陳情
- 34 陳情平成21年第84号 県立八重山病院の独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 35 陳情平成21年第88号の2 沖縄学生会館の閉館に関する陳情
- 36 陳情平成21年第94号 新学習指導要領理科の実現へ向けての環境整備に関する陳情
- 37 陳情平成21年第95号 沖縄学生会館の再建に関する陳情
- 38 陳情平成21年第99号 利用者の人権、職員の権利、健康を守るために社会福祉法人「翠泉会」在宅複合型施設羽地苑の運営正常化・健全化を求める陳情
- 39 陳情平成21年第105号 サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情
- 40 陳情平成21年第106号 県立高等学校編成整備実施計画に関する陳情
- 41 陳情平成21年第110号の2 公私の格差是正と制度等に関する陳情
- 42 陳情平成21年第112号 特別支援教育のさらなる推進に関する陳情
- 43 陳情平成21年第113号 中部病院を初め県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 44 陳情平成21年第116号 介護サービス情報公表制度の見直しに関する陳情
- 45 陳情平成21年第117号 沖縄学生会館の再建を求める陳情
- 46 陳情平成21年第122号の3 県がワーキングプアをなくす先頭に立ち、非正規等の待遇改善を求める陳情
- 47 陳情平成21年第132号 環境教育でEMを活用することに関する陳情
- 48 陳情平成21年第133号 沖縄県の学校施設の地震

対策や渇水対策に関する陳情

- 49 陳情平成21年第137号 沖縄県立美術館の「展示拒否問題」に関する陳情
- 50 陳情平成21年第138号 沖縄県立博物館・美術館の大浦信行作品展示拒否事件に関する陳情
- 51 陳情平成21年第139号 学童保育の拡充に関する陳情
- 52 陳情平成21年第142号 「30人以下学級」完全実現のための陳情
- 53 陳情平成21年第145号 県立久米島高等学校園芸科の存続に関する陳情
- 54 陳情平成21年第148号 県立中部病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 55 陳情平成21年第149号 県民のセーフティネットとしての県立病院を守り沖縄県立北部病院産婦人科の完全再開を求める陳情
- 56 陳情平成21年第153号 地域医療を崩壊させる県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 57 陳情平成21年第160号 「大浦湾チリビシのアオサンゴ群集」の天然記念物指定に関する陳情
- 58 陳情平成21年第178号 次世代育成支援対策後期行動計画策定に対する陳情
- 59 陳情平成21年第192号 県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合計画案に反対し、現行どおり単独「農業高校」としての継承、発展、充実を求める陳情
- 60 陳情平成21年第193号 ブラジルに現存する古典的な沖縄三線の鑑定に関する陳情
- 61 陳情平成21年第196号 子供たちに行き届いた教育の保障を求める陳情
- 62 陳情平成21年第197号 「第61回九州地区地域婦人大会」並びに「平成21年度全地婦連九州ブロック会議」決議に基づく陳情
- 63 陳情平成21年第200号 平成21年度軽費老人ホーム事務費補助金削減見直しに関する陳情
- 64 陳情平成21年第203号 県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合に反対し、単独「農業高校」としての継承、発展、充実を求める陳情
- 65 陳情平成21年第204号 「労働安全衛生委員会」の設置を求める陳情
- 66 陳情平成21年第205号 幼稚園教育の制度改善に関する陳情
- 67 陳情平成21年第210号 子供と向き合うゆとりを

学校に取り戻すための陳情

- 68 陳情第2号 県立宮古病院の脳神経外科医師の確保に関する陳情
- 69 陳情第8号 県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合に反対し、単独「農業高校」としての継承、発展、充実を求める陳情
- 70 陳情第23号 「若夏荘」「沖縄学生会館」に関する陳情
- 71 陳情第24号 子供と学校の安心・安全のために正規の学校職員の配置を保障することを求める陳情
- 72 陳情第27号 沖縄県から「いじめ」を追放し、いじめ撲滅ナンバーワンの県を目指して実効性のあるいじめ防止施策の実施及び「沖縄県いじめ防止条例」制定を求める陳情
- 73 陳情第28号 子供にこたえる学校図書館を求める陳情
- 74 陳情第29号 子供にこたえる学校図書館を求める陳情
- 75 陳情第30号 平成21年度軽費老人ホーム事務費補助金削減見直し並びに平成22年度補助金に関する陳情
- 76 陳情第31号 軽費老人ホーム緑樹苑事務費補助金削減反対に関する陳情
- 77 陳情第32号 軽費老人ホーム緑樹苑事務費補助金見直しに関する陳情
- 78 陳情第33号 軽費老人ホーム緑樹苑事務費補助金見直しに関する陳情
- 79 陳情第38号 県立高等学校再編整備実施計画に関する陳情
- 80 陳情第40号 後期高齢者医療制度の即時廃止を求める陳情
- 81 陳情第41号 子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める陳情
- 82 陳情第49号 「第43回沖縄県知的障害者教育・福祉・就労研究大会」における大会決議に関する陳情
- 83 陳情第52号 社会福祉法人翠泉会「羽地苑」に関する陳情
- 84 陳情第53号 軽費老人ホーム事務費補助金減額反対署名提出及び県議会参考人招致に関する陳情
- 85 陳情第57号 医療制度改革に伴う国保の財政赤字問題に関する陳情
- 86 陳情第61号の2 無償教育の実現を求める陳情
- 87 陳情第62号 保育制度改革に関する意見書提出

- を求める陳情
- 88 陳情第76号 遺骨収集に関する陳情
- 89 陳情第78号 戦争遺跡の保存に関する陳情
- 90 陳情第81号 がん対策推進条例制定に関する陳情
- 91 陳情第83号 前期高齢者財政調整制度等の見直しに関する陳情
- 92 陳情第84号 県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合に反対し、単独農業高校としての継承、発展、充実を求める陳情
- 93 陳情第94号 子宮頸がん予防及び早期発見の施策推進を求める陳情
- 94 陳情第95号 介護保険で訪問カットが適用できるよう国に意見書を提出することを求める陳情
- 95 陳情第97号 子ども手当廃止の意見書を提出するよう求める陳情
- 96 陳情第98号 難病のある人の生活自立支援と就労支援に対する陳情
- 97 陳情第99号 「沖縄県がん対策推進基本条例」の6月定例会での制定を求める陳情
- 98 陳情第100号 発声障害の認知と治療の保険適用を求める陳情
- 99 陳情第101号 利用者の安心・安全と健康や職員の権利を守るために、社会福祉法人「翠泉会」在宅複合型施設羽地苑の運営正常化を求める陳情
- 100 陳情第103号 選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情
- 101 陳情第104号 沖縄戦遺骨収集現場の視察要請に関する陳情
- 102 陳情第106号 県立高等学校における進級・卒業規程見直しに関する陳情
- 103 陳情第120号 「社会福祉法人翠泉会羽地苑」の運営に関する陳情
- 104 陳情第121号 「30人以下学級完全実現」に関する陳情
- 105 陳情第122号 「義務教育の国庫負担」堅持及び2分の1復元を求める陳情
- 106 陳情第123号 幼稚園教育の制度改善に関する陳情
- 107 陳情第128号 「沖縄子ども振興計画(仮称)」の策定に関する陳情
- 108 陳情第129号 「子どもの虐待未然防止」に関する陳情
- 109 陳情第137号 琉球大学医学部の地域医療に関

- する講座の新設を求める陳情
- 110 陳情第138号 子宮頸がんワクチンの定期接種と公費助成を求める陳情
- 111 陳情第139号 沖縄南部離島町村学生宿舎(学生寮)整備に関する陳情
- 112 陳情第143号 あずま保育園の環境改善に関する陳情
- 113 陳情第145号 「沖縄県立高等学校管理規則の一部を改正する規則案」に関する陳情
- 114 陳情第147号 沖縄子ども振興計画の策定と子ども、子育て支援に関する陳情
- 115 青少年について(所管事務調査)
- 116 社会福祉及び社会保障について(所管事務調査)
- 117 保健衛生について(所管事務調査)
- 118 医療について(所管事務調査)
- 119 教育及び学術文化について(所管事務調査)

細菌性髄膜炎ワクチンの早期定期接種化等を求める意見書

細菌性髄膜炎は、脳や脊髄を保護している髄膜の細菌性感染症であり、乳幼児が罹患すると重症になることが多く、また予後の経過が悪ければ後遺症が残ることから重篤な病気とされている。

原因菌には、ヘモフィルス・インフルエンザ菌b型(Hib)あるいは肺炎球菌等が考えられるが、5歳未満の乳幼児の場合にはその6割以上がHibによると言われており、年間500名から600名ほどが発症していると推計されている。

このHibや肺炎球菌による細菌性髄膜炎に対しては、乳幼児期のワクチン接種による予防が極めて有効であると言われている。中でもHibワクチンは世界保健機関が推奨し、100カ国以上で導入が推進されているもので、そのうち定期接種に組み込んでいる国では発症率が大幅に減少するなどの効果が確認されている。

我が国では、平成19年にHibワクチン接種が承認され、平成20年12月から医療機関での接種が可能となったが、任意接種であるため費用負担が高額で、また公的支援も十分でないことから全国的な導入・普及がおこなわれている状況である。

よって、政府におかれては、子供たちの命を守る

とともに、健やかな成長を確保するため、細菌性髄膜炎を予防接種法による定期接種対象疾患（一類疾病）に位置づけるとともに、予防接種費用への公費助成を行うよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年7月9日

内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣
沖縄及び北方対策担当大臣

沖縄県議会

あて

保育所・児童入所施設の環境改善を求める意見書

平成21年12月、政府は、地方分権改革推進委員会の第3次勧告を受けて、地方分権改革推進計画を閣議決定した。その中で、児童福祉法第45条に規定する児童福祉施設の設備及び運営に関する基準は、条例に委任することとした。

条例制定に当たっては、配置する職員の員数に関する基準及び居室の面積に関する基準に係る規定は、国の基準に従うべきものとされている。

一方、平成21年に社会福祉法人全国社会福祉協議会が行った「機能面に着目した保育所の環境・空間に係る研究」では、子供1人当たりの面積基準及び職員の配置基準は、諸外国に比較して低い基準となっていることから、時代の変化とともに随時、見直しを行う必要があるとしている。

ところで、保育所・児童入所施設の最低基準は、子供が健康で安心して生活や教育ができる最低限の環境を保障するものであり、保育の充実を図るため社会の変化に応じた最低基準を引き続き確保していく必要がある。

また、保育所・児童入所施設の運営費は、国及び所在する地方公共団体が支出していることから、最低基準の見直しに当たっては当該地方公共団体の財政事情等も十分に考慮されなければならないものである。

よって、政府におかれては、厳しい地方公共団体の財政状況にかんがみ、全国どこでも一律に保育所・児童入所施設の最低基準の環境を保障するため、

下記の事項について最大限配慮されるよう強く要請する。

記

- 1 保育所・児童入所施設の設置及び運営に対し、必要な財源を確保すること。
- 2 保育所・児童入所施設の最低基準の改善に向け十分に配慮すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年7月9日

内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣
沖縄及び北方対策担当大臣

沖縄県議会

あて

土木文化環境委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年7月1日(木曜日)

開会 午後5時24分

散会 午後5時26分

場 所 第3委員会室

議 題

1 審査日程について

出 席

委 員 長 當 山 眞 市 君

副 委 員 長 照 屋 大 河 君

委 員 新 垣 良 俊 君

嶺 井 光 君

池 間 淳 君

新 垣 哲 司 君

大 城 一 馬 君

平 良 昭 一 君

新 垣 安 弘 君

吉 田 勝 廣 君

欠 席

高 嶺 善 伸 君

嘉 陽 宗 儀 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年7月2日(金曜日)

開 会 午前10時2分
散 会 午後5時54分
場 所 第3委員会室
議 題

- 1 平成22年第1回議会乙第22号議案 沖縄県
都市公園条例の一部を改正する条例
- 2 乙第17号議案 違約金存否確認等請求調停
事件等の調停について
- 3 陳情平成20年第64号の2、同第68号、同第
72号、同第115号、同第133号、同第136号、同
第137号の2、同第138号、同第149号、同第152
号、同第160号、同第162号、同第183号、同第
185号、同第187号、同第192号の2、同第201
号の2、同第202号の2、陳情平成21年第18号、
同第24号、同第33号、同第35号から同第37号
まで、同第63号、同第74号の4、同第76号、
同第90号、同第107号、同第109号、同第118号、
同第119号、同第131号、同第134号、同第135
号、同第140号、同第157号、同第158号、同第
165号、同第166号、同第168号、同第172号、
同第174号の3、同第181号、同第188号、同第
190号、同第191号の3、同第194号の2、陳情
第3号、第42号、第48号の2、第68号から第
70号まで、第85号、第91号から第93号まで、
第102号、第105号、第126号及び第127号
- 4 閉会中継続審査(調査)について

出 席

| | |
|---------|-----------|
| 委 員 長 | 當 山 眞 市 君 |
| 副 委 員 長 | 照 屋 大 河 君 |
| 委 員 | 新 垣 良 俊 君 |
| | 嶺 井 光 君 |
| | 池 間 淳 君 |
| | 新 垣 哲 司 君 |
| | 高 嶺 善 伸 君 |
| | 嘉 陽 宗 儀 君 |
| | 大 城 一 馬 君 |
| | 平 良 昭 一 君 |
| | 新 垣 安 弘 君 |
| | 吉 田 勝 廣 君 |

説明員の職、氏名

| | |
|-------------------|-------------|
| 文化環境部長 | 下 地 寛 君 |
| 文化生活統括監 | 真栄城 香代子 さん |
| 文化振興課長 | 新 垣 盛 勝 君 |
| 平和・男女 共同参画課長 | 金 良 多恵子 さん |
| 環境整備課長 | 下 地 岳 芳 君 |
| 自然保護課長 | 久 田 友 弘 君 |
| 土木建築部長 | 仲 田 文 昭 君 |
| 建築都市統括監 | 新 里 榮 治 君 |
| 土木企画課長 | 喜 瀬 普 一 郎 君 |
| 用地課長 | 新 屋 勉 君 |
| 道路街路課長 | 金 城 淳 君 |
| 道路管理課長 | 儀 間 朝 範 君 |
| 河川課長 | 濱 元 盛 充 君 |
| 港湾課長 | 神 田 豪 君 |
| 空港課長 | 伊 佐 実 春 君 |
| 都市計画・ モノレール課長 | 茂 上 圭 弘 君 |
| 住宅課長 | 渡久山 盛 清 君 |
| 企業局長 | 宮 城 嗣 三 君 |
| 警察本部交通部 交通指導課長 | 吉 永 安 彦 君 |

審査概要

平成22年第1回議会乙第22号議案及び乙第17号議案について土木建築部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、平成22年第1回議会乙第22号議案については、補助競技場の一般競技者と専門競技者の混在する危険性、競技場の利用制限の対策等について質疑が行われた。

乙第17号議案については、談合の再発防止策の取り組み、談合処分を受けた請負工事の賠償金を引き下げる和解案に応じる理由、国庫補助金の返還など国との調整、調停の法的根拠、全国市民オンブズマン連絡会議の談合に関する指標の内容、平均落札率等について質疑が行われた。

次に、陳情42件について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情21件について文化環境部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情1件について企業局長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、平成22年第1回議会乙第22号議案に対し、社民・護憲ネット所属委員から修正動議が提出された。

次に、平成22年第1回議会乙第22号議案に対する修正動議を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、修正議決した部分を除く原案を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、議案1件を採決した結果、別掲のとおり

決定した。

次に、陳情62件を採決した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

土木文化環境委員会議案処理一覧表

イ 処理（2件）

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|-----------------|------------------------|-------------------|
| 平成22年第1回議会乙第22号 | 沖縄県都市公園条例の一部を改正する条例 | 多数修正議決 (修正案別紙) |
| 乙第17号 | 違約金存否確認等請求調停事件等の調停について | 全会一致 原案可決 |

(別紙)

平成22年第1回議会乙第22号議案沖縄県都市公園条例の一部を改正する条例に対する修正案（社民・護憲ネット所属委員提出）

平成22年第1回議会乙第22号議案「沖縄県都市公園条例の一部を改正する条例」の一部を次のように修正する。

別表第6第1項第2項の表中

「

| | |
|------|-------|
| 共同利用 | 一般・学生 |
| | 児童・生徒 |

」

を

「

| | |
|------|-------------------|
| 共同利用 | 一般・学生 |
| | 児童・生徒 (幼児を除く。) |

」

に

改める。

附則第1項中「平成22年4月1日」を「平成22年10月1日」に、「別表第6第1項第2号」を「別表第2」に、「平成22年7月1日」を「平成23年4月1日」に改める。

土木文化環境委員会閉会中継続審査（調査）事件一覧

- 1 陳情平成20年第64号の2 「戦争のできる国民づくり」教育に反対する陳情
- 2 陳情平成20年第68号 東部海浜開発（泡瀬埋立）事業の中止を求める陳情
- 3 陳情平成20年第72号 沖広産業の産業廃棄物安定型最終処分場内におけるクロルゲン類等汚染の浄化と、営業許可の更新を認めないことを求める陳情
- 4 陳情平成20年第115号 港湾区域内の水域占用許

可に関する陳情

- 5 陳情平成20年第133号 「住宅供給公社の共益費徴収業務」に関する陳情
- 6 陳情平成20年第136号 浦添の美しい景観と安心・安全で安らぎのある生活環境を求める陳情
- 7 陳情平成20年第137号 サンゴの保護に関する陳情
- 8 陳情平成20年第138号 古島団地の建てかえに関する陳情
- 9 陳情平成20年第149号 産業廃棄物処理場の撤去を求める陳情
- 10 陳情平成20年第152号 公共工事の不払いに関する陳情

- 11 陳情平成20年第160号 那覇伊平屋航空路線開設に関する陳情
- 12 陳情平成20年第162号 「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」の採択を求める陳情
- 13 陳情平成20年第183号 泡瀬裁判の控訴断念を議決するよう求める陳情
- 14 陳情平成20年第185号 泡瀬干潟埋立事業公金支出差止訴訟判決に対する控訴を断念し泡瀬干潟の保全を求める陳情
- 15 陳情平成20年第187号 沖縄美ら海再生に関する陳情
- 16 陳情平成20年第192号の2 第60回九州地区地域婦人大会及び平成20年度全地婦連九州ブロック会議の決議に関する陳情
- 17 陳情平成20年第201号の2 吉の浦火力発電所電源開発に伴う海域環境調査に関する陳情
- 18 陳情平成20年第202号の2 建設業界の窮状に関する陳情
- 19 陳情平成21年第18号 泡瀬干潟裁判の控訴費用及び泡瀬埋立関連の予算の削除に関する陳情
- 20 陳情平成21年第24号 公共事業の早期発注並びに建設工事入札における最低制限価格の引上げに関する陳情
- 21 陳情平成21年第33号 読谷村産業廃棄物安定型最終処分場問題をめぐる行政処分に関する陳情
- 22 陳情平成21年第35号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 23 陳情平成21年第36号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 24 陳情平成21年第37号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 25 陳情平成21年第63号 ヤンバルの森全体の環境調査の実施と沖縄県アセス条例の改正を求める陳情
- 26 陳情平成21年第74号の4 平成21年度「離島・過疎地域振興に関する要望事項」に関する陳情
- 27 陳情平成21年第76号 県道、与那国島線祖納集落内217号線の拡張に関する陳情
- 28 陳情平成21年第90号 「豊崎プロジェクト」に関する陳情
- 29 陳情平成21年第107号 「気候保護法(仮称)」の制定を求める陳情
- 30 陳情平成21年第109号 公共工事に係る工賃の支払いに関する陳情
- 31 陳情平成21年第118号 安謝川河川改修工事に関する陳情
- 32 陳情平成21年第119号 安謝川河川改修工事に関する陳情
- 33 陳情平成21年第131号 EMで海や川の環境を守ることにに関する陳情
- 34 陳情平成21年第134号 沖縄県の公共の土木建築物でEMを活用することに関する陳情
- 35 陳情平成21年第135号 沖縄県の下水処理場(浄化センター)にEMを活用することに関する陳情
- 36 陳情平成21年第140号 泡瀬干潟埋立事業の中止の決議を可決することに関する陳情
- 37 陳情平成21年第157号 開南交差点に面するポケットパーク設置に関する陳情
- 38 陳情平成21年第158号 県道222号線拡幅整備事業(開南バス停付近)の一部変更に関する陳情
- 39 陳情平成21年第165号 文書での回答が公務員としての務めであることに関する陳情
- 40 陳情平成21年第166号 宅地建物取引業法第36条及び関連法案に関する陳情
- 41 陳情平成21年第168号 中城湾港泡瀬地区埋立事業の早期完成と東部海浜開発事業の推進に関する陳情
- 42 陳情平成21年第172号 泡瀬干潟埋立中止に向けた取り組みに関する陳情
- 43 陳情平成21年第174号の3 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等を活用した中小業者支援に関する陳情
- 44 陳情平成21年第181号 安謝川河川改修工事に伴う福祉施設運営に支障がないよう求める陳情
- 45 陳情平成21年第188号 中城湾港新港地区東埠頭の早期整備促進及び定期船の就航強化促進に関する陳情
- 46 陳情平成21年第190号 男女共同参画の活動拠点施設「宜野湾市人材育成交流センターめぶき」の増築等への財政的支援に関する陳情
- 47 陳情平成21年第191号の3 じん肺被災者の早期救済を図る「トンネルじん肺基金」の創設とじん肺やアスベスト被害の根絶を求める陳情
- 48 陳情平成21年第194号の2 平成21年度中城湾港(新港地区)振興に関する陳情
- 49 陳情第3号 大里城跡都市公園計画に係る土地収用補償金の範囲に関する陳情

米軍基地関係特別委員会 委員会記録

- 50 陳情42号 日本軍「慰安婦」問題の解決を目指す法制を求める陳情
- 51 陳情第48号の2 非婚母子世帯に寡婦控除をみなし適用し、他の母子世帯と同等の生活水準を確保・支援することを求める陳情
- 52 陳情第68号 沖縄環境産業の産業廃棄物関連許可の取り消しを求める陳情
- 53 陳情第69号 沖縄環境産業の産業廃棄物関連許可の取り消しに関する陳情
- 54 陳情第70号 東部海浜開発事業の早期実現に関する陳情
- 55 陳情第85号 県道平良下地島空港線（乗瀬橋）の整備促進に関する陳情
- 56 陳情第91号 伊是名村の振興発展に関する陳情
- 57 陳情第92号 伊平屋・伊是名架橋の早期実現に関する陳情
- 58 陳情第93号 野甫港ターミナル施設整備に関する陳情
- 59 陳情第102号 人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情
- 60 陳情第105号 沖縄県立郷土劇場の早期再建に関する陳情
- 61 陳情第126号 絶滅危惧種等の交通事故防止に関する陳情
- 62 陳情第127号 南風原中央線街路整備事業に係る当社所有の物件補償に関する協議書に対する陳情
- 63 道路、橋梁の整備事業について（所管事務調査）
- 64 港湾の整備事業について（所管事務調査）
- 65 空港の整備事業について（所管事務調査）
- 66 河川、海岸及び砂防の整備事業について（所管事務調査）
- 67 都市計画事業について（所管事務調査）
- 68 上下水道事業について（所管事務調査）
- 69 住宅環境の改善について（所管事務調査）
- 70 都市モノレールの整備事業について（所管事務調査）
- 71 建築関係について（所管事務調査）
- 72 消費者保護及び県民生活について（所管事務調査）
- 73 県民文化について（所管事務調査）
- 74 交通安全問題について（所管事務調査）
- 75 公害防止及び環境保全について（所管事務調査）
- 76 平和及び男女共同参画について（所管事務調査）

(1)

◎平成22年7月1日(木曜日)

開 会 午後5時42分

散 会 午後5時46分

場 所 第4委員会室

議 題

1 審査日程について

出 席

委 員 長 渡嘉敷 喜代子 さん

委 員 吉 元 義 彦 君

具 志 孝 助 君

照 屋 大 河 君

前 田 政 明 君

新 垣 清 涼 君

玉 城 満 君

吉 田 勝 廣 君

欠 席

桑 江 朝千夫 君

仲 田 弘 毅 君

上 原 章 君

山 内 末 子 さん

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年7月7日(水曜日)

開 会 午前10時32分

散 会 午後3時49分

場 所 第4委員会室

議 題

- 1 請願平成20年第1号、陳情平成20年第36号、同第88号、同第89号、同第94号、同第102号、同第167号、同第204号、陳情平成21年第42号、同第46号、同第51号、同第79号、同第82号、同第114号、同第125号、同第151号、同第154号、同第161号、同第163号、同第167号、同第169号、同第185号から同第187号まで、同第195号、同第207号、同第208号、陳情第21号、第22号、第26号、第45号、第50号、第58号、第

60号、第65号から第67号まで、第72号から第75号まで、第79号、第80号、第86号、第117号、第124号、第140号、第149号及び第150号

2 閉会中継続審査（調査）について

3 軍使用土地、基地公害、演習、跡地利用計画等米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立（米軍普天間飛行場の名護市辺野古崎地区及び水域設置について）（追加議題）

出席

委員長 渡嘉敷 喜代子 さん
 副委員長 桑江 朝千夫 君
 委員 吉元 義彦 君
 仲田 弘毅 君
 具志 孝助 君
 照屋 大河 君
 前田 政明 君
 上原 章 君
 新垣 清涼 君
 玉城 満 君
 山内 末子 さん
 吉田 勝廣 君

説明員の職、氏名

知事公室長 又吉 進 君
 基地対策課長 親川 達男 君
 企画部企画調整課跡地対策監 古波蔵 健 君
 文化環境部環境企画統括監 金城 康政 君

農林水産部 知念 武 君
 農漁村基盤統括監

土木建築部 当間 清勝 君
 土木整備統括監

病院事業局 呉屋 幸一 君
 病院事業統括監

教育庁文化課長 大城 慧 君

警察本部刑事部 高嶺 隆喜 君
 捜査第一課長

警察本部交通部 北川 秀行 君
 交通指導課長 吉永安彦 君

審査概要

請願1件及び陳情48件について知事公室長、企画部企画調整課跡地対策監、文化環境部環境企画統括監、農林水産部農漁村基盤統括監、土木建築部土木整備統括監、病院管理局病院事業統括監、教育庁文化課長及び警察本部刑事部捜査第一課長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、請願1件及び陳情48件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

なお、「米軍普天間飛行場移設の日米共同発表の見直しを求める意見書」及び「同抗議決議」を別掲のとおり提出することになった。

米軍基地関係特別委員会陳情処理一覧表

イ 処理(14件)

| 陳情番号 | 受理年月日 | 件名 | 陳情者名 | 審査の結果 | 措置 |
|--------------------|----------------|---------------------------|-------------------|-------|------------------------------|
| 平成21年第163号 (継続) | 平成21年 9月11日 | 米国原子力潜水艦のホワイトビーチ寄港に反対する陳情 | うるま市議会議員 西野 一男 | 採択 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事) |
| 平成21年第167号 (継続) | 平成21年 9月18日 | 米国原子力軍艦のホワイト・ビーチ寄港に関する陳情 | うるま市長 島袋 俊夫 | 〃 | 〃 |
| 平成21年第207号 (継続) | 平成21年 12月2日 | 米国原子力軍艦のホワイト・ビーチ寄港に関する陳情 | うるま市長 島袋 俊夫 | 〃 | 〃 |

| 陳情番号 | 受理年月日 | 件名 | 陳情者名 | 審査の結果 | 措置 |
|--------------------|----------------|----------------------------|---|-------|---|
| 平成21年第208号 (継続) | 平成21年 12月2日 | 米国原子力潜水艦のホワイト・ビーチ寄港に反対する陳情 | うるま市議会議長 西野 一男 | 採 択 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置 (知 事) |
| 第21号 (継続) | 平成22年 2月1日 | 米国原子力潜水艦のホワイト・ビーチ寄港に反対する陳情 | うるま市議会議長 西野 一男 | 〃 | 〃 |
| 第22号 (継続) | 平成22年 2月1日 | 米国原子力軍艦のホワイト・ビーチ寄港に対する陳情 | うるま市長 島袋 俊夫 | 〃 | 〃 |
| 第58号 | 平成22年 3月24日 | 県立中部病院への米軍車両無断侵入に対する陳情 | うるま市議会議長 西野 一男 | 〃 | 〃 |
| 第60号 | 平成22年 3月24日 | 県立中部病院への米軍車両無断侵入に対する陳情 | うるま市長 島袋 俊夫 | 〃 | 〃 |
| 第65号 | 平成22年 3月31日 | 米軍人によるひき逃げ事件に対する陳情 | 糸満市議会議長 上原 勲 | 〃 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置 (知事及び公安委員会) |
| 第66号 | 平成22年 4月1日 | 米軍人によるひき逃げ事件に対する陳情 | 名護市議会議長 島袋 権勇 | 〃 | 〃 |
| 第67号 | 平成22年 4月2日 | 米軍人によるひき逃げ事件に関する陳情 | 嘉手納町議会議長 田崎 博美 | 〃 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置 (知 事) |
| 第72号 | 平成22年 4月20日 | 米国原子力潜水艦のホワイト・ビーチ寄港に反対する陳情 | うるま市議会議長 西野 一男 | 〃 | 〃 |
| 第73号 | 平成22年 4月20日 | 普天間基地の県内移設に反対する陳情 | 「普天間基地の県内移設に反対する女性の会」 代表呼びかけ人 高里 鈴代 | 〃 | 〃 |
| 第75号 | 平成22年 4月21日 | 米国原子力軍艦のホワイト・ビーチ寄港に対する陳情 | うるま市長 島袋 俊夫 | 〃 | 〃 |

米軍基地関係特別委員会 閉会中継続審査(調査)事件一覧

- 1 請願平成20年第1号 新基地建設に関する請願
- 2 陳情平成20年第36号 キャンプ・ハンセン内レンジ3射撃場建設の即時中止を求める陳情
- 3 陳情平成20年第88号 「高江区周辺域におけるヘリパッド建設中止と計画撤回」の決議を求める

陳情

- 4 陳情平成20年第89号 普天間飛行場代替施設(新基地)建設事業に係るアセス手続及び「環境現況調査」並びにキャンプ・シュワブ内における「造成」工事等に関する陳情
- 5 陳情平成20年第94号 キャンプ・ハンセン内への訓練用コンテナ搬入に関する陳情
- 6 陳情平成20年第102号 沖縄の米軍基地再編・新基地建設に反対する陳情

- 7 陳情平成20年第167号 第二次返還特措法の制定に関する陳情
- 8 陳情平成20年第204号 普天間飛行場代替施設(新基地)建設事業等の中止を求める陳情
- 9 陳情平成21年第42号 「在沖米海兵隊のグアム移転に係る協定」に反対し、基地の無条件撤去に向けた日米両政府の協議を要求する意見書の採択を求める陳情
- 10 陳情平成21年第46号 「米軍再編協定」(「在沖米海兵隊のグアム移転に関する協定」)に反対する意見書の採択を求める陳情
- 11 陳情平成21年第51号 米軍実弾射撃訓練被弾事件に関する陳情
- 12 陳情平成21年第79号 ヘリパッド建設反対に関する陳情
- 13 陳情平成21年第82号 在沖繩米海兵隊のグアム「移転」に関する協定及び新基地の建設に反対する陳情
- 14 陳情平成21年第114号 辺野古新基地建設を押しつける「在沖海兵隊グアム移転協定」に関する陳情
- 15 陳情平成21年第125号 「普天間」代替基地建設工事等の中止を求める陳情
- 16 陳情平成21年第151号 在沖米軍人の基地内居住義務化と基地内住宅の建設計画の中止を求める陳情
- 17 陳情平成21年第154号 日米地位協定にかかわる裁判権放棄の日米密約の公表と破棄を日本政府に求める意見書採択の陳情
- 18 陳情平成21年第161号 「高江区周辺域におけるヘリパッド建設中止と計画撤回」を含む4項目の決議を求める陳情
- 19 陳情平成21年第169号 「普天間基地の即時閉鎖・辺野古新基地建設反対! 9・18県民集会」決議に関する陳情
- 20 陳情平成21年第185号 県当局に「普天間」代替基地建設事業(埋立事業)に係るアセス評価書についても県アセス審査会に審査させることを求める陳情
- 21 陳情平成21年第186号 「普天間」代替基地建設事業に係るアセス評価書作成前の事業者見解の提出・公表と公聴会開催を求める陳情
- 22 陳情平成21年第187号 「普天間」代替基地建設事業に係るアセスメントの検証を求める陳情
- 23 陳情平成21年第195号 在沖米軍基地の機能強化及び新たな基地建設に反対する陳情
- 24 陳情第26号 「座り込み住民弾圧裁判への抗議」を含む3項目の決議を求める陳情
- 25 陳情第45号 米空軍外来機等と航空自衛隊との合同訓練に反対する陳情
- 26 陳情第50号 沖縄基地問題に関する決議の陳情
- 27 陳情第74号 政府による「勝連沖埋め立て案」の検討取りやめ等に関する陳情
- 28 陳情第79号 F15戦闘機のミサイル模擬弾安定板の落下に対する陳情
- 29 陳情第80号 F18戦闘攻撃機等外来機の飛来及び訓練に対する陳情
- 30 陳情第86号 F18戦闘攻撃機等外来機の大挙飛来に反対し、訓練の中止を求める陳情
- 31 陳情第117号 F22Aラプター戦闘機の嘉手納基地への飛来に反対し、訓練の中止を求める陳情
- 32 陳情第124号 米軍ヘリコプターの松田布流石原海岸不時着に関する陳情
- 33 陳情第140号 米軍ゴルフ場での日本人利用禁止の対策に関する陳情
- 34 陳情第149号 「普天間」代替基地建設事業の中止等を求める陳情
- 35 陳情第150号 「米海兵隊北部訓練場ヘリパッド建設中止と計画撤回、住民起訴に対する抗議」を含む4項目の決議を求める陳情
- 36 軍使用土地、基地公害、演習、跡地利用計画等米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立

米軍普天間飛行場移設の日米共同発表の見直しを求める意見書

去る5月28日、日米両政府は、米軍普天間飛行場の移設先を沖縄県名護市のキャンプ・シュワブ辺野古崎地区及びこれに隣接する水域とし、1800メートルの滑走路を建設することを明記した共同発表を行った。

この共同発表は、「県内移設」反対という沖縄県民の総意を全く無視するもので、しかも県民の意見を全く聞かず頭越しに行われたものであり、民主主義を踏みじじる暴挙として、また沖縄県民を愚弄するものとして到底許されるものではない。

さらに、去る6月23日に行われた沖縄全戦没者追

悼式に参加した菅直人内閣総理大臣は「沖縄の基地負担に陳謝とお礼」を表明し、米国では6月24日に下院で、29日には上院でそれぞれ米軍基地を受け入れる沖縄への感謝決議が議決されているが、このことは過重な基地負担を強いられ、今また新たな基地を押しつけられようとしている県民の思いを全く理解していない行為として県民の大きな怒りを買っている。

沖縄県民の願いは、基地のない平和で安全な郷土をつくることであり、このことは本県議会が再三にわたり県内移設反対を議決したのを初め9万人余が参加した4月25日の県民大会、県内全市町村長の反対表明、マスコミの世論調査などで明確に示されている。

よって、本県議会は、県民の生命、安全及び生活環境を守る立場から、政府が県民の思いに真摯に対応するとともに、日米共同発表を見直すよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年7月9日

沖 縄 県 議 会

内 閣 総 理 大 臣 }
 外 務 大 臣 } あて
 防 衛 大 臣 }
 沖縄及び北方対策担当大臣 }

米軍普天間飛行場移設の日米共同発表の見直しを求める決議

去る5月28日、日米両政府は、米軍普天間飛行場の移設先を沖縄県名護市のキャンプ・シュワブ辺野古崎地区及びこれに隣接する水域とし、1800メートルの滑走路を建設することを明記した共同発表を行った。

この共同発表は、「県内移設」反対という沖縄県民の総意を全く無視するもので、しかも県民の意見を全く聞かず頭越しに行われたものであり、民主主義を踏みにじる暴挙として、また沖縄県民を愚弄するものとして到底許されるものではない。

さらに、去る6月23日に行われた沖縄全戦没者追悼式に参加した菅直人内閣総理大臣は「沖縄の基地負担に陳謝とお礼」を表明し、米国では6月24日に

下院で、29日には上院でそれぞれ米軍基地を受け入れる沖縄への感謝決議が議決されているが、このことは過重な基地負担を強いられ、今また新たな基地を押しつけられようとしている県民の思いを全く理解していない行為として県民の大きな怒りを買っている。

沖縄県民の願いは、基地のない平和で安全な郷土をつくることであり、このことは本県議会が再三にわたり県内移設反対を議決したのを初め9万人余が参加した4月25日の県民大会、県内全市町村長の反対表明、マスコミの世論調査などで明確に示されている。

よって、本県議会は、県民の生命、安全及び生活環境を守る立場から、米国政府及び米国上下院が沖縄県民の思いに真摯に対応するとともに、日米共同発表を見直すよう強く要求する。

上記のとおり決議する。

平成22年7月9日

沖 縄 県 議 会

アメリカ合衆国大統領 }
 アメリカ合衆国上院議長 } あて
 アメリカ合衆国下院議長 }
 駐日米国大使 }
 在日米軍司令官 }

観光振興・新石垣空港建設促進特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年7月1日(木曜日)

開 会 午後5時43分

散 会 午後5時48分

場 所 第5委員会室

議 題

1 審査日程について

出 席

委 員 長 比 嘉 京 子 さん

副 委 員 長 辻 野 ヒロ子 さん

委 員 座喜味 一 幸 君

新 垣 良 俊 君

嶺 井 光 君

仲宗根 悟 君
玉 城 ノブ子 さん
金 城 勉 君
平 良 昭 一 君
新 垣 安 弘 君

欠 席

高 嶺 善 伸 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年7月7日(水曜日)

開 会 午前10時4分

散 会 午前11時4分

場 所 第5委員会室

議 題

- 1 陳情平成21年第75号、同第136号、同第141号及び陳情第44号
- 2 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立(新石垣空港の整備事業の進捗状況について)
- 3 閉会中継続審査(調査)について

出 席

委 員 長 比 嘉 京 子 さん
副 委 員 長 辻 野 ヒロ子 さん
委 員 座喜味 一 幸 君
新 垣 良 俊 君
嶺 井 光 君
仲宗根 悟 君
高 嶺 善 伸 君
玉 城 ノブ子 さん
金 城 勉 君
平 良 昭 一 君
新 垣 安 弘 君

説明員の職、氏名

観光商工部長 勝 目 和 夫 君
観光企画課長 下 地 芳 郎 君
土木建築部長 仲 田 文 昭 君
新石垣空港統括監 栄野川 盛 信 君
新石垣空港課長 神 村 美 州 君

審査概要

陳情3件について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情1件について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、新石垣空港の整備事業の進捗状況について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情4件を採決した。

次に、閉会中継続審査(調査)については、別掲のとおり決定した。

観光振興・新石垣空港 建設促進特別委員会 閉会中継続審査(調査)事件一覧

- 1 陳情平成21年第75号 新空港の名称を「八重山空港」とすることに關する陳情
- 2 陳情平成21年第136号 EMを新しい観光資源として導入することに關する陳情
- 3 陳情平成21年第141号 沖縄県の政策を新しい観光資源として導入することに關する陳情
- 4 陳情第44号 沖縄県におけるカジノ構想に反対する陳情
- 5 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立

沖縄振興・那覇空港 整備促進特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年7月1日(木曜日)

開 会 午後5時43分

散 会 午後5時44分

場 所 第6委員会室

議 題

- 1 審査日程について

出 席

委 員 長 当 銘 勝 雄 君
副 委 員 長 島 袋 大 君
委 員 照 屋 守 之 君
浦 崎 唯 昭 君
渡 久 地 修 君

欠 席

上 里 直 司 君
玉 城 義 和 君

翁 長 政 俊 君
仲 村 未 央 さん
糸 洲 朝 則 君
奥 平 一 夫 君
赤 嶺 昇 君

委員の異動

6月16日の会議において、仲田弘毅君及び池間淳君が本特別委員会委員の辞任が許可され、照屋守之君及び翁長政俊君が委員に選任された。

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年7月7日(水曜日)

開 会 午前10時5分

散 会 午前11時30分

場 所 第6委員会室

議 題

- 1 陳情平成20年第193号
- 2 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立（沖縄振興計画の総点検について）
- 3 閉会中継続審査（調査）について

出 席

委 員 長 当 銘 勝 雄 君
副 委 員 長 島 袋 大 君
委 員 照 屋 守 之 君
翁 長 政 俊 君
浦 崎 唯 昭 君
仲 村 未 央 さん
渡久地 修 君
糸 洲 朝 則 君
奥 平 一 夫 君
赤 嶺 昇 君
上 里 直 司 君
玉 城 義 和 君

説明員の職、氏名

企 画 部 長 川 上 好 久 君

審査概要

陳情1件について企画部長から説明を聴取した

後、質疑が行われた。

次に、沖縄振興計画の総点検について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情1件を採決した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

沖 縄 振 興 ・ 那 覇 空 港 整 備 促 進 特 別 委 員 会 閉 会 中 継 続 審 査 (調 査) 事 件 一 覧

- 1 陳情平成20年第193号 那覇空港拡張整備計画に関する陳情
- 2 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立

平成22年第2回沖縄県議会(定例会)

閉会中継続審査(調査)

文教厚生委員会 委員派遣

(1)

視察調査の日時

平成22年7月14日(1日)

視察調査の場所

うるま市、沖縄市及び宜野湾市(県立中部病院、コザ高等学校、沖縄小児発達センター及び宜野湾高等学校)

視察調査事項

- 1 医療について(小児科体制の現状について)
- 2 教育及び学術文化について(施設の概要、現状と課題について)
- 3 社会福祉及び社会保障について(施設の概要、現状と課題について)

参加者

| | | | | |
|------|---|-----|-----|----|
| 委員長 | 長 | 赤嶺 | 昇 | 君 |
| 副委員長 | 長 | 西銘 | 純恵 | さん |
| 委員 | | 桑江 | 朝千夫 | 君 |
| | | 佐喜真 | 淳 | 君 |
| | | 仲田 | 弘毅 | 君 |
| | | 翁長 | 政俊 | 君 |
| | | 渡嘉敷 | 喜代子 | さん |
| | | 仲村 | 未央 | さん |
| | | 上原 | 章 | 君 |
| | | 奥平 | 一夫 | 君 |
| | | 比嘉 | 京子 | さん |

米軍基地関係特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年8月25日(水曜日)

開会 午前10時3分

散会 午後1時28分

場所 第4委員会室

議題

- 1 軍使用土地、基地公害、演習、跡地利用計画等米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立(米軍人による強制わいせつ致傷事件等について)

2 付議事件の変更について

3 陳情の付託がえの申し出について(追加議題)

出席

| | | | | |
|-----|---|-----|-----|----|
| 委員長 | 長 | 渡嘉敷 | 喜代子 | さん |
| 委員 | | 吉元 | 義彦 | 君 |
| | | 仲田 | 弘毅 | 君 |
| | | 具志 | 孝助 | 君 |
| | | 照屋 | 大河 | 君 |
| | | 前田 | 政明 | 君 |
| | | 上原 | 章 | 君 |
| | | 新垣 | 清涼 | 君 |
| | | 玉城 | 満 | 君 |
| | | 山内 | 末子 | さん |
| | | 吉田 | 勝廣 | 君 |

欠席

桑江 朝千夫 君

説明員の職、氏名

| | | | |
|----------|----|----|---|
| 知事公室長 | 又吉 | 進 | 君 |
| 基地対策課長 | 親川 | 達男 | 君 |
| 企画部長 | 川上 | 好久 | 君 |
| 警察本部刑事部長 | 内間 | 康洋 | 君 |
| 捜査第一課長 | 高嶺 | 隆喜 | 君 |

審査概要

米軍人による強制わいせつ致傷事件等について、知事公室長及び警察本部刑事部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、付議事件の変更について、企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、付議事件の変更について、無所属委員から反対の意思が表明された。

次に、付議事件の変更について協議し、決定した。

次に、陳情の付託がえの申し出について協議し、決定した。

なお、「米軍人による強制わいせつ致傷事件等に関する意見書」及び「同抗議決議」を別掲のとおり提出することになった。

米軍人による強制わいせつ致傷事件等に関する意見書

去る8月4日午前3時49分ごろ、那覇市において、

在沖米海兵隊員による強制わいせつ致傷及び住居侵入事件が発生した。さらに、その4日後の8月8日の未明に、同じく那覇市において、米空軍兵による住居侵入事件が発生し、県民に強い衝撃と大きな不安を与えている。

女性に対する強制わいせつは、肉体的、精神的苦痛を与えるだけではなく、人間としての尊厳をじゅうりんする極めて悪質な犯罪である。

また、住居への侵入は、最も安全であるべき場所を侵すものであり、到底許されるものではない。

本県議会は、これまで米軍人・軍属等による事件・事故が発生するたびに綱紀肅正、再発防止及び関係者への教育等を徹底するよう米軍等に強く申し入れてきたところであるが、それにもかかわらず、今回、またもやこのような事件が続発したことに対し激しい憤りを禁じ得ない。

なお、去る6月に在日米軍沖縄地域調整官が、米軍の事件・事故を減少させるための新たな措置を発表しているが、それ以降も事件が頻発していることを考えると、その効果、関係者の再発防止への取り組み、軍人への教育のあり方等に疑問を抱かざるを得ない。

よって、本県議会は、県民の人権・生命・財産を守る立場から、今回の事件に対し厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要請する。

記

- 1 被害者及び家族への謝罪及び完全な補償を行うこと。
- 2 米軍人・軍属等の綱紀肅正及び人権教育に関する見直しを再度行い、その内容を県民に公表するとともに、その効果や実施状況等についても、今後は定期的に県民に公表すること。
- 3 日米地位協定の抜本的な見直しを行うとともに、基地の整理・縮小を促進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年9月1日

内閣総理大臣
外務大臣
防衛大臣
沖縄及び北方対策担当大臣

沖縄県議会
あて

米軍人による強制わいせつ致傷事件等に関する抗議決議

去る8月4日午前3時49分ごろ、那覇市において、在沖米海兵隊員による強制わいせつ致傷及び住居侵入事件が発生した。さらに、その4日後の8月8日の未明に、同じく那覇市において、米空軍兵による住居侵入事件が発生し、県民に強い衝撃と大きな不安を与えている。

女性に対する強制わいせつは、肉体的、精神的苦痛を与えるだけではなく、人間としての尊厳をじゅうりんする極めて悪質な犯罪である。

また、住居への侵入は、最も安全であるべき場所を侵すものであり、到底許されるものではない。

本県議会は、これまで米軍人・軍属等による事件・事故が発生するたびに綱紀肅正、再発防止及び関係者への教育等を徹底するよう米軍等に強く申し入れてきたところであるが、それにもかかわらず、今回、またもやこのような事件が続発したことに対し激しい憤りを禁じ得ない。

なお、去る6月に在日米軍沖縄地域調整官が、米軍の事件・事故を減少させるための新たな措置を発表しているが、それ以降も事件が頻発していることを考えると、その効果、関係者の再発防止への取り組み、軍人への教育のあり方等に疑問を抱かざるを得ない。

よって、本県議会は、県民の人権・生命・財産を守る立場から、今回の事件に対し厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

記

- 1 被害者及び家族への謝罪及び完全な補償を行うこと。
- 2 米軍人・軍属等の綱紀肅正及び人権教育に関する見直しを再度行い、その内容を県民に公表するとともに、その効果や実施状況等についても、今後は定期的に県民に公表すること。
- 3 日米地位協定の抜本的な見直しを行うとともに、基地の整理・縮小を促進すること。

上記のとおり決議する。

平成22年9月1日

沖縄県議会

について協議し、決定した。

駐日米大使
駐日米大使
在日米軍司令官
在日米軍沖縄地域調整官
在沖米総領事

あて

沖縄振興・那覇空港 整備促進特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年7月21日(水曜日)

開会 午前10時6分

散会 午前11時0分

場所 第6委員会室

議題

- 1 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立（沖縄振興計画の総点検報告書について）
- 2 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立（新たな沖縄振興に向けた基本的な考え方（仮称）について）

出席

委員長 当 銘 勝 雄 君
副委員長 島 袋 大 君
委員 照 屋 守 之 君
浦 崎 唯 昭 君
仲 村 未 央 さん
渡久地 修 君
糸 洲 朝 則 君
奥 平 一 夫 君
上 里 直 司 君
玉 城 義 和 君

欠席

翁 長 政 俊 君
赤 嶺 昇 君

審査概要

沖縄振興計画の総点検報告書及び新たな沖縄振興に向けた基本的な考え方（仮称）の審査の進め方

平成22年第4回沖縄県議会(定例会)

総務企画委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年9月17日(金曜日)

開 会 午前10時24分
散 会 午前10時51分
場 所 第4委員会室
議 題

1 乙第9号議案 沖縄県人事委員会委員の選任について

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 當 間 盛 夫 君 |
| 副 委 員 長 | 山 内 末 子 さん |
| 委 員 | 島 袋 大 君 |
| | 吉 元 義 彦 君 |
| | 照 屋 守 之 君 |
| | 浦 崎 唯 昭 君 |
| | 崎 山 嗣 幸 君 |
| | 新 里 米 吉 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 金 城 勉 君 |
| | 糸 洲 朝 則 君 |
| | 新 垣 清 涼 君 |
| | 玉 城 義 和 君 |

説明員の職、氏名

総 務 部 長 兼 島 規 君

審査概要

乙第9号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、委員3人をそれぞれ専門分野別に人選する選任基準の有無、委員として税理士を提案した理由、前定例会とは異なった専門分野から提案した理由、人事委員の不在による影響、今回提案した者の税理士開業状況について質疑が行われた。

次に、議案1件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

(2)

◎平成22年9月27日(月曜日)

開 会 午後1時32分
散 会 午後2時15分
場 所 第4委員会室

議 題

1 広報、危機管理及び消防防災について(尖閣諸島海域での中国漁船領海侵犯問題について)

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 當 間 盛 夫 君 |
| 副 委 員 長 | 山 内 末 子 さん |
| 委 員 | 島 袋 大 君 |
| | 吉 元 義 彦 君 |
| | 照 屋 守 之 君 |
| | 浦 崎 唯 昭 君 |
| | 崎 山 嗣 幸 君 |
| | 新 里 米 吉 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 金 城 勉 君 |
| | 糸 洲 朝 則 君 |
| | 新 垣 清 涼 君 |
| | 玉 城 義 和 君 |

説明員の職、氏名

知 事 公 室 長 又 吉 進 君
観 光 商 工 部 瀬 川 義 朗 君
交 流 推 進 課 長

審査概要

尖閣諸島海域での中国漁船領海侵犯問題について知事公室長の説明を聴取した後、質疑が行われた。

なお、「尖閣諸島海域での中国漁船領海侵犯事件に関する抗議決議」2件を別掲のとおり提出することとなった。

(3)

◎平成22年10月5日(火曜日)

開 会 午後6時4分
散 会 午後6時7分
場 所 第4委員会室
議 題

1 審査日程について

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 當 間 盛 夫 君 |
| 副 委 員 長 | 山 内 末 子 さん |
| 委 員 | 吉 元 義 彦 君 |
| | 照 屋 守 之 君 |

浦崎唯昭君
崎山嗣幸君
新里米吉君
前田政明君
金城勉君
新垣清涼君
玉城義和君

欠 席

島袋大君
糸洲朝則君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(4)

◎平成22年10月6日(水曜日)

開 会 午前10時1分

散 会 午後4時47分

場 所 第4委員会室

議 題

- 1 甲第1号議案 平成22年度沖縄県一般会計補正予算(第2号)
- 2 甲第3号議案 平成22年度沖縄県一般会計補正予算(第3号)
- 3 乙第10号議案 沖縄県土地利用審査会委員の任命について
- 4 広報、危機管理及び消防防災について(不発弾対策について)
- 5 陳情平成20年第60号、同第65号、同第76号、同第83号、同第85号から同第87号まで、同第91号、同第144号、同第150号、同第175号、同第190号、同第191号、同第200号、陳情平成21年第19号、同第38号、同第58号、同第59号、同第66号、同第69号、同第88号、同第91号の2、同第100号、同第103号、同第104号、同第110号、同第111号、同第120号、同第122号、同第128号、同第144号、同第147号、同第171号、同第174号、同第175号、同第201号、同第202号、陳情第6号、第9号、第10号、第12号、第17号、第18号、第43号、第61号、第71号、第82号、第96号、第130号、第141号、第142号、第158号、第163号、第168号及び第169号
- 6 閉会中継続審査・調査について

出 席

委 員 長 當 間 盛 夫 君

副 委 員 長 山 内 末 子 さん
委 員 島 袋 大 君

吉 元 義 彦 君
照 屋 守 之 君
浦 崎 唯 昭 君
崎 山 嗣 幸 君
新 里 米 吉 君
前 田 政 明 君
金 城 勉 君
糸 洲 朝 則 君
新 垣 清 涼 君
玉 城 義 和 君

説明員の職、氏名

知 事 公 室 長 又 吉 進 君
総 務 部 長 兼 島 規 君
財 政 課 長 平 敷 昭 人 君
企 画 部 長 川 上 好 久 君
企 画 調 整 課 具 志 堅 清 明 君
副 参 事 下 地 明 和 君
交 通 政 策 課 長 新 垣 盛 勝 君
文 化 環 境 部 文 化 振 興 課 長 大 浜 浩 志 君
文 化 環 境 部 環 境 整 備 課 副 参 事 文 化 環 境 部 渡 嘉 敷 彰 君
自 然 保 護 課 班 長 島 袋 富 美 子 さん
福 祉 保 健 部 国 保 ・ 健 康 増 進 課 班 長 森 山 長 榮 君
福 祉 保 健 部 高 齢 者 福 祉 介 護 課 班 長 津 波 信 雄 君
福 祉 保 健 部 青 少 年 ・ 兒 童 家 庭 課 副 参 事 福 祉 保 健 部 青 少 年 ・ 兒 童 家 庭 課 班 長 大 城 行 雄 君
農 林 水 産 部 営 農 支 援 課 班 長 谷 口 昌 弘 君
農 林 水 産 部 農 村 整 備 課 班 長 永 山 勉 君
観 光 商 工 部 産 業 政 策 課 主 幹 下 地 誠 君
観 光 商 工 部 雇 用 労 政 課 副 参 事 又 吉 稔 君
土 木 建 築 部 住 宅 課 主 幹 久 保 田 明 君

教育庁施設課長 石垣安重君
 教育庁 渡嘉敷通之君
 保健体育課長
 生活安全部長 波平明君
 交通部長 北川秀行君

審査概要

甲第1号議案及び甲第3号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、甲第1号議案については、緊急雇用創出事業臨時特例基金の執行状況及び残高、これまでの同基金を活用した事業に伴う雇用創出効果、安心こども基金事業に係るITを活用したひとり親家庭等の在宅就業支援事業の内容、予算内訳及び費用対効果、保育所入所待機児童対策特別事業基金の指導監督基準未達成認可外保育施設助成事業に関する指導監督基準未達成施設数、今年度の助成対象施設数、島しょ地域循環資源活用促進事業の内容、離島内でリサイクル事業を実施できない理由、サンゴ礁保全再生事業の内容、オニヒトデ駆除事業の実施状況、環境保全営農支援モデル事業における赤土流出防止対策の効果、ミュージックスサポーター雇用創出事業の内容と事業実施における地域間バランスの必要性、PCB廃棄物処理事業の内容と対象施設、PCBをこれまで処理できなかった理由、新生児集中治療室運営費補助の内容と現況、学校施設防音対策事業の対象校、県営住宅の火災に係る補修経費の内容、奥武山弓道場改築事業の内容、クレー射撃場の県内施設整備の見込み、工事雑費の国庫補助金廃止に伴う補正の理由等について質疑が行われた。

甲第3号議案については、今回、補正予算の大半を積み立てることとなっている緊急雇用創出事業臨時特例基金の今後の執行予定、今回の補正予算を国道や県道の草刈り事業に充てること可否、今後の国の経済対策の予定と県の執行体制、知事公約の4万人の雇用達成と基金事業の活用との関連等について質疑が行われた。

次に、乙第10号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取した。

次に、陳情19件について総務部長から説明を聴取した。

次に、陳情27件について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情9件について知事公室長から説明を聴取し、陳情1件について交通政策課長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、不発弾対策について知事公室長の説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情2件について警察本部生活安全部長及び警察本部交通部長からそれぞれ説明を聴取した。

次に、議案3件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情55件を採決した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

なお、「不発弾等問題の早期解決に関する意見書」を別掲のとおり提出することとなった。

総務企画委員会議案処理一覧表

イ 処理（4件）

（先議）

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|------|-------------------|------------|
| 乙第9号 | 沖縄県人事委員会委員の選任について | 全会一致 同意 |

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|------|------------------------|--------------|
| 甲第1号 | 平成22年度沖縄県一般会計補正予算（第2号） | 全会一致 原案可決 |
| 甲第3号 | 平成22年度沖縄県一般会計補正予算（第3号） | 〃 |

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|-------|---------------------|------------|
| 乙第10号 | 沖縄県土地利用審査会委員の任命について | 全会一致 同意 |

総務企画委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- 1 陳情平成20年第60号 八重山航路の存続を求める陳情
- 2 陳情平成20年第65号 「旧軍飛行場問題解決に向けた沖振計特別枠の設置を求める意見書」の採択を求める陳情
- 3 陳情平成20年第76号 那覇市地域再生計画の実態調査及び那覇市に対する措置に関する陳情
- 4 陳情平成20年第83号 消費税の増税に反対する陳情
- 5 陳情平成20年第85号 先島航路並びに台湾航路存続と雇用確保を求める陳情
- 6 陳情平成20年第86号 「消費税増税反対」決議を求める陳情
- 7 陳情平成20年第87号 「消費税増税反対」決議を求める陳情
- 8 陳情平成20年第91号 那覇バスターミナル機能の維持に関する陳情
- 9 陳情平成20年第144号 地上警戒管制レーダーの配備中止を求める陳情
- 10 陳情平成20年第150号 航空自衛隊那覇基地へのF15戦闘機配備などの機能強化に反対し、那覇空港の民間専用化を求める意見書の可決を求める陳情
- 11 陳情平成20年第175号 第58回婦人大会の宣言・決議の実現方に関する陳情
- 12 陳情平成20年第190号 私学助成に関する意見書の提出を求める陳情
- 13 陳情平成20年第191号 沖縄県の私学助成に関する陳情
- 14 陳情平成20年第200号 沖縄県行政オンブズマンの職務不履行に関する陳情
- 15 陳情平成21年第19号 沖縄県所在旧軍飛行場用地問題解決に関する陳情
- 16 陳情平成21年第38号 （仮称）沖縄県警察運転免許センター隣接地（未公募区画地）への協会用地取得に関する陳情
- 17 陳情平成21年第58号 琉球大学の外国語授業削減に関する陳情
- 18 陳情平成21年第59号 沖子連事務所の賃貸料免除に関する陳情
- 19 陳情平成21年第66号 自衛隊ヘリのキャンプ・ハンセン内レンジ4使用に関する陳情
- 20 陳情平成21年第69号 フェリー、旅客船の存続・港町活性化に関する陳情
- 21 陳情平成21年第88号 沖縄県東京宿泊所若夏荘の閉館に関する陳情
- 22 陳情平成21年第91号の2 台湾東部と八重山諸島の「観光経済圏」形成推進に向けた課題に関する陳情
- 23 陳情平成21年第100号 県道222号線への信号機・横断歩道設置に関する陳情
- 24 陳情平成21年第103号 海運・フェリー・旅客船の航路存続と船員の雇用対策に関する陳情
- 25 陳情平成21年第104号 海運・フェリー・旅客船の航路存続と船員の雇用対策に関する陳情
- 26 陳情平成21年第110号 公私の格差是正と制度等に関する陳情
- 27 陳情平成21年第111号 私立教育機関に関する陳情
- 28 陳情平成21年第120号 先島航路及び台湾航路における貨客船の早期再開を求める陳情
- 29 陳情平成21年第122号 県がワーキングプアをなくす先頭に立ち、非正規等の待遇改善を求める陳情
- 30 陳情平成21年第128号 沖縄県庁舎や市町村庁舎の地震対策や漏水対策に関する陳情
- 31 陳情平成21年第144号 旧軍飛行場用地問題解決の継続審議に関する陳情
- 32 陳情平成21年第147号 八重山への自衛隊誘致及び配備に反対する陳情
- 33 陳情平成21年第171号 暮らし支える行政サービスの拡充を求める陳情
- 34 陳情平成21年第174号 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等を活用した中小業者支援に関

- する陳情
- 35 陳情平成21年第175号 改正国籍法に関する陳情
- 36 陳情平成21年第201号 永住外国人への地方参政権付与を日本政府に求める意見書を可決しないよう求める陳情
- 37 陳情平成21年第202号 レンタカー台数規制のための県条例制定等に関する陳情
- 38 陳情第6号 南城市東南部地域に地上デジタル放送中継局の設置を求める陳情
- 39 陳情第9号 永住外国人地方参政権付与法案に反対する陳情
- 40 陳情第10号 改正国籍法に関する陳情
- 41 陳情第12号 沖縄県の私学助成に関する陳情
- 42 陳情第17号 永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の可決を求める陳情
- 43 陳情第18号 憲法違反の外国人参政権による選挙を実施しないことを再確認する陳情
- 44 陳情第43号 永住外国人地方参政権付与法案に反対する陳情
- 45 陳情第61号 無償教育の実現を求める陳情
- 46 陳情第71号 「若夏荘」及び「うるま荘」に関する陳情
- 47 陳情第82号 「沖縄特例地域」推進に関する陳情
- 48 陳情第96号 永住外国人への地方参政権付与の法制化反対に関する陳情
- 49 陳情第130号 新たな公共交通システム導入に関する陳情
- 50 陳情第141号 私学の校舎改築助成に関する陳情
- 51 陳情第142号 私学の校舎改築助成に関する陳情
- 52 陳情第158号 美ぎ島美しや(先島)圏域の振興発展に関する陳情
- 53 陳情第163号 「若夏荘」、「うるま荘」に関する陳情
- 54 陳情第168号 八重山観光振興に関する陳情
- 55 陳情第169号 竹富町観光振興に関する陳情
- 56 広報、危機管理及び消防防災について(所管事務調査)
- 57 予算及び行財政について(所管事務調査)
- 58 県税及び公有財産について(所管事務調査)
- 59 市町村行財政について(所管事務調査)
- 60 県職員の給与について(所管事務調査)
- 61 学事について(所管事務調査)
- 62 県庁舎について(所管事務調査)
- 63 総合開発及び地域振興について(所管事務調査)

- 64 交通運輸及び通信について(所管事務調査)
- 65 土地利用対策について(所管事務調査)
- 66 警察行政について(所管事務調査)
- 67 自衛隊について(所管事務調査)

尖閣諸島海域での中国漁船領海侵犯事件に関する抗議決議

去る9月7日午前、尖閣諸島の久場島沖の日本国領海内において、違法操業中の中国漁船が、退去命令を出した第11管区海上保安本部の巡視船に接触した上、逃走を図り、さらに停船命令にも応じずに接触を繰り返す事件が発生したが、9月24日、那覇地方検察庁は、公務執行妨害罪の容疑で逮捕・送検していた同漁船の船長を処分保留で釈放した。

尖閣諸島は、石垣市に属する我が国固有の領土及び本県の行政区域であることは疑問の余地がないところである。今後、中国が尖閣諸島及び周辺海域の領有権を強硬に主張し、中国漁船が尖閣諸島周辺海域で操業することが予想されるが、そうなった場合、本県及び我が国漁船と中国漁船との間で操業をめぐるトラブルが発生したり、衝突事件が再発するなど、安全な航行が阻害されることが懸念され、県民は不安を感じている。

よって、本県議会は、県民及び国民の生命、安全及び領土・領海を守る立場から、今回の政府の措置に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要請する。

記

- 1 尖閣諸島及び周辺海域が我が国固有の領土及び領海であるという毅然たる態度を堅持し、中国政府を初め諸外国に示すこと。
 - 2 尖閣諸島周辺海域において、本県及び我が国の漁業者が自由かつ安全に操業・航行できるよう適切な措置を講じること。
 - 3 中国政府に対し、今回の事件に関して厳重に抗議するとともに、日中両政府は、冷静な外交を通し再発防止策を講じること。
- 上記のとおり決議する。

平成22年9月28日

沖 縄 県 議 会

内 閣 総 理 大 臣
外 務 大 臣

国土交通大臣 } あて
沖縄及び北方対策担当大臣
検事総長

尖閣諸島海域での中国漁船領海 侵犯事件に関する抗議決議

去る9月7日午前、尖閣諸島の久場島沖の日本国領海内において、違法操業中の中国漁船が、退去命令を出した第11管区海上保安本部の巡視船に接触した上、逃走を図り、さらに停船命令にも応じずに接触を繰り返す事件が発生した。

尖閣諸島は、明治28年1月に日本政府が沖縄県への所轄を決定して以来、漁業や林業、かつおぶし工場が営まれた実績があることや、大正9年に中国政府が石垣島の住民にあてた感謝状で「日本領」と明確に記されていることなどから、尖閣諸島が石垣市に属する我が国固有の領土及び本県の行政区域であることは疑問の余地がないところである。

よって、本県議会は、尖閣諸島及び周辺海域における今回の領海侵犯に抗議するとともに、貴国におかれては、日本国固有の領土及び領海である尖閣諸島及び周辺海域に対し、今後このような領海侵犯事件を起こさぬよう慎重かつ冷静な対応と細心の注意を払うことを強く要請する。

上記のとおり決議する。

平成22年9月28日

沖縄県議会 }
中華人民共和国国家主席 } あて
中華人民共和国駐日本国特命全権大使

不発弾等問題の早期解決に関する 意見書

去る7月14日に糸満市真栄里で902発の不発弾が見つかったのを初め、9月8日に同じく糸満市真栄里で2113発、9月29日に浦添市経塚で443発が発見され、9月10日には泡瀬ゴルフ場跡地で4064発の未使用弾及び14キロの火薬、9月30日には宮古島市平良港で1830発の未使用弾がそれぞれ発見されたことが明らかとなっている。

また、那覇市首里の住宅街で発見された不発弾1発は、腐食していたため現場から運び出すことがで

きず、来る10月17日にその場で爆破するという極めて異例な形で処理されるなど、戦後65年を経た今日においても、本県では至るところで不発弾が見つかるという異常な事態が続いている。

このようなことは、県民がいつ爆発するかわからない不発弾や未使用弾等と隣り合わせの生活・生業を強いられていることにほかならず、今なお県民の生命、安全及び財産が脅かされていることを示すものである。

よって、政府におかれては、第二次世界大戦の負の遺産である不発弾や未使用弾等は戦後処理の一環として国が責任を持って早期解決を図る問題であるという認識を持たれた上で、下記の事項を早急に措置されるよう強く要請する。

記

- 1 不発弾及び未使用弾等の爆発事故を未然に防ぐための唯一の手段である磁気探査を民間工事においても義務化するとともに、自己負担となっている民間工事及び一部の公共工事の探査経費を全額国庫負担とすること。
- 2 今後返還が予定されている駐留軍用地跡地においては、跡地利用計画を着実に推進するため返還予定跡地の全敷地で磁気探査を徹底して実施すること。
- 3 県が維持・管理し、自衛隊が使用している不発弾一時保管庫については、実質の管理者である国が引き取り、直接管理・運営すること。
- 4 国の公共工事における探査事業については、県内業者に優先発注すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年10月14日

沖縄県議会 }
内閣総理大臣 } あて
財務大臣
農林水産大臣
国土交通大臣
防衛大臣
沖縄及び北方対策担当大臣

経済労働委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年10月5日(火曜日)

開 会 午後6時5分
散 会 午後6時7分
場 所 第1委員会室
議 題

1 審査日程について

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 玉 城 ノブ子 さん |
| 副 委 員 長 | 瑞慶覧 功 君 |
| 委 員 | 中 川 京 貴 君 |
| | 座喜味 一 幸 君 |
| | 辻 野 ヒロ子 さん |
| | 具 志 孝 助 君 |
| | 仲宗根 悟 君 |
| | 当 銘 勝 雄 君 |
| | 渡久地 修 君 |
| | 前 島 明 男 君 |
| | 玉 城 満 君 |
| | 上 里 直 司 君 |

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年10月6日(水曜日)

開 会 午前10時2分
散 会 午後3時11分
場 所 第1委員会室
議 題

1 陳情平成20年第139号、同第158号、同第198号、同第201号、陳情平成21年第48号、同第53号、同第123号、同第129号、同第130号、同第174号の2、同第191号、同第194号、陳情第15号、第19号、第35号、第36号、第47号、第55号、第56号、第59号、第146号、第158号の2、第161号及び第180号から第182号まで

2 閉会中継続審査(調査)について

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 玉 城 ノブ子 さん |
| 副 委 員 長 | 瑞慶覧 功 君 |

| | |
|-----|------------|
| 委 員 | 中 川 京 貴 君 |
| | 座喜味 一 幸 君 |
| | 辻 野 ヒロ子 さん |
| | 具 志 孝 助 君 |
| | 仲宗根 悟 君 |
| | 当 銘 勝 雄 君 |
| | 渡久地 修 君 |
| | 前 島 明 男 君 |
| | 玉 城 満 君 |
| | 上 里 直 司 君 |

説明員の職、氏名

| | |
|-----------------|-----------|
| 農 林 水 産 部 長 | 比 嘉 俊 昭 君 |
| 農 漁 村 基 盤 統 括 監 | 知 念 武 君 |
| 森 林 緑 地 課 長 | 謝 名 堂 聡 君 |
| 水 産 課 長 | 勝 俣 亜 生 君 |
| 漁 港 漁 場 課 長 | 増 村 光 広 君 |
| 観 光 商 工 部 長 | 勝 目 和 夫 君 |
| 商 工 振 興 課 長 | 登 川 安 政 君 |
| 経 営 金 融 課 長 | 金 良 実 君 |
| 交 流 推 進 課 長 | 瀬 川 義 朗 君 |

審査概要

陳情16件について農林水産部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情10件について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情26件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査(調査)については、別掲のとおり決定した。

(3)

◎平成22年10月12日(火曜日)

開 会 午後4時44分
散 会 午後5時2分
場 所 第1委員会室
議 題

1 労働問題について(駐留軍等労働者の雇用の確保等について)

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 玉 城 ノブ子 さん |
| 副 委 員 長 | 瑞慶覧 功 君 |
| 委 員 | 中 川 京 貴 君 |
| | 座喜味 一 幸 君 |
| | 辻 野 ヒロ子 さん |

具志孝助君
仲宗根悟君
当銘勝雄君
渡久地修君
玉城満君
上里直司君

欠席

前島明男君

審査概要

「駐留軍等労働者の雇用の確保等に関する意見書」を別掲のとおり提出することになった。

経済労働委員会陳情処理一覧表

イ 処理（陳情7件）

| 陳情番号 | 受理年月日 | 件名 | 陳情者名 | 審査の結果 | 措置 |
|--------------------|----------------|-------------------------------|--|-------|------------------------------|
| 平成20年第139号 (継続) | 平成20年 9月19日 | 沖縄県の森林の整備・林業の振興に関する陳情 | 沖縄県森林組合連合会 代表理事長 島袋吉和 外3人 | 一部採択 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事) |
| 平成20年第158号 (継続) | 平成20年 10月3日 | 沖縄県の森林の整備・林業の振興に関する陳情 | 国頭村議会議長 仲井間宗明 | 〃 | 〃 |
| 平成21年第48号 (継続) | 平成21年 3月3日 | ヤンバルの森林・林業の活性化に関する陳情 | 国頭村長 宮城馨 外2名 | 〃 | 〃 |
| 平成21年第53号 (継続) | 平成21年 3月6日 | ヤンバルの森林・林業の活性化に関する陳情 | 国頭村長 宮城馨 外5424名 | 〃 | 〃 |
| 第158号の2 | 平成22年 8月12日 | 美ら島美しや（先島）圏域の振興発展に関する陳情 | 美ら島美しや市町村会 会長（宮古島市長） 下地敏彦 外4人 | 採択 | 〃 |
| 第161号 | 平成22年 8月18日 | 沖縄県産酒類に対する酒税の軽減措置の期限延長等に関する陳情 | 沖縄県酒類製造業連絡協議会 会長（オリオンビール（株）代表取締役社長） 嘉手苺義男 外1人 | 〃 | 〃 |
| 第182号 | 平成22年 9月29日 | 海外留学生受入事業の継続に関する陳情 | 沖縄パンアメリカン連 合会 会長 大山盛稔 外7人 | 〃 | 〃 |

経済労働委員会閉会中継続
審査（調査）事件一覧

建設問題に関する陳情

- 2 陳情平成20年第201号 吉の浦火力発電所電源開発に伴う海域環境調査に関する陳情
- 3 陳情平成21年第123号 伊江島における黒糖工場

- 1 陳情平成20年第198号 伊江島における黒糖工場

建設に反対する陳情

- 4 陳情平成21年第129号 EMの講習会を開催することに関する陳情
- 5 陳情平成21年第130号 EMを基盤に、我が国の国際貢献の最前線基地を沖縄で引き受けることに関する陳情
- 6 陳情平成21年第174号の2 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等を活用した中小業者支援に関する陳情
- 7 陳情平成21年第191号 じん肺被災者の早期救済を図る「トンネルじん肺基金」の創設とじん肺やアスベスト被害の根絶を求める陳情
- 8 陳情平成21年第194号 平成21年度中城湾港(新港地区)振興に関する陳情
- 9 陳情第15号 含みつ糖振興対策に関する陳情
- 10 陳情第19号 含みつ糖振興対策に関する陳情
- 11 陳情第35号 第三セクター・沖縄市アメニティプラン株式会社の融資に係る連帯保証人会に関する陳情
- 12 陳情第36号 含みつ糖振興対策に関する陳情
- 13 陳情第47号 公契約条例の制定を求める陳情
- 14 陳情第55号 天然ガス採掘工事の即刻中止と天然ガス採掘に関する条例等の早急な整備に関する陳情
- 15 陳情第56号 沖縄黒糖市況対策に関する陳情
- 16 陳情第59号 含みつ糖振興対策に関する陳情
- 17 陳情第146号 美ら海協力金問題の即時是正に関する陳情
- 18 陳情第180号 美ら海協力金問題に関する陳情
- 19 陳情第181号 屋我地漁港及び周辺海岸護岸工事(名護市)の中止等を求める陳情
- 20 農林水産業について(所管事務調査)
- 21 商・鉱・工業について(所管事務調査)
- 22 労働問題について(所管事務調査)
- 23 国内外の交流について(所管事務調査)

駐留軍等労働者の雇用の確保等に関する意見書

去る10月6日の新聞において、全国で約6000名の駐留軍等労働者の雇用が見直されるとの報道があった。

報道のとおり駐留軍等労働者の雇用の見直しが行

われると、本県の全就業者数の約1.5%を占める駐留軍等労働者9191名のうち約3割に当たる2974名が職を失い、または不安定な雇用関係に追い込まれることになり、県民は大きな不安と衝撃を覚えている。

多くの米軍基地が存在するため産業が発展せず、米軍基地内に雇用の機会や場を求めることを余儀なくされている本県において、労働者の雇用の場を確保し、その安定を図ることは、本人及びその家族の生活の安定・向上に寄与するものである。

また、ここ数年の景気後退の影響を受けて、県内企業を初め多くの企業において正規雇用者から非正規雇用者へ雇用形態の見直しが行われたり、賃金や雇用条件の見直しが進む中で、今回の問題が新たな引き金となって労働者の雇用環境がさらに悪化することが懸念されることから、駐留軍等労働者の雇用の確保等問題は到底看過することはできない重要な問題である。

よって、政府におかれては、現行の駐留軍等労働者の賃金制度及び賃金水準を維持・継続されるよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年10月14日

沖 縄 県 議 会

| | |
|--------------|------|
| 内 閣 総 理 大 臣 | } あて |
| 財 務 大 臣 | |
| 外 務 大 臣 | |
| 防 衛 大 臣 | |
| 沖縄及び北方対策担当大臣 | |

文教厚生委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年9月22日(水曜日)

開 会 午前10時1分

散 会 午前11時28分

場 所 第2委員会室

議 題

- 1 教育及び学術文化について(女子中学生集団暴行事件について)
- 2 参考人招致について(県立浦添看護学校の

県立としての存続について) (追加議題)

佐喜真 淳 君

出席

委員長 赤 嶺 昇 君
 副委員長 西 銘 純 恵 さん
 委員 桑 江 朝千夫 君
 佐喜真 淳 君
 仲 田 弘 毅 君
 翁 長 政 俊 君
 仲 村 未 央 さん
 渡嘉敷 喜代子 さん
 上 原 章 君
 奥 平 一 夫 君
 比 嘉 京 子 さん

説明員の職、氏名

教 育 長 金 武 正八郎 君
 義務教育課長 上 原 敏 彦 君
 警察本部生活 平 良 英 喜 君
 安全部少年課長
 警察本部刑事部 幸 喜 一 史 君
 捜査第一課次席

審査概要

女子中学生集団暴行事件について教育長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、参考人招致について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年10月5日(火曜日)

開 会 午後6時5分

散 会 午後6時15分

場 所 第2委員会室

議 題

1 審査日程について

出席

委員長 赤 嶺 昇 君
 副委員長 西 銘 純 恵 さん
 委員 桑 江 朝千夫 君
 仲 田 弘 毅 君
 翁 長 政 俊 君
 仲 村 未 央 さん
 渡嘉敷 喜代子 さん
 上 原 章 君
 奥 平 一 夫 君
 比 嘉 京 子 さん

欠 席

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(3)

◎平成22年10月6日(水曜日)

開 会 午前10時1分

散 会 午後7時43分

場 所 第2委員会室

議 題

- 1 参考人からの説明聴取について(陳情第147号)
- 2 参考人からの説明聴取について(県立浦添看護学校の県立としての存続について)
- 3 乙第1号議案 沖縄県立浦添看護学校の設置及び管理に関する条例を廃止する条例
- 4 陳情平成20年第41号、同第43号、同第53号、同第78号、同第134号、同第148号、同第188号、同第192号、同第195号、陳情平成21年第8号、同第9号、同第13号、同第32号、同第41号、同第50号、同第52号、同第60号、同第61号、同第67号、同第68号、同第72号、同第80号、同第84号、同第99号、同第110号の2、同第113号、同第116号、同第139号、同第148号、同第149号、同第153号、同第178号、同第197号、同第200号、陳情第2号、第30号から第33号まで、第40号、第41号、第49号、第52号、第53号、第57号、第62号、第76号、第81号、第83号、第94号、第95号、第97号から第101号まで、第103号、第104号、第120号、第128号、第129号、第137号、第138号、第143号、第147号、第152号、第153号、第158号の3、第160号、第162号、第175号、第176号、第178号、第179号及び第183号

出席

委員長 赤 嶺 昇 君
 副委員長 西 銘 純 恵 さん
 委員 桑 江 朝千夫 君
 佐喜真 淳 君
 仲 田 弘 毅 君
 翁 長 政 俊 君
 仲 村 未 央 さん
 渡嘉敷 喜代子 さん
 上 原 章 君

説明員の職、氏名

| | |
|-------------------|---------------------------|
| 福祉保健部長 | 奥村啓子さん |
| 福祉企画統括監 | 當間秀史君 |
| 保健衛生統括監 | 宮里達也君 |
| 青少年・児童家庭課長 | 田端一雄君 |
| 障害保健福祉課長 | 金城弘昌君 |
| 医務課長 | 平順寧君 |
| 医務課看護専門監 | 照屋恵子さん |
| 国保・健康増進課長 | 上原真理子さん |
| 国保・健康増進課医療制度改革専門監 | 仲村加代子さん |
| 病院事業局長 | 伊江朝次君 |
| 参考人 | (陳情第147号) |
| 沖縄子ども研究会代表 | 加藤彰彦君 |
| 補助者 | (") |
| 沖縄子ども研究会副代表 | 知花聡君 |
| 補助者 | (") |
| 沖縄子ども研究会事務局長 | 仲渡尚史君 |
| 参考人 | (県立浦添看護学校の県立としての存続について) |
| 沖縄県立浦添看護学校後援会長 | 新垣登君 |
| 補助者 | (") |
| 沖縄県立浦添看護学校後援副会長 | 當間京子さん |
| 補助者 | (") |
| 沖縄県立浦添看護学校後援副会長 | 新垣鶴栄君 |
| 補助者 | (") |
| 沖縄県立浦添看護学校後援評議員 | 兼島卓司君 |

審査概要

陳情第147号について参考人から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、県立浦添看護学校の県立としての存続について参考人から説明を聴取した後、質疑が行わ

れた。

次に、乙第1号議案について福祉保健部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、県立浦添看護学校の果たしてきた役割及び民間に移譲する理由、民間看護師養成所の授業料等の状況、条例を廃止する前に民間事業者と移譲のための協定を締結した理由、移譲後の職員及び在校生に対する処遇、県と移譲先とのかかわり、民間移譲に対する保護者等の理解の有無、九州各県における公立看護学校の設置状況、県内の看護師数及び准看護師数の状況、准看護師から看護師への希望者数の状況、在校生がいる中での学校設置者変更の事例、県民所得が低い本県における公立看護学校の意義、2度にわたる県立浦添看護学校の存続に関する決議の受けとめ度合い等について質疑が行われた。

次に、陳情75件について福祉保健部長及び病院事業局長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

(4)

◎平成22年10月7日(木曜日)

開会 午前10時4分

散会 午後5時27分

場 所 第2委員会室

議 題

- 1 乙第1号議案 沖縄県立浦添看護学校の設置及び管理に関する条例を廃止する条例
- 2 陳情平成20年第41号、同第43号、同第53号、同第57号、同第63号、同第64号、同第78号、同第112号、同第125号、同第134号、同第137号、同第142号、同第148号、同第188号、同第189号、同第192号、同第195号、同第199号、陳情平成21年第8号、同第9号、同第13号、同第32号、同第41号、同第50号、同第52号、同第57号、同第60号、同第61号、同第65号、同第67号、同第68号、同第72号、同第80号、同第84号、同第88号の2、同第94号、同第95号、同第99号、同第105号、同第106号、同第110号の2、同第112号、同第113号、同第116号、同第117号、同第122号の3、同第132号、同第133号、同第137号から同第139号まで、同第142号、同第145号、同第148号、同第149号、同第153号、同第160号、同第178号、同第192号、同第193号、同第196号、同第197号、同第200

号、同第203号から同第205号まで、同第210号、
陳情第2号、第8号、第23号、第24号、第27
号から第33号まで、第38号、第40号、第41号、
第49号、第52号、第53号、第57号、第61号の
2、第62号、第76号、第78号、第81号、第83
号、第84号、第94号、第95号、第97号から第101
号まで、第103号、第104号、第106号、第120
号から第123号まで、第128号、第129号、第137
号、第138号、第139号、第143号、第145号、
第147号、第152号から第154号まで、第158号
の3、第160号、第162号、第164号、第174号
から第176号まで、第178号、第179号及び第183
号

3 閉会中継続審査（調査）について

4 視察調査日程について

出席

委員長 赤嶺昇君
副委員長 西銘純恵さん
委員 桑江朝千夫君
佐喜真淳君
仲田弘毅君
翁長政俊君
仲村未央さん
渡嘉敷喜代子さん
上原章君
奥平一夫君

比嘉京子さん

説明員の職、氏名

教育長 金武正八郎君
総務課長 前原昌直君
財務課長 安慶名均君
県立学校教育課長 諸見里明君
県立学校教育課
特別支援教育監 大城徹彦君
義務教育課長 上原敏彦君
義務教育課副参事 長堂嘉一郎君
保健体育課長 渡嘉敷通之君

審査概要

陳情59件について教育長から説明を聴取した後、
質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、乙第1号議案に対
して、自民党所属委員から継続審査の動議が提出
され、採決した結果、委員長裁決により否決され
た。

次に、議案1件を採決した結果、別掲のとおり
決定した。

次に、陳情127件を採決した結果、別掲のとおり
決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別
掲のとおり決定した。

次に、視察調査日程について協議し、決定した。

文教厚生委員会議案処理一覧表

イ 処理（1件）

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|------|------------------------------|-------------|
| 乙第1号 | 沖縄県立看護学校の設置及び管理に関する条例を廃止する条例 | 委員長裁決 否決 |

文教厚生委員会陳情処理一覧表

イ 処理（陳情7件）

| 陳情番号 | 受理年月日 | 件名 | 陳情者名 | 審査の結果 | 措置 |
|--------------|----------------|----------------------------------|-------------------------------|-------|--------------------------------------|
| 第41号 (継続) | 平成22年 2月26日 | 子宮頸がん予防ワクチン 接種の公費助成を求める 陳情 | 新日本婦人の会沖縄県 本部 会長 前田 芙美子 | 採択 | 会議規則第90条による地 方自治法第125条の措置 (知事) |
| 第81号 (継続) | 平成22年 4月28日 | がん対策推進条例制定に 関する陳情 | 沖縄県がん患者会連合 会 会長 田名 勉 | 〃 | 〃 |

| 陳情番号 | 受理年月日 | 件名 | 陳情者名 | 審査の結果 | 措置 |
|---------------|----------------|---------------------------|-----------------------------------|-------|------------------------------|
| 第94号 (継続) | 平成22年 6月1日 | 子宮頸がん予防及び早期発見の施策推進を求める陳情 | 沖縄県女性特有のガン検診を推進する会 代表 上江洲 ひでみ | 採択 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事) |
| 第100号 (継続) | 平成22年 6月7日 | 発声障害の認知と治療の保険適用を求める陳情 | S. D. C. P 発声障害患者会 代表 田中 美穂 | 〃 | 〃 |
| 第138号 (継続) | 平成22年 6月24日 | 子宮頸がんワクチンの定期接種と公費助成を求める陳情 | 沖縄県社会保障推進協議会 会長 新垣 安男 | 〃 | 〃 |
| 第152号 | 平成22年 7月5日 | 子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める陳情 | うるま市議会議長 西野 一男 | 〃 | 〃 |
| 第178号 | 平成22年 9月27日 | ウィルソン病にかかる医療費の助成を求める陳情 | 那覇市首里石嶺町2-24-2 渡慶次 道裕 | 〃 | 〃 |

文教厚生委員会閉会中継続 審査(調査)事件一覧

- 1 陳情平成20年第41号 子供の医療費助成制度の拡充に関する陳情
- 2 陳情平成20年第43号 母子家庭等医療費助成の給付方法を償還払いから現物給付へ変更することを求める陳情
- 3 陳情平成20年第53号 ジストニア治療の健康保険適用拡大等治療環境の改善に関する意見書の提出を求める陳情
- 4 陳情平成20年第57号 2009年度政府教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する陳情
- 5 陳情平成20年第63号 サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情
- 6 陳情平成20年第64号 「戦争のできる国民づくり」教育に反対する陳情
- 7 陳情平成20年第78号 子供の医療費助成制度の拡充に関する陳情
- 8 陳情平成20年第112号 友愛スポーツセンター跡利用に関する陳情
- 9 陳情平成20年第125号 「全国学力・学習状況調査」の公表等に関する陳情
- 10 陳情平成20年第134号 認可外保育園支援のための振興対策調整費の使途に関する陳情
- 11 陳情平成20年第137号 サンゴの保護に関する陳情
- 12 陳情平成20年第142号 天然記念物の伐採に関する陳情
- 13 陳情平成20年第148号 地域医療・高度多機能な医療の確保に関する陳情
- 14 陳情平成20年第188号 命の尊厳を踏みにじる「後期高齢者医療制度」の廃止を求める陳情
- 15 陳情平成20年第189号 子供たちに行き届いた教育の保障を求める陳情
- 16 陳情平成20年第192号 第60回九州地区地域婦人大会及び平成20年度全地婦連九州ブロック会議の決議に関する陳情
- 17 陳情平成20年第195号 医療提供体制確保と地域医療を守ることにに関する陳情
- 18 陳情平成20年第199号 沖縄県教育委員会の職務不履行に関する陳情
- 19 陳情平成21年第8号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 20 陳情平成21年第9号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 21 陳情平成12年第13号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 22 陳情平成21年第32号 身体障害者に関する手続

等についての陳情

- 23 陳情平成21年第41号 県立病院の存続を求める陳情
- 24 陳情平成21年第50号 県立病院の独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 25 陳情平成21年第52号 地域医療を守り、県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 26 陳情平成21年第57号 学校給食に環境保全型農業で生産された農産物の使用促進に関する陳情
- 27 陳情平成21年第60号 県立八重山病院の地方独立行政法人化に反対する陳情
- 28 陳情平成21年第61号 医療提供体制確保を求める陳情
- 29 陳情平成21年第65号 沖縄ろう学校を「単独型の聴覚特別支援学校」として存続を求める陳情
- 30 陳情平成21年第67号 地域医療体制の強化を求める陳情
- 31 陳情平成21年第68号 県立宮古病院を初め県立病院の地方独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 32 陳情平成21年第72号 県立宮古病院を初め県立病院の地方独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 33 陳情平成21年第80号 県立病院の存続を求める陳情
- 34 陳情平成21年第84号 県立八重山病院の独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 35 陳情平成21年第88号の2 沖縄学生会館の閉館に関する陳情
- 36 陳情平成21年第94号 新学習指導要領理科の実現へ向けての環境整備に関する陳情
- 37 陳情平成21年第95号 沖縄学生会館の再建に関する陳情
- 38 陳情平成21年第99号 利用者の人権、職員の権利、健康を守るために社会福祉法人「翠泉会」在宅複合型施設羽地苑の運営正常化・健全化を求める陳情
- 39 陳情平成21年第105号 サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情
- 40 陳情平成21年第106号 県立高等学校編成整備実施計画に関する陳情
- 41 陳情平成21年第110号の2 公私の格差是正と制

度等に関する陳情

- 42 陳情平成21年第112号 特別支援教育のさらなる推進に関する陳情
- 43 陳情平成21年第113号 中部病院を初め県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 44 陳情平成21年第116号 介護サービス情報公表制度の見直しに関する陳情
- 45 陳情平成21年第117号 沖縄学生会館の再建を求める陳情
- 46 陳情平成21年第122号の3 県がワーキングプアをなくす先頭に立ち、非正規等の待遇改善を求める陳情
- 47 陳情平成21年第132号 環境教育でEMを活用することに関する陳情
- 48 陳情平成21年第133号 沖縄県の学校施設の地震対策や漏水対策に関する陳情
- 49 陳情平成21年第137号 沖縄県立美術館の「展示拒否問題」に関する陳情
- 50 陳情平成21年第138号 沖縄県立博物館・美術館の大浦信行作品展示拒否事件に関する陳情
- 51 陳情平成21年第139号 学童保育の拡充に関する陳情
- 52 陳情平成21年第142号 「30人以下学級」完全実現のための陳情
- 53 陳情平成21年第145号 県立久米島高等学校園芸科の存続に関する陳情
- 54 陳情平成21年第148号 県立中部病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 55 陳情平成21年第149号 県民のセーフティネットとしての県立病院を守り沖縄県立北部病院産婦人科の完全再開を求める陳情
- 56 陳情平成21年第153号 地域医療を崩壊させる県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 57 陳情平成21年第160号 「大浦湾チリビシのアオサンゴ群集」の天然記念物指定に関する陳情
- 58 陳情平成21年第178号 次世代育成支援対策後期行動計画策定に対する陳情
- 59 陳情平成21年第192号 県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合計画案に反対し、現行どおり単独「農業高校」としての継承、発展、充実を求める陳情
- 60 陳情平成21年第193号 ブラジルに現存する古典的な沖縄三線の鑑定に関する陳情
- 61 陳情平成21年第196号 子供たちに行き届いた教

- 育の保障を求める陳情
- 62 陳情平成21年第197号 「第61回九州地区地域婦人大会」並びに「平成21年度全地婦連九州ブロック会議」決議に基づく陳情
- 63 陳情平成21年第200号 平成21年度軽費老人ホーム事務費補助金削減見直しに関する陳情
- 64 陳情平成21年第203号 県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合に反対し、単独「農業高校」としての継承、発展、充実を求める陳情
- 65 陳情平成21年第204号 「労働安全衛生委員会」の設置を求める陳情
- 66 陳情平成21年第205号 幼稚園教育の制度改善に関する陳情
- 67 陳情平成21年第210号 子供と向き合うゆとりを学校に戻すための陳情
- 68 陳情第2号 県立宮古病院の脳神経外科医師の確保に関する陳情
- 69 陳情第8号 県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合に反対し、単独「農業高校」としての継承、発展、充実を求める陳情
- 70 陳情第23号 「若夏荘」「沖縄学生会館」に関する陳情
- 71 陳情第24号 子供と学校の安心・安全のために正規の学校職員の配置を保障することを求める陳情
- 72 陳情第27号 沖縄県から「いじめ」を追放し、いじめ撲滅ナンバーワンの県を目指して実効性のあるいじめ防止施策の実施及び「沖縄県いじめ防止条例」制定を求める陳情
- 73 陳情第28号 子供にこたえる学校図書館を求める陳情
- 74 陳情第29号 子供にこたえる学校図書館を求める陳情
- 75 陳情第30号 平成21年度軽費老人ホーム事務費補助金削減見直し並びに平成22年度補助金に関する陳情
- 76 陳情第31号 軽費老人ホーム緑樹苑事務費補助金削減反対に関する陳情
- 77 陳情第32号 軽費老人ホーム緑樹苑事務費補助金見直しに関する陳情
- 78 陳情第33号 軽費老人ホーム緑樹苑事務費補助金見直しに関する陳情
- 79 陳情第38号 県立高等学校再編整備実施計画に関する陳情
- 80 陳情第40号 後期高齢者医療制度の即時廃止を求める陳情
- 81 陳情第49号 「第43回沖縄県知的障害者教育・福祉・就労研究大会」における大会決議に関する陳情
- 82 陳情第52号 社会福祉法人翠泉会「羽地苑」に関する陳情
- 83 陳情第53号 軽費老人ホーム事務費補助金減額反対署名提出及び県議会参考人招致に関する陳情
- 84 陳情第57号 医療制度改革に伴う国保の財政赤字問題に関する陳情
- 85 陳情第61号の2 無償教育の実現を求める陳情
- 86 陳情第62号 保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情
- 87 陳情第76号 遺骨収集に関する陳情
- 88 陳情第78号 戦争遺跡の保存に関する陳情
- 89 陳情第83号 前期高齢者財政調整制度等の見直しに関する陳情
- 90 陳情第84号 県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合に反対し、単独農業高校としての継承、発展、充実を求める陳情
- 91 陳情第95号 介護保険で訪問カットが適用できるよう国に意見書を提出することを求める陳情
- 92 陳情第97号 子ども手当廃止の意見書を提出するよう求める陳情
- 93 陳情第98号 難病のある人の生活自立支援と就労支援に対する陳情
- 94 陳情第99号 「沖縄県がん対策推進基本条例」の6月定例会での制定を求める陳情
- 95 陳情第101号 利用者の安心・安全と健康や職員の権利を守るために、社会福祉法人「翠泉会」在宅複合型施設羽地苑の運営正常化を求める陳情
- 96 陳情第103号 選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情
- 97 陳情第104号 沖縄戦遺骨収集現場の視察要請に関する陳情
- 98 陳情第106号 県立高等学校における進級・卒業規程見直しに関する陳情
- 99 陳情第120号 「社会福祉法人翠泉会羽地苑」の運営に関する陳情
- 100 陳情第121号 「30人以下学級完全実現」に関する陳情
- 101 陳情第122号 「義務教育の国庫負担」堅持及び2分の1復元を求める陳情

- 102 陳情第123号 幼稚園教育の制度改善に関する陳情
- 103 陳情第128号 「沖縄子ども振興計画(仮称)」の策定に関する陳情
- 104 陳情第129号 「子どもの虐待未然防止」に関する陳情
- 105 陳情第137号 琉球大学医学部の地域医療に関する講座の新設を求める陳情
- 106 陳情第139号 沖縄南部離島町村学生宿舎(学生寮)整備に関する陳情
- 107 陳情第143号 あずま保育園の環境改善に関する陳情
- 108 陳情第145号 「沖縄県立高等学校管理規則の一部を改正する規則案」に関する陳情
- 109 陳情第147号 沖縄子ども振興計画の策定と子ども、子育て支援に関する陳情
- 110 陳情第153号 「慢性腎臓病(CKD) 特別対策事業」に関する陳情
- 111 陳情第154号 珊瑚舎スコーレ・夜間中学校の運営支援に関する陳情
- 112 陳情第158号の3 美ぎ島美しゃ(先島)圏域の振興発展に関する陳情
- 113 陳情第160号 「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める陳情
- 114 陳情第162号 「沖縄県がん対策推進基本条例」の早期制定を求める陳情
- 115 陳情第164号 「沖縄学生会館」に関する陳情
- 116 陳情第174号 沖縄県の船員(海技従事者)の確保・育成に関する陳情
- 117 陳情第175号 子供の「貧困化」防止を求める陳情
- 118 陳情第176号 医療的ケアに関する陳情
- 119 陳情第179号 児童相談所で働く非正規職員の労働条件の改善を求める陳情
- 120 陳情第183号 看護師等の大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情
- 121 青少年について(所管事務調査)
- 122 社会福祉及び社会保障について(所管事務調査)
- 123 保健衛生について(所管事務調査)
- 124 医療について(所管事務調査)
- 125 教育及び学術文化について(所管事務調査)

土木文化環境委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年10月5日(火曜日)

開 会 午後6時5分

散 会 午後6時9分

場 所 第3委員会室

議 題

1 審査日程について

出 席

委 員 長 當 山 眞 市 君

副 委 員 長 照 屋 大 河 君

委 員 新 垣 良 俊 君

嶺 井 光 君

嘉 陽 宗 儀 君

平 良 昭 一 君

新 垣 安 弘 君

吉 田 勝 廣 君

欠 席

池 間 淳 君

新 垣 哲 司 君

高 嶺 善 伸 君

大 城 一 馬 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年10月6日(水曜日)

開 会 午前10時2分

散 会 午後4時58分

場 所 第3委員会室

議 題

1 甲第2号議案 平成22年度沖縄県下水道事業特別会計補正予算(第1号)

2 乙第2号議案 工事請負契約についての議決内容の一部変更について

3 乙第3号議案 財産の取得について

4 乙第4号議案 債権の放棄について

5 乙第5号議案 訴えの提起について

6 乙第6号議案 違約金存否確認等請求調停事件の調停について

7 乙第7号議案 違約金存否確認等請求調停

事件の調停について

8 乙第8号議案 那覇港管理組合規約の一部変更について

9 陳情平成20年第64号の2、同第68号、同第72号、同第115号、同第133号、同第136号、同第137号の2、同第138号、同第149号、同第152号、同第160号、同第162号、同第183号、同第185号、同第187号、同第192号の2、同第201号の2、同第202号の2、陳情平成21年第18号、同第24号、同第33号、同第35号から同第37号まで、同第63号、同第74号の4、同第76号、同第90号、同第107号、同第109号、同第118号、同第119号、同第131号、同第134号、同第135号、同第140号、同第157号、同第158号、同第165号、同第166号、同第168号、同第172号、同第174号の3、同第181号、同第188号、同第190号、同第191号の3、同第194号の2、陳情第3号、第42号、第48号の2、第68号から第70号まで、第85号、第91号から第93号まで、第102号、第105号、第126号、第127号、第155号、第168号の2、第169号の2、第170号、第173号及び第177号

10 閉会中継続審査（調査）について

出席

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 當山眞市君 |
| 副委員長 | 照屋大河君 |
| 委員 | 新垣良俊君 |
| | 嶺井光君 |
| | 池間淳君 |
| | 新垣哲司君 |
| | 高嶺善伸君 |
| | 嘉陽宗儀君 |
| | 大城一馬君 |
| | 平良昭一君 |
| | 新垣安弘君 |
| | 吉田勝廣君 |

説明員の職、氏名

| | |
|-------------|---------|
| 文化環境部長 | 下地寛君 |
| 平和・男女共同参画課長 | 金良多恵子さん |
| 環境整備課長 | 下地岳芳君 |
| 土木建築部長 | 仲田文昭君 |
| 建築都市統括監 | 新里榮治君 |
| 参事 | 池田尊彦君 |

| | |
|----------|--------|
| 土木企画課長 | 喜瀬普一郎君 |
| 道路街路課長 | 金城淳君 |
| 港湾課長 | 神田豪君 |
| 空港課長 | 伊佐実春君 |
| 下水道課長 | 宮城光秋君 |
| 住宅課長 | 渡久山盛清君 |
| 住宅課住宅管理監 | 我如古敏雄君 |
| 企業局長 | 宮城嗣三君 |
| 企画総務課長 | 宮城一彦君 |

審査概要

甲第2号議案、乙第2号議案、乙第3号議案、及び乙第5号議案から乙第8号議案までについて土木建築部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、甲第2号議案については、質疑なし。

乙第2号議案については、質疑なし。

乙第3号議案については、空港用化学消防車の耐用年数、配備基準及び平均的な購入金額、県管理の空港用化学消防車の数、入札の方法、同消防車の管理方法等について質疑が行われた。

乙第5号議案については、家賃減免制度を適用が認められなかった事例の確認、減免制度の適用状況、強制執行の際の職員の立ち会いの有無等について質疑が行われた。

乙第6号議案及び乙第7号議案については、和解に至っていない企業の数及び今後の見通し、全体的な請求件数、損害賠償金として納付すべき合計金額等について質疑が行われた。

乙第8号議案については、那覇港港湾計画変更の具体的な内容、人工ビーチとのかかわり等について質疑が行われた。

次に、乙第4号議案について企業局長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第4号議案については、当該債権放棄の議会への提案時期、債権放棄の対象企業の数と合計金額、延滞金の割合異なる場合の違い等について質疑が行われた。

次に、陳情46件について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情1件について企業局長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情23件について文化環境部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、乙第5号議案に対して、共産党所属委員から反対の意見が表明され

た。

次に、議案8件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情68件を採決した結果、別掲のとおり

決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

土木文化環境委員会議案処理一覧表

イ 処理（8件）

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|------|-----------------------------|--------------|
| 甲第2号 | 平成22年度沖縄県下水道事業特別会計補正予算（第1号） | 全会一致 原案可決 |
| 乙第2号 | 工事請負契約についての議決内容の一部変更について | 全会一致 可決 |
| 乙第3号 | 財産の取得について | 〃 |
| 乙第4号 | 債権の放棄について | 〃 |
| 乙第5号 | 訴えの提起について | 多数 可決 |
| 乙第6号 | 違約金存否確認等請求調停事件の調停について | 全会一致 可決 |
| 乙第7号 | 違約金存否確認等請求調停事件の調停について | 〃 |
| 乙第8号 | 那覇港管理組合規約の一部変更について | 〃 |

土木文化環境委員会陳情処理一覧表

イ 処理（陳情2件）

| 陳情番号 | 受理年月日 | 件名 | 陳情者名 | 審査の結果 | 措置 |
|---------------|---------------|-------------------------|----------------------------------|-------|----------------------------------|
| 第105号 （継続） | 平成22年 6月9日 | 沖縄県立郷土劇場の早期 再建に関する陳情 | 沖縄県芸能関連協議会 （沖芸連） 会長 照喜名 朝一 | 採択 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置 （知事） |
| 第168号の2 | 平成22年 9月6日 | 八重山観光振興に関する 陳情 | 社団法人石垣市観光協会 会長 宮平 康弘 | 〃 | 〃 |

土木文化環境委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- 1 陳情平成20年第64号 「戦争のできる国民づくり」教育に反対する陳情
反対署名提出及び県議会参考人招致に関する陳情
- 2 陳情平成20年第68号 東部海浜開発（泡瀬埋立）

事業の中止を求める陳情

- 3 陳情平成20年第72号 沖広産業の産業廃棄物安定型最終処分場内におけるクロルデン類等汚染の浄化と、営業許可の更新を認めないことを求める陳情
- 4 陳情平成20年第115号 港湾区域内の水域占用許可に関する陳情

- 5 陳情平成20年第133号 「住宅供給公社の共益費徴収業務」に関する陳情
- 6 陳情平成20年第136号 浦添の美しい景観と安心・安全で安らぎのある生活環境を求める陳情
- 7 陳情平成20年第137号の2 サンゴの保護に関する陳情
- 8 陳情平成20年第138号 古島団地の建てかえに関する陳情
- 9 陳情平成20年第149号 産業廃棄物処理場の撤去を求める陳情
- 10 陳情平成20年第152号 公共工事の不払いに関する陳情
- 11 陳情平成20年第160号 那覇伊平屋航空路線開設に関する陳情
- 12 陳情平成20年第162号 「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」の採択を求める陳情
- 13 陳情平成20年第183号 泡瀬裁判の控訴断念を議決するよう求める陳情
- 14 陳情平成20年第185号 泡瀬干潟埋立事業公金支出差止訴訟判決に対する控訴を断念し泡瀬干潟の保全を求める陳情
- 15 陳情平成20年第187号 沖縄美ら海再生に関する陳情
- 16 陳情平成20年第192号の2 第60回九州地区地域婦人大会及び平成20年度全地婦連九州ブロック会議の決議に関する陳情
- 17 陳情平成20年第201号の2 吉の浦火力発電所電源開発に伴う海域環境調査に関する陳情
- 18 陳情平成20年第202号の2 建設業界の窮状に関する陳情
- 19 陳情平成21年第18号 泡瀬干潟裁判の控訴費用及び泡瀬埋立関連の予算の削除に関する陳情
- 20 陳情平成21年第24号 公共事業の早期発注並びに建設工事入札における最低制限価格の引上げに関する陳情
- 21 陳情平成21年第33号 読谷村産業廃棄物安定型最終処分場問題をめぐる行政処分に関する陳情
- 22 陳情平成21年第35号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 23 陳情平成21年第36号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 24 陳情平成21年第37号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 25 陳情平成21年第63号 ヤンバルの森全体の環境調査の実施と沖縄県アセス条例の改正を求める陳情
- 26 陳情平成21年第74号の4 平成21年度「離島・過疎地域振興に関する要望事項」に関する陳情
- 27 陳情平成21年第76号 県道、与那国島線祖納集落内217号線の拡張に関する陳情
- 28 陳情平成21年第90号 「豊崎プロジェクト」に関する陳情
- 29 陳情平成21年第107号 「気候保護法(仮称)」の制定を求める陳情
- 30 陳情平成21年第109号 公共工事に係る工賃の支払いに関する陳情
- 31 陳情平成21年第118号 安謝川河川改修工事に関する陳情
- 32 陳情平成21年第119号 安謝川河川改修工事に関する陳情
- 33 陳情平成21年第131号 EMで海や川の環境を守ることにに関する陳情
- 34 陳情平成21年第134号 沖縄県の公共の土木建築物でEMを活用することに関する陳情
- 35 陳情平成21年第135号 沖縄県の下水処理場(浄化センター)にEMを活用することに関する陳情
- 36 陳情平成21年第140号 泡瀬干潟埋立事業の中止の決議を可決することに関する陳情
- 37 陳情平成21年第157号 開南交差点に面するポケットパーク設置に関する陳情
- 38 陳情平成21年第158号 県道222号線拡幅整備事業(開南バス停付近)の一部変更に関する陳情
- 39 陳情平成21年第165号 文書での回答が公務員としての務めであることに関する陳情
- 40 陳情平成21年第166号 宅地建物取引業法第36条及び関連法案に関する陳情
- 41 陳情平成21年第168号 中城湾港泡瀬地区埋立事業の早期完成と東部海浜開発事業の推進に関する陳情
- 42 陳情平成21年第172号 泡瀬干潟埋立中止に向けた取り組みに関する陳情
- 43 陳情平成21年第174号の3 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等を活用した中小業者支援に関する陳情
- 44 陳情平成21年第181号 安謝川河川改修工事に伴う福祉施設運営に支障がないよう求める陳情
- 45 陳情平成21年第188号 中城湾港新港地区東埠頭

- の早期整備促進及び定期船の就航強化促進に関する陳情
- 46 陳情平成21年第190号 男女共同参画の活動拠点施設「宜野湾市人材育成交流センターめぶき」の増築等への財政的支援に関する陳情
- 47 陳情平成21年第191号の3 じん肺被災者の早期救済を図る「トンネルじん肺基金」の創設とじん肺やアスベスト被害の根絶を求める陳情
- 48 陳情平成21年第194号の2 平成21年度中城湾港(新港地区)振興に関する陳情
- 49 陳情第3号 大里城跡都市公園計画に係る土地収用補償金の範囲に関する陳情
- 50 陳情42号 日本軍「慰安婦」問題の解決を目指す法制を求める陳情
- 51 陳情第48号の2 非婚母子世帯に寡婦控除をみなし適用し、他の母子世帯と同等の生活水準を確保・支援することを求める陳情
- 52 陳情第68号 沖縄環境産業の産業廃棄物関連許可の取り消しを求める陳情
- 53 陳情第69号 沖縄環境産業の産業廃棄物関連許可の取り消しに関する陳情
- 54 陳情第70号 東部海浜開発事業の早期実現に関する陳情
- 55 陳情第85号 県道平良下地島空港線(乗瀬橋)の整備促進に関する陳情
- 56 陳情第91号 伊是名村の振興発展に関する陳情
- 57 陳情第92号 伊平屋・伊是名架橋の早期実現に関する陳情
- 58 陳情第93号 野甫港ターミナル施設整備に関する陳情
- 59 陳情第102号 人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情
- 60 陳情第126号 絶滅危惧種等の交通事故防止に関する陳情
- 61 陳情第127号 南風原中央線街路整備事業に係る当社所有の物件補償に関する協議書に対する陳情
- 62 陳情第155号 日本軍「慰安婦」問題の早期解決のための意見書採択を求める陳情
- 63 陳情第169号の2 竹富町観光振興に関する陳情
- 64 陳情第170号 竹富町生活保全航路安全整備に関する陳情
- 65 陳情第173号 イベント広場と周辺の整備事業による地域活性化に関する陳情
- 66 陳情第177号 沖縄市の「東部海浜開発事業」(土

- 地利用計画沖縄市案)を撤回させるよう求める陳情
- 67 道路、橋梁の整備事業について(所管事務調査)
- 68 港湾の整備事業について(所管事務調査)
- 69 空港の整備事業について(所管事務調査)
- 70 河川、海岸及び砂防の整備事業について(所管事務調査)
- 71 都市計画事業について(所管事務調査)
- 72 上下水道事業について(所管事務調査)
- 73 住宅環境の改善について(所管事務調査)
- 74 都市モノレールの整備事業について(所管事務調査)
- 75 建築関係について(所管事務調査)
- 76 消費者保護及び県民生活について(所管事務調査)
- 77 県民文化について(所管事務調査)
- 78 交通安全問題について(所管事務調査)
- 79 公害防止及び環境保全について(所管事務調査)
- 80 平和及び男女共同参画について(所管事務調査)

米軍基地関係特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年10月5日(火曜日)

開 会 午後6時18分

散 会 午後6時20分

場 所 第4委員会室

議 題

1 審査日程について

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 渡嘉敷 喜代子 さん |
| 副 委 員 長 | 桑 江 朝千夫 君 |
| 委 員 | 吉 元 義 彦 君 |
| | 仲 田 弘 毅 君 |
| | 具 志 孝 助 君 |
| | 照 屋 大 河 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 上 原 章 君 |
| | 新 垣 清 涼 君 |
| | 玉 城 満 君 |
| | 山 内 未 子 さん |

吉田勝廣君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年10月12日(火曜日)

開会 午前10時3分

散会 午後4時32分

場所 第4委員会室

議題

- 1 請願平成20年第1号、陳情平成20年第36号、同第88号、同第89号、同第94号、同第102号、同第204号、陳情平成21年第42号、同第46号、同第51号、同第79号、同第82号、同第114号、同第125号、同第151号、同第154号、同第161号、同第169号、同第185号から同第187号まで、同第195号、陳情第26号、第45号、第50号、第74号、第79号、第80号、第86号、第117号、第124号、第140号、第149号、第150号、第151号、第157号、第165号から第167号まで、第171号及び第181号
- 2 軍使用土地、基地公害、演習等米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立（嘉手納飛行場滑走路改修工事に伴う普天間飛行場等へのダイバートについて）
- 3 閉会中継続審査（調査）について

出席

| | |
|------|----------|
| 委員長 | 渡嘉敷喜代子さん |
| 副委員長 | 桑江朝千夫君 |
| 委員 | 吉元義彦君 |
| | 仲田弘毅君 |
| | 具志孝助君 |
| | 照屋大河君 |
| | 前田政明君 |
| | 上原章君 |
| | 新垣清涼君 |
| | 玉城満君 |
| | 山内末子さん |
| | 吉田勝廣君 |

説明員の職、氏名

| | |
|------------------|-------|
| 知事公室長 | 又吉進君 |
| 基地対策課長 | 親川達男君 |
| 文化環境部 環境企画統括監 | 金城康政君 |

環境政策課長 安富雅之君

農林水産部
農漁村基盤統括監 知念武君

土木建築部
土木整備統括監 当間清勝君

教育庁文化課長 大城慧君

警察本部刑事部
捜査第一課長 高嶺隆喜君

警察本部交通部長 北川秀行君

審査概要

請願1件及び陳情40件について知事公室長、文化環境部環境企画統括監、農林水産部農漁村基盤統括監、土木建築部土木整備統括監、教育庁文化課長、警察本部刑事部捜査第一課長及び交通部長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、嘉手納飛行場滑走路改修工事に伴う普天間飛行場等へのダイバートについて、知事公室長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、請願1件及び陳情40件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

なお、「嘉手納飛行場滑走路改修工事に伴う普天間飛行場及び那覇空港等へのダイバートに関する意見書」及び「同抗議決議」を別掲のとおり提出することになった。

米軍基地関係特別委員会陳情処理一覧表

イ 処理(7件)

| 陳情番号 | 受理年月日 | 件名 | 陳情者名 | 審査の結果 | 措置 |
|---------------|----------------|-------------------------------|--------------------------|-------|-------------------------------------|
| 第74号 (継続) | 平成22年 4月20日 | 政府による「勝連沖埋め立て案」の検討取りやめ等に関する陳情 | 沖縄県漁業協同組合長 会長 池田 博外2人 | 採 択 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事) |
| 第124号 (継続) | 平成22年 6月21日 | 米軍ヘリコプターの松田布流石原海岸不時着に関する陳情 | 宜野座村議会議長 小渡 久和 | " | " |
| 第140号 (継続) | 平成22年 6月24日 | 米軍ゴルフ場での日本人利用禁止の対策に関する陳情 | 沖縄県ゴルフ事業連絡協議会 会長 池原 操 | " | " |
| 第151号 | 平成22年 6月30日 | 米軍ヘリコプターの松田区布流石原海岸不時着に対する陳情 | 松田区長 当真 嗣信外1人 | " | " |
| 第157号 | 平成22年 8月5日 | 米軍大型トレーラーによる事故に対する陳情 | 宜野座村議会議長 小渡 久和 | " | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事及び公安委員会) |
| 第165号 | 平成22年 8月30日 | 米国原子力軍艦のホワイト・ビーチ寄港に対する陳情 | うるま市長 島袋 俊夫 | " | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事) |
| 第171号 | 平成22年 9月9日 | 米国原子力潜水艦のホワイト・ビーチ寄港に反対する陳情 | うるま市議会議長 西野 一男 | " | " |

米軍基地関係特別委員会 閉会中継続審査(調査)事件一覧

- 1 請願平成20年第1号 新基地建設に関する請願
- 2 陳情平成20年第36号 キャンプ・ハンセン内レンジ3射撃場建設の即時中止を求める陳情
- 3 陳情平成20年第88号 「高江区周辺域におけるヘリパッド建設中止と計画撤回」の決議を求める陳情
- 4 陳情平成20年第89号 普天間飛行場代替施設(新基地)建設事業に係るアセス手続及び「環境現況調査」並びにキャンプ・シュワブ内における「造成」工事等に関する陳情
- 5 陳情平成20年第94号 キャンプ・ハンセン内への訓練用コンテナ搬入に関する陳情
- 6 陳情平成20年第102号 沖縄の米軍基地再編・新

基地建設に反対する陳情

- 7 陳情平成20年第204号 普天間飛行場代替施設(新基地)建設事業等の中止を求める陳情
- 8 陳情平成21年第42号 「在沖米海兵隊のグアム移転に係る協定」に反対し、基地の無条件撤去に向けた日米両政府の協議を要求する意見書の採択を求める陳情
- 9 陳情平成21年第46号 「米軍再編協定」(「在沖米海兵隊のグアム移転に関する協定」)に反対する意見書の採択を求める陳情
- 10 陳情平成21年第51号 米軍実弾射撃訓練被弾事件に関する陳情
- 11 陳情平成21年第79号 ヘリパッド建設反対に関する陳情
- 12 陳情平成21年第82号 在沖縄米海兵隊のグアム「移転」に関する協定及び新基地の建設に反対す

- る陳情
- 13 陳情平成21年第114号 辺野古新基地建設を押しつける「在沖海兵隊グアム移転協定」に関する陳情
 - 14 陳情平成21年第125号 「普天間」代替基地建設工事等の中止を求める陳情
 - 15 陳情平成21年第151号 在沖米軍人の基地内居住義務化と基地内住宅の建設計画の中止を求める陳情
 - 16 陳情平成21年第154号 日米地位協定にかかわる裁判権放棄の日米密約の公表と破棄を日本政府に求める意見書採択の陳情
 - 17 陳情平成21年第161号 「高江区周辺域におけるヘリパッド建設中止と計画撤回」を含む4項目の決議を求める陳情
 - 18 陳情平成21年第169号 「普天間基地の即時閉鎖・辺野古新基地建設反対！9・18県民集会」決議に関する陳情
 - 19 陳情平成21年第185号 県当局に「普天間」代替基地建設事業(埋立事業)に係るアセス評価書についても県アセス審査会に審査させることを求める陳情
 - 20 陳情平成21年第186号 「普天間」代替基地建設事業に係るアセス評価書作成前の事業者見解の提出・公表と公聴会開催を求める陳情
 - 21 陳情平成21年第187号 「普天間」代替基地建設事業に係るアセスメントの検証を求める陳情
 - 22 陳情平成21年第195号 在沖米軍基地の機能強化及び新たな基地建設に反対する陳情
 - 23 陳情第26号 「座り込み住民弾圧裁判への抗議」を含む3項目の決議を求める陳情
 - 24 陳情第45号 米空軍外来機等と航空自衛隊との合同訓練に反対する陳情
 - 25 陳情第50号 沖縄基地問題に関する決議の陳情
 - 26 陳情第79号 F15戦闘機のみ사일模擬弾安定板の落下に対する陳情
 - 27 陳情第80号 FA18戦闘攻撃機等外来機の飛来及び訓練に対する陳情
 - 28 陳情第86号 FA18戦闘攻撃機等外来機の大挙飛来に反対し、訓練の中止を求める陳情
 - 29 陳情第117号 F22Aラプター戦闘機の嘉手納基地への飛来に反対し、訓練の中止を求める陳情
 - 30 陳情第149号 「普天間」代替基地建設事業の中止等を求める陳情

- 31 陳情第150号 「米海兵隊北部訓練場ヘリパッド建設中止と計画撤回、住民起訴に対する抗議」を含む4項目の決議を求める陳情
- 32 陳情第166号 速やかな普天間基地の閉鎖を求める陳情
- 33 陳情第167号 FA18戦闘攻撃機等外来機の大挙飛来に抗議し、爆音被害の解消に関する陳情
- 34 陳情第184号 「普天間」代替基地の規模が巨大化するに至った経緯の解明を求める陳情
- 35 軍使用土地、基地公害、演習等米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立

嘉手納飛行場滑走路改修工事に伴う普天間飛行場及び那覇空港等へのダイバートに関する意見書

去る9月21日、在沖米空軍は、10月から実施される嘉手納飛行場の滑走路改修工事に伴い、平成24年3月までの1年半にわたり、同飛行場に着陸できない航空機が緊急時に普天間飛行場等を使用する目的地変更、いわゆるダイバートを行う可能性が高くなることを発表した。

その理由として、2本の滑走路を順次改修するためであるとしているが、そもそもダイバートは通常、目的地の滑走路が事故や悪天候などで閉鎖される場合に行われるべき緊急的な措置であり、今回のようにあらかじめ改修の期間や方法等が明確な場合に行われるものではないこと、ダイバート先として挙げられた普天間飛行場は、市街地の中心に位置し、過重な基地負担を地域住民に与えていることや、米軍の安全基準であるクリアゾーンや日本の航空法が適用されないまま運用されている「世界一危険な飛行場」であることから、県民は今回の米空軍の措置に強い憤りと不満を抱いている。

また、ダイバート先として県民や観光客が頻繁に利用している那覇空港の使用もあり得るとのことであり、米軍の恣意的かつなし崩し的な基地運用のあり方を示唆するものにほかならず、県民は到底納得できるものではない。

よって、本県議会は、県民の生命、安全及び生活環境を守る立場から、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要請する。

記

- 1 今回の嘉手納飛行場の滑走路改修工事に伴う普天間飛行場及び那覇空港等への目的地変更（ダイバート）及びこれに伴う訓練を行わないこと。
- 2 県民が望む普天間飛行場の早期の閉鎖・返還を実現すること。
- 3 嘉手納飛行場及び普天間飛行場での早朝及び夜間の飛行を制限するとともに、周辺市街地上空での訓練・演習を行わないこと。
- 4 嘉手納飛行場及び普天間飛行場への外来機の飛来を行わないこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年10月14日

沖 縄 県 議 会

内 閣 総 理 大 臣
 外 務 大 臣
 防 衛 大 臣
 沖縄及び北方対策担当大臣

あて

嘉手納飛行場滑走路改修工事に伴う普天間飛行場及び那覇空港等へのダイバートに関する抗議決議

去る9月21日、在沖米空軍は、10月から実施される嘉手納飛行場の滑走路改修工事に伴い、平成24年3月までの1年半にわたり、同飛行場に着陸できない航空機が緊急時に普天間飛行場等を使用する目的地変更、いわゆるダイバートを行う可能性が高くなることを発表した。

その理由として、2本の滑走路を順次改修するためであるとしているが、そもそもダイバートは通常、目的地の滑走路が事故や悪天候などで閉鎖される場合に行われるべき緊急的な措置であり、今回のようにあらかじめ改修の期間や方法等が明確な場合に行われるものではないこと、ダイバート先として挙げられた普天間飛行場は、市街地の中心に位置し、過重な基地負担を地域住民に与えていることや、米軍の安全基準であるクリアゾーンや日本の航空法が適用されないまま運用されている「世界一危険な飛行場」であることから、県民は今回の米空軍の措置に強い憤りと不満を抱いている。

また、ダイバート先として県民や観光客が頻繁に利用している那覇空港の使用もあり得るとのことであり、米軍の恣意的かつなし崩し的な基地運用のあり方を示唆するものにほかならず、県民は到底納得できるものではない。

よって、本県議会は、県民の生命、安全及び生活環境を守る立場から、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

記

- 1 今回の嘉手納飛行場の滑走路改修工事に伴う普天間飛行場及び那覇空港等への目的地変更（ダイバート）及びこれに伴う訓練を行わないこと。
- 2 県民が望む普天間飛行場の早期の閉鎖・返還を実現すること。
- 3 嘉手納飛行場及び普天間飛行場での早朝及び夜間の飛行を制限するとともに、周辺市街地上空での訓練・演習を行わないこと。
- 4 嘉手納飛行場及び普天間飛行場への外来機の飛来を行わないこと。

上記のとおり決議する。

平成22年10月14日

沖 縄 県 議 会

駐 日 米 国 大 使
 在 日 米 軍 司 令 官
 在 日 米 軍 沖 縄 地 域 調 整 官
 在 沖 米 国 総 領 事
 第 1 8 航 空 団 司 令 官

あて

観光振興・新石垣空港建設促進特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年10月5日(火曜日)

開 会 午後6時15分
 散 会 午後6時20分
 場 所 第5委員会室
 議 題

1 審査日程について

出 席

委 員 長 比 嘉 京 子 さん
 副 委 員 長 辻 野 ヒロ子 さん

委員 座喜味 一 幸 君
 新垣 良 俊 君
 嶺 井 光 君
 仲宗根 悟 君
 玉城 ノブ子 さん
 金城 勉 君
 平良 昭 一 君
 新垣 安 弘 君

観光商工部長 勝 目 和 夫 君
 観光企画課長 下 地 芳 郎 君
 観光振興課長 嵩 原 安 伸 君
 土木建築部長 仲 田 文 昭 君
 新石垣空港統括監 栄野川 盛 信 君
 新石垣空港課長 神 村 美 州 君
 教育庁文化課班長 島 袋 洋 君

欠 席

高 嶺 善 伸 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年10月12日(火曜日)

開 会 午前10時4分

散 会 午後3時9分

場 所 第5委員会室

議 題

- 1 陳情平成21年第75号、同第136号、同第141号、陳情第44号、第156号、第159号、第168号の3及び第172号
- 2 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立（平成21年度観光統計実態調査について及び平成22年度誘客戦略について）
- 3 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立（新石垣空港の整備事業の進捗状況について）
- 4 閉会中継続審査（調査）について

出 席

委員 長 比 嘉 京 子 さん
 副委員 長 辻 野 ヒロ子 さん
 委員 座喜味 一 幸 君
 新垣 良 俊 君
 嶺 井 光 君
 仲宗根 悟 君
 高 嶺 善 伸 君
 玉城 ノブ子 さん
 金城 勉 君
 平良 昭 一 君
 新垣 安 弘 君

審査概要

陳情5件について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、平成21年度観光統計実態調査について及び平成22年度誘客戦略について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情4件について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、新石垣空港の整備事業の進捗状況について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情8件を採決した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

観光振興・新石垣空港 建設促進特別委員会 閉会中継続審査（調査）事件一覧

- 1 陳情平成21年第75号 新空港の名称を「八重山空港」とすることに関する陳情
- 2 陳情平成21年第136号 EMを新しい観光資源として導入することに関する陳情
- 3 陳情平成21年第141号 沖縄県の政策を新しい観光資源として導入することに関する陳情
- 4 陳情第44号 沖縄県におけるカジノ構想に反対する陳情
- 5 陳情第156号 新石垣空港におけるCIQ施設整備に関する陳情
- 6 陳情第159号 新石垣空港におけるCIQ施設の整備に関する陳情
- 7 陳情第168号の3 八重山観光振興に関する陳情
- 8 陳情第172号 うるま市にカジノを誘致することに関する陳情
- 9 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立

説明員の職、氏名

沖縄振興・那覇空港 整備促進特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年9月17日(金曜日)

開 会 午前10時57分
散 会 午前11時10分
場 所 第6委員会室
議 題

- 1 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立（付議事件の審査範囲の変更について）

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 当 銘 勝 雄 君 |
| 副 委 員 長 | 島 袋 大 君 |
| 委 員 | 照 屋 守 之 君 |
| | 翁 長 政 俊 君 |
| | 浦 崎 唯 昭 君 |
| | 仲 村 未 央 さん |
| | 渡久地 修 君 |
| | 糸 洲 朝 則 君 |
| | 奥 平 一 夫 君 |
| | 赤 嶺 昇 君 |
| | 上 里 直 司 君 |
| | 玉 城 義 和 君 |

説明員の職、氏名

企 画 部 長 川 上 好 久 君

審査概要

付議事件の変更について企画部長から説明を聴取した。

次に、付議事件の変更について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年10月5日(火曜日)

開 会 午後6時17分
散 会 午後6時20分
場 所 第6委員会室
議 題

- 1 審査日程について

出 席

| | |
|-------|------------|
| 委 員 長 | 当 銘 勝 雄 君 |
| 委 員 | 照 屋 守 之 君 |
| | 翁 長 政 俊 君 |
| | 浦 崎 唯 昭 君 |
| | 仲 村 未 央 さん |
| | 渡久地 修 君 |
| | 奥 平 一 夫 君 |
| | 赤 嶺 昇 君 |
| | 上 里 直 司 君 |
| | 玉 城 義 和 君 |

欠 席

| |
|-----------|
| 島 袋 大 君 |
| 糸 洲 朝 則 君 |

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(3)

◎平成22年10月12日(火曜日)

開 会 午前10時6分
散 会 午後3時13分
場 所 第6委員会室
議 題

- 1 陳情平成20年第167号及び同第193号
- 2 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立（沖縄振興計画の総点検報告書について）
- 3 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立（駐留軍用地跡地利用に関する新たな法制度提案の基本的考えについて）
- 4 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立（新たな沖縄振興の必要性について）
- 5 閉会中継続審査（調査）について

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 当 銘 勝 雄 君 |
| 副 委 員 長 | 島 袋 大 君 |
| 委 員 | 照 屋 守 之 君 |
| | 翁 長 政 俊 君 |
| | 浦 崎 唯 昭 君 |
| | 仲 村 未 央 さん |
| | 渡久地 修 君 |

糸 洲 朝 則 君
奥 平 一 夫 君
赤 嶺 昇 君
上 里 直 司 君
玉 城 義 和 君

説明員の職、氏名

企 画 部 長 川 上 好 久 君
企 画 調 整 統 括 監 謝 花 喜 一 郎 君
企 画 調 整 課 古 波 蔵 健 君
跡 地 対 策 監

審査概要

陳情 2 件について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、沖縄振興計画の総点検報告書について、駐留軍用地跡地利用に関する新たな法制度提案の基本的考えについて及び新たな沖縄振興の必要性について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情 2 件を採決した。

次に、閉会中継続審査(調査)については、別掲のとおり決定した。

沖 縄 振 興 ・ 那 覇 空 港 整 備 促 進 特 別 委 員 会 閉 会 中 継 続 審 査 (調 査) 事 件 一 覧

- 1 陳情平成20年第167号 第二次返還特措法の制定に関する陳情
- 2 陳情平成20年第193号 那覇空港拡張整備計画に関する陳情
- 3 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立

決算特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年10月5日(火曜日)

開 会 午後6時28分
散 会 午後6時48分

場 所 第7委員会室 議 題

- 1 委員長の互選
- 2 副委員長の互選
- 3 認定第1号 平成21年度沖縄県一般会計決算の認定について
- 4 認定第2号 平成21年度沖縄県農業改良資金特別会計決算の認定について
- 5 認定第3号 平成21年度沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計決算の認定について
- 6 認定第4号 平成21年度沖縄県中小企業振興資金特別会計決算の認定について
- 7 認定第5号 平成21年度沖縄県下地島空港特別会計決算の認定について
- 8 認定第6号 平成21年度沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計決算の認定について
- 9 認定第7号 平成21年度沖縄県下水道事業特別会計決算の認定について
- 10 認定第8号 平成21年度沖縄県所有者不明土地管理特別会計決算の認定について
- 11 認定第9号 平成21年度沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計決算の認定について
- 12 認定第10号 平成21年度沖縄県中央卸売市場事業特別会計決算の認定について
- 13 認定第11号 平成21年度沖縄県林業改善資金特別会計決算の認定について
- 14 認定第12号 平成21年度沖縄県中城湾港(新港地区)臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について
- 15 認定第13号 平成21年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計決算の認定について
- 16 認定第14号 平成21年度沖縄県自由貿易地域特別会計決算の認定について
- 17 認定第15号 平成21年度沖縄県産業振興基金特別会計決算の認定について
- 18 認定第16号 平成21年度沖縄県中城湾港(新港地区)整備事業特別会計決算の認定について
- 19 認定第17号 平成21年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計決算の認定について
- 20 認定第18号 平成21年度沖縄県駐車場事業特別会計決算の認定について
- 21 認定第19号 平成21年度沖縄県公共用地先行取得事業特別会計決算の認定について
- 22 認定第20号 平成21年度沖縄県中城湾港(泡

瀬地区) 臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について

- 23 認定第21号 平成21年度沖縄県病院事業会計決算の認定について
- 24 認定第22号 平成21年度沖縄県水道事業会計決算の認定について
- 25 認定第23号 平成21年度沖縄県工業用水道事業会計決算の認定について
- 26 閉会中継続審査について
- 27 決算特別委員会運営要領について
- 28 理事の選任について

出席

| | |
|------|----------|
| 委員長 | 奥平一夫君 |
| 副委員長 | 仲宗根悟君 |
| 委員 | 中川京貴君 |
| | 桑江朝千夫君 |
| | 吉元義彦君 |
| | 照屋守之君 |
| | 辻野ヒロ子さん |
| | 照屋大河君 |
| | 渡嘉敷喜代子さん |
| | 西銘純恵さん |
| | 玉城ノブ子さん |
| | 上原章君 |
| | 金城勉君 |
| | 瑞慶覧功君 |
| | 平良昭一君 |
| | 上里直司君 |

欠席

島袋大君

審査概要

委員会条例第7条の規定により、議長が委員会を召集し、年長委員の渡嘉敷喜代子さんが委員長に互選に関する職務を行い、指名推選により奥平一夫君が委員長に選任された。

次に、指名推選により仲宗根悟君が副委員長に選任された。

次に、認定第1号から認定第23号までの審査について協議した結果、別掲のとおり閉会中継続審査に付することに決定した。

次に、決算特別委員会運営要領について協議し、決定した。

次に、理事に桑江朝千夫君、西銘純恵さん及び上原章君の3人が選任された。

決算特別委員会閉会中 継続審査(調査)事件一覧

- 1 認定第1号 平成21年度沖縄県一般会計決算の認定について
- 2 認定第2号 平成21年度沖縄県農業改良資金特別会計決算の認定について
- 3 認定第3号 平成21年度沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計決算の認定について
- 4 認定第4号 平成21年度沖縄県中小企業振興資金特別会計決算の認定について
- 5 認定第5号 平成21年度沖縄県下地島空港特別会計決算の認定について
- 6 認定第6号 平成21年度沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計決算の認定について
- 7 認定第7号 平成21年度沖縄県下水道事業特別会計決算の認定について
- 8 認定第8号 平成21年度沖縄県所有者不明土地管理特別会計決算の認定について
- 9 認定第9号 平成21年度沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計決算の認定について
- 10 認定第10号 平成21年度沖縄県中央卸売市場事業特別会計決算の認定について
- 11 認定第11号 平成21年度沖縄県林業改善資金特別会計決算の認定について
- 12 認定第12号 平成21年度沖縄県中城湾港(新港地区)臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について
- 13 認定第13号 平成21年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計決算の認定について
- 14 認定第14号 平成21年度沖縄県自由貿易地域特別会計決算の認定について
- 15 認定第15号 平成21年度沖縄県産業振興基金特別会計決算の認定について
- 16 認定第16号 平成21年度沖縄県中城湾港(新港地区)整備事業特別会計決算の認定について
- 17 認定第17号 平成21年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計決算の認定について
- 18 認定第18号 平成21年度沖縄県駐車場事業特別会計決算の認定について
- 19 認定第19号 平成21年度沖縄県公共用地先行取得事業特別会計決算の認定について

- 20 認定第20号 平成21年度沖縄県中城湾港（泡瀬地区）臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について
- 21 認定第21号 平成21年度沖縄県病院事業会計決算の認定について
- 22 認定第22号 平成21年度沖縄県水道事業会計決算の認定について
- 23 認定第23号 平成21年度沖縄県工業用水道事業会計決算の認定について

平成22年第4回沖縄県議会(定例会)

閉会中継続審査(調査)

経済労働委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年11月2日(火曜日)

開 会 午前10時4分
散 会 午前11時6分
場 所 第1委員会室
議 題

- 1 農林水産業について（T P P 交渉への参加
について）

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 玉 城 ノブ子 さん |
| 副 委 員 長 | 瑞慶覧 功 君 |
| 委 員 | 中 川 京 貴 君 |
| | 座喜味 一 幸 君 |
| | 辻 野 ヒロ子 さん |
| | 仲宗根 悟 君 |
| | 当 銘 勝 雄 君 |
| | 渡久地 修 君 |
| | 前 島 明 男 君 |
| | 玉 城 満 君 |
| | 上 里 直 司 君 |

欠 席

具 志 孝 助 君

説明員の職、氏名

| | |
|----------|-----------|
| 農林水産部長 | 比 嘉 俊 昭 君 |
| 農林水産企画課長 | 久 貝 富 一 君 |

審査概要

T P P 交渉への参加について農林水産部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

なお、T P P 交渉への参加について、意見書提出の協議を行ったが、意見の一致を見なかった。

決算特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年10月18日(月曜日)

開 会 午前10時4分
散 会 午後5時46分

場 所 第7委員会室
議 題

- 1 平成22年第4回議会認定第1号 平成21年度
沖縄県一般会計決算の認定について
- 2 平成22年第4回議会認定第2号 平成21年度
沖縄県農業改良資金特別会計決算の認定につ
いて
- 3 平成22年第4回議会認定第3号 平成21年度
沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計
決算の認定について
- 4 平成22年第4回議会認定第4号 平成21年度
沖縄県中小企業振興資金特別会計決算の認定
について
- 5 平成22年第4回議会認定第5号 平成21年度
沖縄県下地島空港特別会計決算の認定につ
いて
- 6 平成22年第4回議会認定第6号 平成21年度
沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計決算の認定
について
- 7 平成22年第4回議会認定第7号 平成21年度
沖縄県下水道事業特別会計決算の認定につ
いて
- 8 平成22年第4回議会認定第8号 平成21年度
沖縄県所有者不明土地管理特別会計決算の認
定について
- 9 平成22年第4回議会認定第9号 平成21年度
沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計決算の認定
について
- 10 平成22年第4回議会認定第10号 平成21年度
沖縄県中央卸売市場事業特別会計決算の認定
について
- 11 平成22年第4回議会認定第11号 平成21年度
沖縄県林業改善資金特別会計決算の認定につ
いて
- 12 平成22年第4回議会認定第12号 平成21年度
沖縄県中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事
業特別会計決算の認定について
- 13 平成22年第4回議会認定第13号 平成21年度
沖縄県宜野湾港整備事業特別会計決算の認定
について
- 14 平成22年第4回議会認定第14号 平成21年度
沖縄県自由貿易地域特別会計決算の認定につ
いて
- 15 平成22年第4回議会認定第15号 平成21年度
沖縄県産業振興基金特別会計決算の認定につ
いて

- 16 平成22年第4回議会認定第16号 平成21年度
沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計
決算の認定について
- 17 平成22年第4回議会認定第17号 平成21年度
沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計決算の
認定について
- 18 平成22年第4回議会認定第18号 平成21年度
沖縄県駐車場事業特別会計決算の認定について
- 19 平成22年第4回議会認定第19号 平成21年度
沖縄県公共用地先行取得事業特別会計決算の認
定について
- 20 平成22年第4回議会認定第20号 平成21年度
沖縄県中城湾港（泡瀬地区）臨海部土地造成事
業特別会計決算の認定について
- 21 平成22年第4回議会認定第21号 平成21年度
沖縄県病院事業会計決算の認定について
- 22 平成22年第4回議会認定第22号 平成21年度
沖縄県水道事業会計決算の認定について
- 23 平成22年第4回議会認定第23号 平成21年度
沖縄県工業用水道事業会計決算の認定について

出 席

- | | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 奥 平 一 夫 君 |
| 副 委 員 長 | 仲宗根 悟 君 |
| 委 員 | 中 川 京 貴 君 |
| | 桑 江 朝千夫 君 |
| | 吉 元 義 彦 君 |
| | 照 屋 守 之 君 |
| | 辻 野 ヒロ子 さん |
| | 照 屋 大 河 君 |
| | 渡嘉敷 喜代子 さん |
| | 西 銘 純 恵 さん |
| | 玉 城 ノブ子 さん |
| | 上 原 章 君 |
| | 金 城 勉 君 |
| | 瑞慶覧 功 君 |
| | 平 良 昭 一 君 |
| | 上 里 直 司 君 |

欠 席

- | |
|---------|
| 島 袋 大 君 |
|---------|

説明員の職、氏名

- | | |
|-------------|------------|
| 会 計 管 理 者 | 米 蔵 博 美 さん |
| 病 院 事 業 局 長 | 伊 江 朝 次 君 |
| 企 業 局 長 | 宮 城 嗣 三 君 |
| 代 表 監 査 委 員 | 又 吉 春 三 君 |

審査概要

平成22年第4回議会認定第1号から同認定第23号までについて会計管理者、病院事業局長及び企業局長からそれぞれ決算概要の説明、代表監査委員から決算審査概要の説明を聴取した後、質疑に入り、決算審査を終えての感想、歳入の確保と歳出の縮減に関する次年度に向けた対策、沖縄県行財政改革プランの4年間の実績と成果、人事面での成果、新沖縄県行財政改革プランの内容及びこれまでのプランとの相違点、行財政改革を徹底的に行いながら県政を運営することについての見解、行財政改革時の組織のリーダーとしての覚悟に関する見解、一般会計の違約金、一括交付金に関する監査のありようについての見解、事業棚卸しや事業仕分けについての見解、政権交代等社会の激変についての見解、政権がかわったことによる執行体制等への影響、収入未済額から不納欠損になる割合、不用額の主な要因及びその許容範囲、平成20年度決算と比較した平成21年度決算の特徴、今後の県財政の見通し、財政状況等に関する見解、監査の役割及び仕事、県職員の決算審査意見書の活用の仕方、行財政運営及び新沖縄県行財政改革プランの実行に関する職員の意識、毎年の決算審査意見の反映状況、行財政改革の取り組みについての評価及び問題点、沖縄県行財政改革プランの事業効果、行財政改革に関する職員の意識改革への指導、県税の収入未済額についての問題点、個人滞納者の対策及び取り組み、監査委員に与えられている職務権限の範囲及び具体的な指導内容、各部署で監査後の総括的な意見交換の有無、職員の削減と県民サービスの低下についての見解、自主財源や県税収入を向上させていくことへの見解、収入未済額の徴収についての見解、県民に身近で必要不可欠な行政サービス水準の維持に関する見解、失業者や倒産者に対する徴収の考え方、滞納処分の執行停止数、特別会計における収入未済の内容、自主財源を確保するための対策、農業、漁業、地場産業、観光産業等の産業を興していくための県の具体的な対策、農林水産業費や商工費において繰越額が出る理由、執行体制を引き上げ本年度内に執行することについての見解、特産振興費及び水産業振興費の不用額の要因、沖縄市泡瀬干潟埋立工事についての見解、県が公表した沖縄の家計簿についての感想、平成21年度決算の中で県

債が増加した背景、未利用財産等の活用に関する具体的な事例、災害復旧費の執行率が低いことについての見解、歳計現金の運用の成果、円高による外貨預金運用への影響、外貨預金の期限、沖縄県中小企業振興資金特別会計監査の適正性、病院の普通預金額を運用に回すべきとの意見に対する見解、不用額についての評価、世界的な経済不況によるさまざまな経済対策の実施と執行率の減との関係、新沖縄県行財政改革プランの見通し、収入未済額の増減理由、市町村職員の徴収技術向上の内容、滞納者への法的措置をとった事例、農業改良資金特別会計の1件当たりの貸付額、法人事業税額と事業所数の関係、公金の管理運用、病院事業局の基金における普通預金の割合、普通預金利子の発生状況、支払い猶予の有無、各基金の期末における運用のあり方、資金運用の方針に関する各部局との調整状況、金利のつかない普通預金で置いている理由、現在の証書借入残高額、預入残高額及びペイオフに対する余裕の状況、県内の金融機関の評価、バランス化されていない金融機関がある理由等について質疑が行われた。

(2)

◎平成22年10月19日(火曜日)

開 会 午前10時2分
散 会 午後4時40分
場 所 第7委員会室
議 題

- 1 平成22年第4回議会認定第21号 平成21年度
沖縄県病院事業会計決算の認定について

出 席

委 員 長 奥 平 一 夫 君
副 委 員 長 仲宗根 悟 君
委 員 島 袋 大 君
中 川 京 貴 君
桑 江 朝千夫 君
吉 元 義 彦 君
照 屋 守 之 君
辻 野 ヒロ子 さん
照 屋 大 河 君
渡嘉敷 喜代子 さん
西 銘 純 恵 さん
玉 城 ノブ子 さん
上 原 章 君

金 城 勉 君
瑞慶覧 功 君
平 良 昭 一 君
上 里 直 司 君

説明員の職、氏名

病院事業局長 伊 江 朝 次 君
県立病院課長 武 田 智 君
県立病院課 津嘉山 朝 雄 君
経営企画監 佐久川 和 子 さん
県立病院課 看護企画監 大 城 清 君
北部病院長 平安山 英 盛 君
中部病院長 南部医療センター
・こども医療 センター院長 大久保 和 明 君
精和病院長 新 垣 米 子 さん
宮古病院長 安谷屋 正 明 君
八重山病院長 松 本 廣 嗣 君

審査概要

開会后、病院事業局長への質疑に入り、県立病院が果たす役割、病院再建の効果、看護師の幅広い年齢層の内容、再建の中での起債返済のあり方、借換制度の内容、未収金が起こるケース、債権回収サービス業者への委託の実態、県立中部病院における助産師外来の開設、レセプトにおける患者への還付の有無、受診が適切かどうかを患者側が確認できる窓口の有無、県立精和病院の入院が予定量よりもふえている原因及び県立精和病院以外での患者数が減少した要因、入院、外来患者の予定量で見込まれた収益と実績の収益の差額、県立南部医療センター精神身体合併症病棟の拡充に関する陳情に対する対応状況、看護師不足による休床部分の精神科としての使用の可否、一般病床と精神病床の看護体制の違い及び1床当たりの医療報酬の違い、精神科の患者を家に帰すための体制の状況、全体の休床数、県立浦添看護学校の民間移譲についての見解、医師不足等の現状、医師の時間外勤務時間の現状及び取り組み、時間外に関する協定締結の進捗状況、医師等人材確保の取り組み、県立中部病院への寄附金の中身、県立病院の再建に関する初年度実施の取り組み、看護師確保の取り組み、7対1看護体制の実施時期、現場

の声の掌握方法、県立宮古病院及び県立八重山病院のがん治療の現状及び治療を完全に地場で実施するための体制、未収金の内容と対策、無料低額診療制度に関する見解、厚生労働省の未収金対策の周知方法、病床1床当たりを含めた繰入金の比率、医業収益に占める繰入金比率が全国平均より下回っていることに関する見解、各県立病院の医師や看護師不足の実態と影響額、各県立病院の慢性的残業に関するアンケート実施の有無及び結果、7対1看護体制に対する具体的な対策、県立北部病院の産婦人科医確保の見通し、県立病院の臨床研修医制度の現状及び対策、メディカルソーシャルワーカーの配置体制、過去1年間のメディカルソーシャルワーカーが受けた相談件数及び雇用形態、一般会計からの繰り入れに関する見解、入院及び外来が3万人近く減少している原因、休床が始まった時期、支払い利息軽減の背景、個人負担分の未収金がふえている中身、支払いが困難な患者に対する対策、長期の回収は2%台しか成果がないことの原因、診療所の医師及び看護師不足の状況、離島に関する産婦人科医の有無、診療所の医師の産婦人科医兼義状況、離島各島の子供の出生数、医師不足の根本的な理由、国立医師バンク的な仕組みによる医師の離島派遣に関する見解、医業損失の大きさ、地方公営企業法全部適用に関して平成21年度から具体的な効果が見え出してきた理由、県立病院経営再建計画における人件費比率の高さの現状、経営形態のあり方、県立病院は県知事の命令のもとに担保しておく必要があるとの意見に関する見解、条例定数と看護師不足との関係、医師及び看護師不足への対応策、県立北部病院産科問題に関する経緯及び診療体制の状況、民間、個人による沖縄本島北部地域における産婦人科数、沖縄自動車道の社会実験で渋滞により救急車が全く身動きがとれない状況に関する見解、院内助産院の設置に関する見解、県立中部病院のNICU—新生児集中治療室の体制及び厚生労働省の設置基準、ドクターヘリが1機体制であることに関する見解、附属診療所の運営状況、安田診療所の再開状況、他の都道府県における特筆的な改革内容、就職イベント開催による看護師の確保状況、院内保育所の設置状況、病院附属看護師専門学校等看護師養成に関する見解、企業債残高の削減及び公立病院特例債等長期債務の解消につ

いての見解、病院長の権限強化に関する見解、固定資産の購入に関する可否判断、病院事業の経営責任を引き受けた経緯及び現在の心境、平成21年度の当初計画と今回の決算、医業収益と未収金の比較に関する見解、未収金の総額、一般会計からの繰り入れの3年間継続に関する見解、経営再建に対する評価、県の職員の意識改革の方法、経営効率化アドバイザー会議導入の成果、診療報酬の外部委託による回収率向上の成果、県立八重山病院の内科医師不足に関する見解、国への職員定数問題の訴えに関する見解、経営計画が始まって以来3年間の看護師の採用人数、県立八重山病院における助産師外来の状況、7対1看護体制の実施によるしわ寄せの有無、夜間等の救急医療の状況、宮古休日・夜間救急診療所の内容、県立八重山病院改築のめど、外来及び入院患者予定量を下回っているにもかかわらず改善できた理由、どこまで患者数を減らすことができるかの試算の可否、かかりつけ医師の取り組み状況、県立中部病院における7対1看護体制の確立状況、薬品費縮減プロジェクトチームの取り組み状況、地域医療を守るための話し合いの状況、施設や医療機器の管理の状況、発光ダイオード等を使用した施設の有無、県立北部病院の看護師宿舎の実態及び建てかえ計画の有無等について質疑が行われた。

(3)

◎平成22年10月20日(水曜日)

開 会 午前10時3分

散 会 午後2時38分

場 所 第7委員会室

議 題

- 1 平成22年第4回議会認定第22号 平成21年度沖縄県水道事業会計決算の認定について
- 2 平成22年第4回議会認定第23号 平成21年度沖縄県工業用水道事業会計決算の認定について

出 席

委 員 長 奥 平 一 夫 君

副 委 員 長 仲宗根 悟 君

委 員 島 袋 大 君

中 川 京 貴 君

桑 江 朝千夫 君

照 屋 守 之 君

辻 野 ヒロ子 さん

照屋大河君
渡嘉敷喜代子さん
西銘純恵さん
玉城ノブ子さん
上原章君
金城勉君
瑞慶覧功君
平良昭一君
上里直司君

欠席

吉元義彦君

説明員の職、氏名

| | |
|----------|-------|
| 企業局長 | 宮城嗣三君 |
| 総務企画課長 | 宮城一彦君 |
| 配水管理課長 | 米田善治君 |
| 建設計画課長 | 東恩納宏君 |
| 水質管理事務所長 | 赤嶺永正君 |

審査概要

開会后、企業局長への質疑に入り、奥間ダムの建設撤退、国の奥間ダム事業についての決定状況、ダム建設と水の需要計画及び実績、需給計画の変更、倉敷ダム周辺の産業廃棄物処分場集積に関する汚染調査及び水質調査の状況、集中豪雨時等の取水停止、供給単価及び給水原価の5年間の推移、供給単価と給水原価の差に関する見解、都道府県における供給単価の状況、預金残高の内容、工業用水に関する事業計画、見通し及び達成状況、工業用水を安く売っている理由、最初の計画では3万トンではないがそれに引き下げた理由、純利益になった主な要因、黒字の県民への還元についての見解、工業用水から水道用水への転用に関する見解、糸満市及び他市町村への水道水の供給経路、水の安全基準の点検状況、ろ過器の設置及び提供、米軍基地内に水道水を供給している井戸数等概要、嘉手納基地で燃料流出事故に関する米軍側への安全確認の有無、基地内への立入調査を申し入れることについての見解、水道水を直接飲むこと的安全性、事業費用が減少した理由、原価が減少する要因、年間総有収水量が増加した内容、職員1人当たりの営業収益が全国と比較して半分である背景、沖縄のダムの特殊性、運用益等の成果、有価証券の内容、第7次企業局経営健全化計画の4年間の目標及び実績、工業用水について供給原価が高い中であえて供給単価を安めた理由、供給単価

が給水原価を下回っている中で純利益が出ている背景、施設利用率や需要が低迷していることへの対策及び今後の見通し、工業用水への一般会計からの繰入額及び仕組み、工業用水と飲料水の違い、宜野湾市内の米海軍病院への水供給ルート、沖縄の水のおいしさについての見解、各地域ブレンドの同じ水を全県民に供給する可能性についての見解、本部町の水に関する見解、独自に市町村が運営できないことに関する見解、沖縄県水源基金の活用方法及び実績、海水淡水化施設の稼働状況及び離島での建設、料金改定に対する見解、料金改定により独自で運営している市町村への影響、企業局と各市町村との情報交換の有無、純利益を減債積立金に全額充当することについての見解、名護市西海岸地区の進捗状況及び供給予定企業、第8次沖縄県企業局経営計画の目標及び達成に向けた決意、長期貸付金の利息の計上方法、期をまたいで貸し付け状況、動力費の内容、遊休施設及び未利用地数、面積及び処分方法、現在の石川浄水場跡地の活用方法及び地元からの要望への対応、跡地利用としての施設や用途がふさわしいのか再検討する可能性に関する見解、繰り上げ償還による負担軽減額、平成22年度以降の償還額、積み立ての目的、億首ダムが完成した場合の維持負担金額、事業執行と経営全般についての評価、平成21年度の決算を踏まえた課題、老朽管の布設工事の概要、企業局と病院事業局の統合に関する見解、工業用水において給水単価等契約する場合の上限、企業との契約水量の設定状況、契約水量を上回ったケースの有無、未処理欠損額の発生理由、企業の倒産による欠損金の有無、人件費の削減における県職員削減の占める割合及び人数、今後の人件費削減の数値目標、職員定数についての削減の仕方、浄水管理業務の民間委託化の内容、平成21年度の経費節減効果及び不用額の内容、全国より自己資本構成比率が高い理由、全浄水場の浄水発生士の売却、浄水場で浄化された水の市町村への流れの状況等について質疑が行われた。

(4)

◎平成22年10月21日(木曜日)

| | |
|----|---------|
| 開会 | 午前10時4分 |
| 散会 | 午後6時18分 |
| 場所 | 第7委員会室 |

議 題

- 1 平成22年第4回議会認定第1号 平成21年度
沖縄県一般会計決算の認定について
- 2 平成22年第4回議会認定第8号 平成21年度
沖縄県所有者不明土地管理特別会計決算の認定
について

出 席

| | |
|---------|-------------|
| 委 員 長 | 奥 平 一 夫 君 |
| 副 委 員 長 | 仲宗根 悟 君 |
| 委 員 | 島 袋 大 君 |
| | 中 川 京 貴 君 |
| | 桑 江 朝 千 夫 君 |
| | 吉 元 義 彦 君 |
| | 照 屋 守 之 君 |
| | 辻 野 ヒロ子 さん |
| | 照 屋 大 河 君 |
| | 渡嘉敷 喜代子 さん |
| | 西 銘 純 恵 さん |
| | 玉 城 ノブ子 さん |
| | 上 原 章 君 |
| | 金 城 勉 君 |
| | 瑞慶覧 功 君 |
| | 平 良 昭 一 君 |
| | 上 里 直 司 君 |

説明員の職、氏名

| | |
|--------------------|-----------|
| 知 事 公 室 長 | 又 吉 進 君 |
| 基地対策課長 | 親 川 達 男 君 |
| 返還問題対策課長 | 町 田 優 君 |
| 総 務 部 長 | 兼 島 規 君 |
| 人 事 課 長 | 島 田 勉 君 |
| 行政改革推進課長 | 池 田 克 紀 君 |
| 財 政 課 長 | 平 敷 昭 人 君 |
| 税 務 課 長 | 西 平 寛 俊 君 |
| 管 財 課 長 | 上 原 徹 君 |
| 企 画 部 長 | 川 上 好 久 君 |
| 企画調整課副参事 | 具志堅 清 明 君 |
| 交通政策課長 | 下 地 明 和 君 |
| 土地対策課長 | 下 地 喬 君 |
| 科学技術振興課長 | 田 中 建 治 君 |
| 畜産研究センター 所 長 | 上 地 俊 秀 君 |
| 農業研究センター 総務企画統括 | 國 吉 清 君 |

| | |
|-----------|------------|
| 情報政策課長 | 武 村 勲 君 |
| 地域・離島課長 | 川 本 栄太郎 君 |
| 市町村課長 | 當 銘 健 一 君 |
| 会 計 管 理 者 | 米 蔵 博 美 さん |
| 人事委員会事務局長 | 岩 井 健 一 君 |
| 監査委員事務局長 | 名渡山 司 君 |
| 議会事務局長 | 龍 野 博 基 君 |

審査概要

平成22年第4回議会認定第1号、同認定第8号
について知事公室長、総務部長、企画部長、会計
管理者、人事委員会事務局長、監査委員事務局長
及び議会事務局長からそれぞれ決算概要の説明を
聴取した後、質疑に入り、普天間飛行場移設要請
に関する政府の反応、日米合意を政府が固定化を
理由に見直さない場合の県の対応、県の埋立許可
拒否に関する姿勢及びこれについて知事が直接菅
首相に申し上げる必要性に関する見解、嘉手納飛
行場の滑走路改修工事に伴う騒音被害の認識、訓
練を沖縄県以外で検討することについての見解、
日米安全保障条約の片務性についての認識、日米
地位協定の見直しについての問題提起の仕方を変
えていく必要性に関する見解、旧軍飛行場用地問
題についての進捗状況、読谷村の事業に関する黙
認耕作者団体の問題提起の現状及び今後の影響、
米軍人・軍属家族の基地外居住問題に関するその
後の経過、ホテル・ホテル訓練区域の使用制限の
一部解除及び与那国島上空の防空識別圏修正につ
いて進捗状況、消防広域化推進事業に関する国か
らのペナルティーの有無、探査に関する新たな別
枠事業の申し入れ、軍用地主との契約問題に関す
る県の取り組み及びかかわり方、10年契約にす
ることを国へ求めることに関する見解、米軍再編
による在沖米軍基地における自衛隊との共同訓練
の状況及び関係自治体への連絡の有無、米軍再編
に係る日米合意に対する評価、沖縄県不発弾等対策
安全基金条例の進捗状況、探査に関する新たな別
枠事業の申し入れ、米軍再編に係る日米合意に対
する評価、普天間飛行場の移設問題への取り組み、
鳩山政権での取り組み状況、今の名護市辺野古移
設に舞い戻ってきたことに関する見解、名護市辺
野古に向けた事務的な手続の状況、名護市辺野古
の埋め立て許認可についての見解、普天間飛行場
の返還の歴史的経緯に関する見解、相互に信頼関

係の保てるような交渉についての見解、軍用地料の算定基準についての見解、軍用地料の税金負担についての認識、知事が今任期中に尖閣諸島に上陸し調査をすることの要望に関する見解、普天間移設の問題に関する知事公約の確認、公約実現の取り組み及び評価、基地の被害、危険性の除去、3年めどの閉鎖状態等実現に向けた工夫の有無、旧軍飛行場用地の問題の内容及び読谷村に関する国との調整状況、県外の軍用地主の多いことに対する手だてに関する見解、沖縄防衛局から出されている「はいさい」に関する所見、緊急時に普天間飛行場を使うというダイバートに関する見解、ダイバート訓練が行われた時点の認識、ダイバートのための訓練範囲の認識、嘉手納飛行場の運用の改善及び普天間飛行場に関する今後の対応、普天間基地での通常の訓練の内容、那覇港湾施設移設に関する協議会の内容及び環境アセスメントの予定、新しい軍港をつくることをストップすることについての見解、2009年3月4日の金武町の事件の状況及び補償問題、不発弾対策中期プログラムにおける計画の方法及び具体的な対策、公共事業の市町村負担の改善要求についての見解、宮古島市平良港湾の未使用弾発見に関する海中調査及び漁民への対応、不発弾に関する国が責任を持った探査処理及び補償に関する見解、豊見城市饒波川河川敷の不発弾への対策、億首川問題に関する基地への立ち入り調査についての見解、嘉手納基地の燃料輸送タンクからジェット燃料が流出した問題についての実質調査に関する見解、基地立入拒否の内容、名護市辺野古の埋め立てに関する特別採捕の許可の撤回に関する見解、平成21年度の決算で自主財源が約2%近く減って、原因、県税の徴収対策、県税徴収のための専門職の配置状況、新税導入の取り組み、自動販売機の設置料の見直し、平成26年度以降の財政的の見通し、国と地方を通じた構造的な問題の改革の具体的な内容、臨時財政対策債で地方交付税措置がされない理由、沖縄総合事務局の統廃合に関する今後の見通し、平成22年度の県たばこ税の収入予測額と平成21年度との比較、ゴルフ場利用税減の理由、ゴルフ場のコースごとの税額、自動車税の収入済額の台数分相当数及び県内の車両総数、米軍人・軍属家族の所有台数及び基地外居住者の自動車税の状況、平成20年4月からの特例条例による減額措置の結

果、現在の基金取り崩し状況、ふるさと納税の沖縄県の実績、類似県の状況及び県の広報に関する見解、地方交付税の算定基準についての見解、たばこ特別税制度の趣旨及び県民の納入金額、モノレールへのたばこ特別税からの補てんに関する見解、エネルギーの使用の合理化に関する法律改正の主なポイント、規制対象、取り組み状況及び相談窓口の有無、民間銀行からの県債借り入れ状況、県の未利用地運用方針に関する見解、政権交代に関する感想及び事業への影響の有無、公約効果に関する見解、沖縄県行財政改革プランの中身及び民間への委託推進状況、税の徴収等の民間委託の状況、公社等への支援及び人的派遣の見直し状況、未利用財産の解消に向けた取り組み、財産管理費用、自主財源の乏しい本県における健全経営に関する見解、思い切った政策及びそのカバーの必要性に関する見解、沖縄県を基地都道府県として認定させること及び国への要請に関する見解、新築住宅に対する固定資産税の減額特例の状況、固定資産税の無料化及び建設ラッシュに関する見解、米軍発注工事のボンド制度に関する見解、沖縄県のすべての基金額、県内業者を育成する仕掛け、平成18年度から平成21年度までの4年間の沖縄県の行財政改革プランの総括、平成22年3月に策定された新沖縄県行財政改革プランとこれまでのプランとの違いや推進、かりゆし行政サービス運動の内容、一職場一改善運動の効果、じんぶんプロポーザル運動の全庁的な取り組み、「新聞と私」へのコメントに関する見解、行財政改革の目的、非正規職員の採用状況、人間ドッグの実施状況、予算編成に当たっての手順及び優先順位、30人学級の進め方、地方交付金の内容、沖縄県行財政改革プランの中で人件費削減の割合、那覇空港拡張についての進捗状況、拡張工事に伴う地元企業の入札等参加に関する見解及び県が正式要請する必要性に関する見解、駐留軍用地跡地利用に関する新たな法制度、法整備の進捗状況、返還跡地の責任の所在及び予算的な面に関する国の反応、沖縄科学技術大学院大学事業の進捗状況、沖縄アミークスインターナショナルの進捗状況、県内子弟及び海外子弟の応募の現状、地上デジタルテレビ放送事業の不用額の中身、平成21年度の実績及び平成22年度の目標数値及び現状、沖縄県産業振興重点研究推進事業の進捗状況、殺菌水の煙霧散布による

豚生産効率向上の進捗状況、市町村合併支援事業の成果及び支援事業、沖縄アミークスインターナショナル予算の附帯決議を守った遂行状況、全日本空輸株式会社—ANAの国際物流ハブ空港による経済的効果、平成21年度の船舶物流対策の内容、平成21年度的那覇市と先島の航空路線の県単補助実績及び予算計上の状況、離島路線に関する要望の有無、航空路線復活に関する見解、名護東部線の廃止の状況、バス補助のあり方及び国の補助と県の補助の違い、バス廃止路線対策、島しょ型ゼロエミッションエネルギーシステム構築事業におけるヤトロファ問題の中身、基金条例改正等による雇用対策等問題解決への決意、沖縄体験滞在交流促進事業の市町村における効果、自然・伝統文化を活かした交流促進事業の内容及び進捗状況、離島地域広域連携推進モデル事業の進捗状況、沖縄科学技術大学院大学に関する可能性を話し合う国際シンポジウムについての見解、今後開学した場合の県と大学との関係、国土調査法に基づく地籍調査に関する市町村との調整及びかかわりの有無、8市町村の地籍調査未実施の理由、返還軍用地の事業導入及び新しい法整備の状況、新しい法整備と文化財の発掘調査の関係、軍用地主数のうち県外の占める割合、計画調査費に係る不用額の内容、政策優先度の内容、沖縄振興計画における県民所得向上計画の内容及び達成状況、資金の運用及び預託方法、議会改革の状況、警視庁・千葉県警察官採用共同試験に係る分担金の中身、高校卒業で初級職の採用人数及び時給の状況等について質疑が行われた。

(5)

◎平成22年10月22日(金曜日)

開会 午前10時3分
散会 午後6時23分
場所 第7委員会室
議題

- 1 平成22年第4回議会認定第1号 平成21年度沖縄県一般会計決算の認定について
- 2 平成22年第4回議会認定第6号 平成21年度沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計決算の認定について

出席

委員長 奥平一夫君

副委員長 仲宗根 悟 君
委員 島 袋 大 君
中川京貴君
桑江朝千夫君
吉元義彦君
照屋守之君
辻野ヒロ子さん
照屋大河君
渡嘉敷喜代子さん
西銘純恵さん
玉城ノブ子さん
上原章君
金城勉君
瑞慶覧功君
平良昭一君
上里直司君

説明員の職、氏名

文化環境部長 下地 寛 君
文化振興課長 新垣 盛 勝 君
県民生活課長 具志堅 全 助 君
環境保全課長 西 浜 完 治 君
環境整備課長 下地 岳 芳 君
自然保護課長 久 田 友 弘 君
福祉保健部長 奥 村 啓 子 さん
福祉保健企画課長 金城 武 君
福祉・援護課長 垣 花 芳 枝 さん
高齢者福祉介護課長 宮 城 洋 子 さん
青少年・児童家庭課長 田 端 一 雄 君
障害保健福祉課長 金城 弘 昌 君
医務課長 平 順 寧 君
医務課副参事 山城 秀 史 君
国保・健康増進課長 上 原 真理子 さん
薬務衛生課長 国 吉 広 典 君

審査概要

平成22年第4回議会認定第1号、同認定第6号について文化環境部長、福祉保健部長からそれぞれ決算概要の説明を聴取した後、質疑に入り、米軍嘉手納基地燃料流出問題の流出原因、現場での土壌採取と写真撮影の拒否、地元自治体が直接調査を申し入れ調査された事例の有無、沖縄平和賞

支援募金の集め方、戦没者追加刻銘の中での県人、県外、国外、国別の刻銘人数、県、市町村等による海岸漂着物対策推進協議会の進捗状況、沖縄県文化協会の設立目的、活動内容及び県の負担金の推移、改正エネルギーの使用の合理化に関する法律の県内対象企業、マングース対策事業の目的及び弊害状況、ヤンバルクイナ飼育・繁殖を目的とした施設の状況、伊是名、伊平屋地区の国立公園の編入に関する見解、産業廃棄物最終処分場3地区の進捗状況、生物多様性条約第10回締約国会議—COP10に関する沖縄県としての役割、サンゴ礁の状態、サンゴ礁生態系の保全・回復に関する見解、オニヒトデ発生個体数及び駆除の即効的事業の内容、オニヒトデ事業を緊急雇用対策にも広げることへの見解、沖縄地域のサンゴ礁保全に努めている団体の把握、サンゴ礁の分布状況と生育状況の調査結果及び夜間駆除予算、駆除後の処理方法、八重山周辺海域でサンゴ礁の保全対策、石垣島での赤土堆積定点観測調査結果、赤土等に係る環境保全目標の設定状況、八重山周辺海域の赤土流出によるサンゴ礁への影響、八重山での漂着ごみの撤去・処理作業の進捗状況、地域グリーンニューディール基金の予算内容、沖縄県飲酒運転根絶条例第3条の「県の責務」及び第16条の「飲酒運転の根絶に関する施策の取組状況」、飲酒運転死亡事故及び人身事故等に関する見解、本県の脱ワーストワンができない状況に関する見解、県警察や教育委員会との連携の状況、方言検定事業、しまくとぅば、方言を残そうという地域の応援、ちゅらさん運動行動啓発事業の成果、公共管理型産業廃棄物処理施設の先進地事例視察研修の予定、県内業者の産業廃棄物の処理方法、沖縄市倉敷地域に集中されている現状及び住民の環境、沖縄市議会での産廃施設制限条例否決に関する見解、新炉の建設に関する見解、沖縄国際アジア音楽祭についての結果、評価、感想、産業廃棄物の最終処分場の計画内容及び地元からの反対の予測、3カ所から絞り込めない場合及び民間がやらない場合の県の対応、3カ所以外でも検討する余地の有無、不法投棄処理の予算が使われた市町村名、赤土が出た場合や赤土により土砂がたまった場合の対策、比謝川の管轄、読谷村産業廃棄物処理場跡のガス発生処分場跡の検査実施、マングース数及び捕獲機の型、沖縄県生活環境保全条例に関する米軍と

の調整の有無及び基地内調査、入れなかった理由及び内容、消費者行政活性化事業の実績と効果、平和発信事業の中の現場訪問の有無、雇用・失業率の改善の実施、国立・国定公園の指定を受けるための県の対策、世界遺産登録を目指す場合の課題、ヤンバルの森や辺野古の海、泡瀬干潟等沖縄県の自然を守るための今後の課題と対策、生物多様性地域戦略の策定、沖縄県の大浦川、辺野古、泡瀬干潟、大嶺海岸等の埋め立てに関する見解、辺野古の環境アセスメントにおけるオスプレイ配備の想定の有無、環境アセスメントの手続きのやり直し、方法書からやる必要性、基地立ち入り及び開示の申し入れ、改正貸金業法の今後の影響予測、多重債務に係る相談窓口の充実に関する協議の必要性、認可外保育施設の認可化促進3カ所の所在地、運営費助成額、認可外保育施設の指導監督基準の内容、保育所入所待機児童解消対策事業及び安心こども基金事業の成果と課題、エイズの感染者数と患者数、新型インフルエンザのタミフルとリレンザの効用、使い分け、購入額及び県内使用状況、昨年の患者数、死亡人数、ことしの患者予想人数、自殺者の原因及び動機、健康、経済等の原因の全国と比べた割合及び対策、自殺未遂の場合その後のケアの状況、専門的な臨床心理士の派遣の可能性、民泊事業に関する旅館業法の届け出の義務化についての見解、ドクターヘリ事業の2機目の必要性、導入に関する見解及び他県の状況、離島の水事情、浦添看護学校の条例の廃止に伴い経済的困窮者に対する修学資金の準備状況、修学資金貸与制度の僻地の診療所等への政策的誘導の検討可否、沖縄県国際交流・人材育成財団の修学資金、奨学資金の対象、自殺対策の効果、生涯学習等と連動した自殺対策、新生児集中治療室退院後の支援体制の医療的ケア、周産期医療体制整備計画の策定、低出生体重児の割合及び啓蒙方法、MESHサポートの重複率及び出勤回数、緊急経済対策の中の福祉保健部事業予算及び今後の決意、福祉保健行政に関する民主党政権と自由民主党政権の対比、民主党の幹事長室で一元化するという仕組みに関する見解、政府の待機児童解消プロジェクトの内容、病院事業会計の繰出金額及び期間、病院再建の取り組み状況に関する見解、待機児童の解消に関する見解、沖縄県の新たな振興計画の中の認可外保育施設の認識、指導監督基

準を満たす旨の証明書の交付件数が23施設増加した中身、大きな私立保育園で認可外に認められていない保育園の有無、待機児童基金の期間及び余った場合の対応、認可外保育園を認可保育園に上げた場合の指導方針の状況、夜間保育事業1市町村の状況、24時間保育の現状把握、夜間保育事業の意見交換の有無、認可外保育施設予算の対象施設、繰り越しの内容、発達障害支援センターの運営状況及び市町村との連携状況、民生児童委員数と取り組み、民泊のガイドライン提示、沖縄県立浦添看護学校の民間移譲に関する今後の手続上の問題点及びタイムリミット、県議会決議の重みに関する見解、看護学校に行っている人たちの生活困窮者の割合、沖縄県立浦添看護学校の運営と行財政改革の関係、沖縄県立浦添看護学校が民営化された場合の生徒の負担、沖縄県立浦添看護学校における競争率、県立病院に看護師を定着させるための公立看護学校の必要性、消費者行政活性化事業に関する市町村との連携、自殺予防事業の予算執行、福祉・介護人材確保対策事業の実績、効果及び平成22年度進捗状況、県民の生活状況に関する見解、待機児童ゼロ特命チームの初会合の内容、被保険者証が未到達となっている18歳以下の子供の人数及びすべてに保険証を交付している市町村名、子供たちに保険証が届いていないことの違法性に関する見解、子供たちの貧困の実態を掌握し適切な対応をすることについての見解、国保税の減免条例、要綱を制定している市町村数、全市町村で減額、免除の要綱策定の指導方法、市町村が対応費を持っていない場合の県負担に関する見解、子宮頸がんワクチンの無料接種に県が半額負担する場合に必要な財政負担額及び県助成の必要性、民生費負担金の収入未済額、児童福祉施設の入所負担額、市町村民税非課税世帯の負担金支出の有無、負担金に不納欠損がない理由、母子寡婦福祉貸付金元利収入の収入未済、遅延利息、貸し付けの利率、ひとり親家庭数及び生活の実態、ひとり親世帯の医療費の助成状況、母子、父子、寡婦世帯の医療の終身無料化の確認、保育所定員の上限撤廃の実態、保育所、待機児童解消の計画、沖縄県立浦添看護学校の民間移譲に関する移譲先との県の選定までの経緯、協定書の内容及び日付、民間移譲協定を議会に諮る必要性、協定書の中の停止条件つき規定の有無、議会の議決が得られな

い場合の譲渡できないという項目の有無、譲渡する財産及び金額、沖縄県立浦添看護学校に関する起債、補助等総計金額、土地及び工作物の評価額、ひとり暮らしの方々を地域で見守る取り組み、県内に必要な民生委員数と足りない数、その処遇改善、ドクターヘリ事業の実績等について質疑が行われた。

(6)

◎平成22年10月25日(月曜日)

開 会 午前10時4分

散 会 午後6時14分

場 所 第7委員会室

議 題

- 1 平成22年第4回議会認定第1号 平成21年度
沖縄県一般会計決算の認定について
- 2 平成22年第4回議会認定第2号 平成21年度
沖縄県農業改良資金特別会計決算の認定について
- 3 平成22年第4回議会認定第3号 平成21年度
沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計決算の認定について
- 4 平成22年第4回議会認定第4号 平成21年度
沖縄県中小企業振興資金特別会計決算の認定について
- 5 平成22年第4回議会認定第9号 平成21年度
沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計決算の認定について
- 6 平成22年第4回議会認定第10号 平成21年度
沖縄県中央卸売市場事業特別会計決算の認定について
- 7 平成22年第4回議会認定第11号 平成21年度
沖縄県林業改善資金特別会計決算の認定について
- 8 平成22年第4回議会認定第12号 平成21年度
沖縄県中城湾港(新港地区)臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について
- 9 平成22年第4回議会認定第14号 平成21年度
沖縄県自由貿易地域特別会計決算の認定について
- 10 平成22年第4回議会認定第15号 平成21年度
沖縄県産業振興基金特別会計決算の認定について

出 席

| | |
|------|------------|
| 副委員長 | 仲宗根 悟 君 |
| 委員 | 島 袋 大 君 |
| | 中 川 京 貴 君 |
| | 桑 江 朝千夫 君 |
| | 吉 元 義 彦 君 |
| | 照 屋 守 之 君 |
| | 辻 野 ヒロ子 さん |
| | 照 屋 大 河 君 |
| | 渡嘉敷 喜代子 さん |
| | 西 銘 純 恵 さん |
| | 玉 城 ノブ子 さん |
| | 上 原 章 君 |
| | 金 城 勉 君 |
| | 瑞慶覧 功 君 |
| | 平 良 昭 一 君 |
| | 上 里 直 司 君 |

欠 席

奥 平 一 夫 君

説明員の職、氏名

| | |
|-----------|------------|
| 農林水産部長 | 比 嘉 俊 昭 君 |
| 流通政策課長 | 桃 原 幹 雄 君 |
| 農政経済課長 | 兼 村 憲 勝 君 |
| 営農支援課長 | 與那嶺 宏 明 君 |
| 園芸振興課長 | 中 村 俊 信 君 |
| 糖業農産課長 | 島 尻 勝 広 君 |
| 畜産課長 | 赤 嶺 幸 信 君 |
| 村づくり計画課長 | 玉 城 肇 君 |
| 農地水利課長 | 前 田 幹 男 君 |
| 農村整備課長 | 大 城 健 君 |
| 森林緑地課長 | 謝名堂 聡 君 |
| 水産課長 | 勝 俣 亜 生 君 |
| 観光商工部長 | 勝 目 和 夫 君 |
| 産業政策課長 | 安 里 肇 君 |
| 新産業振興課長 | 大 城 玲 子 さん |
| 経営金融課長 | 金 良 実 君 |
| 企業立地推進課長 | 屋比久 盛 敏 君 |
| 情報産業振興課長 | 米 須 清 光 君 |
| 雇用労政課長 | 湧 川 盛 順 君 |
| 観光企画課長 | 下 地 芳 郎 君 |
| 観光振興課長 | 嵩 原 安 伸 君 |
| 交流推進課長 | 瀬 川 義 朗 君 |
| 労働委員会事務局長 | 平 良 宗 秀 君 |

審査概要

平成22年第4回議会認定第1号から同認定第4号まで、同認定第9号から同認定第12号まで、同認定第14号及び同認定第15号について農林水産部長、観光商工部長及び労働委員会事務局長からそれぞれ決算概要の説明を聴取した後、質疑に入り、ふるさと雇用再生特別事業、緊急雇用創出事業、重点分野雇用創造事業、地域人材育成事業の4基金事業の執行状況、執行率、県内市町村の状況及び事業体制とその対策、当該事業終了後の展望と対応策、継続雇用が見込まれる分野及び予算額、指定ビーチへの監視員配置体制及び専門性の有無、エネルギーの使用の合理化に関する法律—省エネ法の改正に伴う県内対象企業数及び県内内窓口及び罰則等の有無、取り組み状況、民泊に関する旅館業法の届け出制度に関する見解、パスポートの市町村窓口での発行状況、新規高等学校卒業者の就職に対する対応策、沖縄県エネルギービジョンの実現に向けた取り組み状況、液化天然ガスの産業用転換の可否、ボイラー等の熱利用設備の天然ガスや燃料電池への転換計画における沖縄電力株式会社吉の浦火力発電所の液化天然ガスの使用の可否、海外事務所の実績及び現地情報の活用、長期滞在型観光及び海外誘客の成果、県内の修学旅行誘客の取り組み状況、各県の教育委員会の修学旅行規定に関する見解、小学校の修学旅行先、県内の交流観光施策に関する見解、奄美との交流の取り組み、文化資源活用型観光戦略モデル構築事業のモデル事業の内容、観光費予算の少ない理由及び不用額の内容、チャーター便誘致促進の事業内容、クルーズ船誘致促進の事業内容、国内、国外の入域観光客数の推移と今後の見通し、修学旅行の離島メニューの開発内容、沖縄離島修学旅行研修会の内容、尖閣諸島の県知事の上陸に関する見解、一般会計歳出決算の繰り越し状況、IT津梁パークの立地企業の状況及び今後の予定、うるま市企業立地雇用推進課との連携状況、金型産業誘致のための建物の状況及び雇用等計画の内容、駐留軍等労働者の働く場の確保に関する内容とそれに対する県の動き及び政府の反応、緊急雇用対策関係事業の執行額、雇用人数、正規雇用量及び県の持ち出しの有無、最終の国予算額、中小企業振興費及び工鉦業振興費の不用額、小規模企業者等設備導入資金貸付金元利金の収入、収入未済額、事業者数、従業者数及び不況による倒産業者数、

カジノ調査が合法である根拠、沖縄観光の満足度、カジノ依存症に関する見解、沖縄県のパチンコ業界の状況、カジノ導入による沖縄県民への影響、カジノの収益が少ないことに関する見解、カジノと政権交代に関する見解、中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事業特別会計の財産収入の内容及び当初の計画に対する分譲売却面積、特別自由貿易地域の設置目的、対象業種及び認定を受けている企業数及び認定要件、20名以上雇用している会社数、当初の進出予定企業数、平成21年度の目標数、及び達成率、企業に売れない分を沖縄県の一般財源から支出して買い取っている現状に関する見解、カジノエンターテインメント検討事業の違法性に関する見解及び予算状況、カジノの事業実効性及び規模、成功例及び失敗例、カジノ導入に関する稲嶺知事時代と仲井眞知事時代との認識の違い、カジノ導入による観光客の質低下、仲井眞知事選挙公約の観光客誘致年間1000万人目標の確認、沖縄観光を取り巻く環境変化による業界全体の疲弊に関する見解、平成21年度の観光収入額、観光客1人当たりの県内消費額、安定的な観光産業への転換、健康産業、いやし、医療ツーリズムに関する見解、医療ツーリズム促進事業の取り組み状況、経営革新等支援事業の実績、取り組み及び効果、浦添職業能力開発校・具志川職業能力開発校の今後の運営方針、県単融資事業に関する取り組み及び周知状況、沖縄県信用保証協会の保証額に関する銀行窓口での却下件数、銀行と県の融資の違い及びメリット、新卒者の就職支援体制、新卒者の中の専門学校学生の有無、核世代再チャレンジ雇用支援事業の正規雇用者数、トライアル雇用奨励金等の拡充予定、海外留学生受入事業の今後の状況、過去2度沖縄で開催された太平洋・島サミットの成果及び次回開催予定、県民との交流の場の検討、雇用戦略プログラム推進事業の内容と成果、沖縄企業人材活性化事業と雇用促進とのかかわり及び決算額の内容、就職困難者総合支援事業の内容と実績、ニート及びひきこもり等の実態調査、最低賃金が生活保護基準を下回る沖縄県の47都道府県中の位置、沖縄県の最低賃金629円の全国における位置、県の地方最低賃金審議会における審議の内容、観光商工部長の沖縄県行財政改革推進本部への参加の有無、松くい虫対策事業における樹幹注入剤の使用状況及び対応策、土

壌改良資材による保全方法の検討、「木育」・「食育」学習会の感想と課題、県産材を使用した子供のおもちゃの取り組み状況、赤土等流出対策支援システム確立モデル事業の対象市町村、燃油高騰に伴う経済対策事業の内容と効果、JAおきなわへの土壌分析の委託状況、口蹄疫による損失等影響調査の状況、競り再開後の競り値の回復状況、常時防疫体制の実施、東村総合農産加工施設の取扱実績、琉球島和牛に関する見解、さとうきび生産総合対策事業の対象地域及び共同利用機械の割り振り状況及び離島等への配慮、事業効果、共同利用組織育成支援における調査指導員設置内容、さとうきび生産農家の経営安定対策要件該当状況、さとうきびの安定的生産対策に関する見解、赤土等流出対策支援システム確立モデル事業の取り組み内容及び各部局との連携、八重山食肉センターの改築に関する進捗状況と見解、南部食肉センター事業の進捗状況及び予算確保、牛の解体における改善部分、さとうきび生産総合対策事業の内容及びリース事業の推進、比謝川の泥及び赤土対策、嘉手納漁港の県の責任における対応に関する見解、山羊サミット中止の理由及び口蹄疫との関係、アリモドキゾウムシとイモゾウムシの状況と対策及び予算、伊計島と宮城島のサツマイモ生産状況とその被害対策、県内の拠点産地の取り組みと認定の状況、農業農村基盤整備事業の沖縄県全体の整備状況、民主党政権にかわったことによるかんがい施設等具体的な影響及び取り組み、与勝地下ダムの利用状況と受益地の整備状況、受益地である具志川照間地区の状況、モデル圃場の活用状況、宮城島の一周道路の整備と今後の対策、就農相談支援の相談窓口における相談内容及び成果、就農につなげた実績及び就農者に対する財政的支援の内容及び研修支援、農業大学の卒業生の就農率、耕作放棄地発生の理由、面積の増減、耕作放棄地の農地回復率及び成果、中学校の授業の中での農地耕作体験学習の有無、沖縄県農林水産振興計画の施策の達成状況、農業振興費の繰り越し分不用の内容、特産振興費の不用額、含みつ糖問題に関する国との調整状況及び見通し、小浜島の黒糖工場に関する県の支援及び対応策、含みつ糖の適正表示の見通しとその実施時期、林道事業の中止に関する見解、県内の小・中学校、高等学校での県産木材を活用した机やいすの整備状況

及び産業の転換に関する見解、環太平洋戦略的経済連携協定—T P P—に関する具体的な取り組み、新規就農促進事業の具体的な取り組み及び応募状況、沖縄の農業振興の重点目標、沖縄農業の就業者の平均年齢、就農者の高齢化の改善見通し、モズクの消費拡大に関する予算額、取り組み状況及び成果、モズクの販売価格及び流通経路、モズクを安定した産業に育てることに関する見解、おきなわ熱帯果樹ブランド確立事業において選抜した果樹名、県内ホテルにおける県産食材利用状況調査結果及び効果、学校給食の年間材料費総額、県産食材の占める割合及び金額、地産地消推進強化事業の年度ごとの予算額及び推移、耕作放棄地対策事業の進捗状況及び対応、議員が農家や漁民のために頑張っていることについての見解、J Aおきなわ中央会、沖縄県漁業協同組合連合会と沖縄県の関係、県の補助金等を受けている団体の長が県知事選挙において一方に肩入れすることに関する見解等について質疑が行われた。

(7)

◎平成22年10月26日(火曜日)

開 会 午前10時4分
散 会 午後6時21分
場 所 第7委員会室
議 題

- 1 平成22年第4回議会認定第1号 平成21年度沖縄県一般会計決算の認定について
- 2 平成22年第4回議会認定第5号 平成21年度沖縄県下地島空港特別会計決算の認定について
- 3 平成22年第4回議会認定第7号 平成21年度沖縄県下水道事業特別会計決算の認定について
- 4 平成22年第4回議会認定第13号 平成21年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計決算の認定について
- 5 平成22年第4回議会認定第16号 平成21年度沖縄県中城湾港(新港地区)整備事業特別会計決算の認定について
- 6 平成22年第4回議会認定第17号 平成21年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計決算の認定について
- 7 平成22年第4回議会認定第18号 平成21年度沖縄県駐車場事業特別会計決算の認定について
- 8 平成22年第4回議会認定第19号 平成21年度

沖縄県公共用地先行取得事業特別会計決算の認定について

- 9 平成22年第4回議会認定第20号 平成21年度沖縄県中城湾港(泡瀬地区)臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 奥 平 一 夫 君 |
| 副 委 員 長 | 仲宗根 悟 君 |
| 委 員 | 島 袋 大 君 |
| | 中 川 京 貴 君 |
| | 桑 江 朝千夫 君 |
| | 吉 元 義 彦 君 |
| | 照 屋 守 之 君 |
| | 辻 野 ヒロ子 さん |
| | 渡嘉敷 喜代子 さん |
| | 西 銘 純 恵 さん |
| | 玉 城 ノブ子 さん |
| | 上 原 章 君 |
| | 金 城 勉 君 |
| | 瑞慶覧 功 君 |
| | 平 良 昭 一 君 |
| | 上 里 直 司 君 |

欠 席

照 屋 大 河 君

説明員の職、氏名

| | |
|-------------------|-----------|
| 土木建築部長 | 仲 田 文 昭 君 |
| 土木企画課長 | 喜 瀬 普一郎 君 |
| 土木企画課 事業管理監 | 普天間 信 栄 君 |
| 道路街路課長 | 金 城 淳 君 |
| 道路管理課長 | 儀 間 朝 範 君 |
| 河川課長 | 濱 元 盛 充 君 |
| 海岸防災課長 | 名嘉真 稔 君 |
| 港湾課長 | 神 田 豪 君 |
| 港湾課港湾開発監 | 徳 田 勲 君 |
| 港湾課副参事 | 下 里 和 彦 君 |
| 空港課長 | 伊 佐 実 春 君 |
| 都市計画・ モノレール課長 | 茂 上 圭 弘 君 |
| 都市計画・モノ レール課都市 | 末 吉 幸 満 君 |
| モノレール事業監 | |
| 住宅課長 | 渡久山 盛 清 君 |
| 住宅課住宅管理監 | 我如古 敏 雄 君 |

| | |
|------------|--------|
| 新石垣空港課長 | 神村美州君 |
| 警察本部長 | 黒木慶英君 |
| 警察本部警務部長 | 磯丈男君 |
| 警察本部生活安全部長 | 波平明君 |
| 警察本部刑事部長 | 内間康洋君 |
| 警察本部交通部長 | 北川秀行君 |
| 交通規制課長 | 渡真利健良君 |

審査概要

平成22年第4回議会認定第1号、同認定第5号、同認定第7号、同認定第13号、同認定第16号から同認定第20号までについて土木建築部長及び警察本部長からそれぞれ決算概要の説明を聴取した後、質疑に入り、中城湾港におけるタンカーからの油流出事故被害の状況、油流出に対応する船舶の所管、電線地中化の目標、電線共同溝整備事業の対象、離島における電線共同溝整備事業の進捗状況及び今後の対策、県道222号線交差点に関する協議の状況、首里城公園の平成21年度入園者数と減少した理由、首里杜館の利用人数及び情報展示室の利用状況、情報展示室の資料の古さ及び入園者数のカウントのとり方に関する見解、土木建築部における緊急経済対策の予算、事業の説明及び評価、公共事業予算の推移、県の建設業支援プロジェクトの内容、東部海浜開発事業の具体的な手順及び工事中断前の工事発注物件の継続性及び第1区域、第2区域のトータルな実施の確認、新石垣空港整備事業の工事の進捗状況、予算確保の状況、未処理用地取得の完了状況及び暫定供用の内容、白保竿根田原洞穴遺跡現地保存工事への影響の有無、新空港開港後も発掘が可能な状態で保存することに関する見解、新石垣空港ターミナルビルの進捗状況、C I Q施設の設置及び国際線ターミナル機能の内容、新石垣空港アクセス道路の進捗状況及び調査予算額及び完成予定、与那国町田原川の二級河川格上げの進捗状況、与那国町祖納港の静穏度改善事業の進捗状況、竹富町新城島の上地港防波堤整備の進捗状況、県営真喜良団地改築の現地視察に関する見解、安和与那川の早期整備の状況及び工事着手期間、国道449号名護市屋部地区の冠水原因の調査状況、沖縄県道72号名護運天港線における早急な用地買収及び道路整備の状況、喜知留川及び我部祖河川の早期整備の状況、屋部橋改修の早期着手及び迂回道路のとり方、平成21年度河川改良費、砂防費、港湾建設費、街路事業費の

不用額の理由、土木建築部の繰り越しの理由、河川改良費、港湾建設費の繰り越しの理由、平成21年度に発注予定の工事件数と実際に発注した件数、東部海浜開発事業において工事請負企業が中断により受けた影響の内容、東部海浜開発事業に関する県の方針、豊見城市真玉橋の県道11号線整備の進捗状況、平成26年度供用開始に向けた状況、工事発注の中の豊見城市内業者の割合及び地元発注に関する見解、東部海浜開発事業の第1区域についての支出金額及び第1区域、第2区域を今後進めるべきとの意見に関する県の考え方、伊平屋空港の進捗状況及び予算、県営住宅の稼働率及び増築計画の有無、家賃の未納問題で訴えを起こすまでの経緯、法的な措置をとるという姿勢を県が示した場合の効果、沖縄西海岸道路整備の進捗状況及び完成予定、基地内道路を使用できる方法及び気概の有無、空き店舗の再開発に関する見解、牧志・安里地区第一種市街地再開発事業の安里川再開発の状況、宜野湾市真栄原の再開発に関する宜野湾市との連携及び再開発に向けた決意の有無、那覇港港湾計画の総事業の目標年度、トランシップ貨物計画及び実績、平成21年度までに投入された総事業費、県、那覇市、浦添市の負担額、使用料など収入の計画と実績、歳出面で計画を超えた内容、港湾運営業者の撤退意向の状況、次点業者の内容、内港、国内、県内の港湾事業に切りかえる見直しをすべきとの意見に関する見解、中城湾港マリンタウン事業の買い取り条件のついた無償貸与の状況、対象用地22区画の土地売却の状況、造成土地の区画分譲の達成状況、中城湾港泡瀬地区公有水面埋立事業の需要予測及び経済的合理性に関する認識、県民にとって必要な埋め立てだと認識できないことに関する見解、億首川に係る不用額、内示減になった理由及び計画変更に至った経緯、億首川の改修についての経緯とその対策、米軍側との話し合いの状況及び改修についての申し入れの有無、豊見城市饒波川河川敷に埋没している不発弾の処理に関する豊見城市との話し合いの状況及び責任の所在、交付金事業の市町村負担の有無、不発弾処理対策への要求、2008年及び2009年の建設業の倒産件数及び金額、2010年3月の倒産件数の対前年同月比、中小建設業の転業を支援する拠点への対応策、住宅リフォームへの県独自の助成制度実施に関する見解、重油流出事故への

対処マニュアルの作成の有無、中城湾港泡瀬地区公有水面埋立事業の港湾計画の変更、公有水面埋立法の申請変更の内容及び今後のスケジュール、第2区域中止は新たな基地提供になるとの意見に関する見解、道路維持費の低い執行率及び翌年度繰越額の理由、しっかりとした予算執行についての姿勢の重要性、緊急経済対策に係る繰り越した平成22年度の事業執行の状況、国道、県道の雑草対策の状況及び早急な必要性、過去5年の県道の延べ距離数の推移、那覇空港の拡張工事に関する環境調査の地元業者への分離・分割発注に関する見解、正式な地元企業への入札参加の依頼、急速に砂浜や陸地が浸食された原因の検証の有無、護岸の親水性を高める最近の工法内容、地元企業受注向上のための総合評価方式等緩和、見直しの状況、沖縄防衛局発注の工事における入札ポンド制度の確認、最低制限価格を上げたことの効果、95%に上げる可能性及び見解、特Aクラスは各土木事務所単位にしてAクラス以下は市町村単位で行うことの可能性及び研究状況、下請業者の県内業者優先に関する見解、国道449号本部北道路の進捗状況、国道における中央分離帯設置義務の有無及び中央分離帯未設置の検討状況、沖縄都市モノレールの運営に関するたばこ特別税からの補てんの可能性及び交渉に関する見解、沖縄のみち自転車道整備事業の県の考え方及び指針、自転車事故の過去3年の発生及び取り組み状況、自転車事故をなくすためのモデル地区に関する見解、交通事故の多発している交差点の把握、事故を未然に防ぐための取り組み、安全なまちづくり総合対策事業に関する見解、飲酒運転根絶条例の実効性に関する見解、ストーカー事案、ドメスティック・バイオレンス事案、振り込め詐欺等各種相談の受理状況及びボランティア団体の名護署管内の実態、スクールサポーターの業務内容、配置箇所、報酬、身分及び増員、沖縄警察署の周辺地域の印象、沖縄警察署移転の進捗状況、沖縄警察署の跡地利用計画の内容、大型交番設置の要望に関する見解及び決定時期、沖縄県警察運転免許センター建築の進捗状況、工事発注内容及び地元優先発注の割合及び中身、新しい沖縄県警察運転免許センター内のレストランの有無、街頭防犯カメラの防犯対策上の有効性に関する見解、防犯カメラ設置場所、緊急配備支援システムの内容、国、県、民間の防犯

カメラをオンラインでつなぐことの可能性、信号機設置要請数及び実績、嘉手納地域からの信号機設置要請についての取り扱い状況、本県における交番設置の要望数、読谷村喜名地域への交番設置要請の進捗状況、国道、県道、その地域の事件、事故の発生件数、刑務所出所情報の警察への連絡状況、身近な犯罪防止の取り組み、防犯ボランティアの効果、運転者の運転マナー向上についての取り組み、宜野湾市真栄原の新町の浄化作戦についての取り組み及び状況の変化、ほかの地域で反対されればまた戻ってくるという可能性の認識、県外で再開発につなげた事例の有無、米軍関係の交通事故、事件の推移と起訴件数、2009年3月4日の金武町の建造物侵入事件の経緯、県警察が取り扱った現行犯逮捕後の取り調べ等に関する経緯、10日間ほど県警察に拘留されていた事実関係の内容、石川警察署の対応に関する見解、事件事故をなくし予防するための取り組みに関する見解、ちゅうらん運動、犯罪防止、被害者支援の実績、効果及び今後の課題、被害者支援の内容、飲酒運転に関しいまだにワースト記録を脱皮できない理由、飲酒計測器の販売場所、沖縄市ゲート通り駐車帯の駐車禁止区域変更の経緯、標識等が見えないことへの対応、道路の効果的な管理方法、警察安全相談の内容及び増減傾向、沖縄本島南部の女子中学生暴行事件の場所がふだんからのパトロール場所であるかの確認、高速道路無料化社会実験の課題及び見解、指定ビーチへの監視員配置に関する根拠及び確実な配置、財団法人沖縄マリレジャーセイフティービューローとのかかわりの有無及び役員派遣の有無、暴走族の再発防止の取り組み等について質疑が行われた。

(8)

◎平成22年10月27日(水曜日)

開 会 午前10時4分
散 会 午後7時10分
場 所 第7委員会室
議 題

- 1 平成22年第4回議会認定第1号 平成21年度 沖縄県一般会計決算の認定について
- 2 審査日程の変更について
- 3 平成22年第4回議会認定第2号 平成21年度 沖縄県農業改良資金特別会計決算の認定について

- て
- 4 平成22年第4回議会認定第3号 平成21年度
沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計決算の認定について
- 5 平成22年第4回議会認定第4号 平成21年度
沖縄県中小企業振興資金特別会計決算の認定について
- 6 平成22年第4回議会認定第5号 平成21年度
沖縄県下地島空港特別会計決算の認定について
- 7 平成22年第4回議会認定第6号 平成21年度
沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計決算の認定について
- 8 平成22年第4回議会認定第7号 平成21年度
沖縄県下水道事業特別会計決算の認定について
- 9 平成22年第4回議会認定第8号 平成21年度
沖縄県所有者不明土地管理特別会計決算の認定について
- 10 平成22年第4回議会認定第9号 平成21年度
沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計決算の認定について
- 11 平成22年第4回議会認定第10号 平成21年度
沖縄県中央卸売市場事業特別会計決算の認定について
- 12 平成22年第4回議会認定第11号 平成21年度
沖縄県林業改善資金特別会計決算の認定について
- 13 平成22年第4回議会認定第12号 平成21年度
沖縄県中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について
- 14 平成22年第4回議会認定第13号 平成21年度
沖縄県宜野湾港整備事業特別会計決算の認定について
- 15 平成22年第4回議会認定第14号 平成21年度
沖縄県自由貿易地域特別会計決算の認定について
- 16 平成22年第4回議会認定第15号 平成21年度
沖縄県産業振興基金特別会計決算の認定について
- 17 平成22年第4回議会認定第16号 平成21年度
沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計決算の認定について
- 18 平成22年第4回議会認定第17号 平成21年度
沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計決算の認定について

- 19 平成22年第4回議会認定第18号 平成21年度
沖縄県駐車場事業特別会計決算の認定について
- 20 平成22年第4回議会認定第19号 平成21年度
沖縄県公共用地先行取得事業特別会計決算の認定について
- 21 平成22年第4回議会認定第20号 平成21年度
沖縄県中城湾港（泡瀬地区）臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について
- 22 平成22年第4回議会認定第21号 平成21年度
沖縄県病院事業会計決算の認定について
- 23 平成22年第4回議会認定第22号 平成21年度
沖縄県水道事業会計決算の認定について
- 24 平成22年第4回議会認定第23号 平成21年度
沖縄県工業用水道事業会計決算の認定について

出席

| | |
|------|----------|
| 委員長 | 奥平一夫君 |
| 副委員長 | 仲宗根悟君 |
| 委員 | 島袋大君 |
| | 中川京貴君 |
| | 桑江朝千夫君 |
| | 吉元義彦君 |
| | 照屋守之君 |
| | 辻野ヒロ子さん |
| | 照屋大河君 |
| | 渡嘉敷喜代子さん |
| | 西銘純恵さん |
| | 玉城ノブ子さん |
| | 上原章君 |
| | 金城勉君 |
| | 瑞慶覧功君 |
| | 平良昭一君 |
| | 上里直司君 |

説明員の職、氏名

| | |
|--------------------|--------|
| 教育長 | 金武正八郎君 |
| 教育指導統括監 | 大城浩君 |
| 総務課長 | 前原昌直君 |
| 財務課長 | 安慶名均君 |
| 施設課長 | 石垣安重君 |
| 県立学校教育課長 | 諸見里明君 |
| 県立学校教育課 特別支援教育監 | 大城徹彦君 |
| 義務教育課長 | 上原敏彦君 |
| 保健体育課長 | 渡嘉敷通之君 |
| 生涯学習振興課長 | 親川實君 |

文化課長 大城 慧 君
全国高校総体
推進課長 大城 勇 君

審査概要

平成22年第4回議会認定第1号について教育長から決算概要の説明を聴取した後、質疑に入り、本県の不登校児童・生徒の現状、対策及び成果、子どもの生活リズム形成支援事業の継続に関する見解及び不用額の原因、留学支援事業で派遣された留學生の現状及び推移、高校生の国外留學生派遣事業の派遣者数、派遣終了後の追跡調査の状況及び不用額の理由、全国高校総体準備・開催事業の総括、県外からの訪問者数、経緯、経済効果及び本大会での県勢の活躍状況、方言検定事業に関する見解、放課後子ども教室推進事業の内容及び1教室1回当たりの参加者数、沖縄県教育庁本庁職員心の健康づくり計画の内容及び職場不適應の状況、休職職員数、教職員の悩み相談事業の内容、効果、モンスターペアレントの実例及び対策、教員免許の更新の状況、沖縄県の高等学校中途退学者平均生徒数、退学者を出さないための対策等、進級規定の見直しの内容、効果及び今後の展開、教育委員会の県庁の中での位置づけ、教育庁の教育委員会の中での位置づけ、教育委員の決算特別委員会への出席の状況及び欠席の理由、教育委員による議論及び教育長の議会での答弁状況の確認、教育委員を決算特別委員会に参加させることに関する見解、平成21年度の教育委員による視察の状況、生徒指導主事の法的な位置づけ及び職務内容、生徒指導主事が配置される学校の条件及び配置校数、市町村における生徒指導支援員の配置状況、生徒指導主事が手に負えない状況及び不登校児を学校に出席させる状況の把握の有無、市町村と連携した予算措置に関する見解、北谷町のいじめ事件に対する県教育委員会の取り組み、小・中学校PTAから生の声を聞く取り組みの有無、PTA関係者、父母から直接県教育委員会への訴え及び相談の有無、学校関係者がPTAを通さず個人から県に相談があった件数、市町村から予算要求があった場合の県教育委員会の対応、学校支援地域本部事業の不用額の理由及び国庫返還の有無、現場のPTAの相談等も聞いた上での取り組みの重要性に関する見解、本年度実施した教員候補者選考試験の応募者数、最終合格者数、一部試験免除

者及び最終合格者数、国の予算だけではなく県の予算を子供たちのために予算化することに関する見解、全国高等学校総合体育大会が体育指導者に与えた影響、学力向上の取り組み及び成果、全国と対比した沖縄県の学力の現状、学力向上に向けた教員の熱意、体制、実践の仕組みの必要性に関する見解、熱意のある教員が力を発揮できる環境づくりの必要性に関する見解、国旗・国歌の教育に関する見解、学力向上に関する予算額と決算額の内容、教師の指導力向上に重点を置いた取り組みの重要性に関する見解、海軍病院予定地内の発掘調査の内容、米軍基地内外の発掘調査の状況、生徒の飲酒絡みによる犯罪の防止対策及び各学校での取り組み状況、飲酒による補導状況及び学校現場での指導状況、夏場のエイサー等に対する地元の教育委員会から各青年会への指導の有無、小・中学校の授業やクラブ活動でのゴルフ教育の現状及び指導者の状況、ゴルフの国体競技で子供たちが団体でかかわる競技の内容、ゴルフ大会へのエントリーの仕方、高等学校の用地取得事業に関する財産購入の内容及び取得期間、県立高等学校の用地の内容、うるま市の大雨で増水した側溝に小学生が流されて死亡した事件に関する見解、全県的な生徒への安全指導等に関する見解、就学援助の実態及び見解、次の沖縄振興計画に向けた教育委員会としての検討状況、30人学級の現状、学校司書の進展状況、司書及び事務職の県単独自予算措置の状況、スクールカウンセラー等配置事業の教育的な効果、複数校配置の有無及び複数校配置の効果、教職員の悩み相談事業の内容、校長への悩み相談員委嘱状況、スクールカウンセラーへの診療心理士等専門家の充当に関する見解、進級規定の効力及び評価、進級規定の見直し及び今後の対応、県立高等学校、県内小・中学校の改築が必要な老朽校舎の学級数及び面積率、小・中学校、高等学校の老朽校舎整備の改善計画の見直しの必要性、県立高等学校、県内小・中学校のクーラー設置件数、設置率及び今後の計画の内容、県立高等学校での未整備状況及び整備計画、クーラーの維持管理予算の状況、国土交通省補助によるクーラーの維持管理に対する助成の必要性、県内高等学校で障害を持っている子供たちを受け入れている高等学校数及びヘルパー配置に関する見解、行財政改革プランで補助金が廃止または減額された

事業の内容及びそれに対する見解、直近の教師の病休者、精神疾患の人数及び推移、教師が通常の勤務日に時間外業務を行った割合及び休日に行った割合及び改善策、有給休暇の日数及び必要日での取得状況、県内の公立小・中学校の正式任用教員の割合及び正式任用者数、本務職員と臨時的任用職員の予算額及び手当等の違い、臨時的任用教職員が国庫の対象内であるかの確認、臨時的任用教職員の年代別の割合、臨時的任用教職員と教育の継続性に関する見解、1年間の臨時的任用職員数及びその他短期間採用臨時的任用職員数、1年間の臨時的任用職員の健康保険、共済及び医療保険の状況、臨時的任用職員を本務職員に採用することに関する見解、加配の問題に関する見解、学校からとらえる子供の貧困に関する見解及び実態把握、スクールソーシャルワーカー配置により見えてきた問題、児童生徒生活支援員及び立ち直り支援コーディネーターの身分、仕事及び限定した学校に配置した理由、スクールカウンセラーとの役割の違い及び整合性、小・中学校の不登校児童・生徒数、中一ギャップ対策事業の内容、身分、加配の有無及び11中学校に限定した理由、小学校6年生の不登校人数及び中学校1年生の不登校人数、中一ギャップ事業の今後の展開及び事業計画の作成状況、スクールカウンセラーの配置数に関する見解及び養成の状況、学校支援地域本部事業の今後の展開、地域コーディネーターの資格及び人数、クーラーに関する室内温度調査の検討状況、小・中学校への早急なクーラーの提供及び維持費の解決に関する見解、小・中・高等学校のマスターイングリッシュ推進事業、留学支援事業等語学教育の成果、語学力、英語力の国際比較、地域比較の資料の有無、小学校からの英語学習活動取り組み状況及び成果、ネットいじめ等いじめの実態及び最近の状況、学校の運動場の芝生化の取り組み状況及び成果、特別支援学校におけるさまざまな身体的障害を持つ子供たちへの医療的ケアの現状及び取り組み、医療的ケアの教育的な面からの意義、事例及び森川特別支援学校だけでの一部実施に関する見解、沖縄県教育委員会の点検・評価報告書の成果指標に高等学校中途退学率も加えることに関する見解、県立高等学校の進級規定緩和問題をPTAの重要な問題として議論していく必要性に関する見解、学校でのクーラー使用停止によ

り体調を崩す生徒の増加の状況、クーラーの稼働に関する学校の裁量権、医療的ケアを必要とする児童・生徒数の推移及びそれに対応するための看護師配置人数の確保、留学支援事業の選考方法、派遣人数の変更理由、国名、大学名及び貸付金の返済方法、高校生の1年間派遣に関する選考方法、国別人数、留学支援事業に対する事業仕分けでの評価、沖縄県・ハワイ州高校生交流事業の募集方法とその期間、沖縄県滞在中のスケジュールとハワイ州滞在中のスケジュール及び派遣費用の負担者、カナダカルガリーへの沖縄からの留学生派遣に関する見解、沖縄空手道古武道世界大会開催事業の県経済への波及効果及び次回開催予定、空手会館の建設計画及び検討委員会の有無、今年度の新規高校卒業者の就職状況及び対応策及び県外企業からの募集の状況、県外への就職率の状況、県内志向が高い理由、県内の就職内定率がおくれている原因、県立高等学校の再編に関する基本的な考え方、学区制撤廃による現状に対する見解、併設型、連携型の中高一貫教育の状況及びデメリットに対する対応策、中高一貫教育の試験方法の改善、与勝緑が丘中学校の予算、各市町村からの併設型中学校要望の状況、留学支援事業における自己負担分カバーシステムの構築、クーラー設置が沖縄の特殊事情であることのアピール、全国高等学校PTA連合会大会沖縄大会のその後の経過、赤字及び新たな父兄から徴収に関する見解、30人学級に関する仲井真知事の公約内容、小・中学校の給食費の滞納状況及び調査の有無、医療的ケアが必要な生徒について原則的に保護者の付き添いが必要な生徒数、推移、予算の状況及び十分な対応の可否、申請者の保護者が体調を崩した場合の学校の対応、校内の保護者待機場所の有無、昼食時間の付き添い状況、小学校の修学旅行が1泊2日である理由及び基準変更の可能性、宮古地域や八重山地域への修学旅行の教育的な意義に関する見解、平成21年度の童歌の保存・継承に関する取り組み、図書館の県民向け事業の内容、図書館100周年事業のアピール促進等について質疑が行われた。

次に、審査日程の変更について協議し、決定した。

議案の採決に先立ち、平成22年第4回議会認定第1号、同認定第12号、同認定第16号、同認定第17

号及び同認定第20号に対して、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、同認定第1号、同認定第12号、同認定第16号、同認定第17号及び同認定第20号を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、平成22年第4回議会認定第2号から同認定第11号まで、同認定第13号から同認定第15号まで、同認定第18号、同認定第19号及び同認定第21号から同認定第23号までの決算18件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

決算特別委員会決算処理一覧表

イ 処理(23件)

| 認定番号 | 決 算 名 | 議決の結果 |
|------------------|-------------------------------------|-------------|
| 平成22年第4回議会認定第1号 | 平成21年度沖縄県一般会計決算の認定について | 多 数 認 定 |
| 平成22年第4回議会認定第2号 | 平成21年度沖縄県農業改良資金特別会計決算の認定について | 全 会 一 致 認 定 |
| 平成22年第4回議会認定第3号 | 平成21年度沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計決算の認定について | 〃 |
| 平成22年第4回議会認定第4号 | 平成21年度沖縄県中小企業振興資金特別会計決算の認定について | 〃 |
| 平成22年第4回議会認定第5号 | 平成21年度沖縄県下地島空港特別会計決算の認定について | 〃 |
| 平成22年第4回議会認定第6号 | 平成21年度沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計決算の認定について | 〃 |
| 平成22年第4回議会認定第7号 | 平成21年度沖縄県下水道事業特別会計決算の認定について | 〃 |
| 平成22年第4回議会認定第8号 | 平成21年度沖縄県所有者不明土地管理特別会計決算の認定について | 〃 |
| 平成22年第4回議会認定第9号 | 平成21年度沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計決算の認定について | 〃 |
| 平成22年第4回議会認定第10号 | 平成21年度沖縄県中央卸売市場事業特別会計決算の認定について | 〃 |
| 平成22年第4回議会認定第11号 | 平成21年度沖縄県林業改善資金特別会計決算の認定について | 〃 |

| 認定番号 | 決 算 名 | 議 決 の 結 果 |
|------------------|---|-------------|
| 平成22年第4回議会認定第12号 | 平成21年度沖縄県中城湾港(新港地区)臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について | 多 数 認 定 |
| 平成22年第4回議会認定第13号 | 平成21年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計決算の認定について | 全 会 一 致 認 定 |
| 平成22年第4回議会認定第14号 | 平成21年度沖縄県自由貿易地域特別会計決算の認定について | 〃 |
| 平成22年第4回議会認定第15号 | 平成21年度沖縄県産業振興基金特別会計決算の認定について | 〃 |
| 平成22年第4回議会認定第16号 | 平成21年度沖縄県中城湾港(新港地区)整備事業特別会計決算の認定について | 多 数 認 定 |
| 平成22年第4回議会認定第17号 | 平成21年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計決算の認定について | 〃 |
| 平成22年第4回議会認定第18号 | 平成21年度沖縄県駐車場事業特別会計決算の認定について | 全 会 一 致 認 定 |
| 平成22年第4回議会認定第19号 | 平成21年度沖縄県公共用地先行取得事業特別会計決算の認定について | 〃 |
| 平成22年第4回議会認定第20号 | 平成21年度沖縄県中城湾港(泡瀬地区)臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について | 多 数 認 定 |
| 平成22年第4回議会認定第21号 | 平成21年度沖縄県病院事業会計決算の認定について | 全 会 一 致 認 定 |
| 平成22年第4回議会認定第22号 | 平成21年度沖縄県水道事業会計決算の認定について | 〃 |
| 平成22年第4回議会認定第23号 | 平成21年度沖縄県工業用水道事業会計決算の認定について | 〃 |

平成22年第5回沖縄県議会(臨時会)

総務企画委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年11月9日（火曜日）

開 会 午前10時23分
散 会 午前11時17分
場 所 第4委員会室
議 題

- 1 乙第1号議案 沖縄県教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例等の一部を改正する条例
- 2 乙第2号議案 沖縄県職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 當 間 盛 夫 君 |
| 副 委 員 長 | 山 内 末 子 さん |
| 委 員 | 島 袋 大 君 |
| | 吉 元 義 彦 君 |
| | 照 屋 守 之 君 |
| | 浦 崎 唯 昭 君 |
| | 崎 山 嗣 幸 君 |
| | 新 里 米 吉 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 金 城 勉 君 |
| | 糸 洲 朝 則 君 |
| | 新 垣 清 涼 君 |
| | 玉 城 義 和 君 |

説明員の職、氏名

総 務 部 長 兼 島 規 君
人 事 課 長 島 田 勉 君

審査概要

乙第1号議案及び乙第2号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第1号議案については、特例措置による知事、副知事の給与・手当減額の有無、特例措置による減額を行った上で、さらに引き下げを行う理由について質疑が行われた。

乙第2号議案については、一般職員の特例措置による減額後の給与と民間給与の比較状況、給与改定に関する職員団体との交渉経緯とその結果、今回の給与改定が県の財政に与える影響額、県経済に与える影響見込み、40歳以上を対象とした引き下げ措置による対象人数と影響額、40歳以上を対象とする根拠、調査対象となる民間企業の規模、地方交付税に与える影響、義務教育等教員特別手当の根拠、この10年間の平均職員給与額の推移、県の給与改定が他の団体の給与に及ぼす影響、人事院勧告制度のあり方等について質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、乙第2号議案については、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案2件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

総務企画委員会議案処理一覧表

イ 処理（2件）

| 議案番号 | 議 案 名 | 議 決 の 結 果 |
|---------|---|--------------------|
| 乙 第 1 号 | 沖縄県教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例等の一部を改正する条例 | 全 会 一 致 原 案 可 決 |
| 乙 第 2 号 | 沖縄県職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 | 多 数 原 案 可 決 |

平成22年第6回沖縄県議会(定例会)

総務企画委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年12月16日(木曜日)

開 会 午後6時7分
散 会 午後6時9分
場 所 第4委員会室
議 題

1 審査日程について

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 當 間 盛 夫 君 |
| 副 委 員 長 | 山 内 末 子 さん |
| 委 員 | 吉 元 義 彦 君 |
| | 照 屋 守 之 君 |
| | 浦 崎 唯 昭 君 |
| | 崎 山 嗣 幸 君 |
| | 新 里 米 吉 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 金 城 勉 君 |
| | 糸 洲 朝 則 君 |
| | 新 垣 清 涼 君 |
| | 玉 城 義 和 君 |

欠 席

島 袋 大 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年12月17日(金曜日)

開 会 午前10時4分
散 会 午後5時57分
場 所 第4委員会室
議 題

- 1 甲第1号議案 平成22年度沖縄県一般会計補正予算(第4号)
- 2 乙第1号議案 沖縄県危険物の製造所、貯蔵所又は取扱所の設置許可申請等手数料条例の一部を改正する条例
- 3 乙第2号議案 沖縄県職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 4 乙第3号議案 外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の

一部を改正する条例

- 5 乙第4号議案 特別職に属する常勤の職員及び一般職に属する常勤の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 6 乙第5号議案 沖縄県部等設置条例の一部を改正する条例
- 7 乙第8号議案 沖縄県風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例の一部を改正する条例
- 8 乙第9号議案 工事請負契約について
- 9 乙第19号議案 当せん金付証券の発売について
- 10 陳情平成20年第60号、同第65号、同第76号、同第83号、同第85号から同第87号まで、同第91号、同第144号、同第150号、同第175号、同第190号、同第191号、同第200号、陳情平成21年第19号、同第38号、同第58号、同第59号、同第66号、同第69号、同第88号、同第91号の2、同第100号、同第103号、同第104号、同第110号、同第111号、同第120号、同第122号、同第128号、同第144号、同第147号、同第171号、同第174号、同第175号、同第201号、同第202号、陳情第6号、第9号、第10号、第12号、第17号、第18号、第43号、第61号、第71号、第82号、第96号、第130号、第141号、第142号、第158号、第163号、第168号、第169号、第192号及び第204号

11 閉会中継続審査・調査について

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 當 間 盛 夫 君 |
| 副 委 員 長 | 山 内 末 子 さん |
| 委 員 | 島 袋 大 君 |
| | 吉 元 義 彦 君 |
| | 照 屋 守 之 君 |
| | 浦 崎 唯 昭 君 |
| | 崎 山 嗣 幸 君 |
| | 新 里 米 吉 君 |
| | 前 田 政 明 君 |
| | 金 城 勉 君 |
| | 糸 洲 朝 則 君 |
| | 新 垣 清 涼 君 |
| | 玉 城 義 和 君 |

説明員の職、氏名

知事公室長 又 吉 進 君

| | |
|----------|-------|
| 総務部長 | 兼島規君 |
| 行政改革推進課長 | 池田克紀君 |
| 財政課長 | 平敷昭人君 |
| 企画部長 | 川上好久君 |
| 交通政策課長 | 下地明和君 |
| 科学技術振興課長 | 田中建治君 |
| 情報政策課長 | 武村勲君 |
| 農林水産部 | 安里和政君 |
| 漁港漁場課班長 | |
| 観光商工部 | 富永千尋君 |
| 産業政策課副参事 | |
| 観光商工部 | 下地芳郎君 |
| 観光企画課長 | |
| 観光商工部 | 嵩原安伸君 |
| 観光振興課長 | |
| 観光商工部雇用 | 又吉稔君 |
| 労政課副参事 | |
| 教育庁生涯学習 | 佐次田薫君 |
| 振興課班長 | |
| 教育庁文化課班長 | 萩尾俊章君 |
| 生活安全部長 | 波平明君 |
| 交通部長 | 北川秀行君 |

審査概要

甲第1号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、沖縄アミックス・インターナショナルスクールの設置目的、当初の資金造成計画、国費投入に至った理由、今回の同校に対する予算措置と一般的な私学に対する助成措置の均衡に関する見解、沖縄科学技術大学院大学研究者子弟の同校への出願状況、天然ガス資源緊急開発調査事業の内容、調査対象地域及び今回、緊急に補正で事業を行う理由、同調査と事業化への大まかなスケジュール、前政権が過去に組んだ経済対策関連補正予算を廃止し、今回、同じような経済対策関連補正予算を計上したことに対する県の見解、国庫補助事業に対応する県債の充当状況、インターナショナルスクール設立に伴う交通拠点施設調査、地域水産物供給基盤整備事業、沖縄新規学卒者緊急就職支援事業及び沖縄観光力強化緊急対策事業の内容、県立石川少年自然の家の指定管理者に共同企業体うないシルバー人材センターを予定した理由等について質疑が行われた。

次に、乙第2号議案から乙第5号議案まで、及び乙第19号議案について総務部長から提案理由の

説明を聴取した後、質疑に入り、乙第2号議案については、質疑なし。

乙第3号議案については、質疑なし。

乙第4号議案については、質疑なし。

乙第5号議案については、新しい部構想が出てきた経緯、時代に即応した組織づくりの必要性、文化観光スポーツ部を設置する方針が決まった時期、関係団体からの意見聴取の時期、関係団体から示された意見の内容、現場の了解の有無、来年9月に予定されている全体的な機構改革のビジョンの概要及び今回の組織再編の位置づけ、観光、文化及びスポーツを連携させる必要性、農林水産部など他の部局との連携のあり方、部名である文化・観光・スポーツの概念・順序のあり方、事前に詳しい資料を配付できなかった理由、地元中小ホテル業界振興策の取り組み状況、一人当たりの観光消費額を上げるための施策、観光客の滞在日数を延ばすための取り組み状況、観光振興のための県と市町村との連携の状況、県立博物館・美術館の管理を知事部に移管する理由、移管に係る教育庁との調整の内容等について質疑が行われた。

乙第19号議案については、質疑なし。

次に、陳情20件について総務部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、乙第9号議案について企画部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、随意契約の理由、全国及び沖縄県における地上デジタル放送対応テレビや受信機の普及率、県内ホテル関係の設置状況、電気店のない離島における地上デジタル放送対応テレビや受信機の普及に向けた取り組み状況、光ケーブル敷設工事の工期、南北大東島の事業対象世帯数等について質疑が行われた。

次に、陳情28件について企画部長から説明を聴取した。

次に、乙第1号議案について知事公室長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、特定屋外タンク貯蔵所の定義、特定・準特定屋外タンク貯蔵所の県内設置数について質疑が行われた。

次に、陳情9件について知事公室長から説明を聴取し、陳情1件について交通政策課長から説明を聴取した。

次に、乙第8号議案について警察本部生活安全部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、改正の大きなポイント、類似ラブホテルやカ

一モーターの規制を強化する理由について質疑が行われた。

次に、陳情2件について警察本部生活安全部長及び警察本部交通部長からそれぞれ説明を聴取した。

次に、議案の採決に先立ち、甲第1号議案については、共産党所属委員から反対の意見が表明さ

れた。

次に、議案9件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情57件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

総務企画委員会議案処理一覧表

イ 処理（8件）

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|-------|--|--------------|
| 甲第1号 | 平成22年度沖縄県一般会計補正予算（第4号） | 多数 原案可決 |
| 乙第1号 | 沖縄県危険物の製造所、貯蔵所又は取扱所の設置許可申請等手数料条例の一部を改正する条例 | 全会一致 原案可決 |
| 乙第2号 | 沖縄県職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 | 〃 |
| 乙第3号 | 外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例 | 〃 |
| 乙第4号 | 特別職に属する常勤の職員及び一般職に属する常勤の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例 | 〃 |
| 乙第8号 | 沖縄県風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例の一部を改正する条例 | 〃 |
| 乙第9号 | 工事請負契約について | 全会一致 可決 |
| 乙第19号 | 当せん金付証券の発売について | 〃 |

総務企画委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- 乙第5号議案 沖縄県部等設置条例の一部を改正する条例
- 陳情平成20年第60号 八重山航路の存続を求める陳情
- 陳情平成20年第65号 「旧軍飛行場問題解決に向けた沖振計特別枠の設置を求める意見書」の採択を求める陳情
- 陳情平成20年第76号 那覇市地域再生計画の実態調査及び那覇市に対する措置に関する陳情
- 陳情平成20年第83号 消費税の増税に反対する陳情
- 陳情平成20年第85号 先島航路並びに台湾航路

存続と雇用確保を求める陳情

- 陳情平成20年第86号 「消費税増税反対」決議を求める陳情
- 陳情平成20年第87号 「消費税増税反対」決議を求める陳情
- 陳情平成20年第91号 那覇バスターミナル機能の維持に関する陳情
- 陳情平成20年第144号 地上警戒管制レーダーの配備中止を求める陳情
- 陳情平成20年第150号 航空自衛隊那覇基地へのF15戦闘機配備などの機能強化に反対し、那覇空港の民間専用化を求める意見書の可決を求める陳情
- 陳情平成20年第175号 第58回婦人大会の宣言・決議の実現方に関する陳情

- 13 陳情平成20年第190号 私学助成に関する意見書の提出を求める陳情
- 14 陳情平成20年第191号 沖縄県の私学助成に関する陳情
- 15 陳情平成20年第200号 沖縄県行政オンブズマンの職務不履行に関する陳情
- 16 陳情平成21年第19号 沖縄県所在旧軍飛行場用地問題解決に関する陳情
- 17 陳情平成21年第38号 (仮称) 沖縄県警察運転免許センター隣接地(未公募区画地)への協会用地取得に関する陳情
- 18 陳情平成21年第58号 琉球大学の外国語授業削減に関する陳情
- 19 陳情平成21年第59号 沖子連事務所の賃貸料免除に関する陳情
- 20 陳情平成21年第66号 自衛隊ヘリのキャンプ・ハンセン内レンジ4使用に関する陳情
- 21 陳情平成21年第69号 フェリー、旅客船の存続・港町活性化に関する陳情
- 22 陳情平成21年第88号 沖縄県東京宿泊所若夏荘の閉館に関する陳情
- 23 陳情平成21年第91号の2 台湾東部と八重山諸島の「観光経済圏」形成推進に向けた課題に関する陳情
- 24 陳情平成21年第100号 県道222号線への信号機・横断歩道設置に関する陳情
- 25 陳情平成21年第103号 海運・フェリー・旅客船の航路存続と船員の雇用対策に関する陳情
- 26 陳情平成21年第104号 海運・フェリー・旅客船の航路存続と船員の雇用対策に関する陳情
- 27 陳情平成21年第110号 公私の格差是正と制度等に関する陳情
- 28 陳情平成21年第111号 私立教育機関に関する陳情
- 29 陳情平成21年第120号 先島航路及び台湾航路における貨客船の早期再開を求める陳情
- 30 陳情平成21年第122号 県がワーキングプアをなくす先頭に立ち、非正規等の待遇改善を求める陳情
- 31 陳情平成21年第128号 沖縄県庁舎や市町村庁舎の地震対策や湧水対策に関する陳情
- 32 陳情平成21年第144号 旧軍飛行場用地問題解決の継続審議に関する陳情
- 33 陳情平成21年第147号 八重山への自衛隊誘致及び配備に反対する陳情
- 34 陳情平成21年第171号 暮らし支える行政サービスの拡充を求める陳情
- 35 陳情平成21年第174号 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等を活用した中小業者支援に関する陳情
- 36 陳情平成21年第175号 改正国籍法に関する陳情
- 37 陳情平成21年第201号 永住外国人への地方参政権付与を日本政府に求める意見書を可決しないよう求める陳情
- 38 陳情平成21年第202号 レンタカー台数規制のための県条例制定等に関する陳情
- 39 陳情第6号 南城市東南部地域に地上デジタル放送中継局の設置を求める陳情
- 40 陳情第9号 永住外国人地方参政権付与法案に反対する陳情
- 41 陳情第10号 改正国籍法に関する陳情
- 42 陳情第12号 沖縄県の私学助成に関する陳情
- 43 陳情第17号 永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の可決を求める陳情
- 44 陳情第18号 憲法違反の外国人参政権による選挙を実施しないことを再確認する陳情
- 45 陳情第43号 永住外国人地方参政権付与法案に反対する陳情
- 46 陳情第61号 無償教育の実現を求める陳情
- 47 陳情第71号 「若夏荘」及び「うるま荘」に関する陳情
- 48 陳情第82号 「沖縄特例地域」推進に関する陳情
- 49 陳情第96号 永住外国人への地方参政権付与の法制化反対に関する陳情
- 50 陳情第130号 新たな公共交通システム導入に関する陳情
- 51 陳情第141号 私学の校舎改築助成に関する陳情
- 52 陳情第142号 私学の校舎改築助成に関する陳情
- 53 陳情第158号 美ぎ島美じゃ(先島)圏域の振興発展に関する陳情
- 54 陳情第163号 「若夏荘」、「うるま荘」に関する陳情
- 55 陳情第168号 八重山観光振興に関する陳情
- 56 陳情第169号 竹富町観光振興に関する陳情
- 57 陳情第192号 石垣空港発着路線の航空運賃低減を求める陳情
- 58 陳情第204号 私学助成に関する陳情
- 59 広報、危機管理及び消防防災について(所管事

- 務調査)
- 60 予算及び行財政について(所管事務調査)
- 61 県税及び公有財産について(所管事務調査)
- 62 市町村行財政について(所管事務調査)
- 63 県職員の給与について(所管事務調査)
- 64 学事について(所管事務調査)
- 65 県庁舎について(所管事務調査)
- 66 総合開発及び地域振興について(所管事務調査)
- 67 交通運輸及び通信について(所管事務調査)
- 68 土地利用対策について(所管事務調査)
- 69 警察行政について(所管事務調査)
- 70 自衛隊について(所管事務調査)

経済労働委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年12月16日(木曜日)

開 会 午後6時6分

散 会 午後6時9分

場 所 第1委員会室

議 題

- 1 審査日程について

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 玉 城 ノブ子 さん |
| 副 委 員 長 | 瑞慶覧 功 君 |
| 委 員 | 中 川 京 貴 君 |
| | 座喜味 一 幸 君 |
| | 具 志 孝 助 君 |
| | 仲宗根 悟 君 |
| | 当 銘 勝 雄 君 |
| | 渡久地 修 君 |
| | 前 島 明 男 君 |
| | 玉 城 満 君 |
| | 上 里 直 司 君 |

欠 席

辻 野 ヒロ子 さん

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年12月17日(金曜日)

開 会 午前10時5分

散 会 午後4時6分

場 所 第1委員会室

議 題

- 1 甲第3号議案 平成22年度沖縄県自由貿易地域特別会計補正予算(第1号)
- 2 乙第20号議案 県営土地改良事業の執行に伴う負担金の徴収について
- 3 陳情平成20年第198号、同第201号、陳情平成21年第123号、同第129号、同第130号、同第174号の2、同第191号、同第194号、陳情第15号、第19号、第35号、第36号、第47号、第55号、第56号、第59号、第146号、第180号、第181号、第188号、第189号及び第193号
- 4 労働問題について(駐留軍等労働者の復職問題について)
- 5 閉会中継続審査(調査)について
- 6 視察・調査日程について

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 玉 城 ノブ子 さん |
| 副 委 員 長 | 瑞慶覧 功 君 |
| 委 員 | 中 川 京 貴 君 |
| | 座喜味 一 幸 君 |
| | 辻 野 ヒロ子 さん |
| | 具 志 孝 助 君 |
| | 仲宗根 悟 君 |
| | 当 銘 勝 雄 君 |
| | 渡久地 修 君 |
| | 前 島 明 男 君 |
| | 玉 城 満 君 |
| | 上 里 直 司 君 |

説明員の職、氏名

| | |
|----------|-----------|
| 農林水産部長 | 比 嘉 俊 昭 君 |
| 農漁村基盤統括監 | 知 念 武 君 |
| 糖業農産課長 | 島 尻 勝 広 君 |
| 農地水利課長 | 前 田 幹 男 君 |
| 水産課長 | 勝 俣 亜 生 君 |
| 観光商工部長 | 勝 目 和 夫 君 |
| 産業政策課長 | 安 里 肇 君 |
| 企業立地推進課長 | 屋比久 盛 敏 君 |
| 情報産業振興課長 | 米 須 清 光 君 |
| 雇用労政課長 | 湧 川 盛 順 君 |
| 交流推進課長 | 瀬 川 義 朗 君 |

審査概要

乙第20号議案について農林水産部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、事業費に対する負担金の割合が、市町村、工種ごとに違いがある理由、今回の徴収金額には受益農家の負担分も含まれるのか、土地改良事業完了地区内の耕作放棄地の面積、その解消のための取り組み及び結果、事業及び工種の異なる土地改良事業を組み合わせでの実施可能性、その場合の補助率、国と県の負担額と市町村への補助金額の総額、農林水産業予算の措置状況、農林水産業予算確保のための取組状況及び課題等について質疑が行われた。

次に、陳情12件について農林水産部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、甲第3号議案について観光商工部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、物流保税倉庫の建設位置、規模及び構造、物流保税倉庫及び保税工場とは何か、自由貿易地域那覇地区での貨物取扱状況、ANAの国際貨物ハブ事業と自由貿易地域那覇地区との関係状況と経済波及効

果、施設建設後の自由貿易地域特別会計の運営状況、国庫補助金を一たん一般会計で受け入れる理由、起債額の償還完了時期と黒字化の時期、自由貿易地域那覇地区への入居条件等について質疑が行われた。

次に、陳情10件について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、駐留軍等労働者の復職問題について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案2件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情22件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

次に、視察調査日程について協議し、決定した。

なお、「駐留軍等労働者の地位の確保に関する意見書」を別掲のとおり提出することになった。

経済労働委員会議案処理一覧表

イ 処理（2件）

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|-------|------------------------------|--------------|
| 甲第3号 | 平成22年度沖縄県自由貿易地域特別会計補正予算（第1号） | 全会一致 原案可決 |
| 乙第20号 | 県営土地改良事業の執行に伴う負担金の徴収について | 全会一致 可決 |

経済労働委員会陳情処理一覧表

イ 処理（陳情2件）

| 陳情番号 | 受理年月日 | 件名 | 陳情者名 | 審査の結果 | 措置 |
|-------|-----------------|--------------------------|-----------------------------------|-------|------------------------------|
| 第188号 | 平成22年 10月21日 | 海外移住者子弟留学生制度を継続するよう求める陳情 | ブラジル沖縄県人会 会長 与儀 昭雄 | 採択 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（知事） |
| 第189号 | 平成22年 10月25日 | さとうきび価格・政策確立に関する陳情 | 沖縄県さとうきび対策本部 本部長 小那覇 安優 外1人 | 〃 | 〃 |

経済労働委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- 1 陳情平成20年第198号 伊江島における黒糖工場建設問題に関する陳情
- 2 陳情平成20年第201号 吉の浦火力発電所電源開発に伴う海域環境調査に関する陳情
- 3 陳情平成21年第123号 伊江島における黒糖工場建設に反対する陳情
- 4 陳情平成21年第129号 EMの講習会を開催することに関する陳情
- 5 陳情平成21年第130号 EMを基盤に、我が国の国際貢献の最前線基地を沖縄で引き受けることに関する陳情
- 6 陳情平成21年第174号の2 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等を活用した中小業者支援に関する陳情
- 7 陳情平成21年第191号 じん肺被災者の早期救済を図る「トンネルじん肺基金」の創設とじん肺やアスベスト被害の根絶を求める陳情
- 8 陳情平成21年第194号 平成21年度中城湾港(新港地区)振興に関する陳情
- 9 陳情第15号 含みつ糖振興対策に関する陳情
- 10 陳情第19号 含みつ糖振興対策に関する陳情
- 11 陳情第35号 第三セクター・沖縄市アメニティプラン株式会社の融資に係る連帯保証人会に関する陳情
- 12 陳情第36号 含みつ糖振興対策に関する陳情
- 13 陳情第47号 公契約条例の制定を求める陳情
- 14 陳情第55号 天然ガス採掘工事の即刻中止と天然ガス採掘に関する条例等の早急な整備に関する陳情
- 15 陳情第56号 沖縄黒糖市況対策に関する陳情
- 16 陳情第59号 含みつ糖振興対策に関する陳情
- 17 陳情第146号 美ら海協力金問題の即時是正に関する陳情
- 18 陳情第180号 美ら海協力金問題に関する陳情
- 19 陳情第181号 屋我地漁港及び周辺海岸護岸工事(名護市)の中止等を求める陳情
- 20 陳情第193号 尖閣諸島上陸視察決議に関する陳情
- 21 農林水産業について(所管事務調査)
- 22 商・鉱・工業について(所管事務調査)

- 23 労働問題について(所管事務調査)
- 24 国内外の交流について(所管事務調査)

駐留軍等労働者の地位の確保に 関する意見書

去る12月7日、福岡高等裁判所那覇支部は、元駐留軍等労働者の不当解雇問題に対し原告側の訴えを全面的に認める判決を下したが、政府は日米地位協定第12条6及び諸機関労務協約第5条関係の規定に基づき米軍と協議する必要があるとしてこの判決に対する態度を明らかにしていないため、いまだ駐留軍等労働者としての地位の確保が果たされていない状態となっている。

もとより駐留軍等労働者の基本的人権である労働権を守り、雇用の安定等を確保することは何にも増して取り込まれるべきことである。ましてや上司のパワーハラスメントや不当解雇は本来あってはならないことである。

それにも増して、今回の事案の根本的な問題は、日米地位協定及び諸機関労務協約の中に我が国の司法判断に従わなくともよいとの規定があることである。いかなる事由であれ司法判断に従わなくてもよいとするのは、とりもなおさず我が国の司法権を軽視するものであり、対等な日米両国のあるべき関係を損なうものにほかならない。

また、昭和37年5月11日の閣議了解事項に基づく「軍紀の維持の攪乱を含む安全上の理由による解雇」の範囲に対する厳密な解釈・運用が行われずに、米軍の意向や裁量が一方的に優先されることも同様に我が国の自治権を軽視するものであり、駐留軍等労働者の基本的人権である労働権及び雇用の安定等を脅かす大きな問題であることから、到底看過することはできない。

よって、政府におかれては、米軍が駐留軍等労働者の基本的人権を不当に脅かすことがないように取り計らうとともに、諸機関労務協約及び日米地位協定を抜本的に改正するよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年12月22日

沖縄県議会
内閣総理大臣

外務大臣
防衛大臣
沖縄及び北方対策担当大臣

あて

文教厚生委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年12月16日(木曜日)

開会 午後6時7分
散会 午後6時10分
場所 第2委員会室
議題

1 審査日程について

出席

| | |
|------|----------|
| 委員長 | 赤嶺昇君 |
| 副委員長 | 西銘純恵さん |
| 委員 | 桑江朝千夫君 |
| | 佐喜真淳君 |
| | 仲田弘毅君 |
| | 翁長政俊君 |
| | 仲村未央さん |
| | 渡嘉敷喜代子さん |
| | 上原章君 |
| | 奥平一夫君 |
| | 比嘉京子さん |

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年12月17日(金曜日)

開会 午前10時3分
散会 午後9時0分
場所 第2委員会室
議題

- 1 甲第4号議案 平成22年度沖縄県病院事業会計補正予算(第1号)
- 2 平成22年第4回議会乙第1号議案 沖縄県立浦添看護学校の設置及び管理に関する条例を廃止する条例
- 3 乙第6号議案 沖縄県青少年保護育成条例の一部を改正する条例

4 乙第7号議案 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第24条の2の規定に基づく沖縄県教育委員会の職務権限の特例に関する条例

5 乙第16号議案 指定管理者の指定について

6 乙第17号議案 指定管理者の指定について

7 乙第18号議案 指定管理者の指定について

8 陳情平成20年第41号、同第43号、同第53号、同第57号、同第63号、同第64号、同第78号、同第112号、同第125号、同第134号、同第137号、同第142号、同第148号、同第188号、同第189号、同第192号、同第195号、同第199号、陳情平成21年第8号、同第9号、同第13号、同第32号、同第41号、同第50号、同第52号、同第57号、同第60号、同第61号、同第65号、同第67号、同第68号、同第72号、同第80号、同第84号、同第88号の2、同第94号、同第95号、同第99号、同第105号、同第106号、同第110号の2、同第112号、同第113号、同第116号、同第117号、同第122号の3、同第132号、同第133号、同第137号から同第139号まで、同第142号、同第145号、同第148号、同第149号、同第153号、同第160号、同第178号、同第192号、同第193号、同第196号、同第197号、同第200号、同第203号から同第205号まで、同第210号、陳情第2号、第8号、第23号、第24号、第27号から第33号まで、第38号、第40号、第49号、第52号、第53号、第57号、第61号の2、第62号、第76号、第78号、第83号、第84号、第95号、第97号から第99号まで、第101号、第103号、第104号、第106号、第120号から第123号まで、第128号、第129号、第137号、第139号、第143号、第145号、第147号、第153号、第154号、第158号の3、第160号、第162号、第164号、第174号から第176号まで、第179号、第183号、第185号、第194号、第199号、第200号、第202号及び第206号

9 閉会中継続審査(調査)について

10 脳脊髄液減少症の診断・治療法の早期確立等を求める意見書の提出について(追加議題)

11 視察調査日程について(追加議題)

出席

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 赤嶺昇君 |
| 副委員長 | 西銘純恵さん |

| | |
|----|----------|
| 委員 | 桑江朝千夫君 |
| | 佐喜真淳君 |
| | 仲田弘毅君 |
| | 翁長政俊君 |
| | 仲村未央さん |
| | 渡嘉敷喜代子さん |
| | 上原章君 |
| | 奥平一夫君 |
| | 比嘉京子さん |

説明員の職、氏名

| | |
|--------------------|---------|
| 福祉保健部長 | 奥村啓子さん |
| 福祉企画統括監 | 當間秀史君 |
| 保健衛生統括監 | 宮里達也君 |
| 福祉保健企画課長 | 金城武君 |
| 医務課長 | 平順寧君 |
| 病院事業局長 | 伊江朝次君 |
| 県立病院課長 | 武田智君 |
| 県立病院課 看護企画監 | 佐久川和子さん |
| 教育長 | 金武正八郎君 |
| 総務課長 | 前原昌直君 |
| 総務課副 参事兼班長 | 親泊信一郎君 |
| 県立学校教育課 特別支援教育監 | 大城徹彦君 |
| 保健体育課長 | 渡嘉敷通之君 |
| 生涯学習振興課長 | 親泊實君 |
| 文化課長 | 大城慧君 |

審査概要

乙第7号議案及び乙第16号議案から乙第18号議案までについて教育長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第7号議案については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律改正時における文化・スポーツに関する事務の検討内容、文化・スポーツ部門を教育委員会から分離する理由、検討方法及び期間、県立博物館・美術館の所管部局及び委任する理由、組織改編・事務移管に伴う異動人数及びメリット・デメリット、文化・スポーツ活動の拡大化・変化の状況、学校部活動及び競技派遣の所管等について質疑が行われた。

乙第16号議案については、県立青少年の家の指定管理の状況、その効果及び利用者の状況、指定管理者への応募の状況、施設補修における教育委員会と指定管理者の費用負担の状況、県立石川青

少年の家の築年数と施設の維持・修繕の状況、人件費を含む運営費の状況等について質疑が行われた。

乙第17号議案については、質疑なし。

乙第18号議案については、過去3年間の指定管理の効果及び入館者の状況、指定管理者への応募の状況、県立博物館・美術館協議会の構成メンバーと役割、今後の入館者の目標人数、指定管理者の選定基準等について質疑が行われた。

次に、陳情59件について教育長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、平成22年第4回議会乙第1号議案及び乙第6号議案について福祉保健部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、平成22年第4回議会乙第1号議案については、2度にわたる県議会の県立浦添看護学校の存続等に関する決議に反する対応の理由、県立浦添看護学校在校生や同保護者の理解の獲得状況、県立浦添看護学校後援会、同保護者及び同在校生が県立浦添看護学校の廃止と民間移譲の撤回を求める署名活動をしている理由、署名数の把握状況、県立浦添看護学校を民間移譲するメリット、県立浦添看護学校の民間移譲に対する沖縄県医師会の考え、平成23年度以降の看護師養成等の取り組み予定、県立浦添看護学校と民間看護師養成校の県立病院への就職状況の比較、民間看護師養成校の学生の就学資金の活用状況、県立浦添看護学校及び民間看護師養成校の志願倍率の状況、県立浦添看護学校の民間移譲への経緯、県立病院における7対1看護体制の実施に伴う必要看護師数、看護師等就学資金の要件緩和等について質疑が行われた。

乙第6号議案については、質疑なし。

次に、甲第4号議案について病院事業局長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、甲第4号議案については、質疑なし。

次に、陳情76件について福祉保健部長及び病院事業局長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、乙第7号議案に対して、共産党所属委員から継続審査の動議が提出され、採決した結果、委員長裁決により可決された。

また、乙第16号議案から乙第18号議案までについては、共産党所属委員からそれぞれ反対する旨の意見が表明された。

次に、議案6件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情126件を採決した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別

掲のとおり決定した。

なお、「脳脊髄液減少症の診断・治療法の早期確立等を求める意見書」を別掲のとおり提出することになった。

文教厚生委員会議案処理一覧表

イ 処理（6件）

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|--------------------|------------------------------|--------------|
| 甲第4号 | 平成22年度沖縄県病院事業会計補正予算（第1号） | 全会一致 原案可決 |
| 平成22年第4回議会 乙第1号 | 沖縄県立看護学校の設置及び管理に関する条例を廃止する条例 | 委員長裁決 否決 |
| 乙第6号 | 沖縄県青少年保護育成条例の一部を改正する条例 | 全会一致 原案可決 |
| 乙第16号 | 指定管理者の指定について | 多数 可決 |
| 乙第17号 | 指定管理者の指定について | 〃 |
| 乙第18号 | 指定管理者の指定について | 〃 |

文教厚生委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- 乙第7号議案 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第24条の2の規定に基づく沖縄県教育委員会の職務権限の特例に関する条例
- 陳情平成20年第41号 子供の医療費助成制度の拡充に関する陳情
- 陳情平成20年第43号 母子家庭等医療費助成の給付方法を償還払いから現物給付へ変更することを求める陳情
- 陳情平成20年第53号 ジストニア治療の健康保険適用拡大等治療環境の改善に関する意見書の提出を求める陳情
- 陳情平成20年第57号 2009年度政府教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する陳情
- 陳情平成20年第63号 サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情
- 陳情平成20年第64号 「戦争のできる国民づくり」教育に反対する陳情
- 陳情平成20年第78号 子供の医療費助成制度の

拡充に関する陳情

- 陳情平成20年第112号 友愛スポーツセンター跡利用に関する陳情
- 陳情平成20年第125号 「全国学力・学習状況調査」の公表等に関する陳情
- 陳情平成20年第134号 認可外保育園支援のための振興対策調整費の使途に関する陳情
- 陳情平成20年第137号 サンゴの保護に関する陳情
- 陳情平成20年第142号 天然記念物の伐採に関する陳情
- 陳情平成20年第148号 地域医療・高度多機能な医療の確保に関する陳情
- 陳情平成20年第188号 命の尊厳を踏みにじる「後期高齢者医療制度」の廃止を求める陳情
- 陳情平成20年第189号 子供たちに行き届いた教育の保障を求める陳情
- 陳情平成20年第192号 第60回九州地区地域婦人大会及び平成20年度全地婦連九州ブロック会議の決議に関する陳情
- 陳情平成20年第195号 医療提供体制確保と地域

医療を守ることに関する陳情

- 19 陳情平成20年第199号 沖縄県教育委員会の職務不履行に関する陳情
- 20 陳情平成21年第8号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 21 陳情平成21年第9号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 22 陳情平成12年第13号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 23 陳情平成21年第32号 身体障害者に関する手続等についての陳情
- 24 陳情平成21年第41号 県立病院の存続を求める陳情
- 25 陳情平成21年第50号 県立病院の独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 26 陳情平成21年第52号 地域医療を守り、県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 27 陳情平成21年第57号 学校給食に環境保全型農業で生産された農産物の使用促進に関する陳情
- 28 陳情平成21年第60号 県立八重山病院の地方独立行政法人化に反対する陳情
- 29 陳情平成21年第61号 医療提供体制確保を求める陳情
- 30 陳情平成21年第65号 沖縄ろう学校を「単独型の聴覚特別支援学校」として存続を求める陳情
- 31 陳情平成21年第67号 地域医療体制の強化を求める陳情
- 32 陳情平成21年第68号 県立宮古病院を初め県立病院の地方独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 33 陳情平成21年第72号 県立宮古病院を初め県立病院の地方独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 34 陳情平成21年第80号 県立病院の存続を求める陳情
- 35 陳情平成21年第84号 県立八重山病院の独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 36 陳情平成21年第88号の2 沖縄学生会館の閉館に関する陳情
- 37 陳情平成21年第94号 新学習指導要領理科の実現へ向けての環境整備に関する陳情
- 38 陳情平成21年第95号 沖縄学生会館の再建に関

する陳情

- 39 陳情平成21年第99号 利用者の人権、職員の権利、健康を守るために社会福祉法人「翠泉会」在宅複合型施設羽地苑の運営正常化・健全化を求める陳情
- 40 陳情平成21年第105号 サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情
- 41 陳情平成21年第106号 県立高等学校編成整備実施計画に関する陳情
- 42 陳情平成21年第110号の2 公私の格差是正と制度等に関する陳情
- 43 陳情平成21年第112号 特別支援教育のさらなる推進に関する陳情
- 44 陳情平成21年第113号 中部病院を初め県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 45 陳情平成21年第116号 介護サービス情報公表制度の見直しに関する陳情
- 46 陳情平成21年第117号 沖縄学生会館の再建を求める陳情
- 47 陳情平成21年第122号の3 県がワーキングプアをなくす先頭に立ち、非正規等の待遇改善を求める陳情
- 48 陳情平成21年第132号 環境教育でEMを活用することに関する陳情
- 49 陳情平成21年第133号 沖縄県の学校施設の地震対策や湧水対策に関する陳情
- 50 陳情平成21年第137号 沖縄県立美術館の「展示拒否問題」に関する陳情
- 51 陳情平成21年第138号 沖縄県立博物館・美術館の大浦信行作品展示拒否事件に関する陳情
- 52 陳情平成21年第139号 学童保育の拡充に関する陳情
- 53 陳情平成21年第142号 「30人以下学級」完全実現のための陳情
- 54 陳情平成21年第145号 県立久米島高等学校園芸科の存続に関する陳情
- 55 陳情平成21年第148号 県立中部病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 56 陳情平成21年第149号 県民のセーフティネットとしての県立病院を守り沖縄県立北部病院産婦人科の完全再開を求める陳情
- 57 陳情平成21年第153号 地域医療を崩壊させる県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 58 陳情平成21年第160号 「大浦湾チリビシのアオ

- サンゴ群集」の天然記念物指定に関する陳情
- 59 陳情平成21年第178号 次世代育成支援対策後期行動計画策定に対する陳情
- 60 陳情平成21年第192号 県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合計画案に反対し、現行どおり単独「農業高校」としての継承、発展、充実を求める陳情
- 61 陳情平成21年第193号 ブラジルに現存する古典的な沖縄三線の鑑定に関する陳情
- 62 陳情平成21年第196号 子供たちに行き届いた教育の保障を求める陳情
- 63 陳情平成21年第197号 「第61回九州地区地域婦人大会」並びに「平成21年度全地婦連九州ブロック会議」決議に基づく陳情
- 64 陳情平成21年第200号 平成21年度軽費老人ホーム事務費補助金削減見直しに関する陳情
- 65 陳情平成21年第203号 県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合に反対し、単独「農業高校」としての継承、発展、充実を求める陳情
- 66 陳情平成21年第204号 「労働安全衛生委員会」の設置を求める陳情
- 67 陳情平成21年第205号 幼稚園教育の制度改善に関する陳情
- 68 陳情平成21年第210号 子供と向き合うゆとりを学校に取り戻すための陳情
- 69 陳情第2号 県立宮古病院の脳神経外科医師の確保に関する陳情
- 70 陳情第8号 県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合に反対し、単独「農業高校」としての継承、発展、充実を求める陳情
- 71 陳情第23号 「若夏荘」「沖縄学生会館」に関する陳情
- 72 陳情第24号 子供と学校の安心・安全のために正規の学校職員の配置を保障することを求める陳情
- 73 陳情第27号 沖縄県から「いじめ」を追放し、いじめ撲滅ナンバーワンの県を目指して実効性のあるいじめ防止施策の実施及び「沖縄県いじめ防止条例」制定を求める陳情
- 74 陳情第28号 子供にこたえる学校図書館を求める陳情
- 75 陳情第29号 子供にこたえる学校図書館を求める陳情
- 76 陳情第30号 平成21年度軽費老人ホーム事務費補助金削減見直し並びに平成22年度補助金に関する陳情
- 77 陳情第31号 軽費老人ホーム緑樹苑事務費補助金削減反対に関する陳情
- 78 陳情第32号 軽費老人ホーム緑樹苑事務費補助金見直しに関する陳情
- 79 陳情第33号 軽費老人ホーム緑樹苑事務費補助金見直しに関する陳情
- 80 陳情第38号 県立高等学校再編整備実施計画に関する陳情
- 81 陳情第40号 後期高齢者医療制度の即時廃止を求める陳情
- 82 陳情第49号 「第43回沖縄県知的障害者教育・福祉・就労研究大会」における大会決議に関する陳情
- 83 陳情第52号 社会福祉法人翠泉会「羽地苑」に関する陳情
- 84 陳情第53号 軽費老人ホーム事務費補助金減額反対署名提出及び県議会参考人招致に関する陳情
- 85 陳情第57号 医療制度改革に伴う国保の財政赤字問題に関する陳情
- 86 陳情第61号の2 無償教育の実現を求める陳情
- 87 陳情第62号 保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情
- 88 陳情第76号 遺骨収集に関する陳情
- 89 陳情第78号 戦争遺跡の保存に関する陳情
- 90 陳情第83号 前期高齢者財政調整制度等の見直しに関する陳情
- 91 陳情第84号 県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合に反対し、単独農業高校としての継承、発展、充実を求める陳情
- 92 陳情第95号 介護保険で訪問カットが適用できるよう国に意見書を提出することを求める陳情
- 93 陳情第97号 子ども手当廃止の意見書を提出するよう求める陳情
- 94 陳情第98号 難病のある人の生活自立支援と就労支援に対する陳情
- 95 陳情第99号 「沖縄県がん対策推進基本条例」の6月定例会での制定を求める陳情
- 96 陳情第101号 利用者の安心・安全と健康や職員の権利を守るために、社会福祉法人「翠泉会」在宅複合型施設羽地苑の運営正常化を求める陳情
- 97 陳情第103号 選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情

- 98 陳情第104号 沖縄戦遺骨収集現場の視察要請に関する陳情
- 99 陳情第106号 県立高等学校における進級・卒業規程見直しに関する陳情
- 100 陳情第120号 「社会福祉法人翠泉会羽地苑」の運営に関する陳情
- 101 陳情第121号 「30人以下学級完全実現」に関する陳情
- 102 陳情第122号 「義務教育の国庫負担」堅持及び2分の1復元を求める陳情
- 103 陳情第123号 幼稚園教育の制度改善に関する陳情
- 104 陳情第128号 「沖縄子ども振興計画(仮称)」の策定に関する陳情
- 105 陳情第129号 「子どもの虐待未然防止」に関する陳情
- 106 陳情第137号 琉球大学医学部の地域医療に関する講座の新設を求める陳情
- 107 陳情第139号 沖縄南部離島町村学生宿舎(学生寮)整備に関する陳情
- 108 陳情第143号 あずま保育園の環境改善に関する陳情
- 109 陳情第145号 「沖縄県立高等学校管理規則の一部を改正する規則案」に関する陳情
- 110 陳情第147号 沖縄子ども振興計画の策定と子ども、子育て支援に関する陳情
- 111 陳情第153号 「慢性腎臓病(CKD) 特別対策事業」に関する陳情
- 112 陳情第154号 珊瑚舎スコーレ・夜間中学校の運営支援に関する陳情
- 113 陳情第158号の3 美ぎ島美しゃ(先島)圏域の振興発展に関する陳情
- 114 陳情第160号 「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める陳情
- 115 陳情第162号 「沖縄県がん対策推進基本条例」の早期制定を求める陳情
- 116 陳情第164号 「沖縄学生会館」に関する陳情
- 117 陳情第174号 沖縄県の船員(海技従事者)の確保・育成に関する陳情
- 118 陳情第175号 子供の「貧困化」防止を求める陳情
- 119 陳情第176号 医療的ケアに関する陳情
- 120 陳情第179号 児童相談所で働く非正規職員の労働条件の改善を求める陳情
- 121 陳情第183号 看護師等の大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情
- 122 陳情第185号 B型肝炎問題の早期全面解決を国に求める陳情
- 123 陳情第194号 医療にかかわる事業税非課税措置等の存続に関する陳情
- 124 陳情第199号 子供を貧困から守るための施策を求める陳情
- 125 陳情第200号 離島におけるがん患者支援対策に関する陳情
- 126 陳情第202号 県立浦添看護学校廃止条例の否決と民間移譲中止を求める陳情
- 127 陳情第206号 国・自治体の責任ですべての子供によりよい保育の保障と子育て支援を求める陳情
- 128 青少年について(所管事務調査)
- 129 社会福祉及び社会保障について(所管事務調査)
- 130 保健衛生について(所管事務調査)
- 131 医療について(所管事務調査)
- 132 教育及び学術文化について(所管事務調査)

脳脊髄液減少症の診断・治療法の早期確立等を求める意見書

脳脊髄液減少症は、交通事故やスポーツ外傷等の身体への強い衝撃が原因で脳脊髄液が漏れ、減少することによって引き起こされる疾患であり、頭痛、目まい、耳鳴り、倦怠感等多種多様な症状が複合的にあらわれるという特徴を持っている。

本年4月、厚生労働省は、本症の診断に必要な検査等は保険が適用されると医療機関に通知した。これは、本来、検査費用は保険適用であるはずのものが地域によって対応が異なっていたため、それを是正するために出されたものであり、患者にとって朗報である。しかし、本症の治療に有効であるブラッドパッチ療法(自家血硬膜外注入)については、いまだに保険適用がされておらず、患者及びその家族は依然として高額な医療費負担という厳しい環境に置かれている。

平成19年度から開始された脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する調査研究事業(当初3年間)は、症例数において中間目標である100症例を達成す

るために本年度も継続して事業が実施され、本年8月、ついに中間目標数を達成した。今後は、収集した症例から基礎データをまとめ、診断基準を示すための作業を速やかに行い、本年度中に診断基準を定めるべきである。そして、来年度には、診療指針（ガイドライン）の策定及びブラッドパッチ療法の治療法としての確立を図り、早期に保険適用とすべきである。また、本症の治療に用いられるブラッドパッチ療法を災害共済給付、労働者災害補償保険、自動車損害賠償責任保険等の対象とすべきである。

よって、国におかれては、脳脊髄液減少症の診断及び治療の確立を早期に実現する観点から、下記の事項を早急に実現するよう強く要請する。

記

- 1 脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する調査研究事業においては、症例数において中間目標（100症例）が達成されたため、本年度中に脳脊髄液減少症の診断基準を定めること。
- 2 脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する調査研究事業においては、平成23年度にブラッドパッチ治療を含めた診療指針（ガイドライン）を策定し、ブラッドパッチ療法（自家血硬膜外注入）を脳脊髄液減少症の治療法として確立するとともに、早期に保険適用とすること。
- 3 脳脊髄液減少症の治療（ブラッドパッチ治療法等）を、速やかに災害共済給付、労働者災害補償保険、自動車損害賠償責任保険の対象に加えること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年12月22日

沖 縄 県 議 会

衆 議 院 議 長
参 議 院 議 長
内 閣 総 理 大 臣
総 務 大 臣
厚 生 労 働 大 臣
沖縄及び北方対策担当大臣

あて

土木文化環境委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年12月16日(木曜日)

開 会 午後6時7分

散 会 午後6時9分

場 所 第3委員会室

議 題

1 審査日程について

出 席

委 員 長 當 山 眞 市 君

副 委 員 長 照 屋 大 河 君

委 員 新 垣 良 俊 君

嶺 井 光 君

池 間 淳 君

新 垣 哲 司 君

嘉 陽 宗 儀 君

大 城 一 馬 君

平 良 昭 一 君

新 垣 安 弘 君

吉 田 勝 廣 君

欠 席

高 嶺 善 伸 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年12月17日(金曜日)

開 会 午前10時5分

散 会 午後5時31分

場 所 第3委員会室

議 題

1 甲第2号議案 平成22年度沖縄県下水道事業特別会計補正予算（第2号）

2 甲第5号議案 平成22年度沖縄県水道事業会計補正予算（第1号）

3 乙第10号議案 工事請負契約について

4 乙第11号議案 工事請負契約についての議決内容の一部変更について

5 乙第12号議案 工事請負契約についての議決内容の一部変更について

6 乙第13号議案 違約金存否確認等請求調停

- 事件の調停について
- 7 乙第14号議案 指定管理者の指定について
- 8 乙第15号議案 指定管理者の指定について
- 9 乙第21号議案 公共下水道の幹線管渠等の設置に係る事業の執行に伴う負担金の徴収について
- 10 乙第22号議案 流域下水道の建設事業執行に伴う負担金の徴収についての議決内容の一部変更について
- 11 乙第23号議案 国土交通大臣の作成する漢那ダム及び億首ダムの建設に関する基本計画の変更に対する知事の意見について
- 12 陳情平成20年第64号の2、同第68号、同第72号、同第115号、同第133号、同第136号、同第137号の2、同第138号、同第149号、同第152号、同第160号、同第162号、同第183号、同第185号、同第187号、同第192号の2、同第201号の2、同第202号の2、陳情平成21年第18号、同第24号、同第33号、同第35号から同第37号まで、同第63号、同第74号の4、同第76号、同第90号、同第107号、同第109号、同第118号、同第119号、同第131号、同第134号、同第135号、同第140号、同第157号、同第158号、同第165号、同第166号、同第168号、同第172号、同第174号の3、同第181号、同第188号、同第190号、同第191号の3、同第194号の2、陳情第3号、第42号、第48号の2、第68号から第70号まで、第85号、第91号から第93号まで、第102号、第126号、第127号、第155号、第169号の2、第170号、第173号、第177号、第186号、第191号、第203号及び第205号
- 13 閉会中継続審査（調査）について
- 14 直轄国道の維持管理の充実等を求める意見書の提出について（追加議題）

出席

| | | |
|-----|---|-------|
| 委員 | 長 | 當山眞市君 |
| 副委員 | 長 | 照屋大河君 |
| 委員 | | 新垣良俊君 |
| | | 嶺井光君 |
| | | 池間淳君 |
| | | 新垣哲司君 |
| | | 高嶺善伸君 |
| | | 嘉陽宗儀君 |
| | | 大城一馬君 |

平良昭一君
新垣安弘君
吉田勝廣君

説明員の職、氏名

| | |
|-----------|--------|
| 文化環境部長 | 下地寛君 |
| 土木建築部長 | 仲田文昭君 |
| 土木整備統括監 | 当間清勝君 |
| 土木企画課長 | 喜瀬普一郎君 |
| 参事兼技術管理課長 | 末吉健作君 |
| 道路街路課長 | 金城淳君 |
| 道路管理課長 | 儀間朝範君 |
| 河川課長 | 濱元盛充君 |
| 海岸防災課長 | 名嘉真稔君 |
| 港湾課長 | 神田豪君 |
| 空港課長 | 伊佐実春君 |
| 下水道課長 | 宮城光秋君 |
| 住宅課長 | 渡久山盛清君 |
| 住宅課住宅管理監 | 我如古敏雄君 |
| 企業局長 | 宮城嗣三君 |

審査概要

甲第2号議案、乙第10号議案から乙第15号議案まで及び乙第21号議案から乙第23号議案までについて土木建築部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、甲第2号議案については、遠心脱水機を当初から整備していなかった理由、増設した場合の効果及び脱水した汚泥や処理水の活用方法、次年度以降の増設計画、国の緊急経済対策の効果等について質疑が行われた。

乙第10号議案については、伊良部大橋橋梁整備工事における上部工工事の今後の予定、入札参加業者数及び入札参加要件と落札者の決定方法、トンネル工事等における県内業者の対応の可否、入札保証金免除のあり方等について質疑が行われた。

乙第11号議案及び乙第12号議案については、質疑なし。

乙第13号議案については、違約金等に関する調停が成立した企業における賠償金の支払い状況、調停を申し出ない企業数とその主な理由、今後の対応策等について質疑が行われた。

乙第14号議案については、金武湾港宇堅海浜公園の管理費用額及びそれに係る財源、指定管理者選考結果に対する不安、同制度が実施された以降の県民等からの不満の声、これまでの指定管理者

が応募しなかった理由、指定管理者予定企業の法人形態と会社設立の目的、今後の指定管理者制度のあり方等について質疑が行われた。

乙第15号議案については、中城湾港安座真海浜公園の指定管理者予定企業に対する懸念と事業実績、次点者の点数、実績がある団体に対する点数加算の有無、今後の指定管理者制度の検討課題等について質疑が行われた。

乙第21号議案については、具体的な事業内容、本事業を県が代行した後の管理、事業実施による大宜味村の負担、塩屋処理区の計画処理人口と計画汚水量、汚水再生ちゅら水プランとの関係等について質疑が行われた。

乙第22号議案については、流域下水道の建設に要する負担金の算出方法、今後の負担率変更、改定による流域3市村の負担率、沖縄市とうるま市の下水道接続率、国庫補助金の割合等について質疑が行われた。

乙第23号議案については、事業の工期が延びた理由、漢那ダム及び億首ダムの事業費、ダム建設後に管理を県に移管することの可能性、県と国の建設費負担割合等について質疑が行われた。

次に、甲第5号議案について企業局長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、甲第5号

議案については、名護・本部送水施設の老朽化の状況、今後の耐震化に向けた取り組み、送水管の耐用年数と責任分界点との関係等について質疑が行われた。

次に、陳情49件について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情1件について企業局長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情22件について文化環境部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、乙第14号議案に対して、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案11件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情70件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

なお、「直轄国道の維持管理の充実等を求める意見書」を別掲のとおり提出することになった。

土木文化環境委員会議案処理一覧表

イ 処理（11件）

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|-------|---------------------------------|--------------|
| 甲第2号 | 平成22年度沖縄県下水道事業特別会計補正予算（第2号） | 全会一致 原案可決 |
| 甲第5号 | 甲第5号議案 平成22年度沖縄県水道事業会計補正予算（第1号） | 〃 |
| 乙第10号 | 工事請負契約について | 全会一致 可決 |
| 乙第11号 | 工事請負契約についての議決内容の一部変更について | 〃 |
| 乙第12号 | 工事請負契約についての議決内容の一部変更について | 〃 |
| 乙第13号 | 違約金存否確認等請求調停事件の調停について | 〃 |
| 乙第14号 | 指定管理者の指定について | 多数 可決 |

| 議案番号 | 議案名 | 議決の結果 |
|-------|--|------------|
| 乙第15号 | 指定管理者の指定について | 全会一致 可決 |
| 乙第21号 | 公共下水道の幹線管渠等の設置に係る事業の執行に伴う負担金の徴収について | 〃 |
| 乙第22号 | 流域下水道の建設事業執行に伴う負担金の徴収についての議決内容の一部変更について | 〃 |
| 乙第23号 | 国土交通大臣の作成する漢那ダム及び億首ダムの建設に関する基本計画の変更に対する知事の意見について | 〃 |

土木文化環境委員会陳情処理一覧表

イ 処理（陳情3件）

| 陳情番号 | 受理年月日 | 件名 | 陳情者名 | 審査の結果 | 措置 |
|---------------|----------------|---|----------------------------|-------|------------------------------|
| 第190号 （継続） | 平成21年 10月6日 | 男女共同参画の活動拠点施設「宜野湾市人材育成交流センターめぶき」の増築等への財政的支援に関する陳情 | 宜野湾市女性団体連絡協議会 会長 屋良 千枝美 | 採択 | 会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（知事） |
| 第127号 （継続） | 平成22年 6月21日 | 南風原中央線街路整備事業に係る当社所有の物件補償に関する協議書に対する陳情 | 合資会社 赤嶺産業 代表者 赤嶺 初枝 | 〃 | 〃 |
| 第203号 | 平成22年 12月9日 | 道路維持管理費に係る財源確保に関する陳情 | 南風原町長 城間 俊安 | 〃 | 〃 |

土木文化環境委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- 1 陳情平成20年第64号 「戦争のできる国民づくり」教育に反対する陳情
- 2 陳情平成20年第68号 東部海浜開発（泡瀬埋立）事業の中止を求める陳情
- 3 陳情平成20年第72号 沖広産業の産業廃棄物安定型最終処分場内におけるクロルデン類等汚染の浄化と、営業許可の更新を認めないことを求める陳情
- 4 陳情平成20年第115号 港湾区域内の水域占用許可に関する陳情
- 5 陳情平成20年第133号 「住宅供給公社の共益費徴収業務」に関する陳情
- 6 陳情平成20年第136号 浦添の美しい景観と安心
- ・安全で安らぎのある生活環境を求める陳情
- 7 陳情平成20年第137号の2 サンゴの保護に関する陳情
- 8 陳情平成20年第138号 古島団地の建てかえに関する陳情
- 9 陳情平成20年第149号 産業廃棄物処理場の撤去を求める陳情
- 10 陳情平成20年第152号 公共工事の不払いに関する陳情
- 11 陳情平成20年第160号 那覇伊平屋航空路線開設に関する陳情
- 12 陳情平成20年第162号 「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」の採択を求める陳情
- 13 陳情平成20年第183号 泡瀬裁判の控訴断念を議決するよう求める陳情

- 14 陳情平成20年第185号 泡瀬干潟埋立事業公金支出差止訴訟判決に対する控訴を断念し泡瀬干潟の保全を求める陳情
- 15 陳情平成20年第187号 沖縄美ら海再生に関する陳情
- 16 陳情平成20年第192号の2 第60回九州地区地域婦人大会及び平成20年度全地婦連九州ブロック会議の決議に関する陳情
- 17 陳情平成20年第201号の2 吉の浦火力発電所電源開発に伴う海域環境調査に関する陳情
- 18 陳情平成20年第202号の2 建設業界の窮状に関する陳情
- 19 陳情平成21年第18号 泡瀬干潟裁判の控訴費用及び泡瀬埋立関連の予算の削除に関する陳情
- 20 陳情平成21年第24号 公共事業の早期発注並びに建設工事入札における最低制限価格の引上げに関する陳情
- 21 陳情平成21年第33号 読谷村産業廃棄物安定型最終処分場問題をめぐる行政処分に関する陳情
- 22 陳情平成21年第35号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 23 陳情平成21年第36号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 24 陳情平成21年第37号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 25 陳情平成21年第63号 ヤンバルの森全体の環境調査の実施と沖縄県アセス条例の改正を求める陳情
- 26 陳情平成21年第74号の4 平成21年度「離島・過疎地域振興に関する要望事項」に関する陳情
- 27 陳情平成21年第76号 県道、与那国島線祖納集落内217号線の拡張に関する陳情
- 28 陳情平成21年第90号 「豊崎プロジェクト」に関する陳情
- 29 陳情平成21年第107号 「気候保護法(仮称)」の制定を求める陳情
- 30 陳情平成21年第109号 公共工事に係る工賃の支払いに関する陳情
- 31 陳情平成21年第118号 安謝川河川改修工事に関する陳情
- 32 陳情平成21年第119号 安謝川河川改修工事に関する陳情
- 33 陳情平成21年第131号 EMで海や川の環境を守ることにに関する陳情
- 34 陳情平成21年第134号 沖縄県の公共的土木建築物でEMを活用することに関する陳情
- 35 陳情平成21年第135号 沖縄県の下水处理場(浄化センター)にEMを活用することに関する陳情
- 36 陳情平成21年第140号 泡瀬干潟埋立事業の中止の決議を可決することに関する陳情
- 37 陳情平成21年第157号 開南交差点に面するポケットパーク設置に関する陳情
- 38 陳情平成21年第158号 県道222号線拡幅整備事業(開南バス停付近)の一部変更に関する陳情
- 39 陳情平成21年第165号 文書での回答が公務員としての務めであることに関する陳情
- 40 陳情平成21年第166号 宅地建物取引業法第36条及び関連法案に関する陳情
- 41 陳情平成21年第168号 中城湾港泡瀬地区埋立事業の早期完成と東部海浜開発事業の推進に関する陳情
- 42 陳情平成21年第172号 泡瀬干潟埋立中止に向けた取り組みに関する陳情
- 43 陳情平成21年第174号の3 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等を活用した中小業者支援に関する陳情
- 44 陳情平成21年第181号 安謝川河川改修工事に伴う福祉施設運営に支障がないよう求める陳情
- 45 陳情平成21年第188号 中城湾港新港地区東埠頭の早期整備促進及び定期船の就航強化促進に関する陳情
- 46 陳情平成21年第191号の3 じん肺被災者の早期救済を図る「トンネルじん肺基金」の創設とじん肺やアスベスト被害の根絶を求める陳情
- 47 陳情平成21年第194号の2 平成21年度中城湾港(新港地区)振興に関する陳情
- 48 陳情第3号 大里城跡都市公園計画に係る土地収用補償金の範囲に関する陳情
- 49 陳情42号 日本軍「慰安婦」問題の解決を目指す法制を求める陳情
- 50 陳情第48号の2 非婚母子世帯に寡婦控除をみなし適用し、他の母子世帯と同等の生活水準を確保・支援することを求める陳情
- 51 陳情第68号 沖縄環境産業の産業廃棄物関連許可の取り消しを求める陳情
- 52 陳情第69号 沖縄環境産業の産業廃棄物関連許可の取り消しに関する陳情
- 53 陳情第70号 東部海浜開発事業の早期実現に関する陳情

- する陳情
- 54 陳情第85号 県道平良下地島空港線（乗瀬橋）の整備促進に関する陳情
- 55 陳情第91号 伊是名村の振興発展に関する陳情
- 56 陳情第92号 伊平屋・伊是名架橋の早期実現に関する陳情
- 57 陳情第93号 野甫港ターミナル施設整備に関する陳情
- 58 陳情第102号 人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情
- 59 陳情第126号 絶滅危惧種等の交通事故防止に関する陳情
- 60 陳情第155号 日本軍「慰安婦」問題の早期解決のための意見書採択を求める陳情
- 61 陳情第169号の2 竹富町観光振興に関する陳情
- 62 陳情第170号 竹富町生活保全航路安全整備に関する陳情
- 63 陳情第173号 イベント広場と周辺の整備事業による地域活性化に関する陳情
- 64 陳情第177号 沖縄市の「東部海浜開発事業」（土地利用計画沖縄市案）を撤回させるよう求める陳情
- 65 陳情第186号 推進工事の下請業者を含む県内企業優先活用に関する陳情
- 66 陳情第191号 県営真喜良団地、県営真喜良第二団地及び県営新川団地の改築を求める陳情
- 67 陳情第205号 沖縄県の生物多様性に関する地域戦略の作成に関する陳情
- 68 道路、橋梁の整備事業について（所管事務調査）
- 69 港湾の整備事業について（所管事務調査）
- 70 空港の整備事業について（所管事務調査）
- 71 河川、海岸及び砂防の整備事業について（所管事務調査）
- 72 都市計画事業について（所管事務調査）
- 73 上下水道事業について（所管事務調査）
- 74 住宅環境の改善について（所管事務調査）
- 75 都市モノレールの整備事業について（所管事務調査）
- 76 建築関係について（所管事務調査）
- 77 消費者保護及び県民生活について（所管事務調査）
- 78 県民文化について（所管事務調査）
- 79 交通安全問題について（所管事務調査）
- 80 公害防止及び環境保全について（所管事務調査）

81 平和及び男女共同参画について（所管事務調査）

直轄国道の維持管理の充実等を求める意見書

政府は、昨年行政刷新会議の結果を踏まえ、平成22年度予算のうち直轄国道の維持管理のための予算を大幅に削減するとともに、これまで地域ごとにばらつきのあった巡回、清掃、除草、剪定等の各作業に対し、全国統一の維持管理基準を設定し運用することを決定した。

これに伴い、これまで年二、三回程度実施していた除草作業が原則として年1回に、また年1回程度実施していた高木・中低木の剪定が原則として3年に1回程度に減らされることになった。

その結果、沖縄本島内の国道や中央分離帯、歩道では草木が生い茂って、歩行者や運転手の視界を遮り、安全な歩行や運転に支障が生じ、県民の安全、安心を確保する上で重大な影響を及ぼしている。

また、本県は観光立県を目指し、景観の向上にさまざまな取り組みを行っているところであるが、その一方で、このような景観の悪化が生じることは、自然の美しさに引かれて訪れた観光客にとって大きなイメージダウンにつながるものであり、早急な対策が求められているところである。

本県は、亜熱帯性気候という特性から植物の成長が早く、雑草の繁殖力が旺盛であり、他都道府県と同一の基準をそのまま一律に適用することは、到底納得できるものではない。

よって、政府におかれては、地域の実情及び特性を踏まえ、下記の事項について十分配慮するよう強く要請する。

記

- 1 直轄国道の維持管理に当たっては、県民及び観光客の快適で安全、安心な通行等を確保することを最優先とし、維持管理の充実及び強化のため、十分な事業費の確保を図ること。
 - 2 地域の実情及び特性に応じた制度や基準を導入するとともに、必要な財源措置を講じること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年12月22日

沖縄県議会

内閣総理大臣
財務大臣
国土交通大臣
沖縄及び北方対策担当大臣

あて

米軍基地関係特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年12月15日(水曜日)

開会 午後3時36分
散会 午後4時13分
場所 第4委員会室
議題

- 1 軍使用土地、基地公害、演習等米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立（仙谷由人内閣官房長官の発言について）

出席

| | |
|------|------------|
| 委員長 | 渡嘉敷 喜代子 さん |
| 副委員長 | 桑江 朝千夫 君 |
| 委員 | 吉元 義彦 君 |
| | 仲田 弘毅 君 |
| | 具志孝助 君 |
| | 照屋大河 君 |
| | 前田政明 君 |
| | 上原章 君 |
| | 新垣清涼 君 |
| | 玉城満 君 |
| | 山内末子 さん |
| | 吉田勝廣 君 |

審査概要

仙谷由人内閣官房長官の発言について協議が行われた。

(2)

◎平成22年12月16日(木曜日)

開会 午後6時14分
散会 午後6時16分
場所 第4委員会室
議題

- 1 審査日程について

出席

| | |
|------|------------|
| 委員長 | 渡嘉敷 喜代子 さん |
| 副委員長 | 桑江 朝千夫 君 |
| 委員 | 吉元 義彦 君 |
| | 仲田 弘毅 君 |
| | 具志孝助 君 |
| | 照屋大河 君 |
| | 前田政明 君 |
| | 上原章 君 |
| | 新垣清涼 君 |
| | 玉城満 君 |
| | 山内末子 さん |
| | 吉田勝廣 君 |

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(3)

◎平成22年12月20日(月曜日)

開会 午前10時4分
散会 午後4時31分
場所 第4委員会室
議題

- 1 請願平成20年第1号、陳情平成20年第36号、同第88号、同第89号、同第94号、同第102号、同第204号、陳情平成21年第42号、同第46号、同第51号、同第79号、同第82号、同第114号、同第125号、同第151号、同第154号、同第161号、同第169号、同第185号から同第187号まで、同第195号、陳情第26号、第45号、第50号、第79号、第80号、第86号、第117号、第149号、第150号、第166号、第167号、第184号、第187号、第195号から第198号まで及び第201号
- 2 軍使用土地、基地公害、演習等米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立（日米共同統合演習について）
- 3 閉会中継続審査（調査）について
- 4 日米共同統合演習に伴う爆音被害等に関する抗議決議の提出について（追加議題）

出席

| | |
|------|------------|
| 委員長 | 渡嘉敷 喜代子 さん |
| 副委員長 | 桑江 朝千夫 君 |
| 委員 | 吉元 義彦 君 |
| | 仲田 弘毅 君 |
| | 具志孝助 君 |

照屋大河君
前田政明君
上原章君
新垣清涼君
玉城満君
山内末子さん
吉田勝廣君

説明員の職、氏名

知事公室長 又吉進君
基地対策課長 親川達男君
文化環境部
環境企画統括監 金城康政君
環境保全課長 西浜完治君
農林水産部
農漁村基盤統括監 知念武君
土木建築部
土木整備統括監 当間清勝君
教育庁
教育指導統括監 大城浩君
教育庁文化課長 大城慧君
警察本部生活安全部
生活保安課長 並里博君
警察本部刑事部
捜査第一課長 高嶺隆喜君
警察本部交通部長 北川秀行君

審査概要

請願1件及び陳情39件について知事公室長、文化環境部環境企画統括監、農林水産部農漁村基盤統括監、土木建築部土木整備統括監、教育庁教育指導統括監、文化課長、警察本部刑事部捜査第一課長及び交通部長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、日米共同統合演習について、知事公室長の説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、請願1件及び陳情39件を採決した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

なお、「日米共同統合演習に伴う爆音被害等に関する抗議決議」を別掲のとおり提出することになった。

**米軍基地関係特別委員会
閉会中継続審査(調査)事件一覧**

- 1 請願平成20年第1号 新基地建設に関する請願
- 2 陳情平成20年第36号 キャンプ・ハンセン内レンジ3射撃場建設の即時中止を求める陳情
- 3 陳情平成20年第88号 「高江区周辺域におけるヘリパッド建設中止と計画撤回」の決議を求める陳情
- 4 陳情平成20年第89号 普天間飛行場代替施設(新基地)建設事業に係るアセス手続及び「環境現況調査」並びにキャンプ・シュワブ内における「造成」工事等に関する陳情
- 5 陳情平成20年第94号 キャンプ・ハンセン内への訓練用コンテナ搬入に関する陳情
- 6 陳情平成20年第102号 沖縄の米軍基地再編・新基地建設に反対する陳情
- 7 陳情平成20年第204号 普天間飛行場代替施設(新基地)建設事業等の中止を求める陳情
- 8 陳情平成21年第42号 「在沖米海兵隊のグアム移転に係る協定」に反対し、基地の無条件撤去に向けた日米両政府の協議を要求する意見書の採択を求める陳情
- 9 陳情平成21年第46号 「米軍再編協定」(「在沖米海兵隊のグアム移転に関する協定」)に反対する意見書の採択を求める陳情
- 10 陳情平成21年第51号 米軍実弾射撃訓練被弾事件に関する陳情
- 11 陳情平成21年第79号 ヘリパッド建設反対に関する陳情
- 12 陳情平成21年第82号 在沖縄米海兵隊のグアム「移転」に関する協定及び新基地の建設に反対する陳情
- 13 陳情平成21年第114号 辺野古新基地建設を押しつける「在沖海兵隊グアム移転協定」に関する陳情
- 14 陳情平成21年第125号 「普天間」代替基地建設工事等の中止を求める陳情
- 15 陳情平成21年第151号 在沖米軍人の基地内居住義務化と基地内住宅の建設計画の中止を求める陳情
- 16 陳情平成21年第154号 日米地位協定にかかわる裁判権放棄の日米密約の公表と破棄を日本政府に求める意見書採択の陳情
- 17 陳情平成21年第161号 「高江区周辺域におけるヘリパッド建設中止と計画撤回」を含む4項目の

決議を求める陳情

- 18 陳情平成21年第169号 「普天間基地の即時閉鎖・辺野古新基地建設反対！9・18県民集会」決議に関する陳情
- 19 陳情平成21年第185号 県当局に「普天間」代替基地建設事業(埋立事業)に係るアセス評価書についても県アセス審査会に審査させることを求める陳情
- 20 陳情平成21年第186号 「普天間」代替基地建設事業に係るアセス評価書作成前の事業者見解の提出・公表と公聴会開催を求める陳情
- 21 陳情平成21年第187号 「普天間」代替基地建設事業に係るアセスメントの検証を求める陳情
- 22 陳情平成21年第195号 在沖米軍基地の機能強化及び新たな基地建設に反対する陳情
- 23 陳情第26号 「座り込み住民弾圧裁判への抗議」を含む3項目の決議を求める陳情
- 24 陳情第45号 米空軍外来機等と航空自衛隊との合同訓練に反対する陳情
- 25 陳情第50号 沖縄基地問題に関する決議の陳情
- 26 陳情第79号 F15戦闘機の実験機による落下に対する陳情
- 27 陳情第80号 F18戦闘攻撃機等外来機の飛来及び訓練に対する陳情
- 28 陳情第86号 F18戦闘攻撃機等外来機の大半飛来に反対し、訓練の中止を求める陳情
- 29 陳情第117号 F22Aラプター戦闘機の嘉手納基地への飛来に反対し、訓練の中止を求める陳情
- 30 陳情第149号 「普天間」代替基地建設事業の中止等を求める陳情
- 31 陳情第150号 「米海兵隊北部訓練場ヘリパッド建設中止と計画撤回、住民起訴に対する抗議」を含む4項目の決議を求める陳情
- 32 陳情第166号 速やかな普天間基地の閉鎖を求める陳情
- 33 陳情第167号 F18戦闘攻撃機等外来機の大半飛来に抗議し、爆音被害の解消に関する陳情
- 34 陳情第184号 「普天間」代替基地の規模が巨大化するに至った経緯の解明を求める陳情
- 35 陳情第187号 垂直離着陸輸送機MV22オスプレイ沖縄配備に反対する陳情
- 36 陳情第195号 F18戦闘攻撃機によるクラスター弾搭載投下訓練に対する陳情
- 37 陳情第196号 航空機ジェット燃料流出事故に対

する陳情

- 38 陳情第197号 嘉手納基地滑走路改修工事に伴う爆音問題と公害問題に対する陳情
- 39 陳情第198号 垂直離着陸輸送機MV22オスプレイ沖縄配備計画の撤回を求める陳情
- 40 陳情第201号 「沖縄県内へのオスプレイ配備反対と東村高江ヘリパッド建設中止」の決議を求める陳情
- 41 軍使用土地、基地公害、演習等米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立

日米共同統合演習に伴う爆音被害等に関する抗議決議

去る12月3日から10日までの8日間にわたり実施された日米共同統合演習は、日米両国から合計で約4万4500人、艦艇約60隻、航空機約400機が参加し、沖縄東方周辺の米軍訓練水域、空域及び在沖米軍基地等において強襲上陸作戦などの海上作戦や、沖縄本島に配備されたパトリオット・ミサイルによるミサイル防衛訓練、米軍機と自衛隊機による対空演習などを内容として、これまで類を見ない規模と内容で実施されたが、演習の実施に伴い、県民生活は各地域で深刻な影響をこうむった。

嘉手納飛行場では、米原子力空母の艦載機や自衛隊のF15戦闘機等による早朝からの訓練が繰り返され、離発着の際の爆音が相次いだことやエンジン調整による悪臭等が発生したことなどのため基地周辺の住民生活に多大な損害が生じた。特に嘉手納町屋良地域では70デシベル以上の1日平均爆音発生回数が昨年の1日113回を上回る135.4回が記録され、さらに嘉手納中学校では学力到達度調査や授業に支障を来すなど深刻な事態が発生した。

また、那覇空港においては航空貨物便のおくれによる被害が発生したとの報道もあり、県民全体の生活や経済活動に直接影響を与える深刻な事態となった。特に同演習が1年前から計画されていたことなどを考えると、日米両政府は演習の実施による県民への影響や負担についてもっと真摯に検討・配慮すべきである。

よって、本県議会は、県民の生命、安全及び生活環境を守る立場から、県内での訓練・演習の激化と基地負担のさらなる増加につながる今回の日米共同

統合演習に強く抗議する。
上記のとおり決議する。
平成22年12月22日

沖 縄 県 議 会

内閣総理大臣
外務大臣
防衛大臣
沖縄及び北方対策担当大臣
駐日米国大使
在日米軍司令官
在日米軍沖縄地域調整官
在沖米国総領事

あて

観光振興・新石垣空港 建設促進特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年12月16日(木曜日)

開 会 午後6時13分
散 会 午後6時18分
場 所 第5委員会室
議 題

1 審査日程について

出 席

| | |
|-------|------------|
| 委 員 長 | 比 嘉 京 子 さん |
| 委 員 | 座喜味 一 幸 君 |
| | 新 垣 良 俊 君 |
| | 嶺 井 光 君 |
| | 仲宗根 悟 君 |
| | 玉 城 ノブ子 さん |
| | 金 城 勉 君 |
| | 平 良 昭 一 君 |
| | 新 垣 安 弘 君 |

欠 席

| | |
|--|------------|
| | 辻 野 ヒロ子 さん |
| | 高 嶺 善 伸 君 |

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年12月20日(月曜日)

開 会 午前10時2分
散 会 午後0時15分
場 所 第5委員会室
議 題

- 1 陳情平成21年第75号、同第136号、同第141号、陳情第44号、第156号、第159号、第168号の3、第172号及び第191号
- 2 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立（平成22年度観光統計実態調査（空港アンケート調査）中間報告について）
- 3 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立（新石垣空港整備事業の進捗状況について）
- 4 閉会中継続審査（調査）について
- 5 視察調査日程について（追加議題）

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 比 嘉 京 子 さん |
| 副 委 員 長 | 辻 野 ヒロ子 さん |
| 委 員 | 座喜味 一 幸 君 |
| | 新 垣 良 俊 君 |
| | 嶺 井 光 君 |
| | 仲宗根 悟 君 |
| | 高 嶺 善 伸 君 |
| | 玉 城 ノブ子 さん |
| | 金 城 勉 君 |
| | 平 良 昭 一 君 |
| | 新 垣 安 弘 君 |

説明員の職、氏名

| | |
|---------|-----------|
| 観光商工部長 | 勝 目 和 夫 君 |
| 観光企画課長 | 下 地 芳 郎 君 |
| 観光振興課長 | 嵩 原 安 伸 君 |
| 土木建築部長 | 仲 田 文 昭 君 |
| 新石垣空港課長 | 神 村 美 州 君 |

審査概要

陳情5件について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、平成22年度観光統計実態調査（空港アンケート調査）中間報告について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情5件について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、新石垣空港の整備事業の進捗状況について

て土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情9件を採決した。

次に、閉会中継続審査(調査)については、別掲のとおり決定した。

次に、視察調査日程について協議し、決定した。

観光振興・新石垣空港 建設促進特別委員会 閉会中継続審査(調査)事件一覧

- 1 陳情平成21年第75号 新空港の名称を「八重山空港」とすることに関する陳情
- 2 陳情平成21年第136号 EMを新しい観光資源として導入することに関する陳情
- 3 陳情平成21年第141号 沖縄県の政策を新しい観光資源として導入することに関する陳情
- 4 陳情第44号 沖縄県におけるカジノ構想に反対する陳情
- 5 陳情第156号 新石垣空港におけるC I Q施設整備に関する陳情
- 6 陳情第159号 新石垣空港におけるC I Q施設の整備に関する陳情
- 7 陳情第168号の3 八重山観光振興に関する陳情
- 8 陳情第172号 うるま市にカジノを誘致することに関する陳情
- 9 陳情第191号 新石垣空港の開港と同時の全面供用開始を求める陳情
- 10 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立

沖縄振興・那覇空港 整備促進特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成22年12月16日(木曜日)

開 会 午後6時11分
散 会 午後6時15分
場 所 第6委員会室
議 題

1 審査日程について

出 席

| | |
|-------|------------|
| 委 員 長 | 当 銘 勝 雄 君 |
| 委 員 | 照 屋 守 之 君 |
| | 翁 長 政 俊 君 |
| | 浦 崎 唯 昭 君 |
| | 仲 村 未 央 さん |
| | 渡久地 修 君 |
| | 糸 洲 朝 則 君 |
| | 奥 平 一 夫 君 |
| | 赤 嶺 昇 君 |
| | 上 里 直 司 君 |
| | 玉 城 義 和 君 |

欠 席

島 袋 大 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成22年12月20日(月曜日)

開 会 午前10時4分

散 会 午後0時9分

場 所 第7委員会室

議 題

- 1 陳情平成20年第167号及び同第193号
- 2 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立(新たな沖縄振興のための制度提言について)
- 3 閉会中継続審査(調査)について

出 席

| | |
|---------|------------|
| 委 員 長 | 当 銘 勝 雄 君 |
| 副 委 員 長 | 島 袋 大 君 |
| 委 員 | 翁 長 政 俊 君 |
| | 浦 崎 唯 昭 君 |
| | 仲 村 未 央 さん |
| | 渡久地 修 君 |
| | 糸 洲 朝 則 君 |
| | 奥 平 一 夫 君 |
| | 赤 嶺 昇 君 |
| | 上 里 直 司 君 |
| | 玉 城 義 和 君 |

欠 席

照 屋 守 之 君

説明員の職、氏名

| | |
|---------------------|-------|
| 企画部長 | 川上好久君 |
| 福祉保健部青少年 ・児童家庭課長 | 田端一雄君 |
| 観光商工部 産業政策課長 | 安里肇君 |
| 観光商工部情報 産業振興課長 | 米須清光君 |
| 教育庁総務課 教育企画監 | 賀数卓君 |

審査概要

陳情2件について企画部長から説明を聴取した。
次に、新たな沖縄振興のための制度提言について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情2件を採決した。

次に、閉会中継続審査(調査)については、別掲のとおり決定した。

沖縄振興・那覇空港 整備促進特別委員会 閉会中継続審査(調査)事件一覧

- 1 陳情平成20年第167号 第二次返還特措法の制定に関する陳情
- 2 陳情平成20年第193号 那覇空港拡張整備計画に関する陳情
- 3 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立

議案の会期別委員会別付託・処理内訳

平成22年沖縄県議会委員会別議案処理一覧表（年間）

| 区 分 委員会別 | 委員会別付託内訳 | | | | | | | 合 計 | 委員会別処理内訳 | | | | | | | |
|------------------------------|----------|--------|------------------|--------|-------------|--------|------------------|--------|----------|--------|--------|--------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | 予 算 | 条 例 | 議 決 事 件 | 決 算 | 意 見 書 | 決 議 | 調 査 の 件 | | 可 決 | 否 決 | 同 意 | 承 認 | 修 正 議 決 | 審 査 未 了 | 議 決 不 要 | 継 続 審 査 |
| 総務企画 | 4 | 23 | 15 | | | | | 42 | 31 | 1 | 7 | 2 | | | | 1 |
| 経済労働 | 1 | 5 | 2 | | | | | 8 | 8 | | | | | | | |
| 文教厚生 | 1 | 12 | 3 | | | | | 16 | 14 | 1 | | | | | | 2 |
| 土木文化環境 | 3 | 4 | 25 | | | | | 32 | 31 | | | 1 | | | | 1 |
| 米軍基地関係特別 観光振興・新石垣空港建設促進特別 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 沖縄振興・那覇空港整備促進特別 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算特別 | 33 | | | | | | | 33 | 33 | | | | | | | |
| 決算特別 | | | | 23 | | | | 23 | 23 | | | | | | | |
| 合 計 | 42 | 44 | 45 | 23 | | | | 154 | 140 | 2 | 7 | 2 | 1 | | | 4 |

平成22年第1回沖縄県議会（定例会）議案処理一覧表

| 区 分 委員会別 | 委員会別付託内訳 | | | | | | | 合 計 | 委員会別処理内訳 | | | | | | | |
|------------------------------|----------|--------|------------------|--------|-------------|--------|------------------|--------|----------|--------|--------|--------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | 予 算 | 条 例 | 議 決 事 件 | 決 算 | 意 見 書 | 決 議 | 調 査 の 件 | | 可 決 | 否 決 | 同 意 | 承 認 | 修 正 議 決 | 審 査 未 了 | 議 決 不 要 | 継 続 審 査 |
| 総務企画 | | 10 | 3 | | | | | 13 | 12 | | 1 | | | | | |
| 経済労働 | | 5 | | | | | | 5 | 5 | | | | | | | |
| 文教厚生 | | 6 | | | | | | 6 | 5 | 1 | | | | | | |
| 土木 | | 4 | 8 | | | | | 12 | 11 | | | | | | | 1 |
| 米軍基地関係特別 観光振興・新石垣空港建設促進特別 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 沖縄振興・那覇空港整備促進特別 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算特別 | 33 | | | | | | | 33 | 33 | | | | | | | |
| 決算特別 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 33 | 25 | 11 | | | | | 69 | 66 | 1 | 1 | | | | | 1 |

（注）議員提出の条例1件、意見書5件及び決議5件は委員会付託を省略し可決した。

平成22年第2回沖縄県議会（定例会）議案処理一覧表

| 区 分 委員会別 | 委員会別付託内訳 | | | | | | | 合 計 | 委員会別処理内訳 | | | | | | |
|---|----------|--------|------------------|--------|-------------|--------|------------------|--------|----------|--------|--------|--------|------------------|------------------|------------------|
| | 予 算 | 条 例 | 議 決 事 件 | 決 算 | 意 見 書 | 決 議 | 調 査 の 件 | | 可 決 | 否 決 | 同 意 | 承 認 | 修 正 議 決 | 審 査 未 了 | 議 決 不 要 |
| 総務企画 | 1 | 5 | 8 | | | | | 14 | 7 | 1 | 4 | 2 | | | |
| 経済労働 | | | 1 | | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| 文教厚生 | | 3 | | | | | | 3 | 3 | | | | | | |
| 土木文化環境 | | 1(1) | 1 | | | | | 2(1) | 1 | | | 1(1) | | | |
| 米軍基地関係特別 観光振興・新石垣空港建設促進特別 沖縄振興・那覇空港整備促進特別 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算特別 決算特別 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 1 | 9(1) | 10 | | | | | 20(1) | 12 | 1 | 4 | 2 | 1(1) | | |

(注) 議員提出の意見書6件及び決議2件は委員会付託を省略し可決した。

(注) カッコ内は前定例会からの継続議案で内数である。

平成22年第4回沖縄県議会（定例会）議案処理一覧表

| 区 分 委員会別 | 委員会別付託内訳 | | | | | | | 合 計 | 委員会別処理内訳 | | | | | | |
|---|----------|--------|------------------|--------|-------------|--------|------------------|--------|----------|--------|--------|--------|------------------|------------------|------------------|
| | 予 算 | 条 例 | 議 決 事 件 | 決 算 | 意 見 書 | 決 議 | 調 査 の 件 | | 可 決 | 否 決 | 同 意 | 承 認 | 修 正 議 決 | 審 査 未 了 | 議 決 不 要 |
| 総務企画 | 2 | | 2 | | | | | 4 | 2 | | 2 | | | | |
| 経済労働 | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 文教厚生 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 土木文化環境 | 1 | | 7 | | | | | 8 | 8 | | | | | | |
| 米軍基地関係特別 観光振興・新石垣空港建設促進特別 沖縄振興・那覇空港整備促進特別 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算特別 決算特別 | | | | | 23 | | | 23 | | | | | | | 23 |
| 合計 | 3 | 1 | 9 | 23 | | | | 36 | 10 | | 2 | | | | 24 |

(注) 議員提出の意見書3件及び決議3件は委員会付託を省略し可決した。

平成22年第5回沖縄県議会（臨時会）議案処理一覧表

| 区 分 委員会別 | 委員会別付託内訳 | | | | | | | 合 計 | 委員会別処理内訳 | | | | | | |
|---|----------|--------|------------------|--------|-------------|--------|------------------|--------|----------|--------|--------|--------|------------------|------------------|------------------|
| | 予 算 | 条 例 | 議 決 事 件 | 決 算 | 意 見 書 | 決 議 | 調 査 の 件 | | 可 決 | 否 決 | 同 意 | 承 認 | 修 正 議 決 | 審 査 未 了 | 議 決 不 要 |
| 総務企画 経済労働 文教厚生 土木文化環境 米軍基地関係特別 観光振興・新石垣空港建設促進特別 沖縄振興・那覇空港整備促進特別 予算特別 決算特別 | | 2 | | | | | 2 | 2 | | | | | | | |
| 合計 | | 2 | | | | | 2 | 2 | | | | | | | |

(注) 議員提出の条例1件及び意見書1件は委員会付託を省略し可決した。

平成22年第6回沖縄県議会（定例会）議案処理一覧表

| 区 分 委員会別 | 委員会別付託内訳 | | | | | | | 合 計 | 委員会別処理内訳 | | | | | | |
|---|----------|--------|------------------|--------|-------------|--------|------------------|--------|----------|--------|--------|--------|------------------|------------------|------------------|
| | 予 算 | 条 例 | 議 決 事 件 | 決 算 | 意 見 書 | 決 議 | 調 査 の 件 | | 可 決 | 否 決 | 同 意 | 承 認 | 修 正 議 決 | 審 査 未 了 | 議 決 不 要 |
| 総務企画 経済労働 文教厚生 土木文化環境 米軍基地関係特別 観光振興・新石垣空港建設促進特別 沖縄振興・那覇空港整備促進特別 予算特別 決算特別 | 1 | 6 | 2 | | | | 9 | 8 | | | | | | | 1 |
| | 1 | | 1 | | | | 2 | 2 | | | | | | | |
| | 1 | 3(1) | 3 | | | | 7(1) | 6(1) | | | | | | | 1 |
| | 2 | | 9 | | | | 11 | 11 | | | | | | | |
| | | | 23(23) | | | | 23(23) | 23(23) | | | | | | | |
| 合計 | 5 | 9(1) | 15 | 23(23) | | | 52(24) | 50(24) | | | | | | | 2 |

(注) 議員提出の意見書3件及び決議1件は委員会付託を省略し可決した。

(注) カッコ内は前定例会からの継続議案で内数である。

請願・陳情の会期別委員会別付託・処理内訳

平成22年沖縄県議会委員会別請願・陳情処理一覧表（年間）

| 区 分 委員会別 | 請 願 | | | | | | | | 陳 情 | | | | | | | | |
|------------------------------|------------------|-------------|---|--------|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------|------|--------|-------------|------------------|------------------|------------------|
| | 付託内訳 | | | 処理内訳 | | | | | 付託内訳 | | | 処理内訳 | | | | | |
| | 前 年 継 続 | 今 年 計 | | 採 択 | 不 採 択 | 審 査 未 了 | 継 続 審 査 | 取 り 下 げ | 前 年 継 続 | 付 託 替 年 | 今 年 計 | | 採 択 | 不 採 択 | 審 査 未 了 | 継 続 審 査 | 取 り 下 げ |
| 総務企画 | | | | | | | | | 56 | | 21 | 77 | 1 | | 19 | 57 | |
| 経済労働 | | | | | | | | | 19 | | 48 | 67 | 45 | 2 | | 20 | |
| 文教厚生 | | 1 | 1 | 2 | | | | | 97 | | 75 | 172 | 29 | | 3 | 126 | 1 |
| 土木文化環境 | | | | | | | | | 34 | | 23 | 57 | 2 | 3 | | 67 | |
| 米軍基地関係特別 観光振興・新石垣空港建設促進特別 | 1 | | 1 | | | | 1 | | 26 | | 39 | 65 | 25 | | | 39 | |
| 沖繩振興・那覇空港整備促進特別 | | | | | | | | | 3 | | 6 | 9 | | | | 9 | |
| 沖繩振興・那覇空港整備促進特別 | | | | | | | | | 2 | 1 | | 3 | | | | 2 | |
| 合 計 | 1 | 1 | 2 | 2 | | | 1 | | 237 | 1 | 212 | 450 | 102 | 5 | 22 | 320 | 1 |

平成22年第1回沖縄県議会（定例会）請願・陳情処理一覧表

| 区 分 委員会別 | 請 願 | | | | | | | | 陳 情 | | | | | | | | |
|------------------------------|------------------|-------------|---|--------|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------|------|--------|-------------|------------------|------------------|------------------|
| | 付託内訳 | | | 処理内訳 | | | | | 付託内訳 | | | 処理内訳 | | | | | |
| | 前 回 継 続 | 今 回 計 | | 採 択 | 不 採 択 | 審 査 未 了 | 継 続 審 査 | 取 り 下 げ | 前 回 継 続 | 付 託 替 回 | 今 回 計 | | 採 択 | 不 採 択 | 審 査 未 了 | 継 続 審 査 | 取 り 下 げ |
| 総務企画 | | | | | | | | | 56 | | 7 | 63 | | | 19 | 44 | |
| 経済労働 | | | | | | | | | 19 | | 10 | 29 | 3 | | | 26 | |
| 文教厚生 | | 1 | 1 | 1 | | | | | 97 | | 26 | 123 | 22 | | 3 | 98 | |
| 土木文化環境 | | | | | | | | | 34 | | 2 | 36 | | | | 36 | |
| 米軍基地関係特別 観光振興・新石垣空港建設促進特別 | 1 | | 1 | | | | 1 | | 26 | | 7 | 33 | 4 | | | 29 | |
| 沖繩振興・那覇空港整備促進特別 | | | | | | | | | 3 | | 1 | 4 | | | | 4 | |
| 沖繩振興・那覇空港整備促進特別 | | | | | | | | | 2 | | 1 | 3 | 2 | | | 1 | |
| 合 計 | 1 | 1 | 2 | 1 | | | 1 | | 237 | | 54 | 291 | 31 | | 22 | 238 | |

平成22年第2回沖縄県議会（定例会）請願・陳情処理一覧表

| 区 分 委員会別 | 請 願 | | | | | | | 陳 情 | | | | | | | | |
|--------------------|------------------|--------|---|---------|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---------|-------|--------|-------------|------------------|------------------|
| | 付 託 内 訳 | | | 処 理 内 訳 | | | | 付 託 内 訳 | | | 処 理 内 訳 | | | | | |
| | 前 回 継 続 | 今 回 | 計 | 採 択 | 不 採 択 | 審 査 未 了 | 継 続 審 査 | 取 り 下 げ | 前 回 継 続 | 付 託 替 回 | 今 回 | 計 | 採 択 | 不 採 択 | 審 査 未 了 | 継 続 審 査 |
| 総 務 企 画 | | | | | | | | 44 | | 8 | 52 | 1 | | | 51 | |
| 経 済 労 働 | | | | | | | | 26 | | 30 | 56 | 35(4) | | | 21 | |
| 文 教 厚 生 | | | | | | | | 85 | | 30 | 115 | | | | 114 | 1 |
| 土 木 文 化 環 境 | | | | | | | | 51 | | 11 | 62 | | | | 62 | |
| 米 軍 基 地 関 係 特 別 | 1 | | 1 | | | | 1 | 29 | | 19 | 48 | 14 | | | 34 | |
| 観光振興・新石垣空港建設促進特別 | | | | | | | | 4 | | | 4 | | | | 4 | |
| 沖縄振興・那覇空港整備促進特別 | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | 1 | |
| 合 計 | 1 | | 1 | | | | 1 | 240 | | 98 | 338 | 50(4) | | | 287 | 1 |

(注) 前会期終了時点における陳情の継続件数は238件であったが、4月1日付で文化環境部の所管を文教厚生委員会から土木文化環境委員会に変更したことに伴い、複数部局で共管していた陳情の中から文化環境部関連を分割した等により陳情件数が2件ふえ、前会期からの継続件数は240件となった。

平成22年第4回沖縄県議会（定例会）請願・陳情処理一覧表

| 区 分 委員会別 | 請 願 | | | | | | | 陳 情 | | | | | | | | |
|--------------------|------------------|--------|---|---------|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---------|-------|--------|-------------|------------------|------------------|
| | 付 託 内 訳 | | | 処 理 内 訳 | | | | 付 託 内 訳 | | | 処 理 内 訳 | | | | | |
| | 前 回 継 続 | 今 回 | 計 | 採 択 | 不 採 択 | 審 査 未 了 | 継 続 審 査 | 取 り 下 げ | 前 回 継 続 | 付 託 替 回 | 今 回 | 計 | 採 択 | 不 採 択 | 審 査 未 了 | 継 続 審 査 |
| 総 務 企 画 | | | | | | | | 51 | | 4 | 55 | | | | 55 | |
| 経 済 労 働 | | | | | | | | 21 | | 5 | 26 | 7(4) | | | 19 | |
| 文 教 厚 生 | | | | | | | | 114 | | 13 | 127 | 7 | | | 120 | |
| 土 木 文 化 環 境 | | | | | | | | 62 | | 6 | 68 | 2 | | | 66 | |
| 米 軍 基 地 関 係 特 別 | 1 | | 1 | | | | 1 | 33 | | 7 | 40 | 7 | | | 33 | |
| 観光振興・新石垣空港建設促進特別 | | | | | | | | 4 | | 4 | 8 | | | | 8 | |
| 沖縄振興・那覇空港整備促進特別 | | | | | | | | 1 | 1 | | 2 | | | | 2 | |
| 合 計 | 1 | | 1 | | | | 1 | 286 | 1 | 39 | 326 | 23(4) | | | 303 | |

(注) カッコ内は一部採択の陳情で内数である。

平成22年第6回沖縄県議会（定例会）請願・陳情処理一覧表

| 区 分 委員会別 | 請 願 | | | | | | | | 陳 情 | | | | | | | | |
|------------------------------|------------------|--------|---|--------|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------|------|--------|-------------|------------------|------------------|------------------|
| | 付託内訳 | | | 処理内訳 | | | | | 付託内訳 | | | 処理内訳 | | | | | |
| | 前 回 継 続 | 今 回 | 計 | 採 択 | 不 採 択 | 審 査 未 了 | 継 続 審 査 | 取 り 下 げ | 前 回 継 続 | 付 託 替 回 | 今 回 | 計 | 採 択 | 不 採 択 | 審 査 未 了 | 継 続 審 査 | 取 り 下 げ |
| 総務企画 | | | | | | | | | 55 | | 2 | 57 | | | | 57 | |
| 経済労働 | | | | | | | | | 19 | | 3 | 22 | | 2 | | 20 | |
| 文教厚生 | | | | | | | | | 120 | | 6 | 126 | | | | 126 | |
| 土木文化環境 | | | | | | | | | 66 | | 4 | 70 | | 3 | | 67 | |
| 米軍基地関係特別 観光振興・新石垣空港建設促進特別 | 1 | | 1 | | | | 1 | | 33 | | 6 | 39 | | | | 39 | |
| 観光振興・新石垣空港建設促進特別 | | | | | | | | | 8 | | 1 | 9 | | | | 9 | |
| 沖縄振興・那覇空港整備促進特別 | | | | | | | | | 2 | | | 2 | | | | 2 | |
| 合計 | 1 | | 1 | | | | 1 | | 303 | | 22 | 325 | | 5 | | 320 | |

会期別委員会日等一覽

会 期 別 委 員 会 日 等 一 覧 表

| 回 | 種別 | 会 期 | 開会中の委員会(日数) | 閉会中の委員会(日数) | 委員派遣 |
|-------|-------|-----------------------------------|--|---|--|
| 平成21年 | 第6回議会 | 定例会 21年 11.26 ～ 12.18 | | 総 企 2.3 (1日) 土 木 1.27 (1日) 沖振・那覇 1.8 (1日) | 文 厚 1.25 ～ 1.28 |
| 平成22年 | 第1回議会 | 定例会 22年 2.10 ～ 3.25 | 総 企 2.26 3.2 3.17 3.18 (4日) 経 労 2.26 3.2 3.17 3.18 (4日) 文 厚 2.26 3.2 3.17 3.18 (4日) 土 木 2.26 3.2 3.17 (3日) 軍 特 2.23 2.26 3.23 (3日) 観光・新石 2.26 3.23 (2日) 沖振・那覇 2.26 3.4 3.11 3.17 3.23 (5日) 予 算 2.26 3.1 3.2 3.5 3.8 3.9 3.10 3.11 3.12 3.15 3.16 3.23 (12日) | 経 労 5.17 (1日) 文 厚 6.7 (1日) 土 木 5.12 (1日) 軍 特 4.16 6.1 (2日) | 総 企 5.22 5.25 ～ 5.28 土 木 5.12 5.20 ～ 5.21 軍 特 4.16 |
| 平成22年 | 第2回議会 | 定例会 6.16 ～ 7.9 | 総 企 6.16 7.1 7.2 (3日) 経 労 7.1 7.2 (2日) 文 厚 7.1 7.2 7.5 (3日) 土 木 7.1 7.2 (2日) 軍 特 7.1 7.7 (2日) 観光・新石 7.1 7.7 (2日) 沖振・那覇 7.1 7.7 (2日) | 軍 特 8.25 (1日) 沖振・那覇 7.21 (1日) | 文 厚 7.14 |
| 平成22年 | 第4回議会 | 定例会 9.17 ～ 10.14 | 総 企 9.17 9.27 10.5 10.6 (4日) 経 労 10.5 10.6 10.12 (3日) 文 厚 9.22 10.5 10.6 10.7 (4日) 土 木 10.5 10.6 (2日) 軍 特 10.5 10.12 (2日) 観光・新石 10.5 10.12 (2日) 沖振・那覇 9.17 10.5 10.12 (3日) 決 算 10.5 (1日) | 経 労 11.2 (1日) 決 算 10.18 10.19 10.20 10.21 10.22 10.25 10.26 10.27 (8日) | |
| 平成22年 | 第5回議会 | 臨時議会 11.9 ～ 11.10 | 総 企 11.9 (1日) | | |
| 平成22年 | 第6回議会 | 定例会 12.10 ～ 12.22 | 総 企 12.16 12.17 (2日) 経 労 12.16 12.17 (2日) 文 厚 12.16 12.17 (2日) 土 木 12.16 12.17 (2日) 軍 特 12.15 12.16 12.20 (3日) 観光・新石 12.16 12.20 (2日) 沖振・那覇 12.16 12.20 (2日) | | |

会派別常任・議会運営・特別委員一覧

会派別・委員会別委員一覧表

平成22年6月16日現在

◎は委員長 ○は副委員長

| 会派 委員会 | 定数 | 自 民 党 | 社民・護憲初 | 共 産 党 | 公明県民会議 | 社大・結の会 | 改革の会 | 民 主 党 | 無 所 属 |
|--------------|-----|---------------------------------|-----------------|-----------------|--------------|--------------|-------|-------|-------|
| | | (16人) | (8人) | (5人) | (5人) | (5人) | (4人) | (3人) | (2人) |
| 総務企画 | 13人 | 島袋大 吉元義彦 照屋守之 浦崎唯昭 | 崎山嗣幸 新里米吉 | 前田政明 | 金城勉 糸洲朝則 | 新垣清涼 | ◎當間盛夫 | ○山内末子 | 玉城義和 |
| 経済労働 | 12人 | 中川京貴 座喜味一幸 辻野ヒロ子 具志孝助 | 仲宗根悟 当銘勝雄 | ◎渡久地修 ◎玉城ノブ子 | 前島明男 | ○瑞慶覧功 | 玉城満 | 上里直司 | |
| 文教厚生 | 11人 | 桑江朝千夫 佐喜真淳 仲田弘毅 翁長政俊 | ○仲村未央 渡嘉敷喜代子 | ○西銘純恵 | 上原章 | 奥平一夫 比嘉京子 | ◎赤嶺昇 | | |
| 土木 | 12人 | 新垣良俊 嶺井光 池間淳 新垣哲司 | ○照屋大河 高嶺善伸 | 嘉陽宗儀 | ◎當山眞市 | 大城一馬 | 平良昭一 | 新垣安弘 | 吉田勝廣 |
| 議会運営 | 13人 | ○佐喜真淳 照屋守之 嶺井光 翁長政俊 | 崎山嗣幸 新里米吉 | 渡久地修 前田政明 | 當山眞市 前島明男 | 大城一馬 | 當間盛夫 | 新垣安弘 | |
| 関係軍 特別地 | 12人 | 中川京貴 ○桑江朝千夫 吉元義彦 具志孝助 | 照屋大河 ◎渡嘉敷喜代子 | 前田政明 | 上原章 | 新垣清涼 | 玉城満 | 山内末子 | 吉田勝廣 |
| 空港建設 促進特別 | 11人 | 座喜味一幸 新垣良俊 ○辻野ヒロ子 新垣哲司 | 仲宗根悟 高嶺善伸 | 玉城ノブ子 | 金城勉 | ◎比嘉京子 | 平良昭一 | 新垣安弘 | |
| 空港整備 促進特別 | 12人 | ○島袋大 仲田弘毅 浦崎唯昭 池間淳 | ○仲村未央 ◎当銘勝雄 | 渡久地修 | 糸洲朝則 | 奥平一夫 | 赤嶺昇 | 上里直司 | 玉城義和 |

委員会関係条例・規則等

沖縄県議会委員会条例

| | | |
|----|-------------|--------|
| | 昭和47年5月15日 | 条例第61号 |
| 改正 | 昭和49年3月29日 | 条例第21号 |
| | 昭和51年7月2日 | 条例第23号 |
| | 昭和54年7月30日 | 条例第26号 |
| | 昭和58年3月31日 | 条例第25号 |
| | 昭和59年3月31日 | 条例第14号 |
| | 昭和59年6月28日 | 条例第18号 |
| | 昭和61年4月3日 | 条例第18号 |
| | 平成3年7月12日 | 条例第17号 |
| | 平成4年6月26日 | 条例第41号 |
| | 平成5年9月28日 | 条例第20号 |
| | 平成9年12月26日 | 条例第36号 |
| | 平成11年12月27日 | 条例第57号 |
| | 平成16年12月28日 | 条例第51号 |
| | 平成17年3月4日 | 条例第1号 |
| | 平成18年3月31日 | 条例第36号 |
| | 平成19年3月30日 | 条例第29号 |
| | 平成22年3月29日 | 条例第23号 |

(常任委員会の設置)

第1条 議会に常任委員会を置く。

(常任委員会の名称、委員定数及び所管)

第2条 常任委員会の名称、委員の定数及び所管は、次のとおりとする。

(1) 総務企画委員会 13人

知事公室、総務部、企画部、出納事務局、公安委員会、選挙管理委員会、人事委員会及び監査委員に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項

(2) 経済労働委員会 12人

農林水産部、観光商工部、労働委員会、海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会に関する事項

(3) 文教厚生委員会 11人

福祉保健部、病院事業局及び教育委員会に関する事項

(4) 土木文化環境委員会 12人

文化環境部、土木建築部、企業局及び収用委員会に関する事項

(議会運営委員会の設置)

第2条の2 議会に議会運営委員会を置く。

2 議会運営委員会の委員の定数は、13人とする。

(特別委員会の設置)

第3条 特別委員会は、必要がある場合において議会の議決で置く。

2 特別委員会の委員の定数は、議会の議決で決める。

(委員の各派割当選任)

第4条 常任委員、議会運営委員及び特別委員（以下「委員」という。）は、各派の所属議員数の比率により、各派に割り当てて選任する。ただし、議会運営委員及び特別委員の選任については特別の事情があるときは、各派の所属議員数の比率による割当てをしないことができる。

2 前項の規定により委員が選任された後、各派の所属議員数に異動があつたため、委員の各派割当数を変更する必要があるときは、その任期にかかわらず、議長は、議会の議決を経て委員を変更することができる。ただし、閉会中においては、議長が変更することができる。

3 前項ただし書の規定により委員を変更したときは、議長は、その旨を次の議会に報告しなければならない。

(委員の選任方法)

第5条 委員は、議長が会議にはかつて指名する。ただし、閉会中においては、議長が指名することができる。

2 議長は、常任委員の申出があるときは、会議にはかつて当該委員の委員会の所属を変更することができる。ただし、閉会中においては、議長が変更することができる。

3 第1項ただし書の規定により委員を指名したとき及び前項ただし書の規定により委員の所属を変更したときは、議長は、その旨を次の議会に報告しなければならない。

(委員長及び副委員長)

第6条 常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会（以下「委員会」という。）に委員長及び副委員長1人を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員会において互選する。

3 委員長及び副委員長の任期は、委員の任期による。

(委員長及び副委員長がともないときの互選)

第7条 委員長及び副委員長がともないときは、議長が委員会の招集日時及び場所を定めて、委員長の互選を行なわせる。

2 前項の互選に関する職務は、年長の委員が行なう。

(委員長の議事整理、秩序保持権)

第8条 委員長は、委員会の議事を整理し、秩序を保持する。

(委員長の職務代行)

第9条 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、副委員長が委員長の職務を行なう。

2 委員長及び副委員長とともに事故があるときは、年長の委員が委員長の職務を行なう。

(委員長、副委員長の辞任)

第10条 委員長及び副委員長が辞任しようとするときは、委員会の許可を得なければならない。

(議会運営委員及び特別委員の辞任)

第11条 議会運営委員及び特別委員が辞任しようとするときは、議会の許可を得なければならない。ただし、閉会中においては、議長が許可することができる。

2 前項ただし書の規定により議会運営委員及び特別委員の辞任を許可したときは、議長は、その旨を次の議会に報告しなければならない。

(招集)

第12条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員の定数の半数以上の者から審査又は調査すべき事件を示して招集の請求があつたときは、委員長は、委員会を招集しなければならない。

(定足数)

第13条 委員会は、委員の定数の半数以上の委員が出席しなければ会議を開くことができない。ただし、第15条(委員長及び委員の除斥)の規定による除斥のため半数に達しないときは、この限りでない。

(表決)

第14条 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

2 前項の場合においては、委員長は、委員として議決に加わることができない。

(委員長及び委員の除斥)

第15条 委員長及び委員は、自己若しくは父母、祖父母、配偶者、子孫若しくは兄弟姉妹の一身上に関する事件又は自己若しくはこれらの者の従事する業務に直接の利害関係のある事件については、その議事に参与することができない。ただし、委員会の同意があつたときは、会議に出席し、発言することができる。

(傍聴の取扱)

第16条 委員会は、議員のほか、委員長の許可を得た

者が傍聴することができる。

2 委員長は、必要があると認めるときは、傍聴人の退場を命ずることができる。

(秘密会)

第17条 委員会は、その議決で秘密会とすることができる。

(出席説明の要求)

第18条 委員会は、審査又は調査のため、知事、教育委員会の委員長、選挙管理委員会の委員長、人事委員会の委員長、公安委員会の委員長、労働委員会の委員及び監査委員その他法律に基づく委員会の代表者又は委員並びにその委任又は嘱託を受けた者に対し、説明のため出席を求めようとするときは、議長を経てしなければならない。

(議事妨害及び離席の禁止)

第19条 何人も、会議中は、みだりに発言し、騒ぎ、その他議事の妨害となる言動をしてはならない。

2 委員は、会議中みだりに離席してはならない。

(秩序保持に関する措置)

第20条 委員会において地方自治法(昭和22年法律第67号)、会議規則又はこの条例に違反し、その他委員会の秩序を乱す委員があるときは、委員長は、これを制止し、又は発言を取り消させることができる。

2 委員が前項の規定による命令に従わないときは、委員長は、当日の委員会が終るまで発言を禁止し、又は退場させることができる。

3 委員長は、委員会が騒然として整理することが困難であると認めるときは、委員会を閉じ、又は中止することができる。

(公聴会開催の手續)

第21条 委員会が公聴会を開こうとするときは、議長の承認を得なければならない。

2 議長は、前項の承認をしたときは、その日時、場所及び意見を聞こうとする案件その他必要な事項を公示する。

(意見を述べようとする者の申出)

第22条 公聴会に出席して意見を述べようとする者は、文書であらかじめその理由及び案件に対する賛否を、その委員会に申し出なければならない。

(公述人の決定)

第23条 公聴会において意見を聞こうとする利害関係者及び学識経験者等(以下「公述人」という。)は、前条の規定によりあらかじめ申し出た者及びその他の者の中から、委員会において定め、議長を経て、

本人にその旨を通知する。

- 2 あらかじめ申し出た者の中に、その案件に対して、賛成者及び反対者があるときは、一方にかたよらないように公述人を選ばなければならない。

(公述人の発言)

第24条 公述人が発言しようとするときは、委員長の許可を得なければならない。

- 2 前項の発言は、その意見を聞こうとする案件の範囲をこえてはならない。
- 3 公述人の発言がその範囲をこえ、又は公述人に不穏当な言動があるときは、委員長は、発言を制止し、又は退席させることができる。

(委員と公述人の質疑)

第25条 委員は、公述人に対し質疑をすることができる。

- 2 公述人は、委員に対し質疑をすることができない。

(代理人又は文書による意見の陳述)

第26条 公述人は、代理人に意見を述べさせ、又は文書で意見を提示することができない。ただし、委員会が特に許可した場合は、この限りでない。

(参考人)

第26条の2 委員会が、参考人の出席を求めるには、議長を経なければならない。

- 2 前項の場合において、議長は、参考人にその日時、場所及び意見を聞こうとする案件その他必要な事項を通知しなければならない。
- 3 参考人については、第24条（公述人の発言）、第25条（委員と公述人の質疑）及び第26条（代理人又は文書による意見の陳述）の規定を準用する。

(記録)

第27条 委員長は、職員をして会議の概要、出席委員の氏名等必要な事項を記載した記録を作成させ、これに署名又は押印しなければならない。

- 2 前項の記録は、議長が保管する。

(会議規則との関係)

第28条 この条例に定めるもののほか、委員会に関しては、会議規則の定めるところによる。

附 則

- 1 この条例は、昭和47年5月15日から施行する。
- 2 沖縄の復帰に伴う特別措置に関する法律（昭和46年法律第129号）第5条の規定に基づき、議会の議員が選挙され、かつ就任するまでは、第2条の規定の適用については、同条中「11人」とあるのは、「8人」と読み替えるものとする。

附 則（昭和49年3月29日条例第21号）

- 1 この条例は、沖縄県部設置条例の一部を改正する条例（昭和48年沖縄県条例第74号）の施行の日（昭和49年4月1日）から施行する。
- 2 この条例施行の際、現に次の表の左欄に掲げる常任委員会の委員長、副委員長及び委員は、それぞれ同表右欄に掲げる常任委員会の委員長、副委員長及び委員に選任されたものとみなす。

| | |
|---------|-----------|
| 総務委員会 | 企画総務委員会 |
| 経済労働委員会 | 経済労働渉外委員会 |
| 文教厚生委員会 | 文教厚生委員会 |

- 3 この条例施行の際、現に改正前の沖縄県議会委員会条例（以下「委員会条例」という。）第2条第1号、第2号及び第3号に規定する常任委員会で審査又は調整中の事件は、この条例による改正後の委員会条例第2条第1号、第2号及び第3号の規定により当該事件を所管することになる常任委員会にそれぞれ付議されたものとみなす。

附 則（昭和51年7月2日条例第23号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和54年7月30日条例第26号）

- 1 この条例は、沖縄県部設置条例の一部を改正する条例（昭和54年沖縄県条例第25号）の施行の日から施行する。
- 2 この条例施行の際、現に次の表の左欄に掲げる常任委員会の委員長、副委員長及び委員は、同表右欄に掲げる常任委員会の委員長、副委員長及び委員に選任されたものとみなす。

| | |
|-----------|---------|
| 経済労働渉外委員会 | 経済労働委員会 |
|-----------|---------|

- 3 この条例施行の際、現に改正前の沖縄県議会委員会条例（以下「委員会条例」という。）第2条に規定する常任委員会で審査又は調査中の事件は、この条例による改正後の委員会条例第2条の規定により当該事件を所管することになる常任委員会にそれぞれ付議されたものとみなす。

附 則（昭和58年3月31日条例第25号）

- 1 この条例は、沖縄県部設置条例の一部を改正する条例（昭和58年沖縄県条例第11号）の施行の日から

施行する。

- 2 この条例施行の際、現に次の表の左欄に掲げる常任委員会の委員長、副委員長及び委員は、それぞれ同表右欄に掲げる常任委員会の委員長、副委員長及び委員に選任されたものとみなす。

| | |
|---------------|---------------|
| 企 画 総 務 委 員 会 | 総 務 企 画 委 員 会 |
|---------------|---------------|

- 3 この条例施行の際、現に改正前の沖縄県議会委員会条例（以下「委員会条例」という。）第2条に規定する常任委員会で審査又は調査中の事件は、この条例による改正後の委員会条例第2条の規定により当該事件を所管することとなる常任委員会にそれぞれ付議されたものとみなす。

附 則（昭和59年3月31日条例第14号）

この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則（昭和59年6月28日条例第18号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和61年4月3日条例第18号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成3年7月12日条例第17号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成4年6月26日条例第41号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成5年9月28日条例第20号）

この条例は、平成5年10月1日から施行する。

附 則（平成9年12月26日条例第36号）

- 1 この条例は、沖縄県部設置条例の一部を改正する条例（平成9年沖縄県条例第31号）の施行の日から施行する。

- 2 この条例の施行の際、現に改正前の沖縄県議会委員会条例（以下「委員会条例」という。）第2条に規定する常任委員会で審査又は調査中の事件は、この条例による改正後の委員会条例第2条の規定により当該事件を所管することとなる常任委員会にそれぞれ付議されたものとみなす。

附 則（平成11年12月27日条例第57号）

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成16年12月28日条例第51号）

この条例は、平成17年1月1日から施行する。

附 則（平成17年3月4日条例第1号）

- 1 この条例は、沖縄県部設置条例の一部を改正する条例（平成16年沖縄県条例第35号）の施行の日から施行する。

- 2 この条例の施行の際、現に改正前の沖縄県議会委員会条例（以下「委員会条例」という。）第2条に規定する常任委員会で審査又は調査中の事件は、この条例による改正後の委員会条例第2条の規定により当該事件を所管することとなる常任委員会にそれぞれ付議されたものとみなす。

附 則（平成18年3月31日条例第36号）

この条例は、沖縄県病院事業の地方公営企業法の全部適用に伴う関係条例の整備に関する条例（平成18年沖縄県条例第22号）の施行の日〔平成18年4月1日〕から施行する。

附 則（平成19年3月30日条例第29号）

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（昭和22年3月29日条例第23号）

- 1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この条例施行の際現に改正前の第2条の規定による次の表の左欄に掲げる常任委員会の委員長、副委員長又は委員である者は、この条例の施行の日にそれぞれ改正後の第2条の規定による同表右欄に掲げる常任委員会の委員長、副委員長又は委員に選任されたものとみなす。

| | |
|---------------|-------------------|
| 文 教 厚 生 委 員 会 | 文 教 厚 生 委 員 会 |
| 土 木 委 員 会 | 土 木 文 化 環 境 委 員 会 |

- 3 この条例施行の際現に改正前の第2条第3号又は第4号の規定による常任委員会に付議されている事件は、この条例の施行の日にそれぞれ改正後の第2条第3号又は第4号の規定による当該事件を所管することとなる常任委員会に付議されたものとみなす。

沖縄県議会会議規則

昭和47年5月15日 議会規則第1号
改正 平成3年5月24日 議会規則第1号
平成3年7月12日 議会規則第2号
平成14年5月22日 議会規則第1号
平成19年3月30日 議会規則第1号
平成20年9月18日 議会規則第1号
注 委員会に係る部分を抄録

第8章 委員会

(議長への通知)

第72条 委員会を招集しようとするときは、委員長は、開会の日時、場所、事件等をあらかじめ議長に通知しなければならない。

(会議中の委員会の禁止)

第73条 委員会は、議会の会議中は、開くことができない。

(委員の発言)

第74条 委員は、議題について自由に質疑し、及び意見を述べることができる。ただし、委員会において別に発言の方法を決めたときは、この限りでない。

(委員外議員の発言)

第75条 委員会は、審査又は調査中の事件について、必要があると認めるときは、委員でない議員に対しその出席を求めて説明又は意見を聞くことができる。委員でない議員から発言の申出があつたときも、また同様とする。

(委員の議案修正)

第76条 委員は、修正案を発議しようとするときは、その案をあらかじめ委員長に提出しなければならない。

(分科会又は小委員会)

第77条 委員会は、審査又は調査のため必要があるときは、分科会又は小委員会を設けることができる。

(連合審査会)

第78条 委員会は、審査又は調査のため必要があるときは、他の委員会と協議して連合審査会を開くことができる。

(証人出頭又は記録提出要求)

第79条 委員会は、法第100条の規定による調査を委託された場合において、証人の出頭又は記録の提出を求めようとするときは、議長に申し出なければな

らない。

(所管事務等の調査)

第80条 常任委員会は、その所管に属する事務について調査しようとするときは、その事項、目的、方法及び期間等をあらかじめ議長に通知しなければならない。

2 議会運営委員会が、法第109条の2第4項に規定する調査をしようとするときは、前項の規定を準用する。

(委員の派遣)

第81条 委員会は、審査又は調査のため委員を派遣しようとするときは、その日時、場所、目的及び経費等を記載した派遣承認要求書を議長に提出し、あらかじめ承認を得なければならない。

(閉会中の継続審査)

第82条 委員会が閉会中もなお審査又は調査を継続する必要があると認めるときは、その理由を付け、委員長から議長に申し出なければならない。

(少数意見の留保)

第83条 委員は、委員会において少数で廃棄された意見で他に出席委員1人以上の賛成があるものは、これを少数意見として留保することができる。

2 前項の規定により少数意見を留保した者がその意見を議会に報告しようとする場合においては、簡明な少数意見報告書を作り、委員会の報告書が提出されるまでに、委員長を経て議長に提出しなければならない。

(委員会報告書)

第84条 委員会は、事件の審査又は調査を終わつたときは、報告書を作り、議長に提出しなければならない。

沖縄県議会傍聴規則

昭和47年5月15日 議会規則第2号

改正 昭和63年7月5日 議会規則第1号

平成4年9月29日 議会規則第1号

平成19年3月30日 議会規則第2号

(この規則の目的)

第1条 この規則は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第130条第3項の規定に基づき会議の傍聴に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(傍聴席の区分)

第2条 傍聴席は、一般席、特別席、車椅子席及び報道関係者席に分ける。

2 特別席は、公賓、沖縄県議会議員の職にあつた者の礼遇に関する規程（昭和57年沖縄県議会告示第1号）第2条の規定により礼遇を受ける者その他議長が特に必要と認める者の傍聴の用に供する。

(傍聴人の定員)

第3条 一般席の傍聴人の定員は、155人とする。ただし、特に必要がある場合は、議長において増員することができる。

(傍聴券等の交付)

第4条 会議を傍聴しようとする者は、傍聴券又は傍聴証の交付を受けなければならない。

(傍聴券)

第5条 傍聴券は、一般傍聴券及び紹介傍聴券とする。

2 一般傍聴券は、会議当日議会事務局所定の場所で先着順により交付する。

3 紹介傍聴券は、議長において特に必要があると認めた場合に、議長又は議員を経て交付し、その数は、その都度議長が定める。

4 傍聴券の交付を受けた者は、傍聴券に記載された日に限り傍聴することができる。

(傍聴券への記入)

第6条 傍聴券の交付を受けた者は、傍聴券に住所及び氏名を記入しなければならない。

(傍聴証)

第7条 傍聴証は、報道関係者及び沖縄県職員で議長において必要があると認める者に交付する。

2 傍聴証の交付を受けた者は、その会期を通じて傍聴することができる。

(傍聴人の入場)

第8条 傍聴人が入場しようとするときは、指定の入口で傍聴券又は傍聴証を係員に提示しなければならない。

(傍聴券等の提示)

第9条 傍聴人は、係員から要求を受けたときは、傍聴券又は傍聴証を提示しなければならない。

(傍聴券等の返還)

第10条 傍聴券の交付を受けた者は、傍聴を終え退場しようとするときは、これを返還しなければならない。

2 傍聴証の交付を受けた者は、その会期が終わつたときは、これを返還しなければならない。

(傍聴人の制限)

第11条 議長において取締上必要があると認めたときは、傍聴人の数を制限することができる。

(議場への入場禁止)

第12条 傍聴人は、議場に入ることはできない。

(傍聴席に入ることができない者)

第13条 次の各号の一に該当する者は、傍聴席に入ることができない。

- (1) 銃器、棒、杖その他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある物を携帯している者
- (2) 張り紙、ビラ、掲示板、プラカード、旗、のぼり、たれ幕、かさの類を携帯している者
- (3) はち巻、腕章、たすき、リボン、ゼッケン、ヘルメットの類を着用し、又は携帯している者
- (4) ラジオ、拡声器、無線機、マイク、録音機、写真機、映写機の類を携帯している者。ただし、第15条ただし書の規定により、撮影又は録音することにつき議長の許可を得た者を除く。
- (5) 笛、ラッパ、太鼓その他の楽器の類を携帯している者
- (6) 下駄、木製サンダルの類をはいている者
- (7) 酒気を帯びていると認められる者
- (8) 異様な服装をしている者
- (9) その他議事を妨害することを疑うに足りる顕著な事情が認められる者

2 議長は、必要と認めたときは、傍聴人に対し、係員をして、前項第1号から第5号までに規定する物品を携帯しているか否かを質問させることができる。

3 議長は、前項の質問を受けた者がこれに応じないときは、その者の入場を禁止することができる。

4 児童及び乳幼児は、傍聴席に入ることができない。ただし、議長の許可を得た場合は、この限りでない。

(傍聴人の守るべき事項)

第14条 傍聴人は、傍聴席にあるときは、静粛を旨とし、次の事項を守らなければならない。

- (1) 議場における言論に対して拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
- (2) 談論し、放歌し、高笑し、その他騒ぎ立てないこと。
- (3) はち巻、腕章、たすき、リボン、ゼッケン、ヘルメットの類を着用し、又は張り紙、旗、たれ幕の類を掲げる等示威的行為をしないこと。
- (4) 帽子、外とう、えり巻の類を着用しないこと。
ただし、病気その他の理由により議長の許可を得た場合は、この限りでない。
- (5) 飲食又は喫煙をしないこと。
- (6) みだりに席を離れないこと。
- (7) 不体裁な行為又は他人に迷惑となる行為をしないこと。
- (8) その他議場の秩序を乱し、又は議事の妨害となるような行為をしないこと。

(写真、映画等の撮影及び録音等の禁止)

第15条 傍聴人は、傍聴席において写真、映画等を撮影し、又は録音等をしてはならない。ただし、特に議長の許可を得た場合は、この限りでない。

(係員の指示)

第16条 傍聴人は、すべて係員の指示に従わなければならない。

(違反に対する措置)

第17条 傍聴人がこの規則に違反するときは、議長は、これを制止し、その命令に従わないときは、これを退場させることができる。

附 則

この規則は、昭和47年5月15日から施行する。

附 則 (昭和63年7月5日議会規則第1号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成4年9月29日議会規則第1号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成19年3月30日議会規則第2号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

沖縄県議会委員会記録の作成及び 閲覧等に関する要綱

昭和49年9月13日 議長決裁
昭和59年5月19日 改正
平成12年1月17日 全部改正
平成14年4月22日 一部改正
平成16年4月15日 一部改正
平成17年5月27日 一部改正
平成20年1月25日 一部改正

(目的)

第1条 この要綱は、沖縄県議会委員会条例（昭和47年条例第61号）第27条第1項に規定する委員会記録の作成及び閲覧等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(作成)

第2条 委員会記録は、議事課及び政務調査課の作成担当者が作成する。

(作成方法)

第3条 委員会記録は、所定の書式に招集年月日、開閉時刻、場所、議題、委員の出欠、説明員の職・氏名、議案の提案理由の説明、議案・陳情等に対する質疑等に対する審査の経過及び結果並びにその他協議事項等の必要事項を記載して作成する。

- 2 委員会記録の所定の書式等は、別に定める。
- 3 委員会記録は、逐語筆記により作成する。ただし、協議事項等についてはこの限りでない。

(録音)

第4条 議事課及び政務調査課の担当者は、委員会記録を作成するため、委員会の議事を録音する。

(保管)

第5条 委員会記録は、議長の命により担当課長が保管する。

- 2 秘密会の記録は、その他の記録と分離して作成し、密封の上、議事課長が保管する。

(貸し出しの禁止)

第6条 委員会記録は、貸し出さないものとする。

(閲覧等)

第7条 委員会記録は、議員及び関係部局の職員以外は、別に定める沖縄県議会委員会記録閲覧要綱に基づき閲覧させるものとする。ただし、沖縄県情報公開条例（平成13年条例第37号。以下「情報公開条例」という。）の不開示情報に該当すると認められる記

録が含まれている場合は、当該記録の部分は閲覧に供さないものとする。

- 2 情報公開条例に基づき県民等から委員会記録の開示請求があった場合は、情報公開条例の規定により処理するものとし、委員会記録の公開マニュアルは別に定める。

- 3 秘密会の記録は、開示しないものとする。

(配布)

第8条 委員会記録は、配布しないものとする。ただし、予算及び決算特別委員会記録については、印刷して配布することができるものとする。

(作成期間)

第9条 委員会記録は、次の定例会までに作成する。ただし、閉会中の委員会記録については、速やかに作成する。

附 則

この要綱は、昭和49年9月13日から適用する。

この要綱は、平成12年1月17日から適用する。

この要綱は、平成14年4月22日から施行し、平成14年第1回県議会の委員会記録の作成から適用する。

この要綱は、平成16年4月15日から適用する。

この要綱は、平成17年5月27日から適用する。

この要綱は、平成20年1月25日から適用する。

委員会録音テープ取り扱い要綱

昭和49年5月13日 議長決裁
平成12年1月17日 全部改正
平成14年4月22日 一部改正
平成16年4月15日 一部改正
平成17年5月27日 一部改正

(目的)

第1条 この要綱は、常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会（以下「委員会」という。）における録音テープの取り扱いに関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(保管及び消去)

第2条 議事課または政務調査課の担当者（以下「録音担当者」という。）は、録音終了後、録音テープに会議の年月日、委員会の名称、開閉時間、その他必要事項を表示して、委員会記録作成担当者に引き継ぐものとする。

2 委員会記録作成担当者は、委員会記録作成後は秘密会の議事に係る録音テープを除き、当該録音内容を消去する。ただし、特に担当課長が必要と認めたものは、保管できるものとする。

3 秘密会の議事に係る録音テープは、その他の議事と分離して録音し、録音担当者において密封の上、担当課長が保管する。

(貸し出し禁止)

第3条 録音テープは、貸し出さないものとする。

(再生)

第4条 録音テープの再生は当該課内において行い、議員及び関係部局の職員以外は認めないものとする。

2 秘密会の議事に係る録音テープは、再生させないものとする。

(移録の禁止)

第5条 録音テープから他のテープに録音することは、認めないものとする。

附 則

この要綱は、昭和49年5月13日から適用する。

この要綱は、平成12年1月17日から適用する。

この要綱は、平成14年4月1日から適用する。

この要綱は、平成16年4月15日から適用する。

この要綱は、平成17年5月27日から適用する。

議事についての各種成立要件一覧

(注) 「法」は地方自治法、「例」は沖縄県議会委員会条例、「則」は沖縄県議会会議規則を表す。

| 件 名 | 根 拠 法 規 | 成 立 数 | 本 県 の 場 合 の 最 低 数 | 備 考 |
|--------------------------------------|-----------------|--------------|----------------------|------|
| 1 臨時会招集の請求 | 法 101③ | 議員定数の4分の1以上 | 12 | |
| 2 開議の請求 | 法 114① | 議員定数の半数以上 | 24 | |
| 3 閉議又は会議中止の異議の申出 | 114② | 1人以上 | | |
| 4 委員会招集の請求 | 例 12② | 委員定数の半数以上 | | |
| 5 団体の意思決定に関する議案(予算案を除く。)の提出 | 法 112② | 議員定数の12分の1以上 | 4 | |
| 6 上記5以外の議案の提出 | 則 14 | 1人以上の賛成 | | |
| 7 団体の意思決定に関する議案(条例案、予算案等)に対する修正動議の提出 | 法 115の2 | 議員定数の12分の1以上 | 4 | |
| 8 懲罰動機の提出 | 法 135② | 議員定数の8分の1以上 | 6 | |
| 9 上記7及び8以外の動議の提出 | 則 16、17 | 1人以上の賛成 | | |
| 10 会議の定足数 | 法 113 | 議員定数の半数以上 | 24 | |
| 11 委員会の定足数 | 例 13 | 委員定数の半数以上 | | |
| 12 秘密会を開く発議 | 法 115① | 議長又は議員3人以上 | | |
| 13 投票表決の要求 | 則 65① | 出席議員の8分の1以上 | | |
| 14 委員会における少数意見の留保 | 則 83① | 出席委員1人以上の賛成 | | |
| 15 投票開票の立会人 | 則 31①② | 議員2人以上 | | 議長指名 |
| 16 会議録署名議員 | 法 123② 則 114 | 議長及び議員2人 | | 議長指名 |
| 17 委員会の秘密会 | 例 17 | 委員会の議決 | | |

特 別 多 数 議 決 一 覧

(注)「法」は地方自治法、「教」は地方教育行政の組織及び運営に関する法律、「特」は地方公共団体の議会の解散に関する特例法を示す。

| 事 項 | 根 拠 法 規 | 成 立 数 | 備 考 |
|---|---------------|----------------|----------------|
| 1 地方公共団体の事務所の位置の設定又は変更に関する条例の制定又は改廃の議決 | 法 4③ | 出席議員の3分の2以上の同意 | |
| 2 直接請求に基づく副知事、選挙管理委員、監査委員、公安委員会委員及び教育委員会委員の解職の議決 | 法 87① 教 8② | 出席議員の4分の3以上の同意 | 在職議員の3分の2以上の出席 |
| 3 秘密会開催の議決 | 法 115① | 出席議員の3分の2以上の賛成 | 議長又は議員3人以上の発議 |
| 4 議員の資格決定 | 法 127① | 出席議員の3分の2以上の賛成 | |
| 5 議員の除名の議決 | 法 135③ | 出席議員の4分の3以上の同意 | 在職議員の3分の2以上の出席 |
| 6 知事の一般的拒否権により再議に付された議決の同一議決の確定 | 法 176③ | 出席議員の3分の2以上の同意 | 在職議員の3分の2以上の出席 |
| 7 知事に対する不信任の議決 | 法 178③ | 出席議員の4分の3以上の同意 | 在職議員の3分の2以上の出席 |
| 8 議会解散後初めて招集された議会において再び行う知事の不信任の議決 | 法 178③ | 出席議員の過半数の同意 | 在職議員の3分の2以上の出席 |
| 9 重要な公の施設のうち特に重要なものについて、これを廃止し、又は長期かつ独占的利用をさせる許可の議決 | 法 244の2② | 出席議員の3分の2以上の同意 | |
| 10 地方公共団体の議会の自主的解散の議決 | 特 2② | 出席議員の5分の4以上の同意 | 在職議員の4分の3以上の出席 |

議長、委員会、議員の職務権限

(1) 議長

| 事 項 | 根 拠 法 規 | 摘 要 |
|---|---------------------|----------------------------------|
| 1 議場の秩序保持権 | 地方自治法104 | |
| (1) 議場の秩序を乱す議員に対する制止、発言取消、発言禁止又は議場外退去等を命ずる権限 | 129① | |
| (2) 議場が騒然として整理することが困難であると認めるときは、その日の会議を閉じ又は中止する権限 | 129② | |
| (3) 傍聴人の会議妨害に対し、これを制止し、又は傍聴人を退場させ、若しくは警察官に引き渡す権限 | 130①・② | |
| (4) 傍聴人取締規則制定権 | 130③ | |
| 2 議事整理権 | 104 | |
| 3 議会事務の統理権 | 104 | |
| 4 議会の代表権 | 104 | |
| 5 委員会への出席発言権 | 105 | |
| 6 出席催告権 | 113 | ただし書き |
| 7 議員からの請求がある場合の、その日の会議を開く権限 | 114① | 議員定数の半数以上の者の請求 |
| 8 秘密会発議権 | 115① | ただし書き |
| 9 可否同数の場合の裁決権 | 116① | 過半数議決の場合、表決権なし 116② |
| 10 長等に対する議場出席請求権 | 121 | |
| 11 会議録の調製及び署名 | 123①・② | |
| 12 正当な理由がなく欠席した議員に対する懲罰発議権 | 137 | |
| 13 閉会中における副議長、議員の辞職許可権 | 108、126 | 108、126ただし書き |
| 14 議決した条例及び予算を知事に送付すること | 16① 219① | 議決をした日から3日以内 |
| 15 会議の結果を知事に報告すること | 123④ | |
| 16 事務局長、書記、その他の職員の任免 | 138⑤ | |
| 17 議会に関する事務を事務局長に命ずること | 138⑦ | |
| 18 議会において知事の不信任を議決したとき、知事にその旨を通知すること | 178① | 在職議員数の3分の2以上が出席し、その4分の3以上の同意178③ |
| 19 解散後初めて招集された議会で再び不信任の議決をしたとき、その旨を通知すること | 178② | 在職議員数の3分の2以上が出席し、その過半数の同意 178③ |
| 20 議員に欠員を生じた場合又は長の退職の申立てがあった場合、選挙管理委員会に通知すること | 公職選挙法111① (3)(4) | 欠員を生じた日又は申立ての日から5日以内 |

(2) 委員会

| 事 項 | 根 拠 法 規 | 摘 要 |
|---------------------------------|----------------|-------|
| 1 常任委員会 | | |
| (1) その部門に属する当該普通地方公共団体の事務に関する調査 | 地方自治法 109④ | |
| (2) 議案、陳情等の審査 | 109④ | |
| (3) 公聴会開催による関係者等からの意見聴取 | 109⑤ | |
| (4) 参考人の出頭を求めての意見聴取 | 109⑥ | |
| (5) 議会から付議された特定の事件についての閉会中の審査 | 109⑨ | |
| 2 特別委員会 | | |
| (1) 議会から付議された事件の会期中における審査 | 110④ | ただし書き |
| (2) 議会から付議された特定の事件についての閉会中の審査 | 110④ | |
| (3) 公聴会開催による関係者等からの意見聴取 | 110⑤ (109⑤) | |
| (4) 参考人の出頭を求めての意見の聴取 | 110⑤ (109⑥) | |

(3) 議員

| 事 項 | 根 拠 法 規 | 摘 要 |
|---|------------------------|--------------------------------|
| 1 知事に対し臨時会の招集を請求すること | 地方自治法 101③ | 議員定数の4分の1以上の請求 |
| 2 議会の議決すべき事件（団体意思決定）につき、議案（予算を除く。）を提出すること | 112①・② | 議員定数の12分の1以上の賛成 |
| 3 議長に対し開議の請求をすること | 114① | 議員定数の半数以上の請求 |
| 4 会議を閉じ又は中止することに異議を申し立てること | 114② | |
| 5 秘密会を開く発議 | 115① 委員会条例 17 | 本会議は、議員3人以上の発議で、出席議員の3分の2以上の議決 |
| 6 議案に対する修正動議の提出 | 地方自治法 115の2 会議規則 17 | 議員定数の12分の1以上の発議（団体意思決定） |
| 7 表決権 | 地方自治法 116 | 議長は過半数議決の場合、表決権を有しない |

| 事 項 | 根 拠 法 規 | 摘 要 |
|---|------------------|--|
| 8 除斥該当事件について、議会の同意を得て会議に出席し、発言すること | 地方自治法 117 | |
| 9 議会で行う選挙の効力に関する異議、これに対する決定に不服がある場合の審査の申立て及びその裁決に不服があるときの出訴 | 118①・⑤ | |
| 10 指名推薦に対する異議 | 118② | |
| 11 議員の被選挙権の有無又は地方自治法第92条の2（兼業の禁止）の規定に該当するかどうかについて会議に出席して弁明すること、その決定に不服がある場合の審査の申立て及びその裁決に不服があるときの出訴 | 127③・④ (118⑤) | |
| 12 会議録に署名すること | 123② | 議長及び議員 2人以上 |
| 13 請願を紹介すること | 124 | |
| 14 議場の秩序保持について議長の注意を喚起すること | 131 | |
| 15 会議又は委員会で侮辱を受けた議員が議会に訴えて処分を求めること | 133 | |
| 16 懲罰動議の提出 | 135② | 議員定数の 8 分の 1 以上の発議（除名については、在職議員の 3 分の 2 以上が出席し、その 4 分の 3 以上の同意 135③) |

委 員 会 報

平成24年 3 月

編 集 沖 縄 県 議 会 事 務 局 政 務 調 査 課
電 話 (0 9 8) 8 6 6 - 2 5 7 6
発 行 ・ 印 刷 沖 縄 県 議 会 事 務 局
那 覇 市 泉 崎 1 - 2 - 3
